acdsee™ 12

写真がもっと楽しくなる 超高速デジカメソフト

ユーザーガイド

賠償責任の告示

本文書の情報は、商品性、権原、特定の目的・使用への適合性に対する、明示的、黙示的保証等を含め、表明、保証等一切なしで「現状のまま」で提供されます。本文書の製作には充分注意しておりますが、著者および ACD Systems は、本文書に含まれている指示の使用あるいは不使用に直接的あるいは間接的に起因する、あるいは起因すると主張される損害に関し、いかなる個人あるいは団体組織に対しても一切の責任を負わないものとします。ACD Systems は、本文書を予告なく改訂する権利を留保するものです。

著作権および商標

ACDSee Photo Manager ソフトウェアおよびドキュメンテーションは、設計・プログラムされたもので、著作権があります。Copyright (c) 2005-2010 ACD Systems International Inc. All rights reserved worldwide. 複製禁止。

ACD、ACDSee、ACDSee ロゴは、ACD Systems International Inc. の商標で、カナダ、米国、EU、日本、その他の国で登録されている場合があります。

Adobe、Acrobat、PhotoShop、PostScript、XMP は、米国あるいはその他の国における Adobe Systems Incorporated の登録商標または商標です。

Apple、Macintosh、QuickTime は、米国およびその他の国における Apple Inc. の登録商標です。

Paint Shop Pro は、カナダ、米国、その他の国における Corel Corporation およびその子会社の商標または登録商標です。

DirectX、Internet Explorer Microsoft、Windows、Windows ロゴ、Windows Media、Windows Vista、Windows Vista スタートボタンは、米国あるいはその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

その他のマーク、製品名、会社名は、それぞれの所有者の所有物です。

サードパーティ ソフトウェア ライセンス

本ソフトウェアには、本契約の残りの部分と共に受諾し、合意した以下の公示に従って使用される ACD Systems およびそのサプライヤーのソフトウェアが含まれています。

本ソフトウェアには、Calendar-Based Image Asset Organization のメソッドとシステムが含まれています。(特許番号 US 7,398,479 B2)

本製品には、Adobe Systems Incorporated によるライセンスに基づく DNG 技術が含まれています。詳細については、以下に示されています。http://www.adobe.com/products/dng/main.html. All rights reserved.

XMP Toolkit 4.1.1 の著作権はAdobe Systems Incorporated に帰属します。(copyright © 1999 - 2007, Adobe Systems Incorporated All rights reserved.)。本ソフトウェアは、著作権の所有者および提供者によって「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性を含めこれに限定されることなく、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証を行わないものとします。いかなる場合であれ、著作権所有者または提供者は、本ソフトウェアの使用に起因する、直接的、間接的、付随的、特殊、典型的、結果的損害(代替製品またはサービスの調達、使用不能、データ、利益の喪失、事業の中断を含むがこれに限定されない)に関し、そのような損害の可能性が示唆されていたかどうかにかかわらず、もしくは契約、厳格責任、不法行為(過失であるかどうかに関係なく)による場合であっても、一切の責任を負わないものとします。

Xalan および Xerces ライブラリは、Apache License, Version 2.0 (以下「ライセンス」) により許諾されています。このファイルは、ライセンスに沿った形以外では使用できません。ライセンスは、http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0 から取得することができます。該当する法律により求められる場合や書面より同意された場合を除き、このライセンスにより配布されるソフトウェアは、「現状のまま」で明示的であれ黙示的であれ、一切の保証や条件なしに提供されます。ライセンスの下での許可や制限を規定する具体的な表現については、ライセンスをご覧ください。

米国政府の制限された権利。本ソフトウェアは制限された権利とともに提供されます。政府による使用、複製、公表は、DFARS 252.227-7013, Rights in Technical Data and Computer Software 条項の (c)(1) (ii) 項、または 48 CFR 52.227-19, Commercial Computer Software Restricted Rights 条項の (c) (1) 項および (2) 項に述べられている制限を受けます。製造者は、Chilkat Software, Inc., 1719 E Forest Ave, Wheaton, Illinois 60187 USA です。

本ソフトウェアは、Independent JPEG Group の著作物に一部基づいています。

LibTIFF によるTIFF サポート。Copyright (c) 1988-1997 Sam Leffler, Copyright (c) 1991-1997 Silicon Graphics, Inc. 本公示は、ソフトウェアと関連ドキュメントのすべてのコピーに表示する必要があります。Sam Leffler および Silicon Graphics の名称は、Sam Leffler および SililIcon Graphics の特定の事前の承認なしに、ソフトウェアに関連した広告または出版物で使用することはできません。本ソフトウェアは、「現状のまま」提供され、商品性、特定目的への適合性を含めこれに限定されることなく、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証を行わないものとします。いかなる場合であれ、SAM LEFFLER および SILICON GRAPHICS は、本ソフトウェアの使用または性能に起因する、不使用、データ、利益の喪失の結果から生じる、特殊、付随的、間接的、結果的損害に関し、そのような損害の可能性が示唆されていたかどうかにかかわらず、一切の責任を負わないものとします。

MPEG 1 コーデックは MainConcept 2008 に著作権があります。MainConcept ロゴおよび 'Codec By' ロゴは、MainConcept AG またはその子会社の登録商標であり、MainConcept は、MainConcept AG またはその子会社の商標です。

CD/DVD レコーディングソフトウェアは、Padus, Inc. からのライセンスで開発されました。http://www.padus.com Copyright 1996-2007 Padus, Inc. All Rights Reserved.

本ソフトウェアには、米国フロリダ州タンパ市の Pegasus Imaging Corp. が著作権を有する画像処理コードの一部が含まれています。Pegasus Imaging Corp., Tampa FL,ALL RIGHTS RESERVED.

目次

第 1 章 : はじめに **1**

ACDSee 12 へようこそ 1

ACDSee 12の新機能 1

直感的インターフェース 1

整理がより一層簡単に 2

改善された編集機能 3

増強された共有能力 4

最新の互換性 4

ACDSee 12 を起動する 4

ACDSee 12 のユーザー インターフェイスについて 5

管理モード 5

表示モード 6

編集 モード 6

Online モード 6

ACDSee 12 でモードを切り替える 6

管理モードを使用する 6

管理モード ペインについて 6

管理モード ドロップダウン メニュー 7

管理モード ペインの使い方 8

ペインを移動する 8

ペインを固定する 8

ペインを重ねてタブとして表示する 8

ペインのサイズを変更する 9

レイアウトを既定設定に戻す 9

表示モードを使用する 9

フル スクリーン モードで画像を表示する 10

表示モード ペインを使用する 10

画面下のツールバーを使用する 10

管理モードに切り替える 11

編集モードの使い方 11

Online モードを使用する 12

Online モードについて 12

アカウントを作成する 12

画像をアップロードする 12

第 2 章 : ヘルプを使用する **15**

ACDSee ヘルプを使用する 15

クイックスタート ガイドを使用する 15

その他のリソースとサポートについて... 15

第 3 章 : 管理モード... 17

写真をインポートする... 18

ACDSee でファイルをインポートする... 18

デバイス検出について... 19

デバイスから写真をインポートする... 19

CD または DVD から写真をインポートする... 24

ディスクから写真をインポートする... 24

スキャナから写真をインポートする... 25

携帯電話から写真をインポートする... 25

名前の変更テンプレートを作成する... 26

参照する... 27

ファイル一覧 ペインでファイルを参照する... 27

フォルダ ペインを使用する... 29

日時またはイベントごとにファイルを参照する... 30

お気に入りファイルを参照する... 32

カテゴリ ペインを使用する... 33

表示モードを変更する... 33

ファイルにフィルタを適用する... 34

ファイルをグループ化する... 34

ファイルを並べ替える... 36

ファイルを選択する... 37

画像をプレビュー表示する... 37

画像を比較する... 37

バスケットに画像を集める... 39

整理する... 39

ACDSee でファイルを管理する... 39

カテゴリ ペインを使って整理する... 39

カテゴリを作成する... 42

カテゴリと重要度を設定する... 42

プロパティ ペインを使用する... 43

キーワードを作成する/適用する... 44

ファイルをコピーまたは移動する... 45

画像をコピーする... 46

ファイルまたはフォルダを貼り付ける... 46

ファイルを置き換える／上書きする... 46

ファイル名 やフォルダ名を変更する... 47

プライベート フォルダにファイルを格納する... 47

画像にタグを付ける... 49
複数のファイルにデータベースと EXIF 情報を追加する... 49
IPTC キーワードと補充カテゴリを削除する... 50
ファイル プロパティの日時を変更する... 51
ファイルを別のコンピュータにバックアップする... 51
検索する... 53
ACDSee で検索する... 53
クイック検索バーを使用する... 53
検索ペインを使用する... 54
ファイル名のパターンで検索する... 55
ブラウズ検索 を使用する... 56
自動カテゴリで検索する... 57
重複ファイルを検索する... 58
画像をすばやく検索する... 59
共有する... 59
ACDSee 12 で共有する... 59
スクリーン キャプチャを実行する... 59
電子メールで送信する... 60
スクリーン セーバーを作成する... 61
スライドショーの表示と設定... 63
スライドショーとスクリーン セーバーを共有する... 65
デスクトップ スライドショーを作成する... 66
PDF ファイルを作成する... 67
PowerPoint プレゼンテーションを作成する... 67
CD または DVD を作成する... 68
ビデオファイルまたは VCD を作成する... 69
HTML アルバムを作成する... 70
Web サイトに画像をアップロードする... 71
コンタクトシートを作成する... 71
アーカイブ ファイルを作成する... 72
アーカイブされたファイル (.zip) を展開する... 73
SendPix アルバムを作成する... 73
印刷... 74
表示モードで画像を印刷する... 74
プリンタ オプションを設定する... 74
画像サイズと位置を設定する... 75
ページにテキストを追加する... 76
コンタクトシート オプションを設定する... 76
一括処理... 77

一括編集について 77
複数の画像を別のフォーマットに変換する 77
複数の画像を回転/反転する 78
複数の画像サイズを変更する 79
複数の画像の露出を調整する 80
複数ファイルの名前を変更する 81
データベース情報を管理する 82
ACDSee データベースについて 82
データベースからフォルダを除外する 84
ファイルをカタログ化する 84
旧バージョンの ACDSee データベースを変換する 85
データベース情報をインポートする 85
その他のソースからファイル情報をインポートする 86
データベース情報をエクスポートする 87
ファイル一覧を作成する 87
データベース情報をバックアップする 88
「データベース情報のバックアップ」のワンポイント 89
バックアップからデータベース情報を復元する 89
データベースのメンテナンス 89
データベースを最適化する 90
サムネイルとメタデータの再構築 90
ファイルを隔離する 91
プラグイン 91
プラグインについて 91
プラグインを管理する 91
プラグインのプロパティとヘルプを表示する 92
第 4 章 : 表示モード 93
表示モードで画像を扱う 93
画像を自動表示する 93
表示モードで画像にテキストを表示する 94
表示モードとフォルダを同期する 95
オフライン画像を表示する 95
ACDSee Quick View を使用する 96
別のアプリケーションで画像を表示する 97
画像をデスクトップの壁紙に設定する 97
ブラシ ファイルを表示する/使用する 98
オーディオとビデオ ファイルを再生する 98
メディア ファイルの一部を選択する 99

ビデオのフレームを画像として保存する..... 99
画像にオーディオを追加/編集する..... 100
画像の一部を選択する..... 101
表示モードでファイルプロパティを表示する..... 102
表示モードで画像を印刷する..... 102
オリジナルの表示..... 103
変更の確定..... 103
ズームを使用する..... 103
画像をズームする..... 103
ズームレベルを設定する..... 104
画像を自動拡大/自動縮小する..... 104
拡大された画像のサムネイルを表示する..... 105
拡大表示された画像のパンニング..... 105
画像の特定領域を拡大表示する..... 106
第 5 章 : 編集モード..... 107
編集モードを使用する..... 107
編集を使用する..... 107
編集でプリセットを使用する..... 109
元に戻す/やり直しボタンを使用する..... 109
オリジナルを復元する..... 109
ブレンドモードと不透明度について..... 110
画像に加えられた変更をプレビューで確認する..... 111
ピクセルのサイズ変更オプションと適用後..... 111
編集モードで画像を保存する..... 112
選択範囲ツール..... 113
選択範囲を使用する..... 113
選択範囲の編集または効果を適用する..... 116
補正ツール..... 116
赤目を補正する..... 116
画像を修整する..... 117
編集 - 追加ツール..... 118
画像にテキストを追加する..... 118
枠を追加する..... 119
ヴィネットを追加する..... 123
特殊効果フィルタについて..... 124
特殊効果 : 曇ガラス..... 125
特殊効果 : ブラインド..... 125
特殊効果 : 膨張..... 125

特殊効果：カラーエッジ 126
特殊効果：等高線 126
特殊効果：クレヨン画 127
特殊効果：クロスハッチ 127
特殊効果：ペンキ画 127
特殊効果：エッジ検出 128
特殊効果：エンボス 128
特殊効果：柔毛エッジ 129
特殊効果：ネオン効果 129
特殊効果：グラナイト 130
特殊効果：ミラー 130
特殊効果：ネガティブ 130
特殊効果：オイルペイント 131
特殊効果：アンティーク 131
特殊効果：輪郭 131
特殊効果：鉛筆画 132
特殊効果：ピクセル爆発 132
特殊効果：モザイク 133
特殊効果：ポスタライズ 133
特殊効果：光線ぼかし 133
特殊効果：雨 134
特殊効果：波紋 135
特殊効果：飛散タイル 135
特殊効果：セピア 136
特殊効果：金属シート 136
特殊効果：シフト 137
特殊効果：アングル 137
特殊効果：ソーベル 138
特殊効果：ソラリゼーション 138
特殊効果：ステンドグラス 139
特殊効果：太陽スポット 139
特殊効果：渦巻き 139
特殊効果：しきい値 140
特殊効果：地形図 140
特殊効果：ウォーター 141
特殊効果：ウォータードロップ 141
特殊効果：波 142
特殊効果：織り 142
特殊効果：風 143

特殊効果 : カスタム (ユーザー定義の特殊効果) 143
ジオメトリツール 144
画像を回転する 144
画像を反転する 145
画像をトリミングする 145
画像のサイズを変更する 146
露出/ライティングツール 147
画像の露出を調整する 147
画像のレベルを調整する 147
レベルを自動調整する 149
トーンカーブを調整する 149
ライティングを調整する 150
カラーツール 151
ホワイトバランスを調整する 151
カラーバランスを調整する 151
ヒストグラムを使用する 152
画像の色深度を変更する 152
色の設定 ダイアログボックスを使用する 153
詳細ツール 153
画像をシャープにする 153
画像をぼかす 154
ノイズとノイズ除去について 155
ノイズを除去する 156
ノイズを追加する 156
第 6 章 : Online モード 159
Online モードを使用する 159
ACDSeeOnline.com アカウントを作成する 160
ACDSee Online に画像をアップロードする 160
公開または非公開のフォルダを作成する 161
画像を表示する 161
重要度を変更する 162
画像をダウンロードする 162
転送マネージャを使用する 162
第 7 章 : オプションと設定 165
オプションを設定する 165
全般 オプションを設定する 165
管理モード オプションを設定する 165
クイック検索オプションを設定する 166

ファイル一覧ペイン オプションを設定する... 166
サムネイル情報オプションを設定する... 168
サムネイルのスタイル オプションを設定する... 169
詳細表示 オプションを設定する... 170
プレビュー ペイン オプションを設定する... 170
フォルダ オプションを設定する... 171
カテゴリ オプションを設定する... 171
カレンダー ペイン オプションを設定する... 172
CD/DVD 管理 オプションを設定する... 173
ファイル管理 オプションを設定する... 173
データベース オプションを設定する... 174
表示モード のオプションを設定する... 175
表示 オプションを設定する... 176
ACDSee Online オプションを設定する... 177
ACDSee Showroom オプションを設定する... 177
ACDSee Quick View オプションを設定する... 178
JPEG オプションを設定する... 179
カスタマイズと設定... 179
ペインやパネルを自動非表示にする... 179
タスクペインを使用する... 180
ツールバーをカスタマイズする... 180
画像エディタを設定する... 181
キーボード ショートカット のカスタマイズ... 182
表示テーマの変更... 183

第 8 章 : ショートカット... 185

管理モード のキーボード ショートカット... 185
管理モード のマウス ショートカット... 187
表示モード のキーボード ショートカット... 187
表示モード のマウス ショートカット... 190
カレンダー ペインのショートカット... 191
編集モード のキーボード ショートカット... 191
編集モード のマウス ショートカット... 191
Online モード のキーボード ショートカット... 192
Online モード のマウス ショートカット... 193

第 9 章 : ファイル フォーマット... 195

サポートされているファイル フォーマット... 195
画像フォーマット... 195
アーカイブ フォーマット... 195

ビデオとオーディオ フォーマット ... 195
RAW ファイルについて ... 198
サポートされている RAW フォーマット ... 199
ファイルの登録と関連付け ... 199
Microsoft XP をご使用の場合 ... 199
Microsoft Windows Vista をご使用の場合 ... 199
動作環境 ... **201**
用語集 ... **203**
索引 ... **211**

第 1 章 : はじめに

ACDSee 12 へようこそ

ACDSee 12 へようこそ。また業界をリードするデジタル画像管理ソフトウェアをお選びいただき、誠にありがとうございます。

ACDSee 12 は、デジタルカメラで撮影された写真やその他のメディアファイルをインポート、管理、表示、編集、共有するために不可欠なアプリケーションです。

ACDSee 12を使用して、カメラからコンピュータに画像をインポートしたり、ファイルのカテゴライズ化や重要度で分類できるだけでなく、あらゆるサイズの画像コレクション、数百から数十万もの画像を管理することができます。 サムネイルのプレビューから選択したり、プロパティの詳細リストを使用してファイルを並べ替えたり、という作業も瞬時に。探している画像が見つからない？ といった場合も ACDSee 12 では問題ありません。様々な検索ツールの他、重複を避けるための「画像の比較」機能が備わっています。

表示モードでは、高速・高画質な画像の表示が可能です。スライドショーや埋め込みオーディオの再生、マルチページ画像の表示だけでなく、50 種類以上の画像およびマルチメディア ファイル フォーマットがサポートされています。

また、ACDSee 12 には、デジタル画像の作成、編集、加工に必要とされる編集ツールが充実していて、赤目補正、トリミング、シャープネス、ぼかし、エンボス、美肌効果などのツールを使って、画像の編集や修正を自由自在に行うことができます。画像管理ツールを使えば、露出調整、変換、サイズ変更、名前の変更、回転などの機能を複数のファイルに一括して適用することも可能です。

ユーザー インターフェイスをお好みに合わせてカスタマイズをすることで、ツールや機能にすばやくアクセスすることができます。画面のレイアウト、画像の順序、ツールバーの表示、その他多数のオプションをユーザー好みにカスタマイズできます。ACDSee 12 には機能のポップヒントが搭載されていますので、アプリケーション内で困ることがあっても大丈夫です。

ACDSee 12 は、ビギナーからプロまで、デジタルカメラ愛用者が簡単に楽しみながら使用できる、高速でパワフルな画像管理ソフトです。

ACDSee 12の新機能

直感的インターフェース

ACDSee 12を使って、あなたの写真すべてを大切に管理。新たに改良され、さらに分かりやすいインターフェースは、1つのウィンドウから、写真の整理、表示、編集、共有のすべてを簡単なナビゲートで、操作を助けます。必要なツールは、4つのシンプルなモードですぐに見つけることができます:

管理モード

管理モードでは、参照、並べ替え、整理を実行します。ドロップダウンメニューを採用したシンプルなツールバーでは、最も頻繁に使用されるタスクをすぐに見つけられるように工夫されています。さまざまなツールやペインを組み合わせて高度な検索を行ったり、画像のサムネイルプレビューを表示することができます。作業をよりスムーズにするため、重要度の適用をラジオボタンで実行できるようになりました。また、カテゴリチェックボックスを搭載したことで、画像を素早く分類することができます。

表示モード

さまざまな画像表示ツールを使用して、画像を表示します。プロパティペインを表示して、EXIFやIPTCデータを確認しながら画像を見たり、必要に応じて画像にキャプションを追加するなどの作業を行います。表示モードに新たに搭載された「フィルムストリップ」機能によって、管理モードに戻ることなく画像間を簡単に行き来、表示できるようになりました。

編集モード

画像の調整に必要な作業は、すべて編集モードで行います。編集モードを使用して、画像のカラー、露出、ホワイトバランス、ディテールを調整します。赤目補正などのツールを使用することで、簡単に画像の手直ししたり、不必要なキズやオブジェクトを削除することができます。あるいは、テキスト、枠、特殊効果などを加えてクリエイティブな仕上げを行います。

Onlineモード

Online モードは、画像の共有 + 保存を行うサイト、ACDSeeOnline.com に画像をアップロード/ダウンロードするためのモードです。Web サイトを経由する必要なく、Online モードから直接画像アルバムを ACDSeeOnline.com にドラッグ + ドロップするだけです。

整理がより一層簡単に

ビジュアルタグ

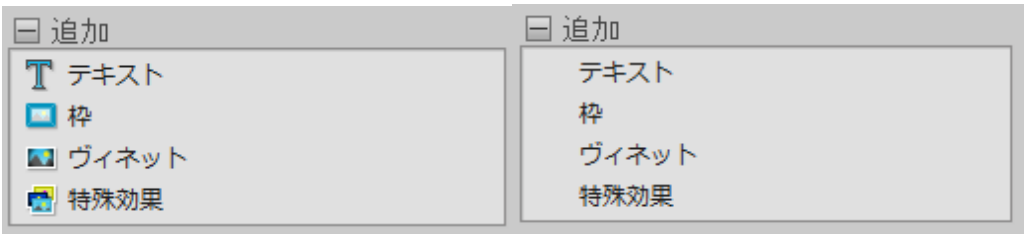
ビジュアルタグは、写真を別なホルダーへ物理的に移動することなく、詳細な確認、編集、共有の作業のために、写真を簡単かつ素早く識別する方法です。写真の隅にあるチェックボックスをクリックしてタグを付けたら、整理ペインの「特殊項目にタグを付ける」のセクションをクリックして、タグ付けした写真を表示します。

編集済みの画像を識別する

編集済みの画像を素早く見つけることができます。どのモードであっても、Eアイコンを使って編集済みの画像を識別することができます。あるいは、編集済みの画像のグループ化、ソート、検索が可能です。

編集ツールおよびカテゴリーアイコン

シンプルで整理されたインターフェースはいかがでしょうか？それとも、アイコンから編集ツールやさまざまなカテゴリーを見つけますか？自在にお使いいただけます。アイコンの表示／非表示を選択できます。



改善された編集機能

彩度

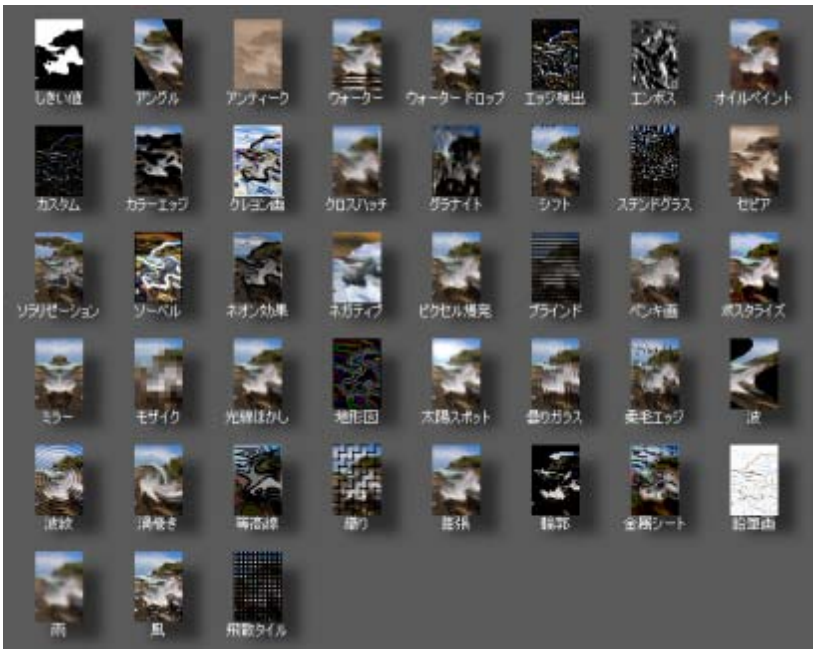
新たに改善されたカラーバランスツールの彩度スライダを使用して、写真にいきいき感を与えましょう。

ノイズ除去

新たに改善されたノイズ除去ツールを使用して、画像にクラリティーを加えましょう。この新しい2つの調整用スライダにより、画像のシャープネスを確保すると同時に、輝度とカラーノイズを修正します。

特殊効果ブラウザ

ACDSee 12には、選択した画像のさまざまな特殊効果をすべてプレビュー表示することができる、特殊効果ブラウザが新たに搭載されました。



変更の確定

ACDSee 12で画像を編集するとき、オリジナル画像のコピーが[オリジナル]ホルダーに自動的に保存されます。ハードドライブのスペースに保存したい場合には、画像への変更を確定することができます。ACDSee 12により、オリジナル画像は削除され、編集済みの画像だけが保存されます。

オリジナルの表示

表示モードで、画面下の「オリジナルを表示」ボタンをクリックすると、編集済みの画像とオリジナル画像を切り替えることができます。

増強された共有能力

ACDSee Online

ACDSeeOnline.comは画像の共有＋保存を行うサイトです。Online モードを使用することで、インターネットブラウザを起動することなく、ACDSeeOnline.comに画像をアップロードしたり、画像をブラウズすることができます。写真をホルダーに分けて整理する、後でACDSee 12で編集するために画像にタグを付ける、アカウントで画像を管理する、画像を個別に、あるいは、グループ化するためにプライバシー設定を管理するなど、便利な機能を備えています。

さらに、お友達などと画像を共有する、画像をFacebookなどの他のwebアプリケーションに送信する、プライベートなメッセージを他のACDSeeOnline.comユーザへ送信する、あるいは、ACDSeeOnline.comの最新の公開写真に登録するためにRSSフィードをセットアップする、などのすべてをACDSee 12内で行うことができます。

ACDSee Onlineに関するご不明な点は、ACDSeeOnline.comのヘルプをご参照ください。

FTPアップローダー

新しいFTPアップローダーを使用して、ACDSee 12から直接FTPサイトに画像をアップロードすることができます。FTPサイトのプロファイルを作成し、保存先ホルダーを選択してから、画像サイズを選び、画像をアップロードするという、簡単な手順で実行することができます。

eメール送信ウィザード

eメール送信ウィザードでは、デスクトップeメール、webベースのeメール、SMTPサーバーを使用して、ACDSee 12から直接eメールを送信することができます。

最新の互換性

Windows 7で動作

Windows® 7をサポート。

Netbookとの互換性

ACDSee 12は、解像度1024x 600ピクセルのNetbookコンピューターをサポート。

ACDSee 12 を起動する

ご使用のコンピュータにACDSee 12 をインストールすると、アプリケーションのアイコンがデスクトップとスタートメニューに表示されます。

ACDSee 12 を起動するには:

次のいずれかを実行します:

- デスクトップの **ACDSee 12** アイコンをダブルクリックします。
- **[スタート]** メニューから **ACD SystemsACDSee 12**をクリックします。

ACDSee 12 のユーザー インターフェイスについて

多数の便利なツールや機能が搭載されている ACDSee 12 ユーザー インターフェイスを使うと、画像やメディアファイルを簡単に参照、表示、編集、管理することができます。ACDSee 12 は、管理、表示、処理、Online の 4 つのモードで構成されています。

多数の便利なツールや機能が搭載されている ACDSee 12 ユーザー インターフェイスを使うと、画像やメディアファイルを簡単に参照、表示、編集、管理することができます。ACDSee 12 は、管理、表示、処理、Online の 4 つのモードで構成されています。

管理モード

管理モードは、画像の参照および管理を行うためのユーザーインターフェイスです。このモードは、デスクトップのショートカット アイコンをクリックして ACDSee 12 を起動する際、常に表示されます。管理モードでは、ファイルの検索、移動、プレビュー、並べ替え、管理／共有ツールにアクセスすることができます。

管理モードには 12 のペインがありますが、ほとんどのペインは未使用時に閉じることができます。ファイル一覧ペインは常に表示されるペインの 1 つです。ファイル一覧ペインには、現在選択されているフォルダの内容、最後に行った検索結果、検索条件に一致したファイルおよびフォルダなどが表示されます。管理モードの下にあるステータスバーには、現在選択されているファイル、フォルダ、カテゴリの情報が表示されます。

ペインは表示/非表示に切り替えたり、スクリーン上の別の場所へ移動させたり、他のペイン上に重ねたり、ウィンドウの端に固定したりすることができます。ほとんどのペインは、オプション設定によるカスタマイズが可能です。

管理モードは、ツールバーとドロップダウン メニューも搭載しています。ツールバーには、フォルダ間をナビゲートするためのフォルダ用ボタンが備わっており、ドロップダウン メニューからは、頻繁に使用されるタスクに素早くアクセスすることができます。

表示モード

表示モードでは、メディアファイルの再生を再生したり、フル解像度の画像を 1 枚ずつ表示したりすることができます。また、画像プロパティペインを表示したり、画像の一部を拡大表示したり、カラー情報を詳しく表示したりすることも可能です。

Windows エクスプローラで関連付けされているファイルをダブルクリックして表示モードで開いたり、フィルムストリップを活用して、フォルダ内の画像を素早く行き来して表示したりすることができます。表示モードには、頻繁に使用するコマンドへのショートカットを含むツールバーと、ウィンドウに下にあるステータスバーが搭載されています。ステータスバーには、現在選択されている画像またはメディアファイルに関する情報が表示されます。

編集モード

編集モードで画像を開き、ピクセルレベルの編集を行います。

編集ペインには、使用することができるピクセルレベルの編集ツールが搭載されています。これらを使用しない間は、閉じたり隠したりすることができます。メニューでツール名をクリックすると、そのツールが編集ペインで開かれます。おオプションを設定して画像を編集します。

編集モードのステータスバーには、編集中の画像についての情報が表示されます。

Online モード

今バージョンから新しく追加された Online モードは、ACDSeeOnline .com に画像をアップロードしてお友達や公共と共有するためのモードです。Online モードでコンピュータに保存されている画像を選択し、ACDSeeOnline.com に直接ドラッグ＆ドロップするだけで作業が完了します。

ACDSee 12 でモードを切り替える

ACDSee 12 では、「管理」、「表示」、「編集」、「Online」の 4 つのモード間を素早く切り替えることができます。

モードボタンは、ACDSee 12 ウィンドウの右上部に位置しています。

モード間を切り替えるには:

次のいずれかのモードボタンをクリックします。

- **管理**: 画像のインポート、管理、比較、検索、印刷などを行うためのモードです。
- **表示**: 画像を表示したり、拡大表示して細かい部分を確認するためのモードです。
- **編集**: ピクセルベースの [編集] ツールで画像を補正したり、調整したりするためのモードです。
- **Online**: ACDSeeOnline.com の画像をアップロードして、友達や一般ユーザーに公開するためのモードです。

管理モードを使用する

管理モードでは、ファイルや画像の参照、並べ替え、管理、操作、共有を行うことができます。異なるツールやペインを組み合わせて高度な検索やフィルタオプションを設定したり、画像やメディアファイルのサムネイルをプレビュー表示をすることができます。

スクリーン右上部にあるボタンをクリックして、他のモードに素早く切り替えることも可能です。

管理モード内のペインはカスタマイズが可能で、移動、サイズ変更、非表示、固定または閉じることができます。また、ペインを重ねてタブとして表示することも可能です。必要なペインにのみアクセスができるので、画面を効率的に使用することができます。

管理モード ペインについて

管理モードは次のペインで構成されています。

ファイル一覧	このペインには、現在選択されている フォルダの内容、最後に行った検索の結果、ブラウザ検索の検索条件に一致するファイルやフォルダが表示されます。ファイル一覧ペインは常に表示され、隠したり閉じたりすることはできません。ファイル一覧ペインはカスタマイズ可能で、ファイルの表示方法やサムネイルのサイズ変更を行うことができます。
フォルダ	このペインには、Windows エクスプローラのフォルダ ツリーのような、コンピュータの フォルダ構成が表示 されます。フォルダ ペイン からフォルダを選択し、フォルダの内容をファイル一覧ペインに表示することができます。ファイル一覧に複数フォルダの内容を表示するには、左ペインにある各フォルダのイージー セレクト ボックスをクリックします。
カレンダー	このペインには、ファイルと関連付けられた日付をもとにファイルを管理したり検索することのできる カレンダーが表示 されます。カレンダー ペインとツールバー ボタンの詳細については、[カレンダー ペインを使用する] を参照してください。
お気に入り	このペインには、お気に入りの画像、ファイル、フォルダ、アプリケーションへのショートカットが表示されます。画像、ファイル、フォルダを お気に入りペイン にドラッグすると、ショートカットが作成されます。オリジナルの画像には何の影響も与えません。
検索	このペインでは、パワフルな検索機能にアクセスすることができます。[検索ペイン] では、検索の種類を選択し、フィールドに検索項目を入力するだけです。 また、検索に名前を付けて保存することもできます。保存済み検索は、検索ペインとカテゴリ ペインに備えられています。検索ペインでは、ドロップダウン リストから**保存済み検索**を選択して、その選択条件で検索を再実行することができます。カテゴリ ペインでは、保存済み検索は自動カテゴリの下に位置しています。保存済み検索の名前をクリックすることで、その選択条件で検索を再実行することができます。
プレビュー	このペインには、ファイル一覧ペインで現在選択されている画像またはメディア ファイルの サムネイル プレビュー とヒストグラムが表示されます。サムネイルのサイズ変更はプレビュー ペインのサイズを変更することで可能です。また、プレビュー ペインでメディア ファイルを再生するか、または最初のフレームのみを表示するかどうか指定することができます。
ブラウズ検索	このペインでは、フォルダ／カテゴリ／カレンダー ペインに入力されている情報を元に、特定の検索条件と一致するファイルを絞り込んで検索し、ファイル一覧ペイン に表示することができます。[ブラウズ検索ペイン] の検索条件を細かく変更することで、検索結果のファイル数を調整することができます。
管理	このペインにある カテゴリ、自動カテゴリ、重要度、保存済み検索 を使用して、ファイルの並べ替えや管理をスムーズに行うことができます。また、「スペシャル アイテム」の機能を使用して、コンピュータにあるすべての画像をすばやく表示したり、現在のフォルダ内にある未カテゴリ ファイルを表示することができます。
タスク	このペインには、メニューやツールバーから、頻繁に使われているボタンやコマンド のメニュー が表示されます。このメニューは、ACDSee 12 内で現在選択されているフォルダや選択ファイルによって動的に変化します。
プロパティ	このペインには、ファイル一覧ペインで選択されたファイルまたはフォルダの プロパティとデータベース情報が表示 されます。プロパティ ペインを使用して、ファイルやデジタル画像に含まれる EXIF メタデータのデータベース情報を表示および編集することができます。
バスケット	ファイルやフォルダを参照する際、バスケット内に気に入った画像を 一時保存することができます。バスケット内に保存されている画像を使って編集、印刷、共有することができるので、画像を移動する必要がありません。
ディスクの作成バスケット	このペインではファイルをまとめたり整理することができます。そしてACDSee 12 内から CD または DVD を作成 することができます。

管理モード ドロップダウン メニュー

管理モードのドロップダウン メニューから、頻繁に使用するタスクにアクセスすることができます。ドロップダウン メニューは次の 6 つにグループ分けされています。

- **作業領域**: カスタマイズした作業領域のレイアウトを保存したり、既定の作業領域にリセットすることができます。
- **インポート**: カメラやその他のデバイスから画像をインポートすることができます。
- **一括**: 一括編集に必要な処理を実行することができます。
- **作成**: スライドショーファイル、PDF、PowerPoint プレゼンテーション、CD/DVD、オンライン アルバム、アーカイブなどを作成することができます。
- **スライドショー**: スライドショーを実行したり、スライドショーの設定を行うことができます。

- **送信**：オンラインのフォト サイトや FTP サイトに画像を送信したり、電子メールを使用したり、SendPix を起動したりすることができます。

管理モード ペインの使い方

ユーザーの好みに合わせて管理モード ペインを開いたり閉じたりすることができます。また、複数のペインを移動、フロート、重ねてタブとして表示したりして、管理モード ウィンドウのレイアウトをカスタマイズすることも可能です。

管理モード内で、ペインを開いたり閉じたりするには:

[表示] から表示/非表示にするペインを選択します。

ペインを移動する

固定ペインまたはフローティング ペインを新しい場所に移動することができます。1 つのペインを移動するのはもちろん、重なった複数のペインをまとめて移動することもできます。

ペインを移動するには:

1. 移動したいペインのタイトルバーをドラッグし、ドッキングコンパスの矢印上をマウスのポインタでホールドします。
2. 濃い色のマーキーが希望する場所に表示されたら、マウスボタンを放します。
3. 移動したペインを以前の場所に戻す場合は、ペインのタイトルバーをダブルクリックします。

固定ペインまたはフローティング ペインを移動するには:

次のいずれかを実行します:

- ペインのタブを新しい場所にドラッグします。この方法では 1 つのペインだけを移動することができます。
- ペインのタイトルバーを新しい場所にドラッグします。この方法では、重なったペインを同時に移動することができます。

デュアル モニタをご利用の場合、ペインをセカンド モニタに移動して、メイン モニタのスペースを有効に使うことができます。

ペインを固定する

管理モード内でペインを選択すると、ペインを適切な場所に移動させるのに役立つドッキングコンパスが有効になります。ドッキングコンパスは、内外の両方に矢印を持ったブルーのコンパスです。いずれかの矢印上でマウスのポインタをホールドすると、濃い色のマーキーがペインの移動先となる場所を表示します。

管理モード内でペインを固定するには:

1. ペインのタイトルバーまたはタブをドラッグして、ドッキングコンパスを有効にします。
2. ウィンドウの端に合わせてペインを固定するには、ドッキングコンパスの外側にある矢印上にマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。
3. ファイル一覧ペイン、また他のブラウザペインの端に合わせてペインを固定するには、ドッキングコンパスの内側にある矢印上にマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。

ペインを重ねてタブとして表示する

ワークフローに合わせて、カスタムの順序に重ねて表示することができます。

ペインを重ねてタブとして表示するには:

1. 次のいずれかを実行します:
   - ペインのタイトルバーを別のペインのタイトルバーまでドラッグし、濃い色のマーキーが表示された後にマウスボタンを放します。
   - ペインを別のペイン内にドラッグし、ドッキングコンパスの中心でマウスポインタをホールドしてから、マウスボタンを放します。

2. ペインの順序を変更するには、タブを右または左にドラッグします。
3. ペインを別々に表示するには、ペインのタブをデスクトップ上の別の場所にドラッグします。

ペインのサイズを変更する

固定またはフロートしているかに関係なく、管理モード内のすべてのペインをサイズ変更できます。

固定されているペインのサイズを変更するには:

1. ペインの外枠上にマウスのポインタを置き、ポインタが矢印と線に表示されるまでホールドします。
2. ペインの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

フロートしているペインのサイズを変更するには:

ペインの外枠またはコーナーにマウスのポインタをホールドした状態で、希望するサイズになるまでペインをドラッグします。

レイアウトを既定設定に戻す

管理モードペインのすべてのペインは、いつでも既定の設定に戻すことができます。

管理モードの作業領域を元に戻すには:

[表示] メニューから **[既定のレイアウト]** を選択します。

表示モードを使用する

表示モードでは、画像やメディアファイルを実寸のサイズで、または拡大または縮小して表示することができます。連続した複数の画像を表示することも可能です。

表示モードは、次の 4 つのメイン領域で構成されています。

- **画面下のツールバー**: 表示領域の下にあるツールバーは、ズームやスクロールツールといった頻繁に使用されるツールやコマンドへのショートカットボタンを搭載しています。大きいまたは小さいアイコンをツールバーに使用するか、またはツールバーを表示しないかなどカスタマイズが可能です。
- **表示領域**: 表示モードのメイン領域で、現在選択されている画像またはメディアファイルが表示されます。拡大、縮小表示など、表示方法をカスタマイズすることができます。
- **フィルムストリップ**: メインの表示領域の下に位置して、現在選択されいるフォルダ内、または管理モードで選択された画像グループのサムネイルが表示されます。スクロールバーを使って画像間を素早く移動したり、「前へ」または「次へ」ボタンを使って前後の画像に移動したりします。
- **ステータスバー**: ウィンドウの最も下に位置するステータスバーには、現在選択されている画像またはメディアファイルの情報とプロパティが表示されます。編集が可能な、重要度やタグのオーバーレイアイコンも表示されます。

画像またはファイルのデータベース、EXIF、IPTC 情報を、表示モードのプロパティペインに表示することもできます。また、ナビゲータ、虫めがね、ヒストグラムペインを表示し、各画像の詳細情報を確認することも可能です。

表示モードで画像またはメディアファイルを開くには:

管理モードのファイル一覧ペインで、次のいずれかを実行します:

- ファイルを選択して、**<Enter>** キーを押します。
- ファイルを選択して **[表示]** モードボタンをクリックします。
- ファイルをダブルクリックします。
- 画像またはメディアファイルを右クリックし、**[表示]** を選択します。

表示モードで複数の画像を開くには:

1. 管理モードで、ファイル一覧 ペインから複数の画像を選択します。
2. **<Enter>** キーを押します。
3. 連続した画像を表示するには、次の操作を行います:
   - 連続した画像の次の画像を表示するには、**[次へ]** をクリックします。
   - 連続した画像の前の画像を表示するには、**[前へ]** をクリックします。

フルスクリーンモードで画像を表示する

モニタの画面全体に画像を表示することができます。フルスクリーン モードでは、ウィンドウのボーダー、メニューバー、ステータスバー、ツールバーが非表示になり、画像だけが表示されます。フルスクリーン モードで画像を常に表示したい場合は、このオプションを表示モードの既定値として設定することができます。

フルスクリーン モードで画像を表示するには:

1. 表示モードで、1 つ以上の画像を開きます。
2. **[表示]** メニューから **[フルスクリーン]** を選択します。
3. 画像を右クリックして、表示モード のツールおよびオプションのショートカット メニューを表示します。

フルスクリーン モードを終了するには:

次のいずれかを実行します:

- **<F>** キーを押します。
- 画像を右クリックして、**[表示]** メニューから **[フルスクリーン]** を選択します。

表示モード ペインを使用する

表示モード ペインを開くには:

1. 表示モードで画像を開きます。
2. 次のいずれかを実行します:
   - **[表示]** メニューから **[ヒストグラム ペイン]** をクリックして、画像のヒストグラムを表示します。
   - **[表示]** メニューから **[虫めがね ペイン]** をクリックして、カーソルの置いてある画像領域を拡大表示します。
   - **[表示]** メニューから **[ナビゲータ ペイン]** をクリックして、拡大画像のサムネイルを表示します。
   - **[表示]** メニューから **[プロパティ ペイン]** をクリックして、画像のデータベース、EXIF、IPTC 情報を表示します。

画面下のツールバーを使用する

画面下のツールバーを使用して、頻繁に使用されるツールにすばやくアクセスします。

画面下のツールバー

	バスケットに追加	画像をバスケットに追加します。
	左に回転	画像を左に回転します。
	右に回転	画像を右に回転します。
	スクロール	表示モード ウィンドウのサイズよりも画像を大きくズームすると、マウスポインタが手のひらの形に変わり、画像をパンまたはスクロールできるようになります。
	選択	画像の一部を四角形で選択します。
	ズーム	画像をズーム表示します。クリックすると拡大表示に、右クリックすると縮小表示に切り替わります。
	フル スクリーン	画像をフル スクリーンで表示します。<F>キーは、フル スクリーン表示のショートカット キーです。
	オリジナルの表示	オリジナル画像と編集済み画像を切り替えて表示します。
	ズーム スライダ	表示モードで表示される画像のサイズをコントロールします。スライダをドラッグして調整します。
25%	**ズーム ドロップダウン リスト**	リストから、ズームする割合を選択します。
	実寸表示	画像の実寸サイズで表示します。
	画像に合わせる	表示モードのサイズに合わせて画像を表示します。

管理モードに切り替える

表示モードから、いつでも管理モードに戻ることができます。

表示モードから管理モードに戻るには:

次のいずれかを実行します:

- **<Enter>** キーを押します。
- 画像をダブルクリックします。
- **[ファイル]** メニューから **[管理]** をクリックします。
- **[管理]** モード ボタンをクリックします。

編集モードの使い方

画像の調整に必要な作業は、すべて編集モードで行います。

- 編集ツールを使用して、画像全体または画像の選択された部分の調整を適用します。
- 枠、テキスト、特殊効果などを追加して、画像の最終仕上げをします。
- ツールを使用して、赤目補正を行う、あるいは、不必要なキズやオブジェクトを削除します。
- 編集による変更を反映させずに、オリジナル画像に戻します。

管理モードでは、画像を簡単にグループ化することができるので、編集済みの画像を見つけることができます。グループ化機能を使用して、編集済みステータスを選択します。

編集モードで画像を開く手順:

次のいずれかの操作を行います。

- 管理モードで、画像を選択し、[**編集**]をクリックします。
- 表示モードで、画像を選択し、[**編集**]をクリックします。

編集モードは、次のようにグループ分けされています::

選択範囲	編集を適用するための特定領域を選択します。
修復	赤目補正を行う、または「美肌効果」や「クローン」を使って不必要なキズやオブジェクトを削除します。
追加	テキスト、枠、ヴィネット、特殊効果などを画像に適用して、画像の公開準備を行います。
ジオメトリ	回転、反転、トリミング、サイズ変更を行います。
露出/ライティング	露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ、ハイライトツールを使用して、ライティングとコントラストを改善します。
カラー	ホワイトバランス、色相、彩度、ライトなどカラーに関連する補正を行います。
ディテール	シャープネス、ノイズ除去、ぼかしなどの編集を行います。

Online モードを使用する

Online モードについて

Online モードの画像を、「編集」モードで開いて現像処理を行うことはできません。画像を編集するには、まず「管理」または「表示」モードで画像を選択してから、「編集」モードで開きます。ご注意ください。

Online モードを使用して、ACDSeeOnline.com に画像をアップロードすることができます。ACDSee Online は、ACDSee 12 ユーザーを対象にした画像共有 & 画像保存サービスです。Online モードと ACDSee Online を合わせることで、Internet Explorer などのインターネットサービスプロバイダを使用することなく、オンライン画像をアップロードしたり参照することが可能です。

Online モードは、「ACDSeeOnline.com」と「転送」の 2 つのコンポーネントで構成されています。「ACDSeeOnline.com」では、ユーザーの ACDSeeOnline.com アカウントで画像を参照したり、アカウントの設定を変更したりすることができます。「転送」は上下に分割されていて、スクリーンの下半分にはコンピュータに保存されている画像が、スクリーンの上半分には ACDSeeOnline .com アカウントの内容が表示されます。スクリーンの下半分に表示されている画像を選択して、ACDSeeOnline.com アカウントの領域にクリック & ドラッグするだけでアップロードが完了します。

ACDSee 12 からアップロードする際、すべての画像は JPEG フォーマットに自動変換されます。

アカウントを作成する

ACDSeeOnline.com アカウントを作成するには:

1. Online モードで、**[アカウントの作成]** をクリックします。
2. フォーム内に記入事項を入力します。
3. **[アカウントの作成]** をクリックします。

画像をアップロードする

ACDSeeOnline.com アカウントに画像をアップロードするには:

1. Online モードで、**[ログイン]** をクリックします。
2. ご利用になっているアカウントにログインします。
3. **[転送]** をクリックします。

   上下に分割されたスクリーンが表示されます。下半分の領域にはコンピュータに保存されている画像が表示されます。

4. アップロードする画像を選択します。複数の画像を選択するには、<Shift> または <Ctrl> キーを押しながらクリックして選択します。
5. スクリーンの上半分の領域に画像をクリック & ドラッグして、ACDSeeOnline.com アカウントにアップロードします。

ACDSeeOnline .com アカウントにアップロードすることができる画像には、サイズの制限がありません。存分にお楽しみください。

第 2 章 : ヘルプを使用する

ACDSee ヘルプを使用する

ユーザーのニーズに合わせて、次の 2 種類のヘルプをご用意しています:

- メイン ヘルプ : アプリケーションを網羅し、詳しく解説しているヘルプです。
- ポップ ヒント : ACDSee のダイアログやウィザード内から開くことのできるポップアップで、特定機能の使い方や簡単な説明を示しているヘルプです。

[ヘルプ] メニューには、ヘルプファイルの [新機能] ページに直接リンクするメニュー項目も含まれています。今回のリリースで追加された新機能の一覧を表示することができます。

メインヘルプ ファイルを使用するには:

1. メニューバーで **[ヘルプ]** メニューから **[ヘルプを開く]** をクリックします。
2. **[目次]** タブをクリックして、目次別にファイルを参照します。目次はワークフローに合わせてグループ分けされています。
3. 特定の単語や文章で検索するには **[検索]** タブをクリックして、単語などを入力し、**[表示するトピックを選択してください]** をクリックします。
4. キーワードで参照するには、**[キーワード]** タブをクリックして、キーワードを入力します。

ポップ ヒントを使用するには:

ダイアログ内から **[ヘルプ]** ボタンまたはキーボードの **<F1>** キーを押して、その機能に関するヘルプトピックを表示します。

新機能を開くには:

メニューバーで **[ヘルプ]** メニューから **[新機能]** をクリックします。

クイックスタート ガイドを使用する

クイックスタート ガイドの左手にはリンクが設定されていて、これらをクリックして ACDSee 12 のメイン機能を示したツアーをはじめ、重要な設定を行うことができるようにデザインされています。

クイックスタートを閉じるには:

ダイアログボックスの左下にある **[起動時に常に表示する]** オプションからチェックマークを解除します。

クイックスタート ガイドを再表示するには:

メニューバーの **[ヘルプ]** メニューから **[クイックスタート ガイド]** をクリックします。

クイックスタート ガイドを使って、その他の情報にアクセスするには:

クイックスタート ガイドの左手にある各リンクをクリックするか、**[次へ]** ボタンをクリックしてツアーをお楽しみください。

オプションを設定するには:

1. **[既定の開始フォルダ]** をクリックして、起動時に開くフォルダを指定します。
2. **配色** をクリックして、ウィンドウの配色を選択します。
3. **[バックアップ アラーム]** をクリックして、データベースのバックアップ用に表示するリマインダーの間隔を指定します。

その他のリソースとサポートについて

ACDSee 12 メニューバーの [ヘルプ] メニューには、プラグイン ヘルプファイルを開いたり、ACDSee Web サイトを開いたりするリンクが含まれています。Web サイトのリンクからチュートリアル、ユーザーガイド、アップデート、ニュースレターや必要な動作環境などの情報を得ることができま

す。

サポートページ、登録ページのリンク、コミュニティにサインして ACDSee フォーラムに参加することができるコミュニティ ホームページのリンクなど、その他のリンクもお楽しみいただけます。

また、[ヘルプ] メニューには、ライセンスを入力して ACDSee 12 の体験版を製品版に変換するためのオプションも備えられています。

プラグイン ヘルプを表示するには:

[ヘルプ] メニューの **[プラグイン ヘルプ]** をクリックし、ヘルプファイルの名前を選択します。

ライセンス コードを入力するには:

1. **[ヘルプ]** メニューから **[ライセンスコードの入力]** をクリックします。
2. ライセンス コードを入力し **[OK]** をクリックします。

ACDSee の製品を購入するには:

1. **[ヘルプ]** メニューから **[ACDSee 製品]** をクリックします。
2. **ACD の製品** にあるリンクをクリックします。

FAQ やリソースを探すには:

[ヘルプ] メニューから**[製品サポートとリソース]** をクリックして、ACDSee 12 を使ってどんなことができるのか、などの情報を見ることができます。

カスタマーサポートのページを開くには:

[ヘルプ] メニューから **[カスタマーサポート]** をクリックして、必要なヘルプやリソースを探してください。

ACDSee 12 を登録するには:

[ヘルプ] メニューから **[製品の登録]** をクリックします。指示に従って製品の登録を行ってください。

ACDSee コミュニティに参加するには:

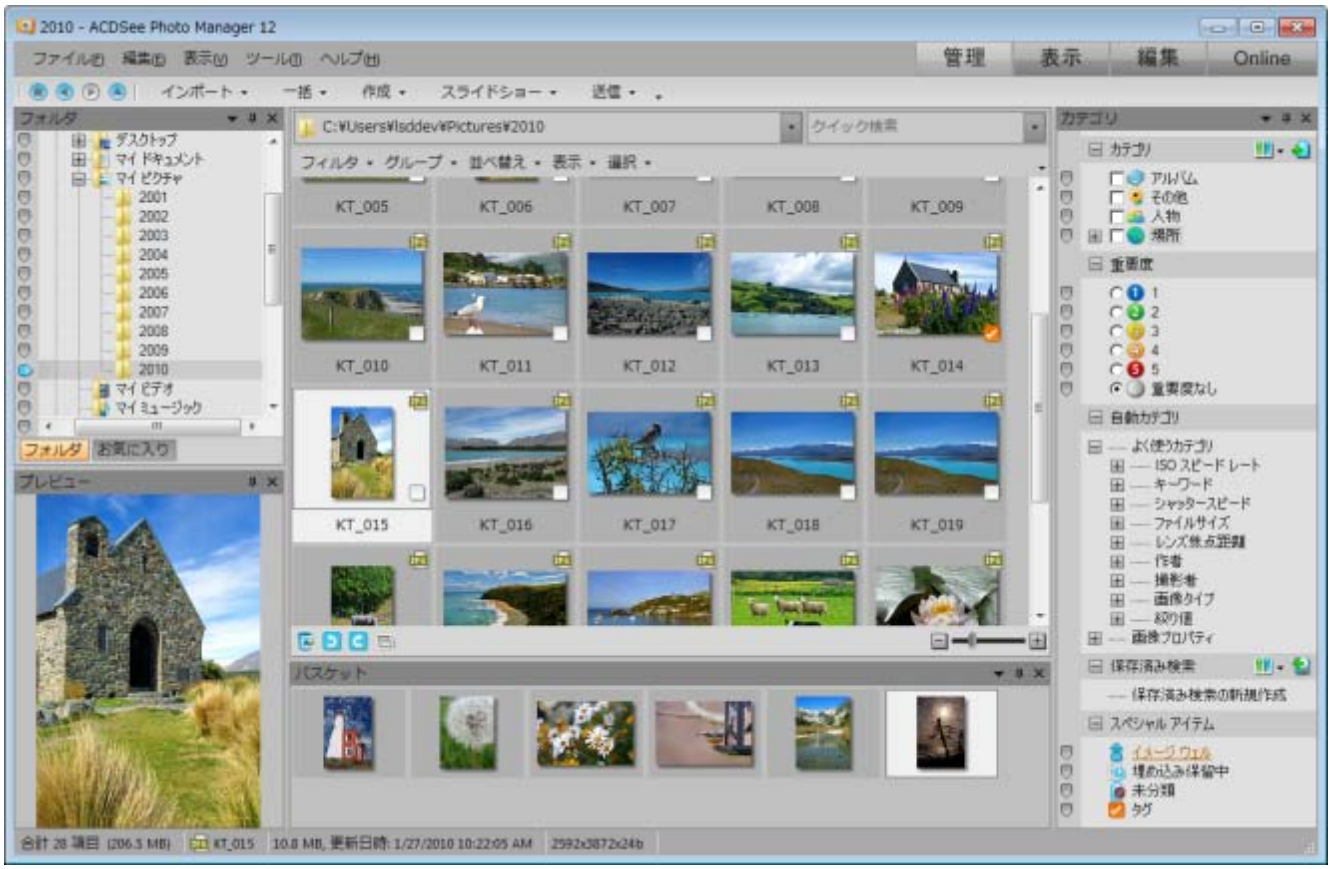
[ヘルプ] メニューから **[ACDSee コミュニティ]** をクリックして ACDSee フォーラムのページを開きます。指示に従ってフォーラムに参加してください。

その他の ACDSee 製品に関する情報を表示するには:

[ヘルプ] メニューから **[ACDSee 製品]** をクリックして、その他の ACDSee 製品に関する情報をお読みください。

第 3 章: 管理モード

管理モードは、画像の参照および管理を行うためのユーザーインターフェイスです。このモードは、デスクトップのショートカット アイコンをクリックして ACDSee 12 を起動する際、常に表示されます。



表示モードでは、次のような操作を行うことができます:

- デバイス、CD または DVD、ディスク、スキャナから写真をインポート
- ファイルやフォルダを参照する
- ファイルにタグを加えたり、カテゴリ、キーワード やその他のメタデータを追加したりして、ファイルを整理する
- ファイルを検索 して、検索条件を保存済み検索として作成し、再利用する
- 電子メールで画像を送信したり、スライドショーを作成したり、CD または DVD に画像を書き込んだり、お気に入りの Web サイトに画像をアップロードしたりするといった、ファイルの公開や共有
- 画像を印刷する
- ファイルの一括編集
- ACDSee 12 データベース の管理とメンテナンス

写真をインポートする

ACDSee でファイルをインポートする

ACDSee を使用して、デジタルカメラ、フラッシュ デバイス、CD や DVD、スキャナ、携帯電話、その他のリムーバブル デバイスから画像をダウンロードすることができます。[管理] モードで、**[ファイル]** メニューから **[インポート]** そして **[ディスクから]** オプションを使用して、ネットワークやマップ可能なディスクやドライブにあるファイルをインポートすることもできます。この方法ではオリジナルのフォルダやサブ フォルダは保持されたままの状態になります。

また、ACDSee のスクリーン キャプチャ機能を使って画面の画像をキャプチャし、ファイルとして保存することもできます。

デジタルカメラや他のデバイスとコンピュータが接続されると、ACDSee はデバイス検出を使用して デバイスを自動的に検出 し、次のいずれかの操作を選択可能なダイアログを表示します:

- **ACDSee でファイルをインポートする**: このオプションを選択して **[OK]** をクリックすると、[インポート] ダイアログボックスが開かれます。名前の変更、バックアップ、ファイルの保存先などを選択します。インポートの設定に名前を付けて保存し、後でそれを再度使用することも可能です。ご利用になっているカメラが RAW と JPEG の両方のファイル フォーマットで撮影できる場合、インポート用のアドバンス設定と RAW と JPEG オプションの設定を作成することも可能です。また、特定のファイルやプロジェクト用に、名前の変更テンプレートを作成することも可能です。
- **何も行わない**: ACDSee を使ってインポートをしたくない場合、あるいはデバイスから写真をコピー/貼り付けしたい場合には、このオプションを選択して **[OK]** をクリックします。
- **設定を保存し、次からこのメッセージを表示しない**: このオプションを選択すると、後でタスクバーからデバイス検出を開いて変更しない限り、ダイアログボックス内で選択された設定が次回以降有効になります。例えば、**[何も行わない]** を選択して [設定を保存し、次からこのメッセージを表示しない] オプションを選択すると、次回以降に設定を変更しない限り、デバイス検出が自動的に閉じらたままになります。

詳細につきましては、以下の一覧から該当するデバイスの種類を選択してください:

- デバイスから写真をインポートする
- CD または DVD から写真をインポートする
- ディスクから写真をインポートする
- スキャナから写真をインポートする
- 携帯電話フォルダから写真をインポートする

リムーバブル デバイスについて

ACDSee には、デジタルカメラ、スキャナ、USB 大容量記憶装置から画像を取り込む方法がいくつかあります。デバイスとコンピュータの接続方法についての詳細は、ご利用になっているデバイスのヘルプ ファイルまたはマニュアルをご参照ください。リムーバブル デバイスの種類は下記の通りです:

- **USB リムーバブル デバイス**: リムーバブル デバイスには、USB カード リーダーを使ってコンピュータと接続できるメモリカード、コンピュータのスロットに直接挿入できるカメラのメモリカード、フラッシュ ドライブが含まれます。USB リムーバブル デバイスはご利用になっているコンピュータによって検出され、リムーバブル ドライブとして表示されます。
- **WIA (Windows Image Acquisition)**: ご利用になっているカメラやスキャナの種類によっては、Windows Image Acquisition (WIA) ドライバを使ってコンピュータとコミュニケーションするものがあります。Canon カメラを含むカメラの種類の中にも WIA を使用するものがあります。ACDSee は WIA プロトコルを自動的に検出します。
- **TWAIN**: TWAIN インターフェースを使用するカメラおよびスキャナが対象です。TWAIN のサポートされているデバイスと TWIN ドライバを接続するには、TWAIN ドライバがコンピュータにインストールされている必要があります。TWAIN がデバイスによりサポートされているかについては、ご利用になっているデバイスのヘルプ ファイルをご参照ください。

オーディオまたはビデオ ファイルをコピーおよび表示するには、DirectX 9.0c および QuickTime が必要です。

デバイス検出について

ACDSee デバイス検出を使用して、カメラ、リムーバブル デバイス、スキャナ、CD や DVD に保存されているファイルをインポートし、ACDSee 内でそれらの画像を表示することができます。ACDSee をインストールすると、既定としてデバイス検出がオンに設定されます。デバイス検出は、あらゆるデバイスとコンピュータが接続されるとそれを自動的に検出します。デバイス検出をオフに設定しても、再起動することができます。

デバイス検出を起動するには:

管理モードで **[ファイル]** メニューから **[インポート]** を選択し、**[ACDSee デバイス検出]** をクリックします。

デバイス検出はバックグラウンドで起動され、カメラのアイコンがタスクバーに表示されます。カメラまたはその他のデバイスとコンピュータが接続されると、デバイス検出が接続されたことを認識するためにアイコンの色が変わります。そして画像の取り扱いについてのメッセージが表示されるか、画像のインポート ダイアログが自動的に起動されます。

ACDSee デバイス検出は Windows XP の自動再生機能を置き換えますので、Windows の自動再生機能を再開させるには、ACDSee デバイス検出を終了してください。

ACDSee デバイス検出は、CD または DVD が CD-ROM ドライブに挿入された際や、リムーバブル デバイス、大容量記憶装置や WIA (Windows Image Acquisition) デバイスがコンピュータに接続された際に作動します。デバイスの種類には、カメラ、カードリーダー、Web カメラ、スキャナーが含まれます。

デバイスに TWAIN または WIA ドライバがインストールされていない場合、デバイスが大容量記憶装置でない場合、またはデバイスにファイルが存在しない場合は、ACDSee デバイス検出は起動しません。ご注意ください。

デバイス検出の使い方に関する詳細については、タスクバーに表示されているカメラのアイコンをクリックし、**[ヘルプ]** をご参照ください。

デバイスから写真をインポートする

[インポート] ダイアログボックスは、カメラ、カード リーダー、フラッシュ ドライブやその他の大容量記憶装置からインポートする様々なオプションを備えています。数回クリックするだけでファイルのインポートが可能なだけでなく、オプションを選択してワークフローをスムーズにしたり、各インポートに複数のタスクを同時実行したりすることもできます。

[インポート] ダイアログボックスでは、日付またはファイルの種類別に、デバイス上に存在するファイルのサムネイルが表示されます。サムネイルのサイズを変更して、希望するファイルとデバイスに残しておくファイルを区別し、選択したものだけを表示します。

ファイルのインポート先フォルダやサブ フォルダを選択したり、インポート中にファイルのバックアップを作成したり、名前を変更したり、カメラにオプションがある場合には自動回転させたりすることができます。[詳細設定] では、使用する日付を変更したり、RAW と JPEG ファイルの両方のフォーマットを扱うカメラを使用している場合、これらのファイルの保存先を指定したりすることが可能です。

カテゴリを追加したり、キーワードやキャプション、作者、EXIF、IPTC データなどのデータベース情報を追加して、ファイルを整理しながらインポートすることも可能です。

また、これらの設定をプリセットとして保存し、後で使用することができます。

カメラがリムーバブルドライブとして接続される場合、ACDSee 12 はフォルダ ペインに検出されたリムーバブル デバイスを表示するため、ファイル一覧およびフォルダ ペインから直接画像をコピーすることができます。ご利用になっているカメラとコンピュータの接続方法がわからない場合には、ACDSee 12 でファイルをインポートする の「リムーバブル デバイスについて」の項目をご覧ください。

一部のキャノン製カメラなど、ご利用になっているカメラの機種によっては、Windows Image Acuisition (WIA) ドライバを使ってコンピュータとコミュニケーションするものがあります。スキャナの機種の中には、TWAIN を使用してコンピュータと接続するものがあります。ご利用のデバイスがこれらのプロトコルを使用する場合、**[デバイスから]** または **[ファイル]** メニューの **[インポート]** から、スキャナからファイルをインポートすることが可能です。

[インポート] ダイアログを使って写真をダウンロードするには:

1. カメラまたはデバイスとコンピュータを接続します。カメラの電源が入っているか、およびケーブルがコンピュータと適切に接続されているかを確認します。
2. 次のいずれかを実行します:
   - デバイス検出がオンになってデバイスが検出されると、[ACDSee デバイス検出] ダイアログが表示されます。**[ファイルをインポートする]** を選択し、**[OK]** をクリックします。

- 複数のデバイスがコンピュータと接続されている場合、一覧からインポートするデバイスを選択し、**[OK]** をクリックします。
- 管理モードで **[ファイル]** メニューから **[インポート]**、**[デバイスから]** をクリックします。
- キーボードの **<ALT> + <G>** キーを押します。

3. 以下で解説されているように、インポート ダイアログ ボックスのオプションを設定します。
4. **[インポート]** をクリックします。
5. インポートされた画像を参照するには、[インポート完了] のダイアログボックスの表示時に、**[はい]** をクリックします。

カメラからオーディオやビデオ ファイルをダウンロードする際、DirectX 9.0c および QuickTime が必要です。詳細に関しては システムの必要条件 を参照ください。

インポート オプション

表示	**日付**	作成されたすべての日付け別に、ファイルがグループ分けされて表示されます。日付の横にあるチェックボックスをクリックすると、その日の選択を解除することができます。すべての日付を解除するには、**[すべての日付]** チェックボックスをクリックします。
	ファイルの種類	ファイルの種類別に、ファイルがグループ分けされて表示されます。ファイルの種類の横にあるチェックボックスをクリックすると、そのファイルの種類の選択を解除することができます。すべてのファイルの種類を解除するには、**[すべてのファイルの種類]** チェックボックスをクリックします。
	すべて表示	デバイス上に含まれる、すべてのファイルのサムネイルが表示されます。
	選択されたものを表示	インポート用に選択されたファイルのサムネイルのみが表示されます。
	<数値> ファイルがインポート用に選択されました。	インポート用に現在選択されているファイルの合計数が表示されます。
	ズーム スライダ	スライダを左に移動して拡大表示、あるいは右に移動して縮小表示して、サムネイルのサイズを調整します。
インポート設定の選択	**インポート設定のドロップダウン リスト**	最近使用されたインポート設定の名前が表示されます。次から 1 つ選択します: ● **現行**: 現在の設定をインポート用に使用します。 ● **最終使用**: 最後にインポートされた時の設定を使用します。 ● **なし**: 現在選択されているインポート設定をすべてクリアします。
	インポート設定の保存	現在選択されているインポート設定に名前を付けて保存しますので、後で同じ設定を使うことができます。インポート設定を保存する (あるいは編集する) には、**[保存]** アイコンをクリックし新規名を入力します。(または既存の設定を再度保存します。) インポート設定の新規名が、ドロップダウン リストに表示されるようになります。
	インポート設定の削除	[インポート設定の選択] ドロップダウン リストで現在選択されているインポート設定を削除します。

保存先	**保存先ドロップダウンリスト**	最近使用された保存先の名前が表示されます。次から 1 つ選択します: ● **最終使用**: 最後にインポートされた時の保存先を使用します。 ● **なし**: 現在選択されている保存先の設定をすべてクリアします。
サブフォルダに格納する	**サブフォルダドロップダウンリスト**	次の定義済みサブフォルダオプションを表示します: ● **名前順のシングルフォルダ**: このオプションを選択すると[名前]フィールドが有効になります。このフィールドに入力された名前のサブフォルダを作成します。新規に入力された名前のフォルダ内に、すべてのファイルが格納されます。 ● **シングルフォルダ - 今日の日付**: 今日の日付のフォルダを作成し、すべてのファイルがその中に格納されます。 ● **入れ子になったフォルダ - 今日の日付**: このオプションを選択すると[フォーマット]フィールドが有効になります。今日の日付を **[フォーマット]** フィールド内で選択されたフォーマットで表示し、複数の入れ子フォルダを作成します。例で示されているようにフォルダが作成され、すべてのファイルは一番下のフォルダに格納されます。 ● **入れ子になったフォルダ - ファイルの日付**: このオプションを選択すると[フォーマット]フィールドが有効になります。**[フォーマット]** フィールド内で選択されたフォーマットで、ファイルの日付に基づいて複数の入れ子フォルダを作成します。例で示されているようにフォルダが作成され、ファイルは各日付の付いた一番下のフォルダに格納されます。 ● **フォルダ名の保存**: インポート用に[ディスクから]オプションを使用する場合、既存のフォルダ名を保持します。例えば、フラッシュドライブや CD に複雑に構成されたサブフォルダが含まれている場合、フォルダツリーを変更せずにそのままインポートされます。
	フォーマット	入れ子になったフォルダオプション用のフォーマットが表示されます。(上記を参照ください)
	例	現在選択されている設定でフォルダを作成した場合の、入れ子フォルダの例が表示されます。(上記を参照ください)
バックアップ先	**バックアップ先ドロップダウンリスト**	**[サブフォルダに格納する]** で選択されたサブフォルダと全く同じ複製ファイルのセットにバックアップが作成されます。 次から 1 つを実行します: ● **[参照]** をクリックして既存フォルダを参照し、バックアップ先として使用するフォルダを指定します。 ● **[参照]** そして **[フォルダの新規作成]** をクリックして、バックアップ先となるフォルダを新規作成します。 ACD データベース、EXIF や IPTC データなど、ACDSee 内で整理や管理に使用する設定は、インポート時に作成するバックアップコピーには追加されませんのでご注意ください。一方、既存のファイルに含まれているメタデータは、バックアップコピーに追加されます。

次に名前を変更する	**名前の変更テンプレートのドロップダウン リスト**	定義済みの名前の変更テンプレートを使用して、インポート時に名前が変更されます: • **日付/時間 - ファイル名**: 画像ファイルの撮影日と時間にオリジナルのファイル名を付けた形で、ファイルの名前が変更されます。 • **日付/時間**: 画像ファイルの撮影日と時間を使って、ファイルの名前が変更されます。 • **カメラ - 連番**: カメラの名前に 1 から始まる連番をつけた形で、ファイルの名前が変更されます。 • **日付/時間 - 連番**: 画像の撮影日と時間にオリジナルのファイル名を追加したファイル名に変更します。 • **カメラ - ファイル名**: カメラの名前とオリジナル ファイル名をつけた形で、ファイルの名前が変更されます。 カスタムの名前の変更テンプレートを作成し保存した場合も、このリストに表示されます。
	編集	カスタムの名前の変更テンプレートを作成して保存することができる [名前の変更テンプレート] ダイアログボックスが開かれます。
画像を自動回転する	ご利用になっているカメラが、このオプションに必要な情報を作成する機種の場合、インポート時に画像が自動回転されます。	
インポート完了後ソースから削除する	インポート完了後、デバイスから画像を削除します。	
アドバンス	ファイルの日付や RAW と JPEG ファイルの格納先などを指定することができる [アドバンス インポート オプション] ダイアログ ボックスが開かれます。 ACDSee 12 データベースを設定するには、次から 1 つをファイルの日付として使用する必要があります: • **EXIF 日付**: カメラが画像に埋め込んだ EXIF の日付を使用します。 • **ファイルの更新日時**: ファイルが最終更新された日付を使用します。 • **日付指定**: カレンダーのドロップ ダウン矢印をクリックして、日付を指定します。 RAW と JPEG ファイルの格納先を、次から 1 つ選択します: • **両方のファイルを指定先に格納する**: [インポート] ダイアログ ボックスの **[保存先]** で選択されたフォルダに、RAW と JPEG ファイルの両方を格納します。 • **JPEG ファイルをサブフォルダに格納する**: [インポート] ダイアログ ボックスの **[保存先]** で選択されたフォルダに、RAW ファイルを格納します。このオプションを選択すると **[サブフォルダの名前]** フィールドが有効になります。このフィールドに入力された名前のサブフォルダを作成します。すべての JPEG ファイルは、この新規サブフォルダ内に格納されます。 • **RAW ファイルをサブフォルダに格納する**: [インポート] ダイアログ ボックスの **[保存先]** で選択されたフォルダに、JPEG ファイルを格納します。このオプションを選択すると **[サブフォルダの名前]** フィールドが有効になります。このフィールドに入力された名前のサブフォルダを作成します。すべての RAW ファイルは、この新規サブフォルダ内に格納されます。	

設定の管理	**設定の管理 ドロップダウン リスト**	最近使用した設定の名前が表示されます。 次から 1 つを実行します: ● **最終使用**: 最後にインポートされた時の設定を使用します。 ● **なし**: 現在選択されている設定をすべてクリアします。
	設定の管理の保存	後で使用できるように、現在の管理の設定をすべて保存します。 保存済みの設定を編集するには、**[保存]** アイコンを選択し、設定に使用する新規の名前を入力するか、既存の設定を上書き保存します。 管理の設定の新規名が、ドロップダウン リストに表示されるようになります。
	設定の管理の削除	[インポート設定の選択] ドロップダウン リストで現在選択されているインポート設定を削除します。
メタデータ タブ	**ACD データベース**	次のフィールドに情報を入力して、ファイルのインポート時に ACDSee 12 データベースに情報を追加します。 ● 作者 ● 注記 ● キーワード 既存のキーワードから選択することができる [キーワード ピッカー] ダイアログ ボックスが開かれます。
	EXIF	入力されたあらゆる情報が、ファイルのインポート時に ACDSee 12 の EXIF 情報に追加されます。
	IPTC	入力されたあらゆる情報が、ファイルのインポート時に ACDSee の IPTC 情報に追加されます。
カテゴリ タブ	インポートされたファイルに、このタブで選択されたカテゴリが適用されます。カテゴリは複数選択することができます。	

CD または DVD から写真をインポートする

[インポート] ダイアログまたは フォルダ ペイン を使用して、CD または DVD に保存されている写真をダウンロードすることができます。インポートする前に、他のフォルダを参照するように CD を参照して、どの写真をインポートするか確認してから、新しい場所にコピー & 貼り付けすることができます。

[インポート] ダイアログを使用すると、サブフォルダオプションを設定して、フォルダ名を含む複雑なフォルダ構造をそのままインポートすることが可能です。インポートしながら画像を整理したり、バックアップ フォルダを作成したりすることもできます。

CD または DVD から写真をインポートするには:

1. ドライブに CD または DVD を挿入します。
2. 次のいずれかを実行します:
   - デバイス検出がオンになって CD が検出されると、[ACDSee デバイス検出] ダイアログが表示されます。**[ファイルをインポートする]** を選択し、**[OK]** をクリックします。
   - 複数の CD または DVD がコンピュータと接続されている場合、一覧からインポートするデバイスを選択し、**[OK]** をクリックします。
   - 管理モードで **[ファイル]** メニューから **[インポート]** を選択し、**[CD/DVD から]** をクリックします。
3. [インポート] ダイアログ ボックスで、使用する インポート オプション を選択し、**[インポート]** をクリックします。
4. インポートされた画像を参照するには、[インポート完了] のダイアログボックスの表示時に、**[はい]** をクリックします。

ディスクから写真をインポートする

ACDSee を使用して、ストレージ デバイス、コンピュータ、ネットワーク、フラッシュドライブなど、コンピュータとマップすることが可能なあらゆるデバイスから写真をインポートすることができます。リムーバブル ドライブやネットワーク、ディスクやその他のコンピュータと接続すると、ACDSee は

[フォルダ] ペインにリムーバブルドライブとしてそれを表示するため、参照したり確認したりすることが可能です。それから、インポートしたいファイルをコピー & 貼り付けするだけで完了です。

複雑なフォルダ構造のディスクやドライブから写真をインポートしようとしている、あるいはインポートしながら名前変更やバックアップファイルを作成して整理したい場合には、[インポート] ダイアログボックスを使用します。このダイアログボックスには、インポート中に行うことができるタスクの設定が備えられています。

ディスクから写真をインポートするには:

1. ディスクとコンピュータを接続します。
2. 次のいずれかを実行します:
   - デバイス検出がオンになってディスクが検出されると、[ACDSee デバイス検出] ダイアログが表示されます。**[ファイルをインポートする]** を選択し、**[OK]** をクリックします。
   - 複数のディスクまたはドライブがコンピュータと接続されている場合、一覧からインポートするデバイスを選択し、**[OK]** をクリックします。
   - 管理モードで **[ファイル]** メニューから **[インポート]** を選択し、**[ディスクから]** をクリックします。
3. [フォルダの参照] ダイアログから、リムーバブルドライブまたはデバイスをナビゲートし、**[OK]** をクリックします。
4. [インポート] ダイアログボックスで、使用する インポート オプション を選択し、**[インポート]** をクリックします。
5. インポートされた画像を参照するには、[インポート完了] のダイアログボックスの表示時に、**[はい]** をクリックします。

スキャナから写真をインポートする

画像の取り込みウィザードは、TWAIN を使用するスキャナからファイルをダウンロードする手順をご案内します。ダウンロードする画像のプレビューやハードディスクへの保存先を指定することができます。

画像の取り込みウィザードを使用するためには、ご利用になっているスキャナが Windows Imaging Acquisition (WIA) または TWAIN を使用している必要があります。ご利用になっているカメラとコンピュータの接続方法がわからない場合には、リムーバブルデバイスについて を参照ください。

スキャナから画像をダウンロードするには:

1. ご利用になっているスキャナとコンピュータを接続します。カメラの電源が入っているか、またケーブルがコンピュータと適切に接続されているかを確認します。
2. 管理モードで **[ファイル]** メニューから **[インポート]** を選択し、**[スキャナから]** をクリックします。
3. 「ソース デバイス」 ページの **[デバイス]** 一覧から、ファイルを取り込むのに使用するスキャナ名を選択します。**[次へ]** をクリックして続行します。
4. 「ファイル フォーマット オプション」 ページで、次のオプションを選択します:
   - **文書のスキャン**: シングルのドキュメントをスキャンしたい場合には、このセクションにあるオプションを選択しないようにしてください。複数のドキュメントをスキャンしたい場合には、**[複数の文書をスキャンする]** チェックボックスを選択し、各ドキュメントにシングルの画像を作成するか、あるいはすべてのドキュメントをまとめてシングルの画像を作成するかを選択します。
   - **出力ファイルのフォーマット**: 画像を保存するファイル フォーマットを選択します。**[設定]** ボタンをクリックし、選択したファイル フォーマットのオプションを選択します。すべてのファイル フォーマットに追加オプションがあるわけではありませんのでご注意ください。
5. **[次へ]** をクリックして続行します。
6. 最後に、「出力オプション」のページで、名前の変更テンプレート を使用してインポートしたファイル名の変更をするかどうか、またハード ディスクの保存先も指定します。**[次へ]** をクリックし、画像のコピーを開始します。
7. 画像を管理モードで表示するには、**[新しい画像を参照する]** を選択し、**[完了]** をクリックして ACDSee 12 に戻ります。

携帯電話から写真をインポートする

携帯電話取り込みウィザードでは、携帯電話から画像をダウンロードする方法をご案内します。

携帯電話から画像をダウンロードするには:

1. 管理モードで **[ファイル]** メニューから **[インポート]** を選択し、**[携帯電話から]** をクリックします。
2. 「ようこそ」のページで、携帯電話フォルダの場所を選択し、ハードディスクの保存先を指定します。画像を日付のサブフォルダに保存する設定や、ファイルがハードディスクに保存された後に、それらのファイルをデバイスから削除する設定をオプションから選択します。**[次へ]** をクリックして続行します。
3. 「ダウンロードされた画像」のページで、ダウンロードされた画像のプレビューを表示することができます。ハードディスクへ画像を保存するには、**[次へ]** をクリックします。

名前の変更テンプレートを作成する

[インポート] ダイアログを使って、ハードドライブに画像がコピーされている間、各ファイルに固有の名前を付けるテンプレートを作成したり、それに名前を付けて保存したりすることができます。画像をインポートする度に、テンプレートを再利用することも可能です。名前の変更テンプレートは、連番、カスタムの名前、各ファイル特定の情報を含むことができます。そのため、ファイルの種類別に異なるテンプレートを作成して使い分ける、例えば、カメラの機種別にあるいはファイルの種類別にテンプレートを作成すると大変便利です。

ファイル名変更のテンプレートを作成するには:

1. [インポート] ダイアログボックスから、**[次に名前を変更する]** を選択します。
2. ドロップダウンリストをクリックして、次のいずれかを選択します:
   - **日付/時間 - ファイル名**: 画像ファイルの撮影日と時間にオリジナルのファイル名を付けられた形で、ファイルの名前が変更されます。
   - **日付/時間**: ファイルの撮影日と時間を使った形で、ファイルの名前が変更されます。
   - **カメラ - 連番**: カメラ名と連番を使った形で、ファイルの名前が変更されます。
   - **日付/時間 - 連番**: ファイルの撮影日と時間に連番が付けられた形で、ファイルの名前が変更されます。
   - **カメラ - ファイル名**: カメラ名と各ファイルのオリジナル名が付けられた形で、ファイルの名前が変更されます。
3. カスタムのテンプレートを作成する、あるいはシステムのテンプレートに追加するには、**[編集]** をクリックします。
4. [名前の変更テンプレート] ダイアログボックスで、以下の表で解説されているオプションから選択します。
5. **[OK]** をクリックします。

[ビデオとオーディオファイルはスキップ] チェックボックスを選択すると、インポート中にビデオまたはオーディオファイルの名前は変更されません。

名前の変更テンプレート オプション

システム テンプレートのドロップダウン リスト	ドロップダウン リストをクリックして、定義済みのシステム テンプレートを選択します。
新規の名前の変更テンプレート 	[新規の名前の変更テンプレート] ダイアログボックスが開かれます。カスタムのテンプレートに使用する名前を入力します。テンプレートの使用目的、または含んでいる情報がすぐにわかるようなテンプレートの名前を付けるように注意します。例えば、**カメラ名_撮影者** のような名前を付けます。 **[保存]** をクリックすると、システム テンプレートのドロップダウン リストにその名前が追加されます。
削除 	現在選択されているテンプレートをドロップダウン リストから削除します。定義済みのシステム テンプレートは削除できませんのでご注意ください。
名前の変更テンプレート	このフィールドを使用して、名前の変更テンプレートを作成します。撮影者の名前を入力した後にアンダースコアを入れて、その次に続くエレメントから区別しやすいように、また読みやすいように気をつけます。 次のプレースホルダを使って、各ファイルが固有名を持つようにします: • *** (アスタリスク)** を挿入する。ファイルの名前が変更される際、* (アスタリスク) がオリジナルのファイル名になります。 • **# (シャープ記号)** を挿入する。ファイルの名前が変更される際、# (シャープ記号) が連番になります。ファイルの数が多い場合には、# を複数挿入するようにします。例えば、### と入力すると、最初のファイルは 0001、次のファイルは 002 という番号が付けられます。 1000 以上のファイルをインポートする場合は、# を最低 4 つ (####) 挿入するようにします。 • メタデータのプレースホルダである **< >** を挿入します。これらの括弧内に指定されたデータが、名前の変更時に置き換えられます。 例えば、<カメラ:モデル名 > を選択した場合、各ファイル名にカメラのモデル名が挿入されます。
メタデータの挿入	クリックすると、[プロパティの選択] ダイアログボックスが開かれます。メタデータの一覧からテンプレートに使用するデータを選択します。
例	[名前の変更テンプレート] フィールドに入力する、あるいはプレースホルダを追加するにつれ、[例] に表示されるテンプレートが変わります。
ビデオとオーディオ ファイルはスキップ	名前の変更中、ビデオとオーディオ ファイルの名前は変更されません。

参照する

ファイル一覧 ペインでファイルを参照する

[ファイル一覧] ペインは、管理モードの中央に位置する大きなペインです。このペインには、現在選択されているフォルダの内容、最後の検索結果、ブラウザ検索の検索条件に一致するファイルやフォルダなどが表示されます。 ファイル一覧ペインは常に表示され、隠したり閉じたりすることはできません。

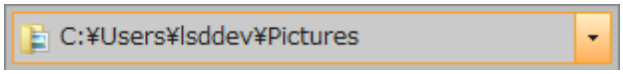
既定設定として、ファイル一覧 ペインにはサムネイルが表示されます。表示モード は、サムネイルから詳細、ファイル一覧、アイコン、フィルム ストリップなど、希望の表示に変更することができます。名前順、サイズ、プロパティ、などでファイルを並べ替えることも可能です。フィルタ を使用して、ファイル一覧 ペインに表示されるファイルの種類を指定することも可能です。

ファイル一覧 ペインを使用する

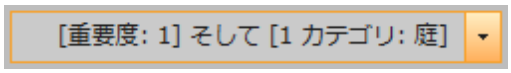
ファイル一覧 ペインは、コンテンツ バー、ファイル一覧ドロップダウン リスト、ファイル一覧ツールバーの 3 つのセクションで構成されています: 。サムネイル上に表示されるオーバーレイ アイコンは、そのファイルに関する追加情報を示します。

コンテンツ バー

コンテンツ バーはファイル一覧ペインの最上部に位置し、現在参照しているフォルダのパスが表示されます。[フォルダ ペイン] を使用している場合、コンテンツ バーにはパスまたは現在参照しているフォルダのパスが下記のように表示されます。



[カテゴリ ペイン] を使用してカテゴリや重要度でファイルを参照する場合、コンテンツバーには選択されたカテゴリが下記のように表示されます。



カレンダーペイン を使用して参照する場合、コンテンツバーには日付の範囲が表示されます。また、[検索ペイン] を使用している場合、検索結果が表示されます。

ファイル一覧ドロップダウン リスト

フィルタ	重要度やカテゴリなど、フィルタオプションの一覧が表示されます。[フィルタ オプションの設定] を選択してカスタム フィルタを作成することも可能です。
グループ	ファイル一覧ペインで、ファイルのグループ化に使用できるファイルの属性一覧が表示されます。
並べ替え	ファイル一覧ペインで、ファイルの並べ替えに使用できるファイルの属性一覧が表示されます。
表示	ファイル一覧ペインで、ファイルの表示オプションの一覧が表示されます。
選択	ファイル選択オプションの一覧が表示されます。

ファイル一覧 ツールバー

	バスケットに追加	選択された画像をバスケットに追加します。
	左に回転	選択された画像を左に回転します。
	右に回転	選択された画像を右に回転します。
	画像の比較	画像の比較ビューアに選択された画像を表示します。
	ズーム スライダ	ファイル一覧ペインのサムネイルの大きさをコントロールできます。スライダをドラッグしてサムネイルの大きさを設定します。

オーバーレイ アイコン

	サウンド	埋め込みオーディオまたは関連付けられたオーディオがある場合に表示されます。
	重要度	ACDSee 12 データベースに保存されている重要度が存在する場合に表示されます。
	データベース情報	ACDSee 12 データベースに保存されている重要度が存在する場合に表示されます。
	ファイル フォーマット	ファイル フォーマットが表示されます。
	カテゴリ	カテゴリが適用されている場合に表示されます。
	ショートカット	別のファイルへのショートカットが適用されている場合に表示されます。
	オフライン	ファイルがオフライン デバイスに格納されている場合に表示されます。
	除外された項目	ファイルが ACDSee 12 データベースから除外されている場合に表示されます。
	タグの付いた項目	タグが適用されている場合に表示されます。
	タグの付いていない項目	タグが適用されていない場合に表示されます。
	自動回転	ファイルが自動回転されている場合に表示されます。
	編集済み	ファイルが編集されている場合に表示されます。

ファイル一覧ペインを最大化する

スクリーンのスペースを最大限に使用するために、管理モードの他のペインをすべて隠し、ファイル一覧ペインを最大化することができます。管理モードで表示される領域は、ファイル一覧ペインと現在使用中のツールバーのみになります。

ファイル一覧ペインを最大化するには:

1. **[表示]** メニューから **[ファイル一覧の最大化]** を選択します。
2. ファイル一覧ペインとツールバーのみを表示するには、**[表示]** メニューから **[フル スクリーン]** を選択します。
3. 管理モードに戻るには、**[フル スクリーンを閉じる]** ボタンをクリックします。

Windows エクスプローラの右クリックメニューを使用する

フォルダペイン、お気に入りペインまたはファイル一覧を使用して、ACDSee 12 内からファイルを Windows エクスプローラで開くことができます。

エクスプローラでファイルを開くには:

1. Windows の右クリックメニューを使用するには、[ファイル一覧] からサムネイルを選択し、**<CTRL> + 右クリック** を押します。

   Windows の右クリック メニュー を継続して使用したい場合、**[ツール]** メニューから **[ACD オプション]** を選択し、**[ファイル一覧]** にあるチェックボックスを選択します。
2. フォルダまたはお気に入りペインで、該当ファイルを含んでいるフォルダを **<CTRL> + 右クリック** します。
3. **[Explore]** をクリックします。

   そのフォルダに含まれている画像を左手のペインに一覧表示した形で、エクスプローラでフォルダが開かれます。

フォルダ ペインを使用する

フォルダ ペインには、コンピュータのフォルダ構成が表示されます。Windows エクスプローラのフォルダ ツリーによく似ています。このペインでフォルダを選択すると、ファイル一覧ペインにフォルダの内容が表示されます。

また、このペインを使用して、お気に入りファイル、フォルダ、アプリケーションへのショートカットを作成することもできます。特定のファイルを検索することなく、お気に入りペイン ですばやくアクセスすることができます。

フォルダ ペインを使ってフォルダを参照すると、ACDSee データベースはそのフォルダ内の画像またはメディア ファイルをカタログ化します。

フォルダ ペインを開くまたは閉じるには:

管理モードで、**[表示]** メニューから **[フォルダ]** をクリックします。

大容量格納デバイスやデジタルカメラのようなリムーバブルデバイスを接続すると、フォルダ ペイン内ではドライブ名が自動的に設定された別のドライブとして認識されます。

フォルダ ペイン内をクリックするだけで、デバイスとその内容を表示することができます。

複数のフォルダを選択する

イージーセレクト バーは、フォルダ ペインおよびカテゴリ ペインの左側にある縦列のバーです。イージーセレクト バーを使用して複数のフォルダ、カテゴリ、重要度を選択し、ファイル一覧ペインに該当するファイルを表示することができます。

イージーセレクト バーを使用するには:

フォルダ ペインで、表示したいフォルダの左にあるチェックボックスをオンにします。

また、イージーセレクト バーをブラウズ検索ペインで使用することも可能です。

フォルダの作成と管理

フォルダ ペインおよびファイル一覧ペインでは、ハード ディスクにあるフォルダの作成、削除、名前の変更、移動を実行して、ファイルを管理することができます。

フォルダを管理するには:

1. フォルダ ペインで、追加、削除、名前の変更をしたいフォルダを選択します。
2. 次のいずれかを実行します:
   - 新規フォルダを作成するには、**[ファイル]** メニューから **[新規作成]** を選択し、**[フォルダ]** をクリックします。新規フォルダの名前を入力し、**<Enter>** キーを押します。
   - フォルダを削除するには、フォルダを選択して **<Delete>** キーを押します。
   - フォルダ名を変更するには、名前を変更するフォルダを選択し右クリックし、**[名前の変更]** を選択します。新規フォルダの名前を入力し、**<Enter>** キーを押します。

ドライブ、あるいはCD-ROM のような読み取り専用のファイルの名前を変更することはできません。

Windows エクスプローラでファイルを開くには:

次のいずれかを実行します:

- フォルダまたはお気に入りペインで、該当ファイルを含んでいるフォルダを **<CTRL> + 右クリック**します。 **[Explore]** をクリックします。そのフォルダに含まれている画像を左手のペインに一覧表示した形で、エクスプローラでフォルダが開かれます。
- Windows の右クリックメニューを使用するには、[ファイル一覧] からサムネイルを選択し、**<CTRL> + 右クリック** を押します。

Windows の右クリック メニュー を継続して使用したい場合、**[ツール]** メニューから **[ACD オプション]** を選択し、**[ファイル一覧]** にあるチェックボックスを選択します。

日時またはイベントごとにファイルを参照する

カレンダー ペインでは、画像に関連付けられた日付を使って、画像やメディアファイルを管理したり参照することができます。カレンダーペインには、イベント、年、月、日のビューモードとフォト カレンダーが用意されています。フォトカレンダーは、各月で撮影された日付けに基づいてサムネイルを表示します。カレンダー ペインの日付をクリックすると、その日と関連付けられているファイルの一覧が表示されます。

カレンダー ペインを開くには:

管理モードで、**[表示]** メニューから **[カレンダー]** をクリックします。

ファイル一覧ペインの上部に [フォトカレンダー] が開かれます。画像のサムネイルが一行で表示されるため便利です。

カレンダーペインに画像を表示するには、画像の含まれているフォルダを参照したことがあるか、カタログファイル ウィザードを使用してカタログ化を行い ACDSee データベースに情報を含んでいるか、のいずれかを実行する必要があります。ご注意ください。

[フォトカレンダー] を使用する場合、該当月の画像が含まれている特定日にのみサムネイルが表示されます。画像の含まれていない日はブランクで表示されます。

カレンダー ペインのツールバー ボタン

	イベントモード	カレンダー ペインをイベントモードに切り替えます。イベント モードでは、指定されたイベントに該当する画像またはメディアファイルが表示されます。月の横には、画像またはメディアファイルが含まれている日数が表示されます。月の領域を展開すると、該当する画像数と日にちが表示されます。説明やサムネイル画像を追加して、イベントを区別することも可能です。
	年モード	カレンダー ペインを年モードに切り替えます。年モードでは、年ごとに分割されたテーブルが表示されます。各テーブルの上部には、そのテーブルの年度が表示されます。年の横には、該当年に含まれている画像またはメディアファイルの数が表示されます。画像またはメディアファイルが含まれている月は、ハイライト表示で区別されます。
	月モード	カレンダー ペインを月モードに切り替えます。月ードでは、月ごとに分割されたテーブルが表示されます。各テーブルの上部には、そのテーブルの月が表示されます。月の横には、該当月に含まれている画像またはメディアファイルの数が表示されます。画像またはメディアファイルが含まれている日は、ハイライト表示で区別されます。
	日モード	カレンダー ペインを日モードに切り替えます。日モードでは、日ごとに分割されたテーブルが表示されます。各テーブルの上部には、そのテーブルの日が表示されます。日の横には、該当日に含まれている画像またはメディアファイルの数が表示されます。画像またはメディアファイルが含まれている日は、ハイライト表示で区別されます。
	フォトカレンダー	カレンダー ペインをフォトカレンダー モードに切り替えます。フォトカレンダーは、月別のカレンダーに画像の含まれた日をサムネイルで表示します。サムネイル上にマウスを移動すると、その日に含まれている最初の 4 画像がポップアップで表示されます。サムネイルをクリックすると、該当日に含まれているすべての画像がファイル一覧に表示されます。カレンダーの右上に、該当月に含まれる画像の合計数が表示されます。タイトルバーをドラッグ、または逆三角の矢印をクリックして [フロート] を選択して別の場所にフロートさせ、ペインのコーナーをドラッグしてサイズ変更をすると、サムネイルのサイズを大きくまたは小さく変更することができます。
	オプション	カレンダー ペイン オプション を使って、ファイルの管理に使用する日を指定します。例えば以下のように日付を設定し、表示を素早く切り替えることができます: • データベースの日付 (ACDSee がデータベースをカタログ化した日付) • 画像の撮影日時 • ファイルの更新日時 • ファイルの作成日時 (コンピュータにロードされた日) [ACDSee オプション] をクリックして [カレンダー] オプションを開き、フィルタ、週の始まりや時計の表示形式などを設定します。
	前の項目	選択されている日付に一番近い前の日付のファイルを表示します。
	次の項目	選択されている日付に一番近い次の日付のファイルを表示します。
	前のグループ	前のグループにスクロールします。
	次のグループ	次のグループにスクロールします。
	目次	イベント日の一覧を表示します。

イベントモードに説明やサムネイルを追加する

イベントモードに説明やサムネイル画像を追加して、イベントを区別することも可能です。

イベントモードの特定日に説明を追加するには:

1. 月の領域を展開して、画像またはメディアファイルの含まれている日を確認します。
2. **[イベントの説明を入力]** をクリックし、ハイライト表示されたテキストを新規入力された説明に置き換えます。
3. **<Enter>** キーを押すか、説明領域外の任意の場所をクリックします。これで説明の内容が保存されます。

イベントモードまたはフォトカレンダーにある特定のサムネイルを選択するには:

1. 月の領域を展開して、画像またはメディアファイルの含まれている日を確認します。
2. 該当日をクリックして、ファイル一覧ペインに画像またはメディアファイルを表示します。
3. 該当日のサムネイル領域に、画像またはメディアファイルをクリック＆ドラッグします。

   マウスボタンをリリースすると、サムネイルが保存されます。既定サムネイルをリセットするには、該当サムネイルを右クリックし、**[既定サムネイルの復元]** を選択します。

イベントモードで日付一覧をナビゲートするには:

1. 特定グループを展開または折りたたむには、グループヘッダーの左横にある **+/-** をクリックします。
2. 全グループを展開または折りたたむには、**[全グループの展開]** または **[全グループの折りたたみ]** を選択します。
3. 複数のグループ間をスクロールするには、[ファイル一覧] スクロールバーの下にある **[次のグループ]** または **[前のグループ]** ボタンをクリックします。
4. [カレンダー] ペインのスクロールバーの下にある **[目次]** ボタンをクリックして、希望する日付を選択します。

お気に入りファイルを参照する

ショートカットを作成する

お気に入りペイン内では、フォルダやファイルへのショートカットを作成したり、実行ファイルを起動したりすることができます。また、お気に入りのショートカットはフォルダのように、コピー、移動、名前の変更、削除することができます。実行ファイルのショートカットを使用して、ACDSee 内から別のアプリケーションを起動することもできます。[ファイル] 一覧ペインからファイル、フォルダ、実行ファイルを [お気に入り] ペインに直接ドラッグすることでも、ショートカットを作成することができます。

お気に入りのショートカットを作成するには:

1. ファイル一覧ペインから、ファイル、フォルダまたは実行ファイルを選択します。
2. 次のいずれかを実行します:
   - 選択したアイテムを右クリックし、**[お気に入りに追加]** を選択します。
   - **[ファイル]** メニューの **[お気に入りに追加]** をクリックします。
3. 新規ショートカット名を入力し、**[OK]** をクリックします。

新規フォルダを作成する

ショートカットを管理しやすいように、お気に入りペイン内では、フォルダまたはフォルダツリー全体を作成することが可能です。

新規フォルダを作成するには:

1. お気に入りペイン内で、お気に入りあるいは既に作成されているフォルダを右クリックし、**[新規作成]**、**[フォルダ]** を選択します。
2. 新規フォルダの名前を入力し、**<Enter>** キーを押します。

お気に入りとして適用されているファイルまたはフォルダを移動すると、リンクが壊れるため、それ以降お気に入り機能が適切に起動しないことになります。

ショートカットまたはフォルダを削除する

お気に入りペイン内では、ショートカットまたはフォルダを削除することができます。

ショートカットまたはフォルダを削除するには:

お気に入りペインで、ショートカットまたはフォルダを右クリックし、**[削除]** をクリックしてから **[はい]** をクリックして、ショートカットまたはフォルダの削除を確認します。

カテゴリペインを使用する

カテゴリペインは管理モードの中で最も便利なペインの 1 つで、ファイルの整理や管理に必要なツールを数多く搭載しています。フォルダから実際にファイルを移動することなく、カテゴリの階層をカスタム作成したり、新規カテゴリに直接ファイルをドラッグしてカテゴリを適用したりすることができます。カテゴリはニーズに合わせて複雑あるいはシンプルに、またユーザーにとってわかりやすい名前を付けることができます。ユーザーが一目見ただけでわかるように、異なる種類のアイコンを使ってカテゴリを識別することができます。

1～5 の重要度を適用したり、自動カテゴリを使ってファイルを検索したり、保存済み検索を再利用したり、1 クリックでコンピュータの画像をすべて表示したり、カテゴリ分けされていないすべての画像を表示したりすることも可能です。

ACDSee データベース

カテゴリペインまたはプロパティペインにあるカテゴリや重要度に関連する情報は、ACDSee データベースに保存されます。各ファイルにこの情報を埋め込むことで、ファイルの場所を移動したり、ファイルを共有したり、必要に応じて情報を取得したりという作業を簡単に行うことができます。

表示モードを変更する

ファイル一覧ペインでは、サムネイルのプレビュー、ファイルの詳細を含む、様々な表示モードでファイルを表示することができます。また、サムネイルの外観やサイズをカスタマイズしたり、「詳細」モードで表示する情報を指定することができます。

表示

サムネイル＋詳細	一覧にファイル名と詳細を表示し、「ファイル名」列にサムネイルが加わります。
フィルムストリップ	ファイル一覧ペインの下に、ファイルのサムネイルを横一列に表示します。拡大されたプレビューペインには、現在選択されている画像のプレビューが表示されます。
サムネイル	ファイル一覧ペインにあるすべての画像とメディアファイルのサムネイルを表示します。サムネイルの外観をカスタマイズしたり、サムネイルと一緒に表示される情報を指定することができます。
タイル	サムネイルとファイル情報を含んだ「タイル」として、ファイル一覧に表示します。ズームスライダを使用して、タイルのサイズを変更することができます。
アイコン	ファイル一覧ペインにあるファイルを、各ファイルの種類に適用されている既定の大きなアイコンで表示します。
ファイル一覧	ファイル名とファイル拡張子の一覧を表示します。
詳細	ファイル名、サイズ、フォーマット、作成日などの各ファイルの詳細が表示されます。下記に説明されているように、「詳細」表示モードをカスタマイズしたり、ファイルに表示される情報を指定することができます。

詳細表示モードをカスタマイズする

「詳細」表示モードの列を自動的にサイズ変更したり、グリッドラインを表示または非表示に切り替えたり、行のヘッダーを選択するとその行全体が選択されるように設定することができます。また、「詳細」表示モードの表示方法を変更したり、表示する列を選択したり、列の順序をカスタマイズすることも可能です。

列を選択したり、列の順序を変更するには:

1. 管理モードで、**[表示]** メニューから**[表示]**、**[詳細表示の設定]** [プロパティ] をクリックします。
2. [サムネイル表示情報の選択] ダイアログボックスで、以下のいずれかの操作を行います:
   - 列を追加するには、[選択可能な詳細] ペインにあるフォルダまたは詳細を選択し **[追加]** をクリックします。フォルダを追加すると、そのフォルダ内にあるすべての詳細が追加されます。
   - 列を削除するには、[現在選択されている詳細] ペインにあるフォルダまたは詳細を選択し **[削除]** をクリックします。

- 列をファイル一覧ペインの左に移動するには、[現在表示されている詳細]ペインで該当の列を選択し、**[上に移動]**をクリックします。
- 列をファイル一覧ペインの右に移動するには、[現在表示されている詳細]ペインで該当の列を選択し、**[下に移動]**をクリックします。

3. **[OK]**をクリックします。

既定の列のみを[現在表示されている詳細]ペインに表示するには、**[リセット]**をクリックします。また、ファイル一覧ペインでは、列のヘッダーをそのままドラックして移動することも可能です。縦線は列が挿入される場所を示します。

ファイルにフィルタを適用する

フィルタの条件 オプションを使用して、ファイル一覧ペインに表示されるファイルの種類を設定することができます。

ファイル一覧ペインのフィルタを設定するには:

次のいずれかを実行します:

- **[表示]**メニューから**[フィルタの条件]**をクリックし、フィルタ オプションを選択します。
- **[フィルタ]**ドロップダウンをクリックし、フィルタ オプションを選択します。

サムネイルが隠れてしまった場合には、**[フィルタ]**から**[すべて]**を選択すると再表示されます。

カスタムフィルタを作成するには:

1. 次のいずれかを実行します:
   - **[表示]**メニューから**[フィルタの条件]**そして**[フィルタ オプションの設定]**を選択します。
   - **[フィルタ]**ドロップダウンをクリックし、**[フィルタ オプションの設定]**を選択します。
2. **[フィルタ適用の条件]**を選択します。
3. 以下のいずれかのオプションを選択またはクリアすると、ファイル一覧ペインに選択されたファイルの種類が表示／非表示されます:
   - **画像ファイルの表示**
   - **メディア ファイルの表示**
   - **フォルダの表示**
   - **アーカイブ ファイルの表示**
   - **[隠しファイルとフォルダを表示する]**を選択して、オペレーティング システムでは通常表示されないファイルやフォルダを表示します。
   - **[THM ファイルを表示する]** を選択してサムネイル ファイルを表示します。
4. **[OK]**をクリックします。

ファイルをグループ化する

[ファイル一覧]で膨大な量の画像を参照しなければならないといった場合には、[グループ化]を使用して別のグループに仕分けると、参照が楽になります。また画像をグループ化すると、特定の画像を探しやすくなります。例えば、複数のカメラを使用する場合には、画像撮影に使用したカメラの機種別に画像をまとめることができます。同様に、画像を別のファイルフォーマットで保存する場合には、フォーマット別に画像をまとめることもできます。

グループ化は、[サムネイル]、[サムネイル + 詳細]、[詳細]、[タイル]、[アイコン]表示モードでのみ利用することができます。

「編集の有無」でグループ分けをすると、「編集なし」と「編集あり」の画像を見つけることができるので大変便利です。

ファイル一覧でファイルをグループ化するには:

1. ファイルが含まれているフォルダを参照します。
2. 次のいずれかを実行します:
   - **[表示]** メニューから **[グループ化]** をクリックし、グループ オプションを選択します。
   - **[グループ]** ドロップダウンをクリックし、グループ オプションを選択します。

ファイル一覧で異なるグループ間をナビゲートするには:

特定グループを展開または折りたたむには:

グループヘッダーの左横にある **[展開]** または **[折りたたみ]** 矢印をクリックします。

全グループを展開または折りたたむには:

[全グループの展開] または **[全グループの折りたたみ]** を選択します。

閉じられたグループの画像プレビューを表示するには:

グループのヘッダー上にマウスをポイントします。

複数のグループ間をスクロールするには:

[ファイル一覧] スクロールバーの下にある **[次のグループ]** または **[前のグループ]** ボタンをクリックします。

目次を表示するには:

次のいずれかを実行します:

- **[表示]** メニューから **[グループ化]** そして **[目次]** をクリックします。
- **[グループ]** ドロップダウン リストから **[目次]** をクリックします。
- ファイル一覧 スクロールバーの下にある **[目次]** ボタンをクリックします。

特定のグループに素早くジャンプするには:

1. 目次を表示します。
2. 表示したいグループをクリックします。

グループを並べ替るには:

次のいずれかを実行します:

- **[表示]** メニューの **[グループ化]** をクリックし、**[昇順]** または **[降順]** を選択します。
- **[グループ]** ドロップダウンをクリックし、**[昇順]** または **[降順]** を選択します。

ファイル一覧からグループを削除するには:

1 つのグループを削除するには:

次のいずれかを実行します:

- **[表示]** メニューから **[グループ化]** そして **[なし]** をクリックします。
- **[グループ]** ドロップダウン リストから **[なし]** をクリックします。

1 つ以上のグループ内にあるファイルを選択するには:

グループ内のファイルを選択するには:

次のいずれかを実行します:

- グループのヘッダーをクリックし、そのグループ内の全ファイルを選択します。
- **<Ctrl>** キーを押しながら、複数グループのヘッダーをクリックし、それらのグループに含まれているファイルをすべて選択します。

ファイルを並べ替える

管理モードでは、異なるファイルプロパティによってファイルを並べ替えることで、すばやく画像を管理したり、特定のファイルを検索したり、類似する属性のファイルを作成したりすることができます。

ファイル一覧の項目を並べ替えるには:

1. **[表示]** メニューから **[並べ替え]** をクリックし、並べ替えオプションを選択します:
   - **ファイル名**
   - **サイズ (KB)**
   - **画像タイプ**
   - **更新日時 (M)**
   - **画像プロパティ**
   - **キャプション**
   - **重要度**
   - **タグ**
   - **詳細** (データベース、EXIF、ファイルプロパティ、画像の属性、IPTC 情報またはマルチメディアの属性で並べ替え)
2. 並べ替えの順序を設定するには、**[表示]** メニューから **[並べ替え]** をクリックし、次のいずれかを選択します:
   - **昇順に並べ替え**
   - **降順に並べ替え**

並べ替え設定は、新規の設定が選択されるまで変更されません。例えば、重要度でファイルを並べ替えた場合、他の並べ替え設定を選択するまで、重要度別にファイルが並べ替えられたままになります。

列のヘッダーでファイルを並べ替える

列のヘッダーを使用して、「詳細」表示モードのファイルをすばやく並べ替えることができます。

列のヘッダーを使用してファイルを並べ替えるには:

1. 列のヘッダーをクリックします。

   矢印が表示されたら、並べ替える方向を指定します。
2. 並べ替える方向を変更するには、列のヘッダーをもう一度クリックします。

ファイルのカスタム並び替え

[カスタム並べ替え] を使用して、ファイル一覧ペインで表示されているファイルの順序を変更することができます。[カスタム並べ替え] で変更されたファイルの順序は、順序が再度変更されるか、または [カスタム並べ替え] が削除されるまで自動的に保持されます。

ファイルの並べ替え順序をカスタマイズするには:

1. 1 つ以上のファイルを選択します。
2. 選択したファイルを、ファイル一覧の新しい場所にドラッグします。

[カスタム並べ替え] を削除するには、**[表示]** メニューから **[並べ替え]** を選択し、**[カスタム並べ替えの削除]** を選択します。

ファイルを選択する

ファイル一覧ペインでは、すべてのファイルやフォルダを一度に選択したり、現行フォルダにあるすべてのファイルを選択したり、画像ファイルのみを選択することができます。また、選択範囲をすべてクリアにすることもできます。

ファイル一覧に新規ファイルが追加されるたびに、新規ファイルが自動選択されるようにオプションを設定することも可能です。

ファイルやフォルダを選択するには:

1. **[編集]** をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
   - **すべて選択**: 現行フォルダ内にあるすべてのファイルとサブフォルダを選択します。
   - **すべてのファイルを選択**: 現在のフォルダ内にあるすべてのファイルを選択する
   - **すべての画像を選択**: 現行フォルダ内にあるすべての画像ファイルを選択します。
   - **タグの付いた画像を選択**: フォルダの場所に関係なく、タグの付いたすべての画像を選択します。
   - **重要度で選択**: 重要度の一覧を表示し、選択された重要度が適用されているすべてのファイルを選択します。
   - **選択のクリア**: 選択を解除します。
   - **選択範囲の反転**: 元の選択範囲以外のすべてのファイルを選択します。

画像をプレビュー表示する

プレビュー ペインでは、画像、オーディオ、ビデオ ファイルのプレビューを表示することができます。このペインには、現在選択されている画像またはメディア ファイルのサムネイルが表示されます。プレビュー ペインのサイズを変更してサムネイルのサイズを調整したり、画面のお好きな位置にペインを移動することができます。プレビュー ペインの画像の下にヒストグラムを表示/非表示するなど、プレビュー オプションを設定することも可能です。

デュアル モニタをご利用の場合、ペインをセカンド モニタに移動して、メイン モニタのスペースを有効に使うことができます。

プレビュー ペインを開くまたは閉じるには:

[表示] メニューから **[プレビュー]** を選択します。

画像を比較する

「画像の比較」機能を使用して、複数の画像を比較することができます。選択した画像のプロパティ、メタデータ、ピクセルの明るさを比較して、類似する部分や異なる部分をハイライトします。好きな方の画像をハード ディスク上の新しい場所に保存したり、後で管理モードで作業するために画像にタグを付けたり、削除、移動、名前の変更、編集を行うことができます。

画像を比較するには:

1. ファイル一覧ペインから、比較したい複数の画像を選択します。
2. **[ツール]** メニューから **[画像の比較]** を選択します。[画像比較ビューア] には最大 4 画像まで表示することができます。
3. 表示する画像を変更するには、次の 1 つ以上を実行します:
   - 比較リストの画像を右クリックし、**[画像比較ビューアで表示]** を選択します。(選択された画像は淡い色のボックスで表示されます)
   - 比較リストから、[画像比較ビューア] のボックスに画像を直接ドラッグします。
   - [画像比較ビューア] の画像を右クリックし、**[次の画像]** あるいは **[前の画像]** を選択します。
   - [画像比較ビューア] の画像を右クリックし、**[ファイル]** メニューから**[画像の比較から削除]** を選択するか、画像ツールバーから **[削除]** アイコンをクリックします。

4. タグを追加するには、次のいずれかを実行します:
   - 比較リストで、画像の右手下にあるチェックボックスをクリックします。
   - [画像比較ビューア] で、画像を右クリックし、**[タグ]** を選択するか、画像ツールバーにある **[タグ]** アイコンをクリックします。
   - 左手下にある**[すべてをタグ]** をクリックして全画像にタグを追加するか、**[すべてのタグを解除]** をクリックして全画像からタグを解除します。
5. 画像に重要度を設定するには、画像を右クリックし、**[重要度の設定]** をクリックしてから、その画像に適切な重要度を選択します。
6. 画像にカテゴリを設定するには、画像を右クリックし、**[カテゴリの設定]** をクリックしてから、その画像に適切なカテゴリを選択するか、必要に応じてカテゴリを作成します。
7. **[OK]** をクリックします。

画像の比較 ツールバー

前へ	現在選択されている画像を、比較リストの前の画像と入れ替えます。
次へ	現在選択されている画像を、比較リストの次の画像と入れ替えます。
拡大	選択された画像を拡大します。
縮小	選択された画像を縮小します。
ズーム メニュー	ズーム オプションのメニューを開きます。次のオプションから選択します: • **実寸表示**: オリジナルのサイズで画像を表示します。 • **画面に合わせて表示**: 画像比較ビューアに収まる最大サイズで画像を表示します。 • **幅に合わせて表示**: 画像比較ビューアの幅に合わせて画像を表示します。 • **高さに合わせて表示**: 画像比較ビューアの高さに合わせて画像を表示します。 • **ズーム固定**: 現在の画像のズーム オプションをすべての画像に適用して表示します。ズームが調整されると、表示されるすべての画像にそのズーム レベルが適用されます。 • **倍率指定**: ズーム オプションを選択することができるダイアログ ボックスが開かれます。
パンの固定	画像をズーム／パンする際、すべての画像の特定領域を固定して、画像比較ビューアで表示します。
露出警告を表示する	ピクセルが露出オーバーまたはアンダーである領域を示します。
プロパティ	画像比較ビューアに各画像のプロパティを表示します。**[メタデータの設定]** ボタンをクリックして、表示させるプロパティを指定します。 画像の比較ツールは、各画像の下に指定されたプロパティを表示します。異なるプロパティの値は太字で表示されます。近い値のプロパティは通常のフォントで表示されます。
ヒストグラム	画像比較ビューアに画像のヒストグラムを表示します。
メタデータの設定	[プロパティの比較設定] ダイアログ ボックスを開き、画像のメタデータを選択し画像比較ビューアに表示することができます。
1 画像	画像比較ビューアに 1 つの画像を表示します。
2 画像	画像比較ビューアに 2 つの画像を表示します。
3 画像	画像比較ビューアに 3 つの画像を表示します。
4 画像	画像比較ビューアに 4 つの画像を表示します。
プロパティー ペイン	1 画像が表示されている場合は、プロパティ、ヒストグラム、虫めがね、ナビゲータ ペインを表示します。
ヘルプ	ヘルプ ファイルを開きます。

画像ツールバー

画像の比較ツールに表示される各画像の下には、ツールバーが設定されています。このツールバーを使用して、各画像を調整することができます。

保存	新規のファイル名、異なるファイル フォーマットで保存することができるダイアログが登場します。
前へ	現在選択されている画像を、比較リストの前の画像と入れ替えます。
次へ	現在選択されている画像を、比較リストの次の画像と入れ替えます。
拡大	画像を拡大します。
縮小	画像を縮小します。
削除(Delete)	ハードドライブから画像を削除します。
削除	比較リストから画像を削除します。
タグ	画像にタグを付けるため、画像の比較ツールを閉じても、画像が選択された状態になります。

バスケットに画像を集める

異なる場所やフォルダ内にある画像やメディア ファイルをバスケットに追加し、希望するファイルだけをまとめて表示することができます。バスケットに追加したら、ACDSee のあらゆるツールや機能を使用して編集、共有、表示することができます。

バスケットを使用するには:

1. バスケットを開くには、管理モードで、**[表示]** メニューから **[バスケット]** を選択します。
2. ファイル一覧ペインから、バスケットに追加したいファイルを選択します。選択したファイルをドラッグしてバスケットに追加するか、または右クリックして **[バスケットに追加]** を選択します。
3. ファイルを削除するには、バスケット内で選択したファイル上を右クリックして **[バスケットから削除]** を選択します。
4. すべてのファイルを削除するには、バスケットを右クリックして **[バスケットを空にする]** を選択します。

バスケットへの追加は、Windows エクスプローラから画像をドラッグすることでも行うことができます。

整理する

ACDSee でファイルを管理する

ACDSee には、参照、表示、編集機能のほかに、画像やメディア ファイルの管理や並べ替えに便利な多数の管理ツールが搭載されています。管理ツールには、複数のファイルを同時に変更できる一括処理ツール、カテゴリや重要度、大切な画像情報を保有するデータベースなどが含まれます。

ACDSee の一括処理機能では、名前変更、サイズ変更、回転、EXIF 情報の追加、露出調整を 1 つ以上の画像またはフォルダ内のすべてのファイルに対して適用することができます。カテゴリや重要度では、希望するファイル構造を作成することができるため、クリックするだけで関連した画像やメディアを検索できます。

簡単にアクセスできるプロパティ ペインでは、ファイル プロパティや画像情報が表示され、メタデータやデータベース情報を直接入力したり編集することができます。ファイルに作者、キャプション、注記、キーワードを追加したり、カテゴリや重要度を同時に適用することも可能です。

カテゴリ ペインを使って整理する

カテゴリ ペインは ACDSee 12 の中で最も便利なペインの 1 つで、ファイルの整理、並べ替え、グループ分け、検索や管理に必要なツールを数多く搭載しています。

カテゴリ

カテゴリは、ユーザーにとって整理しやすいように、ファイルをグループ分け、あるいは階層別に分けるためのものです。ファイルにカテゴリを適用しても、そのファイルがフォルダから移動されたり、コピーが作成されることはありません。カテゴリはユーザーの希望にあわせてシンプルあるいは複雑に設定することができ、カテゴリの名前もユーザーが指定することができます。ユーザーが一目見ただけでわかるように、異なる種類のアイコンが用意されています。カテゴリとファイルが適用されたら、カテゴリ別に検索、並べ替え、グループ分けができるようになります。

ファイルをカテゴリに適用する方法の 1 つに、ファイル一覧からファイルを選択し、希望するカテゴリ上に直接ドロップする方法があります。カテゴリの適用されているファイルには、ファイル一覧のサムネイル上にブルーのタブが表示されます。ファイルには複数のカテゴリを適用できますが、表示されるブルーのタブは 1 つのままになります。

プロパティペインの [データベース] タブを使用すれば、数回クリックするだけで、複数のファイルに複数のカテゴリを適用することができます。

重要度

画像やファイルに 1 から 5 までの重要度を適用することができます。重要度を適用すると、重要度に基づいて検索、並べ替え、管理ができるだけでなく、重要度やカテゴリ、自動カテゴリと組み合わせてこれらの作業を行うこともできます。ファイルに複数の重要度を適用することはできませんのでご注意ください。重要度の適用されているファイルには、ファイル一覧のサムネイル上にその数字が表示されます。

自動カテゴリ

ほとんどのデジタルカメラは、写真撮影時に、そのファイルに関する情報を作成し埋め込みます。この情報はメタデータと呼ばれ、カメラ名や機種、ファイルのサイズ、シャッター速度、撮影時のカメラ設定などが含まれます。ACDSee 12 はこの情報を使用して、自動カテゴリを作成します。自動カテゴリをクリックすると、ACDSee 12 はそのメタデータに属している画像を検索します。例えば、特定のカメラで撮影された、特定サイズの画像のみを探すなど、複数の自動カテゴリを選択してファイルを検索することができます。また、プロパティペインを使用して、この情報を追加することが可能です。

保存済み検索

同じ検索条件を頻繁に使うような場合、その条件をプリセットとして保存し、後で使用すると便利です。保存済み検索は、検索ペインの上部およびカテゴリペインに表示されます。カテゴリペインでは、名前をシングルクリックする、あるいはイージーセレクトバーの白いチェックボックスクリックするだけで使用可能です。

カテゴリペインで保存済み検索を新規作成するには:

1. カテゴリペインの [保存済み検索] 領域にある **[新規の保存済み検索]** アイコンをクリックします。

   [検索] ペインが開かれます。

2. 検索条件を入力したら **[保存済み検索]** アイコンをクリックします。

   カテゴリペインの [保存済み検索] と、検索ペインの [保存済み検索] ドロップダウンリストに新規の保存済み検索が表示されます。

スペシャルアイテム

スペシャルアイテムを使用して、データベース内の全画像、未分類の画像、タグの付いた画像などを素早く表示することができます。次のいずれかを選択します:

- **イメージウェル**: ACDSee 12 データベース内でカタログ化されたすべての画像が表示されます。画像コレクションが非常に大きい場合、すべての情報を収集するのに数分かかることがあります。
- **埋め込み保留中**: データベースが変更され、まだファイルに情報が埋め込まれていないすべてのファイルが表示されます。
- **未分類**: データベース内にカタログ化された画像で、カテゴリに分類されていないものが表示されます。
- **タグ**: コンピュータ上に格納されている画像で、タグの付けられているすべての画像が表示されます。

すべてのファイルタイプにカテゴリまたは重要度を適用することができますが、スペシャルアイテム機能では、画像のみが適用対象となります。

ACDSee 12データベースと埋め込まれたデータについて

ファイルに重要度やカテゴリを設定すると、この情報はACDSee 12 データベースに保存されます。ユーザーが希望すれば、各ファイルにこの情報を埋め込むことが可能です。これによって、ファイルの場所を移動したり、ファイルを共有したり、必要に応じて情報を取得したりという作業を簡単に行うことができます。データベースでは、情報は特定のファイルと常に関連付けられています。 Windows エクスプローラのように、ACDSee 12 以外のアプリケーションを使用して移動または名前の変更が行われると、そのファイルとACDSee 12 データベースのリンクが壊れてしまいます。 各ファイルに情報を埋め込んでおけば、このような事態が発生しても、データベースを再構築して情報を取り込むことができます。

プロパティペインを使用して、キャプションやキーワードなどを ACDSee データベースに追加することも可能です。時間をかけてカテゴリやキーワード、注記などを適用すると、ファイルの検索や整理が楽になります。

ACDSee 12 はXMP を使って各ファイルに情報を埋め込みます。XMP ファイルをサポートするファイルフォーマットとファイル拡張子は限られています。例えば GIF、JPEG、DNG、PNG、TIF ファイルは XMP ファイルをサポートしています。これらのファイルフォーマットの場合、データベース情報はファイル内に埋め込まれますので、ACDSee 12 以外のソフトウェアを使用してファイルの名前を変更したり、移動したりしても、データベース情報を取り込むことが可能です。

RAW、PSD、ABR など XMP をサポートしないファイルフォーマットの場合、データベース情報はサイドカーファイルに書き込まれ、ファイルと同じフォルダ内に格納されます。サイドカーファイルは、ファイルそのものとは分離されていますので、ファイルとサイドカーの名前を一緒に変更、あるいはファイルとサイドカーを一緒に移動しない限り、データベース情報が完全に失われてしまいます。

イージーセレクト バー

イージーセレクト バーは、フォルダペインおよびカテゴリペインの左側にある縦列のバーです。イージーセレクト バーを使用して複数のフォルダやカテゴリを選択し、ファイル一覧ペインにそれらの内容を表示することができます。カテゴリペインでイージーセレクト バーを使用し、ユーザーの希望するカテゴリ、重要度、自動カテゴリ、保存済み検索、スペシャルアイテムを選択することも可能です。例えば、重要度 1 の付けられている画像で [人物] カテゴリが適用されているすべての画像など、ユーザーの希望する組み合わせで表示することができます。

また、イージーセレクト バーをブラウズ検索ペインで使用することも可能です。

完全一致/部分一致 ボタンとイージーセレクトを合わせて使用すれば、カテゴリ ペインは特定条件でファイルを探すことができるパワフルな検索ツールとなります。

イージーセレクト バーを使用するには:

カテゴリペインで、表示したい各項目の左にあるインジケータを選択します。選択されるとインジケータの方向が変わりますので、項目を確認することができます。

カテゴリや重要度、またそれらのコンビネーションを選択し、条件に一致するファイルがない場合、空白のサムネイルと共にファイル一覧にメッセージが表示されます。ファイルを含んだフォルダに素早く戻るには、**[戻る]** をクリックします。

カテゴリに分類されているファイルを表示するには:

1 つ以上のカテゴリ、重要度、自動カテゴリ、保存済み検索またはスペシャルアイテムを選択します。カテゴリ ペインに割り当てられたファイルは、ファイル一覧ペインで表示されます。

ファイル一覧の上部にあるコンテンツ バーに、現在選択されているカテゴリやアイテムが表示されます。ブラウズ検索ペインを使用して、特定のフォルダ内にある特定のカテゴリ、重要度またはアイテムに絞り込んでブラウズすることができます。

完全一致/部分一致

カテゴリペインには、完全一致/部分一致 ドロップダウン リストが 2 つ備えられています。ペインの上部にあるリストはカテゴリ用、中部にあるリストは保存済み検索用です。完全一致/部分一致 オプションを使用すると、ファイル一覧に表示されるサムネイルが次のように絞り込まれます:

- **完全一致**: 選択されたカテゴリまたは検索のすべてに一致する画像のみが表示されます。カテゴリまたは検索の両方または **すべて** と一致するファイルが、ファイル一覧に表示されます。完全一致 はより排他的なオプションのため、表示されるファイル数を制限したり、検索を絞り込むために使用します。
- **部分一致**: 選択されたカテゴリまたは検索の**いずれか**と一致する画像のみが表示されます。選択されたカテゴリまたは検索と一致する **あらゆる** ファイルが、ファイル一覧に表示されるため、部分一致 はより包括的なオプションと言えます。

カテゴリアイコン

	カテゴリ	カテゴリと適用されているファイルを識別します。
	重要度 1 ～ 5	ファイルの重要度を表示します。
	新規の保存済み検索	保存済み検索を新規作成することが可能な検索ペインが開かれます。
	保存済み検索	保存、新規保存のメニューが表示されます。
	イージーセレクト インジケータ (選択済み)	カテゴリ、重要度、自動カテゴリまたはその他のアイテムを選択し、ファイル一覧ペインに表示します。
	イージーセレクト インジケータ (選択解除)	カテゴリ、重要度、自動カテゴリまたはその他のアイテムの選択を解除します。ファイル一覧ペインには表示されません。
	部分一致/完全一致	ファイル一覧ペインに表示される画像をコントロールします。

カテゴリを作成する

カテゴリ ペイン では、カテゴリの作成、名前変更、削除、移動を行うことができます。

カテゴリを作成するには:

1. 次のいずれかを実行します:
   - 管理モードで、**[編集]** メニューから **[カテゴリの設定]** を選択し、**[新規カテゴリ]** をクリックします。
   - カテゴリ ペインで、[カテゴリ] を右クリックし、**[新規カテゴリ]** を選択します。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
   - トップ階層に新規カテゴリを作成する
   - 選択したカテゴリにサブ カテゴリを作成する
3. サブ カテゴリを作成した場合、ドロップダウン リストからトップ階層 (親となるカテゴリ)を選択します。(カテゴリ ペイン内のカテゴリを右クリックすると、既定設定として、新規サブ カテゴリがそのカテゴリの下に追加されます。)
4. **[名前]** フィールドに新規カテゴリ名を入力します。
5. **[OK]** をクリックします。

新規に上部階層のカテゴリを作成する場合、アイコンを選択するとカテゴリの識別が簡単になります。アイコンのドロップダウンは、[ACDSee オプション] ダイアログの [カテゴリ] サブメニューにある **アイコンを表示する** チェックボックスが選択されている場合に表示されます。管理モードでは、 **ツール** メニューから **ACDSee オプション** を選択してから、**カテゴリ**サブメニューをクリックします。

カテゴリを管理するには:

カテゴリ ペインにあるカテゴリを選択し、次のいずれかの操作を実行します:

- カテゴリを別の場所に移動するには、カテゴリを新規の場所にドラッグします。
- 名前を変更するには、カテゴリを右クリックで選択し、**[カテゴリの編集]** を選択します。
- カテゴリを削除するには、削除したいカテゴリを右クリックし、**[削除]** を選択します。

カテゴリと重要度を設定する

ファイルを移動したり、コピーを作成することなく、画像に重要度や 1 つまたは複数のカテゴリを適用することが可能です。

カテゴリまたは重要度を設定するには:

1. 管理モードで、ファイルを選択してから次のいずれかを実行します:
   - ファイルを選択してから、カテゴリまたは重要度の横にあるチェックボックスまたはラジオ ボタンをクリックします。
   - 選択されたファイルを、[カテゴリ] ペインのカテゴリまたは重要度上にドラッグします。
   - 選択されたファイルに、カテゴリまたは重要度をドラッグします。
   - 右クリックして **[カテゴリの設定]** をクリックして表示されるサブ メニューから希望するカテゴリをクリックするか、**[重要度の設定]** をクリックして表示されるサブ メニューから希望する重要度をクリックします。
2. 表示モードで、次のいずれかを実行します:
   - **[編集]** メニューから **[カテゴリの設定]** をクリックし、希望するカテゴリをクリックします。
   - ファイル上を右クリックし、**[カテゴリの設定]** を選択し、希望するカテゴリをクリックします。
   - **[編集]** メニューから **[重要度の設定]** をクリックし、希望する重要度をクリックします。
   - ファイル上を右クリックし、**[重要度の設定]** を選択し、希望する重要度をクリックします。
   - ステータス バーから、重要度アイコンをクリックし、希望する重要度をクリックします。重要度が設定されるとアイコンが表示されます。
3. 複数の画像を比較した後、カテゴリ/重要度を設定したい場合には、次のいずれかを実行します:
   - ファイルの 1 つを右クリックし、**[カテゴリの設定]** を選択し、希望するカテゴリをクリックします。
   - ファイルの 1 つを右クリックし、**[重要度の設定]** を選択し、希望する重要度をクリックします。

プロパティ ペインを使ってカテゴリまたは重要度を設定するには:

1. 管理モード内でプロパティ ペインが表示されない場合には、**[表示]** メニューから **[プロパティ]** をクリックしてプロパティ ペインを開きます。
2. プロパティ ペインの **[データベース]** タブを選択して、そのタブを前面に表示します。
3. ファイル一覧から、カテゴリまたは重要度を設定するファイルを選択します。
4. ペインの下部にあるカテゴリから、適用したいカテゴリのチェックボックスを選択します。
5. 希望する重要度をクリックします。

ファイルからカテゴリまたは重要度を削除する

オリジナルのファイルや他のファイルに影響を与えずに、あるいはそのクラスに適用されている他のファイルに影響を与えずに、カテゴリや重要度からファイルを削除することができます。

ファイルからカテゴリまたは重要度を削除するには:

1. ファイル一覧ペインで、削除したいファイルを選択します。
2. 次のいずれかを実行します:
   - 選択したファイルを右クリックして **[重要度の設定]** を選択し、**[重要度のクリア]** をクリックします。
   - ファイル上を右クリックして **[カテゴリの設定]** をクリックし、ファイルから削除したいカテゴリの名前をクリックします。ファイルからすべてのカテゴリを削除するには、**[すべての選択項目のカテゴリ解除]** をクリックします。
   - カテゴリ ペインから、カテゴリのチェックボックスまたはラジオ ボタンに付けられているチェックを解除します。
   - カテゴリ ペインで、希望する [カテゴリ] または [重要度] を右クリックし、**[項目を削除する]** を選択します。

プロパティ ペインを使用する

プロパティ ペインは、ファイルと関連付けられているすべてのデータベース情報を表示します。また、ファイルのプロパティ (ファイル サイズ、作成日時、読み取り専用、隠しファイル、そして EXIF メタデータ) も表示します。プロパティ ペインでは、ファイルおよびメディアファイルのデータベー

ス情報を追加、変更、削除したり、メタデータを編集したりすることができます。

プロパティ ペインを開くには:

管理モード、あるいは表示モードで、**[表示]** メニューから **[プロパティ]** をクリックします。

プロパティペインは、既定レイアウトとして管理モードおよび表示モードの右側に表示されます。

プロパティ ペインの構成

プロパティペインは、データベース、ファイル、EXIF、IPTC の 4 つのペインで構成されています

[データベース] タブ

キャプション	ファイルに簡単な説明を加えて、データベースに保存します。
日時	日時を指定して、該当のファイルに日時を関連付け、データベースに保存します。
作者	作者名を入力し、ファイルに作者名または撮影者名を加えて、データベースに保存します。
重要度	ファイル一覧内からファイルを選択し、重要度をクリックしてそれらのファイルに重要度を適用します。重要度を使って、データベース内のファイルの検索や並べ替えができます。
タグ	チェックボックスを選択してファイルにタグを加えます。
注記	ファイルに詳細または追加テキストを加えて、データベースに保存します。最高半角で 4,095 文字まで入力できます。
キーワード	ファイルにキーワードを関連付けて、データベースに保存します。**[キーワードの選択]** ボタンをクリックして、キーワードの一覧から選択することができます。複数のキーワードを使用する場合は、コンマで区切ります。
カテゴリ	ファイルにカテゴリを適用して、データベースに保存します。カテゴリを適用するには、該当のカテゴリの横にあるチェックボックスをオンにします。新規カテゴリを作成するには、カテゴリのフィールドを右クリックし、**[新規カテゴリ]** を選択します。この方法で、ファイル一覧内の複数の画像に複数のカテゴリを適用することができます。

カテゴリペインを使用したり、管理モードから右クリックしても、カテゴリや重要度を適用することが可能です。

[ファイル] タブ

[ファイル] タブでは、選択されたファイルの詳細および画像の属性が表示されます。読み取り専用／隠しファイル(フォルダ) の設定および変更や、ファイルの EXIF メタデータ(概要) の確認をすることができます。

データベース情報をファイルに埋め込む

ファイルにデータベース情報の埋め込みした後、ACDSee 以外のアプリケーションを使ってコピー、移動、名前の変更が行われた場合、ファイルとデータベースのリンクが壊れしまいますが、ファイル内に埋め込まれているデータを使用して、データベースを再構築することが可能です。

ACDSee は XMP を使って各ファイルに情報を埋め込みます。XMP ファイルをサポートするファイルフォーマットとファイル拡張子は限られています。例えば GIF、JPEG、DNG、PNG、TIF ファイルは XMP ファイルをサポートしています。これらのファイルフォーマットの場合、データベース情報はファイル内に埋め込まれますので、ACDSee 以外のソフトウェアを使用してファイルの名前を変更したり、移動したりしても、データベース情報を取得することが可能です。

RAW、PSD、ABR など XMP をサポートしないファイルフォーマットの場合、データベース情報はサイドカーファイルに書き込まれ、ファイルと同じフォルダ内に格納されます。サイドカーファイルは、ファイルそのものとは分離されていますので、ファイルとサイドカーの名前を一緒に変更、あるいはファイルとサイドカーを一緒に移動しない限り、データベース情報が完全に失われてしまいます。

キーワードを作成する/適用する

ACDSee では、マスタキーワード一覧を作成して、その一覧をデータベースに保存することができます。マスタキーワード一覧を使用することで、キーワードの重複やスペルミスを防いだり、画像検索および管理を向上したりすることができます。マスタキーワード一覧を使ってキーワードを変更すると、そのキーワードの適用されているすべてのファイルが自動的に更新されます。

マスタ キーワード一覧を作成／管理するには:

1. プロパティ ペインの [データベース] タブで、キーワード フィールドの横にある **[キーワード ピッカー]** ボタンをクリックします。
2. [キーワード ピッカー] ダイアログ ボックスで、**[一覧の編集]** をクリックします。
3. [キーワード エディタの一覧] ダイアログボックスで、次のいずれかを実行します:
   - 新規キーワードを作成するには、**[新規値]** フィールドに新しいキーワードを入力し、**[追加]** をクリックします。
   - キーワードを削除するには、**[値の一覧]** フィールドからキーワードを選択して **[削除]** をクリックします。
   - キーワードの名前を変更するには、**[値の一覧]** フィールドからキーワードを選択します。**[名前の変更]** をクリックして新しいキーワードを入力し、**<Enter>** キーを押します。
4. ファイルにキーワードを適用するには、[選択可能な項目] 一覧から 1 つ以上のキーワードを選択して、**[追加]** をクリックします。
5. ファイルからキーワードを削除するには、[選択された項目] 一覧からキーワードを選択して、**[削除]** をクリックします。
6. 変更を確認したら、**[OK]** をクリックしてダイアログ ボックスを閉じます。

ファイルをコピーまたは移動する

[フォルダにコピー] および [フォルダに移動] コマンドを使用して、ハード ディスク上にあるファイルやフォルダの位置を変更したり、重複ファイルの取扱い方法を指定することができます。また、最近使ったフォルダの一覧を使用すれば、フォルダの検索時間を短縮することができます。

ACDSee 12 を使用してファイルの場所を変更する場合、既定設定として、それらのファイルと関連付けられているあらゆるデータベース情報が新しい場所に自動的にコピーされます。関連付けられているファイルをコピーしたくない場合は、 **RAW ファイル以外の関連付けられたファイルを含む** チェックボックスをクリアに設定します。

ACDSee 12 を使用せずにファイルを移動あるいはコピーした場合、それらのファイルに追加されているデータベース情報とのリンクが壊れてしまいます。これは ACDSee 12 がファイルを追跡できないために発生しますが、結果として、カテゴリやその他のデータベース情報など重要な情報を失うことになります。**結合の変更とデータベースの再構築** を行うことで、この問題を解決することができます。ファイルそのものにデータベース情報が埋め込まれている場合、**[ツール]** メニューの **[データベース]**、**[ファイルのカタログ化]** をクリックして情報を取り込むことが可能です。

ACDSee 12 は XMP を使って各ファイルに情報を埋め込みます。XMP ファイルをサポートするファイル フォーマットとファイル拡張子は限られています。例えば GIF、JPEG、DNG、PNG、TIF ファイルは XMP ファイルをサポートしています。これらのファイル フォーマットの場合、データベース情報はファイル内に埋め込まれますので、ACDSee 12 以外のソフトウェアを使用してファイルの名前を変更したり、移動したりしても、データベース情報を取得することが可能です。

RAW、PSD、ABR など XMP をサポートしないファイル フォーマットの場合、データベース情報はサイドカー ファイルに書き込まれ、ファイルと同じフォルダ内に格納されます。サイドカー ファイルは、ファイルそのものとは分離されていますので、ファイルとサイドカーの名前を一緒に変更、あるいはファイルとサイドカーを一緒に移動しない限り、データベース情報が完全に失われてしまいます。

ファイルをコピーまたは移動するには:

1. 次のいずれかを実行します:
   - ファイル一覧ペインで、1 つ以上のファイルを選択し、**[編集]** メニューから **[フォルダにコピー]** または **[フォルダに移動]** を選択します。
   - 表示モードで画像またはメディア ファイルを表示しながら、**[編集]** メニューから **[フォルダにコピー]** または **[フォルダに移動]** を選択します。
2. [ファイルのコピー] または [ファイルの移動] ダイアログ ボックスで、次のいずれかを実行します:
   - **[フォルダ]** タブを選択し、保存先となるハード ディスク上のフォルダを指定します。
   - **[履歴]** タブを選択し、最近使ったフォルダの一覧からフォルダを選択します。
   - **[フォルダの作成]** を選択してから、新規フォルダ名を入力します。
3. **[重複ファイルを上書きする]** ドロップダウン リストをクリックし、次のいずれかのオプションを選択して、ファイルの上書き方法を指定します:

- **確認する**: ファイルを上書きする際、確認のメッセージを表示します。
- **名前の変更**: ファイルの名前変更をする際、確認のメッセージを表示します。
- **置き換え**: 同じファイル名と拡張子がついたファイルを上書きします。
- **スキップ**: 同じファイル名や拡張子のついたファイルがある場合、操作をキャンセルします。

4. **[OK]** をクリックします。

画像をコピーする

画像をクリップボードにコピーし、ACD Photo Editor のような他のアプリケーションに貼り付けることができます。画像のコピーコマンドを使うと、画像データのみがクリップボードにコピーされることになります。つまりデータベース、EXIF、IPTC 情報は保持されませんのでご注意ください。

画像をコピーするには:

1. 管理モードまたは表示モードで、コピーしたい画像を選択します。
2. **[編集]** メニューから **[画像のコピー]** を選択します。
3. 他のアプリケーションに画像を貼り付けます。

ファイルまたはフォルダを貼り付ける

ファイルをコピーまたは切り取ってクリップボードに保存し、データベース情報を失うことなく別のフォルダに貼り付けることができます。

ファイルを切り取り、新しい場所に貼り付けるには:

1. 管理モードで、一覧ペインまたはフォルダペインから 1 つ以上のファイルまたはフォルダを選択します。
2. **[編集]** メニューから **[コピー]** または **[切り取り]** を選択します。
3. フォルダペインを使って、新しい場所にフォルダを指定します。
4. **[編集]** メニューから **[貼り付け]** を選択し、新しい場所にファイルまたはフォルダを貼り付けます。

ファイルを置き換える／上書きする

同一のファイル名と拡張子が、コピー先または移動先に既に存在する場合、ファイル名の重複が起こります。ACDSee の [ファイル置換の確認] ダイアログボックスでは、関係する 2 つのファイルを表示し比較することができます。それらのファイルが画像ファイルである場合、サムネイルのプレビューが表示されます。そして、重複するファイル名の取扱い方法を、ファイルの置換、名前変更、コピーまたは移動しているファイルのスキップ、すべての操作の中止のオプションから選択します。

[ファイル置換の確認] ダイアログボックスを使用する:

1. 複数のファイルを移動する際、起こりうる重複ファイル名すべての扱い方を同じ方法で設定するには、**[すべてに適用]** チェックボックスをオンにします。
2. 2 つのファイルの違いを比べるには、プレビューウィンドウの中央にあるツールバーを使用して、プレビューのサイズを拡大または縮小します。
3. 次のいずれかを実行します:
   - ソースファイルと保存先ファイルを置き換えるには、**[置換]** ボタンをクリックします。
   - ファイルを保存先フォルダに移動する前にファイル名の変更をするには、**[変更名]** フィールドに新規ファイル名を入力し、**[名前の変更]** をクリックします。
   - ファイルをスキップするには、両方のフィールドを空白に残し、**[スキップ]** をクリックします。
   - ソースファイルまたは保存先ファイルを削除するには、ハードディスクから削除するファイルの下にある **[削除]** ボタンをクリックします。
   - ファイルをコピーまたは移動する操作を中止するには、**[キャンセル]** ボタンをクリックします。

[ファイル置換の確認] ダイアログボックス内では、**「保存先ファイル」** はターゲットフォルダに既存するファイルを、**「ソースファイル」** はコピーまたは移動させようとしているファイルを指します。

ファイル名 やフォルダ名 を変 更 する

[フォルダ] ペインまたは[ファイル一覧] ペインでは、ハード ディスク上 にあるファイルまたはフォルダの名 前 を変 更 することができます。

ファイル名 またはフォルダ名 を変 更 するには:

1. 管 理 モード のファイル一 覧 または フォルダ ペインから、名 前 を変 更 するアイテムを選 択 します。
2. **[編集]** メニューから **[名 前 の変 更]** をクリックします。
3. 「.jpg」 のようなファイル拡 張 子 を削 除 あるいは変 更 しないよう注 意 し、新 規 ファイル名 を入 力 します。
4. **<Enter>** キーを押 します。

名 前 の一 括 変 更 ツールを使 用 して、複 数 のファイル名 をまとめて変 更 することができます。

プライベート フォルダにファイルを格 納 する

プライベート フォルダは、秘 密 のファイルを格 納 することができるセキュリティ保 護 されたフォルダです。プライベートフォルダにファイルを格 納 すると、ACDSee は現 在 のフォルダまたは場 所 から、画 像 をプライベートフォルダに移 動 します。プライベート フォルダはパスワード 保 護 されており、ACDSee 内 でのみ表 示 することができます。

プライベートフォルダにファイルやフォルダを追 加 すると、それらに関 する全 情 報 がデータベースから完 全 に削 除 されることになります。プライベートフォルダからファイルやフォルダを復 元 しても、情 報 がデータベースに復 元 されることはありません。ファイルやフォルダに関 するデータベース情 報 を保 存 したい場 合 には、データベースをバックアップするかエクスポートしてから、プライベートフォルダへ移 動 します。

プライベート フォルダ ペンを開 くには:

管 理 モード で、**[表 示]** メニューから **[プライベート フォルダ]** をクリックします。

プライベート フォルダを作 成 するには:

1. 開 かれているプライベート フォルダがある場 合 には全 て閉 じます。
2. [プライベート フォルダ] ペインにある [プライベート フォルダ] アイコンを右 クリックし、**[プライベート フォルダを作 成 する]** を選 択 します。
3. **[パスワードの入 力]** テキスト ボックスに、プライベート フォルダ用 のパスワードを入 力 します。 パスワード に使 用 できる最 長 文 字 数 は 40 文 字 です。
4. **[パスワードの再 入 力]** テキスト ボックスに、同 じパスワードを再 入 力 します。
5. **[OK]** をクリックします。

新 規 作 成 されたフォルダは、プライベート フォルダ ペインには表 示 されません。プライベート フォルダは隠 れているため、パスワードを入 力 することでのみ表 示 することができます。 プライベート フォルダを開 くと、そのフォルダ内 に含 まれているサブフォルダも表 示 されますが、プライベート フォルダとこれらのサブフォルダを区 別 するようにしてください。

プライベート フォルダを開 くには:

1. 開 かれているプライベート フォルダがある場 合 には全 て閉 じます。
2. [プライベート フォルダ] ペインのヘッダーにある **[開 く]** ボタンをクリックします。
3. **[パスワードの入 力]** テキスト ボックスに、開 こうとしているプライベート フォルダのパスワードを入 力 します。
4. **[OK]** をクリックします。

開 かれているプライベート フォルダの内 容 は、そのフォルダを閉 じるまで表 示 されます。コンピュータから離 れる可 能 性 があり、他 の人 にそのプライベート フォルダを見 られたくない場 合 には、フォルダを閉 じてから席 を外 すように気 をつけてください。

プライベート フォルダを閉 じるには:

次 のいずれかを実 行 します:

- [プライベート フォルダ] ペインのヘッダーにある **[閉じる]** ボタンをクリックします。
- **[ファイル]** メニューから **[終了]** をクリックして ACDSee を終了します。プライベート フォルダが自動的に閉じられます。

プライベート フォルダにファイルを追加するには:

1. ファイルの追加先となるプライベート フォルダを開きます。
2. 次のいずれかを実行します:
   - [プライベート フォルダ] ペインの [プライベート フォルダ] アイコンに該当ファイルをクリック & ドロップします。
   - 追加するファイルを選択し、それらのファイルの 1 つを右クリックしてから、**[プライベート フォルダに追加]** を選択します。

     警告メッセージが表示されます。
3. **[はい]** をクリックしてプライベート フォルダにファイルを移動します。

ファイルやフォルダをプライベート フォルダに追加すると、それらのファイルはシステムのオリジナル場所から削除され、パスワード保護されたプライベート フォルダに追加されることになります。パスワードを忘れてしまうと、プライベート フォルダからファイルやフォルダを復元することはできません。覚えやすいパスワード、忘れにくいパスワードを選択するように気をつけてください。

プライベート フォルダに既存のフォルダとその内容を追加するには:

1. ファイルの追加先となるプライベート フォルダを開きます。
2. 次のいずれかを実行します:
   - [プライベート フォルダ] ペインの [プライベート フォルダ] アイコンに該当ファイルをクリック & ドロップします。
   - 追加するファイルを選択し、それらのファイルの 1 つを右クリックしてから、**[プライベート フォルダに追加]** を選択します。

     警告メッセージが表示されます。
3. **[はい]** をクリックして、フォルダとその内容をプライベート フォルダに移動します。

プライベート フォルダからフォルダやファイルを復元するには:

1. 復元したいファイルやフォルダを含んでいるプライベート フォルダを開きます。
2. 次のいずれかを実行します:
   - フォルダまたはファイルを選択し、**[ファイル]** メニューから **[プライベート フォルダから復元する]** をクリックします。
   - フォルダまたはファイルを右クリックし、**[プライベート フォルダから復元する]** をクリックします。
3. [参照] ボタンをクリックして、フォルダまたはファイルの移動先フォルダを参照し、**[OK]** をクリックします。
4. **[OK]** をクリックします。

   ACDSee は、指定された場所にプライベート フォルダのフォルダまたはファイルを移動します。これで、コンピュータにアクセスできる全ユーザーが、これらのフォルダやファイルを見ることができます。

プライベート フォルダ、またはプライベート フォルダに含まれるフォルダやファイルを削除するには:

1. 削除したいファイルやフォルダを含んでいるプライベート フォルダを開きます。
2. 次のいずれかを実行します:
   - プライベート フォルダそのものを削除するには、[プライベート フォルダ] アイコンを右クリックし、**[削除]** を選択します。
   - プライベート フォルダに含まれるフォルダやファイルを削除するには、削除したいフォルダやファイルを右クリックし、**[削除]** を選択します。

     警告メッセージが表示されます。
3. **[はい]** をクリックしてプライベート フォルダとその内容を削除する、あるいはプライベート フォルダに含まれるフォルダまたはファイルを削除します。

プライベート フォルダに含まれるフォルダまたはファイルを削除する場合、細心の注意が必要です。プライベート フォルダからフォルダやファイルを削除すると、これらは完全に破壊されます。プライベート フォルダからこれらを移動したい場合には、コンピュータの保護されていない場所に移動して復元するようにしてください。

画像にタグを付ける

結婚式やマラソンなどの大きな行事では、通常、数百枚という大量の画像が撮影されます。撮影が完了したら、コンピュータにそれらの画像を転送して表示し、ベストショットのみをまとめて選択しなければならない場合がほとんどです。タグは、ベストショットを素早く表示させる最も簡単な方法です。またこれらのベストショットをまとめて表示し、編集あるいは確認することができます。

サムネイルの右下に、タグが付けられたことを示すチェックボックスが備えられています。このチェックボックスをクリックして、タグの設定/解除を切り替えます。一度タグの付けられた画像は、チェックボックスからチェックマークを解除しない限り、タグが付いたままの状態になります。

クリックひとつでタグの付いた全画像を表示できます。カテゴリや重要度と同様に、タグを適用すると別のフォルダに移動することなく、画像をまとめて管理することができます。

タグの付いた画像にカテゴリや重要度を適用した後、必要がなくなった時に、画像からタグを解除する習慣をつけましょう。長期間にわたって画像を管理したり、グループ分けするためには、カテゴリと重要度を使用したほうが効果的です。

管理モードや表示モードで画像にタグを付けるには:

次のいずれかを実行します:

- 管理モードで、サムネイルの右下にあるチェックボックスを選択します。
- 表示モードで、ステータス バーの右下にあるチェックボックスを選択します。
- 表示モードでは、**[表示]** メニューから **[プロパティ]** をクリックしてプロパティ ペインを表示し、**[データベース]** タブをクリックして **[タグ]** チェックボックスをクリックします。

画像の比較中にタグを付けるには:

1. 次のいずれかを実行します:
   - [画像の比較] で該当画像をクリックし、ツールバーにある [タグ] ボタンをクリックします。
   - [比較リスト] で、該当画像のサムネイルの右下にあるチェックボックスをクリックします。
2. **[OK]** をクリックします。[画像の比較] を閉じます。該当画像のチェックボックスにチェックマークが付いているか確認します。

タグの付いた画像だけを表示するには:

管理モードの **[表示]** メニューから **[カテゴリ]** を選択して、**[タグ]** をクリックします。

タグの付いた画像ファイルがすべて、ファイル一覧 ペインに表示されます。

複数のファイルにデータベースとEXIF 情報を追加する

情報の一括設定ツールを使用して、複数ファイルのデータベース、EXIF 情報を一括して追加/変更することができます。情報は選択されたすべてのファイルに適用するか、各ファイルに個別の情報を適用することができます。また、設定をテンプレートとして保存して、別の画像に使用することも可能です。

CD-ROM のような読み取り専用ファイルに情報を設定することはできませんので、ご注意ください。

複数のファイルにデータベース、EXIF 情報を設定するには:

1. 管理モードで 1 つ以上の画像を選択し、**[ツール]** メニューから **[一括]** そして **[情報の一括設定]** を選択します。
2. [情報の一括設定] ダイアログボックスで、次を 1 つ以上を実行します:
   - **[データベース]** タブをクリックして、データベース情報を追加あるいは変更します。
   - **[EXIF]** タブをクリックして、EXIF情報を追加あるいは変更します。

- **[詳細オプション]** タブをクリックして [情報の一括設定] ツールのオプションを調整します。各オプションの詳細につきましては、下の表をご参照ください。

3. **[情報の設定を実行]** をクリックします。

[情報の一括設定] ダイアログボックスを使ってデータを挿入するには:

次のいずれかを実行します:

- フィールドに設定したい情報をそのまま入力します。例えば、キャプション、注記、コメント、画像の説明などのフィールドに直接設定したい情報を入力します。データを入力すると、選択された全ファイルの該当フィールドにその情報が設定されます。
- カレンダーまたは一覧から情報を選択します。例えば、特定の日時を選択したり、重要度を適用することができます。選択された全ファイルの該当フィールドに、同一の情報が設定されることになります。
- アスタリスクマーク<*> を挿入して、該当するフィールドのオリジナルあるいは既存データを保持します。例えば、ほとんどのデジタルカメラでは、画像の撮影日時が記録されます。フィールドにアスタリスクマークを入力して[情報の設定を実行する] をクリックすると、各ファイルのオリジナルデータ(撮影日時) が EXIF 情報あるいはデータベースに追加されます。
- シャープ記号＜＃＞を入力します。情報が設定される際、これらのシャープ記号が連番文字に置き換えられますので、各ファイルに固有の番号が付けられます。
- メタデータのプレースホルダを選択します。例えば、メタデータのプレースホルダである <Camera:Model> を EXIF タブの「入力機器のメーカー名」に挿入します。情報が設定される際、各画像を撮影したカメラの機種が、EXIF 情報に挿入されることになります。また、[注記] や[コメント] フィールドに、ファイルの保存先やファイルの種類、絞り値など、メタデータのプレースホルダを挿入することもできます。
- 与えられたフィールドに情報をマップします。例えば、[実効画像幅] フィールドに幅を、[実効画像高さ] フィールドに高さをマップすることができます。情報が設定される際、選択された全ファイルの EXIF フィールドに各画像の幅と高さが挿入されることになります。

詳細オプション

空白の項目を編集する	情報を含んでいない空白のフィールドにのみ、情報を設定します。既に情報が設定されているフィールドは、上書きされません。
完了後ダイアログを閉じる	情報設定後、ダイアログを自動的に閉じるように設定します。
設定を初期設定として保存する	現在の [詳細オプション] 設定を保存し、次回情報を設定する際に使用します。
増分数の開始数	シャープ記号<#> が挿入される場合、開始する数字を設定します。

IPTC キーワードと補充カテゴリを削除する

ACDSee データベースから、画像の IPTC キーワードと補充カテゴリを削除することができます。

IPTC キーワードと補充カテゴリを削除するには:

1. 管理モードで、画像を選択します。
2. プロパティペインが表示されていない場合は、**[表示]** メニューから **[プロパティ]** を選択して、プロパティペインを表示します。
3. 次を実行して、画像が書き込み可能かを確認します:
   - **[ファイル]** タブをクリックして **[読み取り専用]** にチェックマークがあるか確認します。
   - [読み取り専用] にチェックマークが付いている場合、そのファイルを書き込むことはできません。**[読み取り専用]** チェックマークをクリックし、ファイルを書き込み可能にします。
4. **[IPTC]** タブをクリックします。
5. キーワード領域の左手にある **[キーワード ピッカー]** ボタン、または補充カテゴリ領域の左手にある **[補充カテゴリピッカー]** ボタンをクリックします。
6. **[選択された項目]** ボックスから、削除したいキーワード、または補充カテゴリを選択します。

(複数のキーワード、あるいは補充カテゴリを選択するには、<Ctrl> キーを押しながらマウスを使って該当のキーワードや補充カテゴリを選択します。)

7. **[削除]** をクリックします。
8. **[OK]** をクリックします。

ファイルプロパティの日時を変更する

「更新日時の一括変更」ツールを使用して、管理モードや表示モードで表示される 1 つ以上の画像ファイルのプロパティの日時を変更することができます。

ファイルプロパティの日付けと時間を変更するには:

1. 次のいずれかを実行します:
   - 管理モードで 1 つ以上の画像を選択し、**[ツール]** メニューから **[一括]** そして **[時間の調整]** を選択します。
   - 表示モードで、[ツール] メニューから **[修正]** 、**[更新日時の変更]** をクリックします。
2. 「変更する更新日時を選択する」ページで、次を実行します:
   - **[変更する日付]** タブから、変更したいファイルのプロパティを選択します。
   - **[詳細オプション]** タブから、以下で解説されている更新日時の変更オプションを選択します。
   - **[次へ]** をクリックして続行します。
3. 「新規の更新日時を選択する」のページで、次のいずれかのオプションを選択します:
   - **別の日時を使用する**: 選択された日時を別のプロパティの日時と置換えます。**[日時の選択]** ドロップダウンリストから、使用したいファイルプロパティを選択します。
   - **指定された日時を使用する**: 各ファイルの選択された日時が指定された日時に変更されます。新規更新日時を **[日付]** と **[時間]** スピンボックスで指定します。
   - **新規の開始日時に変更する**: 最も古いファイルの更新日時と指定された日時と置換えて、それより後の日時をすべてシフトします。最も古いファイルの更新日時を **[日付]** と **[時間]** フィールドで指定し、開始日時として設定します。
   - **日時を指定された数に移動する**: 時差のある場所で撮影されたなど、指定された時間の数で更新日時を前後に設定します。**[前に調整]** または **[後に調整]** のいずれかを選択し、**[時]**、**[分]**、**[秒]** スピンボックスに値を入力します。
4. **[更新日時を変更する]** をクリックして、ファイルに変更を追加します。
5. ウィザードが完了したら、**[完了]** をクリックして ACDSee に戻ります。

オプション

既定値を使って変換を開始する	新規の更新日時オプションに既定値を使用します。画像の日時を変更するには、**[更新日時を変更する]** ボタンをクリックします。
完了後ウィザードを自動的に閉じる	変換が完了したら、更新日時の変更ウィザードを閉じます。
現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、次回更新日時を変更する際に使用します。

ファイルを別のコンピュータにバックアップする

「同期の作成ウィザード」では、ローカルハードディスクのエラーからファイルを保護するために、ファイルを同期する方法をご案内します。このウィザードでは、ネットワーク、リモートコンピュータ、外部ハードドライブに保存されているローカルフォルダを同期することができます。さらに、同期名の指定、同期を実行する際の設定、同期スケジュールの設定、既存の同期の編集／削除などのオプション設定が可能です。

ファイルが新しい保存場所にコピーされる場合は、データベース情報は同期されません。ファイルとデータベース情報を一緒にバックアップするには、ACD データベース バックアップ ウィザード をご利用ください。

同期ファイルを作成するには:

1. 管理モードで **[ファイル]** メニューから **[同期]**、**[同期の作成]** をクリックします。
2. 「ようこそ」のページで、**[次へ]** ボタンをクリックして続行します。
3. 「同期オプション」のページで次を実行します:
   - **[ソースフォルダ]** フィールドで、コピーしたいファイルを含んでいるフォルダを指定します。
   - **[バックアップの保存先]** フィールドで、ネットワーク上のフォルダ、リモート コンピュータまたは外部ハードドライブなど、バックアップ ファイルの保存先を指定します。
   - **「オプション」** セクションで、同期時のエラーとログの対処方法を設定します。
   - **「確認」**のセクションで、重複ファイルの対処方法について設定します。
   - **[次へ]** をクリックして続行します。
4. 「同期スケジュール」のページで次を実行します:
   - **[名前]** テキスト ボックスに、同期の名前を入力します。
   - **[スケジュール]** 領域から、今すぐバックアップを実行するか、スケジュールを利用するかのいずれかを選択します。
   - ウィザードを完了するには、**[完了]** をクリックします。

スケジュール: パスワードのないアカウントで、スケジュールを設定することはできません。スケジュールを設定するためには、ご利用のアカウントにパスワードを設定する必要があります。空白のパスワードは無効です。1 文字以上を含むパスワードを作成してください。

同期を更新または削除する

同期の設定の変更、定期的なスケジュールの設定、同期の削除のオプション設定ができます。

既存の同期ファイルを更新または削除するには:

1. 管理モードで **[ファイル]** メニューから **[同期]**、**[同期の編集]** をクリックします。
2. [既存の同期] ダイアログ ボックスで、一覧から同期を選択します。
3. 次のいずれかを実行します:
   - 同期スケジュールを設定するには、**[スケジュール]** をクリックします。同期を起動する頻度を指定したら、**[OK]** をクリックします。
   - 設定を変更するには、**[編集]** をクリックします。「同期の編集」のダイアログ ボックスで、コピーしたいファイルを含むフォルダと、ファイルの保存先となるネットワークドライブ、リモート コンピュータ、または外部ドライブ上のフォルダを設定します。**「オプション」** セクションで、同期時のエラーやログの対処方法について設定します。**「確認」**のセクションで、重複ファイルの対処方法について設定します。設定し終わったら、**[OK]** をクリックします。
   - 同期名を変更するには、**[名前の変更]** をクリックします。新規同期名を入力し、**[OK]** をクリックします。
   - 同期を削除するには、**[削除]** をクリックします。
4. **[閉じる]** をクリックします。

保存されている同期を起動する

スケジュールが定期的に設定されている場合でも、一度同期を作成したら、いつでも起動することができます。

保存されている同期を起動するには:

管理モードから、**[ファイル]** メニューから**[同期]** をクリックし、起動したい同期名を選択します。

検索する

ACDSee で検索する

ACDSee では、様々な方法でファイルやフォルダの検索をすることができます。「検索ペイン」では、ファイル名、キーワード、画像プロパティを検索条件として絞込み検索することができます。また、特定の日付や重要度に該当するファイルを検索し、その検索条件に名前を付けて保存し、後で再度利用することも可能です。「重複の検索」機能を使用して重複するファイルを検索、また管理することもできます。

比較的シンプルな検索をする場合には、クイック検索バーを使ってファイルやフォルダを検索したり、特定の名前やキーワードを指定してデータベース内を検索することができます。クイック検索バーをカスタマイズして、特定の項目やデータベースの特定情報だけで検索することができます。

「カテゴリペイン」には、ハードディスク上のすべての画像や、カタログ化されていないフォルダ内のファイルをすばやく表示することのできる機能が搭載されいます。多数の画像から検索するような場合、「ブラウズ検索ペイン」を使用すれば、ファイル一覧ペインに表示したい画像の検索条件を絞り込むことができます。

クイック検索バーを使用する

管理モードにあるクイック検索バーを使用して、ファイルやフォルダを素早く検索することができます。クイック検索オプションや演算子と単語を組み合わせて、検索を絞ったり広げたりして、検索結果をファイル一覧で確認します。

クイック検索は、ACDSee データベースの注記、作者、キャプション フィールドを自動検索します。また、IPTC タブのキーワード、キャプション、撮影者、ヘッドライン、特別な指示のフィールドでも検索することが可能です。

ACDSee でファイル名を検索する際は、ファイル名の始まりで検索が行わるという点に留意してください。例えば、**Cat_Dog** という名前のファイルがあるとします。**Cat** を入力して検索するとこのファイルは検索結果に表示されますが、**Dog** ではこのファイルは一致しないという結果になります。

検索する用語を入力する際、大文字と小文字の区別をする必要はありません。

クイック検索を使用するには:

次のいずれかを実行します:

- クイック検索バーに、検索したい用語または名前の一部を入力します。
- クイック検索フィールドの横にあるドロップダウン リストをクリックして、以前入力された検索用語リストから選択します。

クイック検索の演算子

クイック検索バーで次の演算子を使用して、検索を絞ったり検索結果を広くしたりします。演算子で始まる検索を行うことはできませんのでご注意ください。必ず用語で始まらなければなりません。

演算子	結果	例
-	最初の単語を含むすべてのファイルが検索された後、二番目の単語を含まないファイルのみが表示されます。	**Cat -Dog** では、Dog を含まないすべての Cat ファイルが結果として表示されます。マイナス(-) の前に必ず半角スペースが必要です。ご注意ください。半角スペースを忘れると、ハイフンでつながった 1 つの単語として検索が行われます。
+	演算子の前後にある単語の両方を含んだすべてのファイルが結果として表示されます。どちらか一方の単語を含んでいるファイルは除外されます。クイック検索バーは、単語間に入力された半角スペースをプラス(+) 演算子として扱います。	**Cat+Dog** または **Cat Dog** を入力すると、Cat と Dog の**両方** を含んだファイルが表示されます。 **Cat+Dog+-Kittens** では、Cat と Dog の両方を含んだファイルが表示され、Cat と Dog と Kittens のすべてを含んだファイルは除外されます。

演算子	結果	例
|	演算子で区切られたすべての要素を含んでいるファイルが検索されます。	**Cat|Dog** では、Cat または Dog のいずれかを含んだファイルが表示されます。 **Cat+Dog|Kittens** では、Cat と Dog の両方を含んだもの、そして Kittens を含んだファイルが表示されます。

検索ペインを使用する

「検索ペイン」を使用して、ファイルやフォルダを検索することができます。ファイル名やキーワードで基本的な検索をしたり、フォルダ、カテゴリ、画像のプロパティで検索範囲を絞り込んで検索したり、ファイル名のパターンやワイルドカードを使って検索したり、重複ファイルを検索することも可能です。

また、検索に名前を付けて保存することもできます。保存済み検索は、検索ペインとカテゴリペインに備えられています。検索ペインでは、ドロップダウンリストから保存済み検索を選択して、その選択条件で検索を再実行することができます。カテゴリペインでは、保存済み検索は自動カテゴリの下に位置しています。保存済み検索の名前をクリックすることで、その選択条件で検索を再実行することができます。

検索ペインは、データベースにカタログ化されていないものは検索しませんのでご注意ください。カタログ化はフォルダを参照すると自動的に発生しますが、**[ツール]** メニューから **[データベース]**、**[ファイルのカタログ化]** をクリックしても、カタログ化を実行することができます。

検索ペインを開くには:

管理モードで、**[表示]** メニューから **[検索]** をクリックします。

検索ペイン

検索ペインには、検索を管理しやすくするための領域が幾つか備えられています。検索では、指定された検索条件の**すべて**に一致するファイルのみが検索されますのでご注意ください。

保存済み検索

保存済み検索領域では、複雑な検索条件の検索を保存して後で使用したり、再実行する検索を選択したり、保存済み検索を削除したりすることができます。

保存済み検索	保存済み検索を作成すると、ドロップダウンリストに表示されます。ペイン下部にある **[開始]** をクリックすると、ファイル一覧ペインに検索結果が表示されます。 保存済み検索はカテゴリペインにも備えられていますので、保存済み検索の名前をワンクリックするだけで検索を実行することができます。
検索の保存	**[保存]** アイコンをクリックしてから、**[保存]** または **[名前を付けて保存]** を選択して、保存済み検索を上書き保存するか、名前を付けて保存します。[保存済み検索] ダイアログが開かれたら、名前を入力します。後で便利なように、保存条件がすぐにわかるような名前を付けるようお勧めします。
検索の削除	ドロップダウンリストから削除したい検索を選択し、**[削除]** アイコンをクリックします。確認メッセージが表示されたら、**[はい]** をクリックして削除します。

ファイルとテキスト

「ファイルとテキスト」領域では、検索条件と検索場所を指定することができます。

ファイルまたはフォルダの名前	検索したいファイルまたはフォルダの名前の一部を入力するか、前回の検索で使用した用語をドロップダウンリストから選択します。また、ワイルドカードを使用してファイル名のパターンで検索することも可能です。画像ファイル以外のすべてを除外するには、入力フィールドの横にある右矢印ボタンをクリックし、**[画像のみ]** チェックボックスをオンにします。

含まれる文字列	ACDSee データベース 内で検索するテキストを入力します。検索したいファイルのキャプションまたはキーワードの一部、あるいはフォルダまたはカテゴリの名前の一部がテキストに含まれている必要があります。ファイル名とキーワードの両方を検索条件として使用する場合、**両方** の検索条件に該当するファイルのみが検索されます。 データベースで検索するアイテムを指定するために、入力フィールドの横にある右矢印をクリックして、フィールドに入力されたテキストの取扱い方法を次のオプションから選択します: • **すべての文字と一致するものを検索**: 入力されたすべての文字に一致するファイルのみを検索します。 • **文字全体と一致するものを検索**: 入力された文字全体 (入力された通り) と一致するファイルのみを検索します。 • **キャプション検索**: データベース内のファイルのキャプション フィールドを検索します。 • **キーワード検索**: データベース内のファイルのキーワード フィールドを検索します。 • **注記検索**: データベース内のファイルの注記フィールドを検索します。 • **カテゴリ検索**: データベース内のファイルのカテゴリ フィールドを検索します。 • **フォルダ検索**: データベース内のフォルダ名を検索します。
検索場所	次のいずれかのオプションを選択します: • **データベース全体**: ACDSee データベース全体を検索します。データベース内でカタログ化されていないフォルダは検索されませんのでご注意ください。 • **特定のカテゴリとフォルダ**: 指定されたカテゴリとフォルダのみを検索します。このオプションを選択すると、[カテゴリとフォルダ] セクションが開かれ、検索したい場所とカテゴリを選択することができます。
ブラウザ設定に同期する	ブラウザ検索 設定を含む現在の管理モード設定を、検索ペインにインポートします。検索ペインの検索条件が削除される場合がありますのでご注意ください。

プロパティ

「プロパティ」セクションでは、検索したいファイルに含まれるプロパティの内容、検索に含むあるいは除外する条件を指定することができます。

「プロパティ」セクションを使用するには:

1. **[ファイル プロパティの検索]** フィールドの下にある、**[追加]** をクリックします。
2. [選択条件の追加] ダイアログ ボックスで、検索条件とする 1 つ以上のプロパティを選択します。
3. **[OK]** をクリックします。
4. 「プロパティ」セクションのハイパーリンクをクリックして、各プロパティの詳細を定義します。
5. **[開始]** をクリックして、検索を開始します。

ファイル名のパターンで検索する

検索ペインの [ファイルまたはフォルダの名前] フィールドにパターンを入力し、ファイル名で検索することができます。ファイル名の一部のような単純なパターンから、ワイルドカードを使用した高度なパターンまで、幅広い検索が可能です。

ファイル名のパターン ワイルドカード

ワイルドカード	結果	例
?	入力された文字と、その次の一文字に該当するものがファイル名にあるか検索します。	**ca?.jpg** は cat.jpg、cap.jpg、car.jpg と照合しますが、cats.jpg と照合しません。
*	入力された文字と、その次の 0 文字以上の文字に該当するものがファイル名にあるか検索します。	**cat*** は cat.jpg、cats.jpg、cathy.jpg と一致します。
[...]	括弧で囲まれた文字と一致するものを検索します。	**ca[tr]** は cat.jpg、または car.jpg と一致しますが、cap.jpg とは一致しません。
[!...]	括弧で囲まれた文字以外と一致するものを検索します。	**cat[!0]** は cata.jpg、catb.jpg と一致しますが、cat0.jpg とは一致しません。
[...-...]	指定された範囲の文字がファイル名に含まれているか検索します。	**cat[a-f0-9]** は cata.jpg、catb.jpg 、catf.jpg および cat0.jpg、cat1.jpg、cat9.jpg と一致します。
\	ファイル名として使用できる文字で、同時にワイルドカードとして使用できる文字をブロックします。例 : [ ] また、(*) や (?) はファイル名として認識されないので、この機能で使うことはできません。	ワイルドカードである [ ] を含むファイル名を検索する場合は、\ と [ ] を組み合わせて検索します。 **ACD\[123\]** では ACD[123].gif と一致します。

パターンでは、大文字と小文字の区別をする必要はありません。

複数のパターンを使用するには、ファイル名をスペースまたは「 ; 」で区切ります。

スペースまたはセミコロンを含むパターンを検索するには、" " でパターンを囲みます。

パターンにワイルドカードの「*」が含まれない場合、そのパターンはサブストリングとして検索されます。例えば、cat は cat、cathy および bobcat および*cat*と同様のパターンと照合します。

ブラウズ検索 を使用する

ブラウズ検索ペインは、特定のフォルダ、カテゴリ、特定の日付に該当するファイルをすばやく検索してファイル一覧ペインに表示することができます。ブラウズ検索の範囲を設定して、ファイル一覧ペインにファイルを含むあるいは除外し、ブラウズしたいファイルのみを表示します。

ブラウズ検索を最大に活用するには、カタログ化 および 管理 されたファイルが ACDSee 12 データベース に入っていることが必要です。ブラウズ検索は、ファイルの情報が多いければ多いほど便利な機能と言えます。

ブラウズ検索を使用するには:

[表示] メニューから **[ブラウズ検索]** をクリックして、ブラウズ検索 ペインを開きます。 ペインはファイル一覧の左側に表示されます。

ブラウズ検索ペインで検索範囲を設定する

ブラウズ検索ペインは、「フォルダ」、「カテゴリ」、「カレンダー」の 3 つのセクションで構成されています。各セクションは、該当名の管理モードペインと一致します。ブラウズ検索ペインを開くと、ファイル一覧ペインの コンテンツ バー は、現在の検索範囲を表示する「ブラウズ検索バー」に置換えられます。ここに、現在使用中のブラウズ条件がすべて表示されます。

ブラウザ検索ペインの検索範囲にフォルダ、日付の範囲、カテゴリを追加すると、ACDSee 12 は検索範囲と一致しないファイルを除外します。検索範囲にアイテムを追加または削除することで、検索結果を絞り込むことができます。

ブラウズ検索ペインの検索範囲にアイテムを追加するには:

ブラウズ検索ペインを開き、次のいずれかの操作を行います:

- フォルダ ペイン から、1 つ以上のフォルダを選択します。
- カテゴリ ペイン から、1 つ以上のカテゴリ、そして必要に応じて重要度も選択します。
- カレンダー ペイン から、1 つ以上の日付を選択します。

ブラウズ検索ペインの検索範囲にアイテムが追加されるたびに、ACDSee 12 はデータベースから検索範囲と一致するファイルを検索し、ファイル一覧ペインに表示します。表示されたファイルは、ACDSee 12 で自由自在に編集、共有、移動、表示することができます。

ブラウズ検索ペインの検索範囲を設定し直すことができます:

- ブラウザ検索ペインの検索範囲からアイテムを削除するには、削除したいアイテムを右クリックして **[検索範囲から削除]** を選択します。
- 検索範囲からすべてのアイテムを除外するには、検索範囲のフォルダ／カテゴリ／カレンダーのバーをクリックして [検索範囲に含む] をオフにします。例えば、検索範囲からすべてのフォルダを除外するには、**[フォルダ]** バーをクリックして **[選択範囲に含む]** を選択します。ブラウザ検索ペインの検索範囲にはフォルダが表示されたままですが、検索結果として表示されません。
- 検索範囲からすべてのアイテムを削除するには、検索範囲のフォルダ／カテゴリ／カレンダーのバーをクリックして **[すべてクリア]** を選択します。

ブラウザ検索ペインのカテゴリでは、検索範囲に指定されているカテゴリのいずれかと一致するファイルが表示されるように、既定で設定されています。特定のカテゴリのファイルだけを表示するには、検索範囲を設定し直します。検索範囲を切り替えるには、カテゴリを右クリックで選択して **[部分一致]** または **[完全一致]** を選択します。

ブラウズ検索を使用する際のヒント

ブラウズ検索ペインの検索範囲にアイテムを追加する場合、ブラウズしたいファイルにその属性が含まれていなければなりません。例えば、フォルダペインからフォルダを選択すると、ACDSee 12 は、そのフォルダ内にあるファイルのみをファイル一覧ペインに表示します。カテゴリペインの「重要度」を選択すると、ACDSee 12 は、その重要度が適用されているファイルのみをファイル一覧ペインに表示します。

ブラウズ検索の検索範囲を組み合わせて、検索範囲を絞り込むことができます。例えば、カテゴリとある特定の日付の範囲を選択すると、ACDSee 12 はその両方と一致するファイルのみを表示します。ACDSee 12 は指定された日付の範囲に該当するファイルが存在しても、適切なカテゴリに適用されていない限りそれらを表示しません。あるいは、適切なカテゴリに適用されていても、指定された日付の範囲に該当しない場合にはそれらを表示しません。

ブラウズ検索ペインを非表示にする

ブラウズ検索ペインの [自動非表示] ボタンを使って、ブラウズ検索ペインを自動的に非表示にし、ファイル一覧ペインの作業領域を広げることができます。ペインが自動非表示に設定されている場合、ペイン外をクリックするとロールアップされ、ペインの端のみが表示されます。ペインの端にマウスポインタを合わせると、ペインが再度表示されます。

自動カテゴリで検索する

何百、あるいは何千という画像を扱ったり、複数のカメラで撮影したり、家族全員でカメラを共有したり、あるいはコンピュータには家族や友人が撮影した画像が格納されているような場合。上記いずれかに該当する場合には、自動カテゴリを使用して画像検索を素早く行うことができます。

自動カテゴリは [カテゴリペイン] の [重要度] のすぐ下に表示されます。ダブルクリックまたはプラスサイン (+) をクリックして、自動カテゴリのグループを展開します。ダブルクリックまたはマイナスサイン (-) をクリックして、自動カテゴリのグループを閉じます。

自動カテゴリ情報の一部は、撮影したカメラによって画像に追加されます。例えば、カメラのメーカー名、モデル名、使用されたホワイトバランス設定、レンズ焦点距離、絞り値などがその例です。それらの情報だけでなく、画像を撮影した都市名や国名、キーワードや著作権など、補足情報を加えることもできます。これらの補足情報は、[情報の一括処理] ツールを使用するか、[プロパティ] ペインで手動入力して追加します。

自動カテゴリをクリックすると、ACDSee はそのカテゴリに属している画像を検索します。例えば、複数のカメラを持っていて、状況によって使い分けて撮影していると仮定しましょう。[フォト プロパティ] と [カメラのメーカー名] を展開し、該当カメラのカテゴリを選択します。これで、そのカメラで撮影されたすべての画像が表示されます。同様に、弟がカメラ撮影に凝っていて画像をいつも送ってくると仮定しましょう。[フォト プロパティ] と [撮影者] のグループを展開し、撮影者の一覧から弟の名前を選択することで、弟が撮影したすべての画像が表示されます。

以下で、自動カテゴリの検索ヒントをご紹介します。

よく使うカテゴリを識別する

[フォト プロパティ] で頻繁に使用する自動カテゴリがある場合には、[よく使うカテゴリ] としてそれらを追加し、検索時間を短縮することができます。規定では、[フォト プロパティ] グループの一部が [よく使うカテゴリ] のグループで使用できるように設定されています。[よく使うカテゴリ] には希望する数の自動カテゴリを追加できる他、使用しなくなった場合にはそれらを簡単に削除することができます。

[よく使うカテゴリ] に自動カテゴリのグループを追加するには:

1. [フォト プロパティ] のグループを展開します。
2. [よく使うカテゴリ] に追加したい自動カテゴリのグループを右クリックし、**[よく使うカテゴリに追加]** を選択します。これで、該当のグループが [よく使うカテゴリ] に追加されます。

   同様に、[フォト プロパティ] のグループでも表示されます。

[よく使うカテゴリ] から自動カテゴリのグループを削除するには:

1. [よく使うカテゴリ] のグループを展開します。
2. [よく使うカテゴリ] から削除したい自動カテゴリのグループを右クリックし、**[よく使うカテゴリから削除]** を選択します。

   これで、該当のグループが [よく使うカテゴリ] から削除されます。

自動カテゴリ検索を絞り込む

複数の自動カテゴリを選択することで、検索を絞り込むことができます。例えば、特定の絞り値とシャッタースピードの設定で、様々な光の下で大量の画像を撮影し、特定の設定で撮影された画像だけを表示したいと仮定しましょう。f/16 絞り値と 1/30 s のシャッタースピードの左横にあるボックスをクリックすると、ACDSee は両方のカテゴリに属する画像を検索します。

複数のカテゴリを選択する場合、[カテゴリ ペイン] の上部にある [完全/部分一致] ドロップダウンから、**[完全一致]** または **[部分一致]** を選択して、検索をより一層絞り込むことができます。[部分一致] を選択すると、選択されたカテゴリと関連付けられているあらゆる画像が表示されます。[完全一致] を選択すると、選択された全カテゴリと関連付けられている画像のみが表示されます。

また、カテゴリあるいは重要度を選択することで、検索を絞り込むことも可能です。例えば、[撮影者] のカテゴリをクリックし、何千もの画像が表示されたと仮定しましょう。その撮影者が撮影したベストの画像だけを表示させたいとします。[カテゴリ ペイン] の **[重要度]** 領域から 1 を選択します。その結果、特定の撮影者と重要度 1 の画像のみが表示されます。

また、[ブラウズ検索] ペインを使用して、自動カテゴリの検索を絞り込むことも可能です。例えば、[カメラのメーカー名] のカテゴリをクリックし、何千もの画像が表示されたと仮定しましょう。そのカメラで撮影した、特定日の画像だけが見たいとします。**[表示]** メニューから **[ブラウズ検索]** をクリックして **[カレンダー]** 領域を展開して、特定日を選択します。その結果、特定のカメラと特定日の画像のみが表示されます。

重複ファイルを検索する

「重複の検索」プラグインを使って、ハード ディスク上にある重複ファイルを検索することができます。検索された重複ファイルの名前を変更したり削除することで、より簡単にファイルの管理を行うことができます。

次の手順は、「重複の検索」機能の基本的な使用方法です。詳細につきましては、プラグインに搭載されている [ヘルプ] をご参照ください。

フォルダ内の画像のみを選択して、検索範囲を絞ります。

重複ファイルを検索するには:

1. 管理モードで、重複の検索を行うフォルダまたはファイルを選択します。
2. **[ツール]** メニューから **[重複の検索]** を選択します。
3. [重複の検索] ダイアログ ボックスの「検索方法の選択」ページで、検索したいファイルやフォルダを追加します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - リストに追加したファイルおよびフォルダの重複を検索するには、**[このリストから重複を検索する]** を選択します。
   - 作成したリストと別のリストを比較して重複を検索するには、**[このリストと別のリストを比較して重複を検索する]** を選択します。
5. **[次へ]** をクリックします。
6. 別のリストのファイルと比較する場合、比較したいファイルまたはフォルダを第 2 リストに追加して **[次へ]** をクリックします。
7. 「検索パラメータ」のページで、同じファイル名の重複を検索するか、または完全重複ファイルを検索するかを指定します。
8. 画像ファイルのみを検索したい場合は、**[画像のみを検索する]** を選択します。

9. **[次へ]** をクリックします。
10. 重複が検索されなかった場合は、**[OK]** をクリックして検索条件を変更してやり直すか、**[キャンセル]** をクリックして [重複の検索] を閉じます。
11. 重複が検索された場合は、どちらのリストからファイルを削除するか決め、削除したい重複ファイルの横のチェックボックスをオンにします。また、ファイル名を右クリックして、ファイルを開いたり、名前を変更をしたり、削除したりすることができます。
12. **[次へ]** をクリックして変更を確認し、**[完了]** をクリックします。

画像をすばやく検索する

保存済み検索の名前をクリックして、その検索条件ですばやく検索することができます。カテゴリペインの「スペシャルアイテム」を使用すれば、データベース内にあるすべての画像や、すべての未分類の画像をすばやく表示することができます。

保存済み検索を再度使用するには:

管理モードのカテゴリペインから、保存済み検索の名前をクリックします。

ファイル一覧ペインに検索結果が表示されます。

すべての画像ファイルを一度に表示するには:

1. 管理モードの **[表示]** メニューから **[カテゴリ]** を選択して、カテゴリペインを開きます。
2. カテゴリペインの [スペシャル アイテム] から **[イメージ ウェル]** を選択します。

未分類の画像を表示するには:

1. 管理モードの **[表示]** メニューから **[カテゴリ]** を選択して、カテゴリペインを開きます。
2. カテゴリペインの [スペシャル アイテム] から **[未分類]** を選択します。
3. 「イメージ ウェル」と「未カテゴリ」機能では、データベース内のカタログ化された画像のみが表示されます。これらの機能は、ハードディスクから特定のファイルタイプを検索するわけではありませんのでご注意ください。

共有する

ACDSee 12 で共有する

ACDSee 12 を使用して、ご家族やお友だちと画像を簡単に共有することができます。ACDSee 12 から直接電子メールで送信したり、Web サイトに画像をアップロードしたり、HTML アルバム プラグインを使用して Web ページをカスタマイズしたりすることができます。

さらに、ACDSee 12 のディスクの作成ウィザードを使用して、大切な画像をディスクに書き込んで保存することができます。ACDSee 12 が作成したスライドショーやスクリーンセーバーは、ACDSee 12 がなくてもコンピュータを持っているユーザーなら誰にでも共有することが可能です。

スクリーン キャプチャを実行する

ACDSee スクリーン キャプチャ ユーティリティを使って、画面の様々な領域をキャプチャして画像を作成することができます。キャプチャする領域、キャプチャの方法、キャプチャされた画像の出力先などを選択することができます。

スクリーン キャプチャを実行するには:

1. 管理モード、あるいは表示モードで、**[ツール]** メニューから **[スクリーン キャプチャ]** をクリックします。
2. [スクリーン キャプチャ] ダイアログ ボックスの [ソース] セクションで、キャプチャしたい画面の領域を指定します。ソース オプションの詳細につきましては、下記の表を参照ください。
3. マウス ポインタも含みたい場合、**[マウス ポインタを含む]** チェックボックスをオンにします。
4. [出力先] セクションで、キャプチャされた画像の出力先を指定します。
5. [キャプチャの実行] セクションで、スクリーン キャプチャの実行方法を指定します。
6. **[開始]** をクリックし、スクリーン キャプチャを起動します。

タスクバーにスクリーン キャプチャのアイコンが表示されます。

7. キャプチャする画面の領域を表示し、スクリーン キャプチャのアイコンに表示される吹き出しの手順に従ってください。
8. スクリーン キャプチャを実行せずにユーティリティを終了するには、[スクリーン キャプチャ] アイコンを右クリックし、**[スクリーン キャプチャの終了]** を選択します。

スクリーン キャプチャのオプション

デスクトップ	**現行モニタ**	画面に表示されている領域全体の画像をキャプチャします。
ウィンドウ	**ウィンドウ全体**	アクティブ ウィンドウ全体をキャプチャします。
	コンテンツのみ	ウィンドウ内のコンテンツをキャプチャします。(フレームまたはタイトル バーはキャプチャされません) 。
領域	**固定サイズ**	画面の固定領域をキャプチャします。 ドロップダウン ボタンをクリックして、サイズの設定を選択するか、**[カスタマイズ]** を選択して、カスタム サイズをピクセルで入力します。
	選択領域	画面の選択領域をキャプチャします。マウス ポインタをクリック&ドラッグして、キャプチャしたい領域を囲みます。
オブジェクト	**子ウィンドウ**	ウィンドウの一部をキャプチャします。例 : ツールバー、ボタン
	ポインタの置かれたメニュー	選択されたメニュー コマンドをキャプチャします。
マウス ポインタを含む	スクリーンキャプタにカーソルを含みます。	
出力先 オプション	**クリップボード**	クリップボードにキャプチャされた画像を保存します。画像をクリップボードに一時保存し、新しい場所に貼り付けることができます。
	ファイル	[スクリーン キャプチャの保存] ダイアログ ボックスを表示します。場所、フォーマット、ファイル名を指定できます。
	エディタ	キャプチャした画像を既定の画像エディタで表示します。
キャプチャの実行 オプション	**ホットキー**	スクリーン キャプチャを実行するキーの組み合わせを指定します。 ホットキーを設定するには、キーボードでキーまたはキーの組み合わせ (例 : <Ctrl> + <S> キー) を押します。ボックスには入力しません。
	タイマー	指定された時間が経過した後で、スクリーン キャプチャを実行します。デスクトップまたはウィンドウでスクリーン キャプチャの準備をするための十分な時間を設定します。最大設定時間は 60 秒間です。

電子メールで送信する

電子メールの送信 ウィザードを使用して、他の電子メール アプリケーションを開くことなく ACDSee 内から直接画像を送信することができます。電子メールの送信 ウィザードを使用するには、有効な電子メールアカウントが電子メールアプリケーションの既定値として設定されているか、SMTP サーバーにアクセスできるように設定されている必要があります。

電子メールで画像を送信するには:

1. ファイル一覧ペインから画像を選択して、**[ファイル]** メニューから **[送信]**、**[電子メール]** をクリックします。
   - 画像を追加したい場合には、**[追加]** をクリックします。画像の追加が完了したら **[OK]** をクリックします。
   - 画像を削除したい場合には、**[削除]** をクリックします。画像はウィザードより削除されますが、実際のフォルダやファイルの場所から削除されるわけではありません。
   - 電子メールの最大サイズや JPEG に変換するなど、電子メールや画像オプションを選択したい場合は、**[オプション]** をクリックします。オプションの選択が完了したら **[適用]** をクリックします。

- 既定の電子メール クライエントまたは SMTP サーバーを使用するなど、電子メール アカウントの設定を変更したい場合、**[変更]** をクリックします。電子メール アカウントの変更が完了したら、**[OK]** をクリックします。

2. [電子メールの送信ウィザード] にある **[次へ]** をクリックします。
   - **[既定の電子メールクライアント経由で送信]** を選択した場合、新規のメッセージに画像と電子メール情報が追加されます。通常のメッセージを扱うように、メッセージを編集してから送信します。
   - **[SMTP サーバー経由で送信]** を選択した場合、電子メールの送信先、件名、メッセージを入力します。**[次へ]** をクリックします。
3. 画像の送信が終了したら、**[完了]** をクリックして [電子メールの送信ウィザード] を閉じます。

Hotmail や Yahoo (無料アカウント) のようなインターネット ベースのアプリケーションの中には SMTP をサポートしないものがありますので、[電子メールの送信ウィザード] と合わせて使用することができません。Gmail、Yahoo (アップグレード アカウント)、AOL などその他のアプリケーションでは、POP/SMTPのアカウントを設定する必要があります。電子メール アカウントの設定方法は各アプリケーションによって異なりますので、詳細につきましては各アプリケーションのWeb サイトから SMTP を検索してしてください。

スクリーン セーバーを作成する

お気に入りの画像を使用してスクリーン セーバーを作成することができます。スクリーン セーバー オプションでは、各画像の表示時間、背景色の設定、トランジション効果の適用、ヘッダーまたはフッターの追加などを設定することができます。

スクリーン セーバーを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから複数の画像を選択して、**[ツール]** メニューから **[スクリーン セーバーの設定]** を選択します。
2. [ACDSee スクリーン セーバー] ダイアログ ボックスの **[追加]** をクリックして、スクリーン セーバーに使用する画像を選択します。スクリーン セーバーから画像を削除するには、画像を選択して **[削除]** をクリックします。
3. **[設定]** をクリックして、以下に説明されているオプションを指定し、[OK] をクリックします。
4. スクリーン セーバーをデスクトップで自動的に起動させるには、**[既定のスクリーン セーバーとして保存する]** チェックボックスをオンにします。
5. 選択した項目を確認したら、**[OK]** をクリックします。

コンピュータでスクリーン セーバーをアクティブにするには:

Windows のコントロール パネルから [画面] をクリックし、[スクリーン セーバー] タブを選択した後、スクリーン セーバーのドロップダウンリストから **[ACDSee スクリーン セーバー]** を選択します。

ACDSee スクリーンセーバー オプション

ベーシック	**トランジションを選択してください。**	トランジションの一覧が表示されます。トランジションを選択すると、プレビューに反映されます。 • **すべて選択**：すべてのトランジションが選択され、ランダムに表示されます。 • **すべてクリア**：選択されたトランジションをすべてクリアします。 これらのトランジションは 2 画像、4 画像、コラージュのバリエーションではご利用いただけません。
	バリエーション	ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを実行します： • **なし：** バリエーションを使用しません。 • **パン＆ズーム**：各スライドの表示時間に合わせて、パンニング & ズーム表示を行います。 • **2画像**：一度に 2 つの画像をまとめて表示します。 • **4画像**：一度に 4 つの画像をまとめて表示します。 • **コラージュ**：画像の重なり合ったコラージュとして表示します。
	効果	ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを実行します： • **なし：** 効果を使用しません。 • **モノクロ**：すべての画像をグレースケールで表示します。 • **セピア**：すべての画像をセピアで表示します。 • **ヴィヴィッド**：画像の彩度を増やすことで、全体を明るくヴィヴィッドに表示します。 • **ソフト**：画像をわずかにぼかすことで、ソフトに表示します。
	背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックして、色を選択または変更します。**[その他]** をクリックして、色の設定 でカスタムの色を選択します。
	スライドの表示間隔 (秒)：	スクリーンセーバーの各画像の表示時間を指定します。
アドバンス	**全般**	次のオプションから選択します： • **埋め込みオーディオの再生**：画像に埋め込まれているオーディオを再生します。 • **画面に合わせて画像を表示**：画面のサイズに合せて小さい画像を拡大します。
	スライドの順序	以下のいずれかのオプションを選択し、画像の表示順序を指定します： • **昇順、または降順** • **シャッフル**
テキスト	**ヘッダー テキストの表示**	画像の上にテキスト キャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。
	フッター テキストの表示	画像の下にテキスト キャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。

スクリーンセーバー テキスト オプション

配置	キャプションの配置を指定します。
背景色	キャプションの背景色を指定します。
テキスト	キャプションとして表示するテキストを入力します。
フォント	[フォント] ダイアログ ボックスを開き、テキストのフォント オプションを選択または変更します。
メタデータの挿入	メタデータとして知られるファイルの固有情報をキャプションに挿入します。 クリックして [プロパティの選択] ダイアログ ボックスが開かれますので、挿入したいメタデータを選択します。

スライドショーの表示と設定

画像のスライドショーは、管理モードまたは表示モードのいずれかから表示することができます。スライドショーを自動実行するように設定したり、画像の表示時間、背景色の選択、トランジション効果の適用、ヘッダー/フッターの追加などのオプションを設定したりすることも可能です。

管理モードからスライドショーを起動するには:

1. 次のいずれかを実行します:
   - ファイル一覧 ペインから、複数の画像を選択します。
   - フォルダ ペインで、フォルダを選択するか イージーセレクト バー を使って画像が格納されている複数のフォルダを選択します。
2. **[ツール]** メニューから **[スライドショー]** を選択します。

表示モードからスライドショーを起動するには:

[ツール] メニューから **[スライドショー]** を選択します。

スライドショーを設定するには:

1. 管理モードで、次のいずれかを実行します:
   - ファイル一覧 ペインから、複数の画像を選択します。
   - フォルダ ペインで、フォルダを選択するかイージーセレクト バーを使って画像が格納されている複数のフォルダを選択します。
2. **[ツール]** メニューから **[スライドショーの設定]** を選択します。
3. [スライドショーのオプション設定] ダイアログ ボックスで、下の表を参考にしてオプションを選択または変更します。
4. 現在のオプション設定を既定値として保存するには、**[現在の設定を既定値として保存する]** チェックボックスを選択します。
5. **[OK]** をクリックします。

スライドショー オプション

ファイルの選択	**スライドショーの内容**	スライドショーに含むメディアの種類を指定します: • **現行フォルダ内のすべてのメディア ファイル**: 現在選択されているフォルダ内に含まれるすべてのファイル(画像またはビデオ)を表示します。 • **現行フォルダとサブフォルダ内のすべてのメディア ファイル**: 現在選択されているフォルダとそのサブフォルダ内に含まれているすべてのファイルを表示します。 • **選択されたメディア ファイル**: [スライドショーのプロパティ] ダイアログを開く前に選択されていたファイルのみを表示します。
	この内容を常に使用し、スライドショーを自動再生する	スライドショーを次回実行する際、**[スライドショーの内容]** 内で現在指定されている設定を使って自動再生されます。

ベーシック	**トランジションを選択してください。**	トランジションの一覧が表示されます。トランジションを選択すると、プレビューに反映されます。 ● **すべて選択**：すべてのトランジションが選択され、ランダムに表示されます。 ● **すべてクリア**：選択されたトランジションをすべてクリアします。 これらのトランジションは 2 画像、4 画像、コラージュのバリエーションではご利用いただけません。
	バリエーション	ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを実行します： ● **なし**：バリエーションを使用しません。 ● **パン＆ズーム**：各スライドの表示時間に合わせて、パンニング & ズーム表示を行います。 ● **2画像**：一度に 2 つの画像をまとめて表示します。 ● **4画像**：一度に 4 つの画像をまとめて表示します。 ● **コラージュ**：画像の重なり合ったコラージュとして表示します。
	効果	ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを実行します： ● **なし**：効果を使用しません。 ● **モノクロ**：すべての画像をグレースケールで表示します。 ● **セピア**：すべての画像をセピアで表示します。 ● **ヴィヴィッド**：画像の彩度を増やすことで、全体を明るくヴィヴィッドに表示します。 ● **ソフト**：画像をわずかにぼかすことで、ソフトに表示します。
	背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックして、色を選択または変更します。**[その他]** をクリックして、色の設定 でカスタムの色を選択します。

スライドの表示間隔(秒):	スクリーンセーバーの各画像の表示時間を指定します。	
アドバンス	**全般**	次のいずれかのオプションをオンまたはオフにします: ● **埋め込みオーディオの再生**: 画像に埋め込まれているオーディオを再生します。 ● **コントロールバーの自動非表示**: マウスポインタが数秒以上動いていない場合、スライドショーのコントロールバーを自動的に隠します。 ● **ループ**: 最後の画像が表示された後も、スクリーンセーバーを繰り返し表示します。 ● **画面に合わせて画像を表示**: 画面のサイズに合せて小さい画像を拡大します。 ● **画面に合わせてビデオを表示**: 画面全体に合せてビデオファイルを拡大します。
	スライドの順序	以下のいずれかのオプションを選択し、画像の表示順序を指定します: ● **昇順、または降順** ● **シャッフル**
	ミュージック ディレクトリ	以前選択されたフォルダからミュージックを表示するか、**[参照]** をクリックして新しいフォルダを選択します。
テキスト	**ヘッダー テキストの表示**	画像の上にテキスト キャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。
	フッター テキストの表示	画像の下にテキスト キャプションを表示します。オプションを設定して、表示したいテキストを指定します。
現在の設定を規定値として保存する		すべてのタブの現在の設定を保持し、次回スライドショーを起動する際に適用します。

スライドショー テキスト オプション

配置	キャプションの配置を指定します。
背景色	キャプションの背景色を指定します。
テキスト	キャプションとして表示するテキストを入力します。
フォント	[フォント] ダイアログ ボックスを開き、テキストのフォント オプションを選択または変更します。
メタデータの挿入	メタデータとして知られるファイルの固有情報をキャプションに挿入します。 クリックして [プロパティの選択] ダイアログ ボックスが開かれますので、挿入したいメタデータを選択します。

スライドショーとスクリーン セーバーを共有する

ACDSee を使って、スライドショーやスクリーン セーバーを作成してご家族やお友だちと共有したり、Web サイトに掲載したりすることができます。スライドショーまたはスクリーンセーバーのプロジェクトは、保存することができるため、後で編集することも可能です。スライドショーの作成ウィザードが手順をご案内します。

スライドショーを作成するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[作成]**、**[スライドショー ファイル]** をクリックします。
2. [ようこそ] ページから、新規スライドショーを作成するには、**[新規スライドショーを作成する]** ラジオボタンを選択します。スライドショーの種類を指定するには、次のオプションから 1 つを選択します:
   - **スタンドアロン スライドショー**: すべての画像とそれらの画像を表示するのに必要なものを含む、シングル実行ファイル(.exe) を作成します。このファイルの種類は、ACDSee をインストールしていなくても、コンピュータを持っている人なら誰でも閲覧することがで

きます。

- **Windows スクリーン セーバー**: 標準の Windows スクリーン セーバー ファイル (.scr) を作成し、Windows システムに保存して使用することができます。
- **Adobe Flash Player スライドショー**: Web サイトに掲載することができる、コンパクトな Adobe Flash ファイル (.swf) を作成します。

3. 既存のスライドショーやスクリーンセーバーのプロジェクトを編集するには、**[既存のスライドショーをロードする]** ラジオボタンを選択し、**[参照]** をクリックしてプロジェクト (.asw ファイル) の保存先を指定します。
4. **[次へ]** をクリックして続行します。
5. 「画像の選択」のページで、スライドショーに表示される画像を確認することができます。ここで表示される画像の順番が、スライドショーの順番として設定されます。画像を変更するには **[追加]** または **[削除]** をクリックします。また、矢印ボタンを使って画像の順番を変更します。**[次へ]** をクリックして続行します。
6. 「ファイル固有オプションの設定」のページで、サムネイルの横に表示されているハイパーリンクをクリックし、各画像のオプションを設定します。ここで画像間のトランジション、トランジションとスライドの表示間隔 (長さ) 、テキスト キャプション、画像が表示される際のオーディオ ファイルを設定します。注意 : オプションは出力ファイルのフォーマットによって異なり、すべてのフォーマットが全オプションをサポートしているわけではありません。**[次へ]** をクリックして続行します。
7. 「スライドショーのオプション設定」のページで、各スライドを自動または手動で表示するか、スライドの表示順番、コントロールの表示/非表示などを設定します。BGM に使うオーディオ ファイルを追加したり、画質、スピード、トランジションを調整することができます。**[次へ]** をクリックして続行します。
8. 次のページでは、画像サイズのオプション、スライドショーファイルとプロジェクト ファイルの保存先を設定します。
9. 最後に **[次へ]** をクリックして、スライドショーの作成が完了するまで待ちます。完了したら、スライドショーを再生または終了します。または、ディスクの作成ウィザードを起動させて、スライドショーを CD または DVD に書き込むことができます。

オーディオ ファイルを画像に適用してある状態で、スライドショー オプションのページでもスライドショー全体にオーディオを設定している場合には、スライドショーの表示中に両方のオーディオが再生されることになりますのでご注意ください。

デスクトップ スライドショーを作成する

ACDSee Showroom を使用して、お気に入り画像のスライドショーを作成し、コンピュータのデスクトップに小さなウィンドウとして表示することができます。一度に最高 16 ものスライドショーを起動することが可能です。

ACDSee Showroom のウィンドウは、他のアプリケーションの上に常に表示するように設定することができます。また、コンピュータの起動時に ACDSee Showroom ウィンドウを自動実行するようにも設定できます。ACDSee Showroom を使用するために ACDSee を開く必要は全くありません。

ACDSee Showroom でデスクトップ スライドショーを作成するには:

1. 管理モードで、デスクトップ スライドショーに使用したい画像を含んでいるフォルダをナビゲートします。
2. 次のいずれかを実行します:
   - **[ツール]** メニューから**[作成]**、**[ACDSee Showroom]** をクリックします。
   - **[スタート]** ボタンから **[プログラム]**、次に **[ACD Systems]** から **[ACDSee Showroom]** をクリックします。

   スライドショーがすぐに起動されます。ACDSee Showroom のアイコンがタスクバーに表示されます。

ACDSee Showroom スライドショーのコントロールの使い方

ACDSee Showroom ウィンドウには次のようなコントロールが含まれています。

- スライドショーの前の画像、あるいは次の画像を表示するには、**[戻る]** または **[次へ]** ボタンをクリックします。
- 特定の画像が表示されている間、**[一時停止]** ボタンをクリックしてスライドショーを一時停止することができます。

ACDSee Showroom ウィンドウ内にこれらのコントロールが表示されない場合は、ウィンドウ内の任意の場所をクリックします。スライドショー再生時は、写真をフルにお楽しみいただけるようコントロールが非表示になります。

複数の ACDSee Showroom を作成するには:

ACDSee Showroom が開かれている状態で、次のいずれかを実行します:

- ACDSee Showroom ウィンドウ内の任意の場所を右クリックし、**[Showroom の新規作成]** を選択します。
- タスクバーの [ACDSee Showroom] アイコンをクリックし、**[Showroom の新規作成]** を選択します。

ACDSee Showroom を閉じるには:

次のいずれかを実行します:

- ACDSee Showroom ウィンドウの **[閉じる]** をクリックします。
- タスクバーの [ACDSee Showroom] アイコンをクリックし、**[ACDSee Showroom の終了]** を選択します。

コンピュータ起動時に ACDSee Showroom を自動実行するよう設定している場合には、次回コンピュータを起動すると ACDSee Showroom が自動実行されます。

PDF ファイルを作成する

ACDSee では、画像を PDF (Portable Document Format) ファイルに変換することができます。PDF ファイルの作成ウィザードでは、画像から 1 つ以上の PDF ファイルを作成する方法や、画像を PDF スライドショーに追加する方法をご案内します。

PDF ファイルを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、画像を選択します。
2. **[ツール]** メニューから **[作成]**、**[PDF]** をクリックします。
3. PDF ファイルの作成ウィザードの「ようこそ」のページで、次のいずれかのオプションを選択し、**[次へ]** をクリックします:
   - **PDF スライドショーを作成する**: すべての画像をまとめて、スライドショーとして表示することのできるシングル PDF ファイルを作成します。
   - **すべての画像を含む PDF ファイルを作成する**: すべての画像をまとめて、マルチページのシングル PDF ファイルを作成します。
   - **画像ごとに PDF ファイルを作成する**: 画像ごとに個別の PDF ファイルを作成します。
4. 「画像の選択」のページで、選択した画像を変更したり、矢印ボタンを使って画像の順序を変更したりします。**[次へ]** をクリックして続行します。
5. 次のいずれかを実行します:
   - [PDF スライドショーを作成する] を選択した場合、「トランジション オプション」のページで、各画像の横にあるハイパーリンクをクリックして、スライドショーに使用するトランジションを設定します。**[次へ]** をクリックし、スライドショーの順序、背景色、ファイル名オプションを指定します。**[次へ]** をクリックして続行します。
   - [すべての画像を含むPDFファイルを作成する] または [画像ごとに PDF ファイルを作成する] を選択した場合、「ファイル オプション」のページで、ファイル名と保存先を指定し、**[次へ]** をクリックします。
6. **[完了]** をクリックしてウィザードを終了し、ACDSee に戻ります。

PowerPoint プレゼンテーションを作成する

「PPT の作成ウィザード」を使用して、ACDSee 内から素早く PowerPoint プレゼンテーションを作成することができます。ウィザードは、ご希望の画像を使ったプレゼンテーションの作成または編集のプロセスをご案内します。スライドの長さ、ファイルの場所、各スライドの画像数を設定したり、背景にデザイン テンプレートを使用するかを指定することができます。また、各スライドにキャプション、タイトル、注記を追加することができます。

この機能は、ご使用のコンピュータに Microsoft PowerPoint がインストールされている場合にのみご利用いただけます。また、RAW ファイルはサポートされていないため、RAW ファイルを別のファイル フォーマットに変換する必要があります。

PowerPoint プレゼンテーションを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、画像を選択します。
2. **[ツール]** メニューから **[作成]**、**[PPT]** をクリックします。
3. PPT の作成ウィザードの [画像の選択] ページで、**[追加]** をクリックして画像を追加します。
4. **[次へ]** をクリックします。
5. [プレゼンテーション オプション] ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します:
   - プレゼンテーションを新規作成する場合、**[プレゼンテーション オプション]** 領域で各スライドの表示時間(長さ)を指定します。
   - プレゼンテーションを編集している場合、**[既存プレゼンテーション]** を選択し **[パス]** フィールドをアクティブにした後、該当のプレゼンテーションを参照します。プレゼンテーションの開始、または終了にスライドを挿入したい場合は、**[スライドの挿入]** からオプションを選択します。
   - ドロップダウン リストから **[各スライドの画像数]** を選択します。(1 画像よりも大きい数を選択した場合、次ページで「タイトル」と「注記」オプションを設定することはできません。)
   - プレゼンテーションに画像を埋め込むのではなく、画像と ACDSee をリンクした状態に保ちたい場合には、**[画像ファイルへリンク]** を選択します。
   - **[デザイン テンプレートの使用]** をクリックし、ご利用になっているコンピュータのフォルダを参照に背景用のテンプレートを選択します。(PowerPoint のテンプレートは通常 C:\Program Files\Microsoft Office\Templates\Presentation Designs に格納されています。)
6. **[次へ]** をクリックします。
7. [テキスト オプション] ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します:
   - **[キャプション]** タブで、キャプションとなるテキストを入力し、背景色と配置を指定します。フォントを選択したり、ファイル名や画像サイズといったメタデータ情報を挿入することも可能です。キャプションはスライドの下部に表示されます。
   - **[タイトル]** タブで、スライドのタイトルを入力し、背景色と配置を指定します。フォントを選択したり、メタデータ情報を挿入することも可能です。
   - **[注記]** タブで、各スライドに添付される「注記」セクションに表示されるテキストを入力します。注記は、スライド自体では表示されませんのでご注意ください。
8. **[作成]** をクリックします。

   作成されたプレゼンテーションが PowerPoint で開かれます。他のプレゼンテーション同様、編集が可能です。

CD または DVD を作成する

「ディスクの作成バスケット」を使用して、CD や DVD に写真やファイルを焼いて、コンピュータで使用することができます。ディスクの作成バスケットを使用するには、CD または DVD の書き込みデバイスがインストールされている必要があります。

ディスクの作成バスケットを使用すれば、ディスクへの書き込み準備が整うまで、画像やファイルの管理、並べ替え、格納といった作業を行うことができます。選択するディスク フォーマットによって、ユーザー指定のフォルダを作成する、既存フォルダを使用する、あるいはファイル構成を自動作成することが可能です。

テレビで再生可能な CD を作成したい場合には、VCD ウィザード を使用します。

CD または DVD を作成するには:

1. ディスクの作成バスケットを開くには、次のいずれかを実行します:
   - 管理モードで、**[表示]** メニューから **[ディスクの作成バスケット]** をクリックします。
   - 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[作成]**、**[CD または DVD]** をクリックします。

2. [ディスクの作成 バスケット] 内で、ツールバーにある **[ディスク バーナー]** ドロップダウン リストから、ディスク作成のデバイスを選択します。このドロップダウン リストに表示されるオプションは、ご利用になっているコンピュータの CD/DVD ハードウェアによって変わります。
3. **[出力フォーマット]** ドロップダウン リストから、次のいずれかを実行します: このドロップダウン リストに表示されるオプションは、上記の手順 2 で選択されたバーナーと、そのサポートするファイル フォーマットによって変わります。
   - **データディスク**: スタンダードの CD または DVD を作成します。フォルダ構造はユーザーが指定し、画像とあらゆる種類のファイルを含むことができます。**[フォーマット オプション]** ボタンをクリックし、ファイルと関連付けられているACDSee データベース情報を含むかどうか指定します。
   - **HTML スライドショーディスク**: ディスクにコピーされた画像やメディアファイルを使ったスライドショーを、CD またはDVD に作成します。スライドショーは、CD または DVD ドライブにディスクが挿入されると同時に開始されます。HTML スライドショー ディスクは複数のフォルダを含むことができませんので、ご注意ください。**[フォーマット オプション]** ボタンをクリックし、スライドショーに使用するオプションを選択します。
   - **HighMAT ディスク**: HighMAT 対応デバイスで再生することができるスライドショーを含んだ、HighMAT CD を作成します。HighMAT ディスクにはファイルにアクセスするためのグラフィカル ユーザーインターフェイスが含まれますが、ファイルが変更されたり、別のフォーマットに変換される場合があります。
   - **MPV ディスク**: MPV 対応デバイスで再生することができるスライドショーを含んだ、MPV CD を作成します。MPV ディスクにはファイルにアクセスするためのグラフィカル ユーザーインターフェイスが含まれますが、ファイルが変更されたり、別のフォーマットに変換される場合があります。
4. データディスク フォーマットを選択したら、[ディスクの作成 バスケット] の左にあるペインで、ディスク作成に使用するフォルダ構成を編集します。新規フォルダを作成するには、フォルダ上を右クリックしショートカット メニューから**[新規フォルダ]** を選択します。新規フォルダの名前を入力し、**<Enter>** キーを押します。
5. ディスクの作成 バスケットのペインに、フォルダをドラッグすることも可能です。左のペインにフォルダをドラッグする場合、マウスボタンを放す前に、フォルダ ツリーの既存フォルダにカーソルが置かれているかを確認します。
6. ディスクに画像やその他のファイルを追加するには、ファイル一覧ペインからディスクの作成バスケットにファイルを直接ドラッグする、あるいはファイルを選択した後に **[編集]** メニューから **[ディスクの作成バスケットに追加]** をクリックします。[ディスクの作成バスケット] ツールバーにあるボタンを使用してバスケット内の内容を調整したり、プロジェクトを保存あるいは開くことができます。詳細につきましては、以下の表をご覧ください。
7. ディスクの作成準備が完了したら、**[書き込み]** をクリックします。

ディスクの作成バスケット ツールバー ボタン

	フォーマット オプション	選択フォーマットに使用するオプションを設定できる、[フォーマット オプション] ダイアログが表示されます。
	ディスクの作成バスケットに追加	現在選択されているファイルやフォルダを、ディスクの作成バスケットに追加します。
	ディスクの作成バスケットから削除	現在選択されているファイルやフォルダを、ディスクの作成バスケットから削除します。
	すべて解除	ディスクの作成バスケット内の項目をすべてクリアします。
	新規フォルダ	新規サブフォルダを作成します。
	名前を変更する	現在選択されているファイルまたはフォルダの名前を変更します。
	プロジェクトの保存	ディスクの作成バスケット内で使われている項目や設定をプロジェクト ファイルとして保存します。プロジェクト ファイルは後で編集することができます。
	プロジェクトを開く	保存されているプロジェクトを開きます。

ビデオファイルまたは VCD を作成する

[ビデオまたは VCD の作成] ウィザードを使用して、お気に入りの画像やメディアファイルをスライドショーのビデオファイルとして作成したり、テレビで再生可能な VCD を作成することができます。(VCD ウィザードは、CD または DVD の作成を使用した CD フォーマットとは異なるフォーマットを作成します。)

ビデオまたは VCD を作成するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[作成]**、**[ビデオまたは DCD]** をクリックします。
2. [ようこそ] ページで、以下のいずれかのオプションを選択します:
   - **VCD の作成**
   - **ビデオファイルの作成**
3. ウィザードの手順に従って、スライドショーを作成します。ビデオファイルまたはVCD の作成に関する詳細につきましては、ウィザード内にある**[ヘルプ]** ボタンをクリックしてください。

HTML アルバムを作成する

[HTML アルバム] ウィザードを使用して、画像コレクションをインターネットに掲載することができます。HTML アルバムは、スライドショーのコントロールやサムネイル表示を含みます。ギャラリー スタイル一覧から希望するテンプレートを選択し、気に入った画像をロゴとして追加したり、ヘッダーやフッターにテキストを入力してカスタマイズします。もちろんフォントの色やスタイルも設定可能です。

HTML アルバムを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、画像を選択します。
2. **[ツール]** メニューから **[作成]**、**[HTML アルバム]** をクリックします。
3. [HTML アルバムの作成] ウィザードの [スタイルの設定] ページで、[ウェブ ページのスタイル] ボックスから希望するギャラリー スタイルを選択します。

ギャラリー スタイルとその他の設定を選択したら、**[ギャラリーのプレビュー]** をクリックして、HTML アルバムの仕上がりプレビューを確認します。**[アルバムの作成]** をクリックして、[HTML アルバムの作成] ウィザードのあらゆるページから、HTML アルバムを作成することも可能です。

4. **[次へ]** をクリックします。
5. [ギャラリーのカスタマイズ] ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します:
   - **[ギャラリー タイトル]** のテキスト ボックスに、ウェブ ページの上部に表示するタイトルを入力します。
   - **[ヘッダーを含む]** を選択してページ上部にヘッダーを表示する、あるいは **[ヘッダーを含む]** のチェックボックスをクリアしてヘッダー テキストの表示を解除します。
   - **[フッターを含む]** を選択してページ上部にフッターを表示する、あるいは **[フッターを含む]** のチェックボックスをクリアしてフッター テキストの表示を解除します。
   - ヘッダーあるいはフッターに画像を表示させたい場合には、**[画像を使用する]** を選択した後に **[参照]** をクリックし、会社のロゴやユーザーのポートレイトなど希望する画像を選択します。
   - ヘッダーまたはフッターにテキストを表示させたい場合には、**[情報を使用する]** を選択した後に **[情報の設定]** をクリックし、希望する情報を選択します。
   - **[フォルダ設定]** セクションにある **[参照]** をクリックし、HTML アルバムファイルの保存先を指定します。
6. **[次へ]** をクリックします。
7. [サムネイルと画像] ページで、次のいずれかあるいはすべてを実行します:
   - **[サムネイル設定]** セクションで、アルバムの外観とサムネイルのフォーマットを調整します。
   - **[画像設定設定]** セクションで、アルバムの外観とフルサイズ画像のフォーマットを調整します。
   - **[スライドショーの長さ]** セクションで、スライドショー内のフルサイズ画像の表示時間を指定します。
   - **[カラーとフォント設定]** セクションの **[カラーとフォント]** をクリックして、ウェブ ページに使用する色とフォントを設定したら、**[OK]** をクリックします。

[設定の保存] をクリックして、特定のウェブスタイルに選択した設定を保存します。設定を保存しておくと、[HTML アルバムの作成] ウィザードにある [スタイルの設定] ページで、その設定を次回から再利用できるため便利です。

8. **[次へ]** をクリックして HTML アルバムを作成します。ACDSee が Web ページとサムネイルの作成に時間がかかることがあります。しばらくお待ちください。
9. **[別のアルバムを作成する]** をクリックして別のアルバムを作成するか、**[完了]** をクリックしてウィザードを閉じ ACDSee に戻ります。

   HTML アルバムを Web サイトに掲載するには、FTP または別の方法を使う必要があります。

Web サイトに画像をアップロードする

Flickr、SmugMug のような画像共有サイトに、ACDSee 12 から直接画像や写真をアップロードできるようになりました。これらのサイトにアップロードする前に、アカウントを作成する必要があります。ご希望の場合には、初めてアップロードするプロセスの一部として、アカウントを作成することができます。

接続する

Web サイトにアップロードする前に、まずそのサイトに接続する必要があります。接続したら、ACDSee 12を離れることなく素早く画像をアップロードすることができます。各サービスのヘルプにつきましては、各サービスのダイアログボックスにある **[ヘルプ]** ボタンをクリックしてご覧ください。

サービスについて情報を得るためには:

1. 管理モードで **[ファイル]** メニューから **[送信]**、**[アップロード]** をクリックします。
2. **[アップロードするサービスの選択]** ボックスから、名前をクリックします。

   選択されたサービスに関する情報が、右手のボックスに表示されます。

Web サイトに画像をアップロードするには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、アップロードする画像を選択します。
2. **[ファイル]** メニューから**[送信]**、**[アップロード]** を選択します。
3. [アップロード マネージャ] ダイアログから、使用するサービスを選択し、**[次へ]** をクリックします。
4. ウィザードの指示に従って画像をアップロードします。各サービスによって手順が異なりますのでご注意ください。
5. ヘルプが必要な場合には、**[ヘルプ]** ボタンをクリックします。サービスごとにヘルプファイルが用意されています。ダイアログボックス内に該当のヘルプファイルが表示されます。

新規サービス

新規サービスがご利用いただけるようになると、サービスの名前が **[使用可能な新規サービス]** ボックスに表示されます。新規サービスにはフォトパブリッシュやその他のオンライン サービスを含んでいることがあります。新規サービスが使用できるようになると、ただちに [使用可能な新規サービス] ボックスに自動表示されます。そのため、すぐに新規サービスをインストールし、ご使用いただくことが可能です。

新規サービスをインストールするには:

1. **[使用可能な新規サービス]** ボックスに新規サービスが表示されたら、その名前を選択し **[インストール]** をクリックします。
2. 表示される指示に従ってインストールを行います。

コンタクトシートを作成する

ACDSeeを使って、画像サムネイルをページに並べて表示した「コンタクトシート」を作成することができます。コンタクトシートは、画像の管理や共有に大変便利です。「コンタクトシートの作成」ユーティリティを使用して作成したコンタクトシートは、マルチ画像フォーマットまたは HTML 画像マップとして保存することができます。また、現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

サムネイルのサイズは、コンタクトシートで設定された行、列数やサムネイル間のスペースによって変化します。

コンタクトシートを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、画像を選択します。
2. **[ツール]** メニューから **[作成]**、**[コンタクトシート]** をクリックします。
3. コンタクトシート フォーマット 領域から、コンタクトシートのオプションを設定します。

4. 出力設定 領域から、出力の設定オプションを設定します。
5. 必要に応じてページのテキスト を追加、または変更します。
6. **[OK]** をクリックします。

出力ファイルのパスを指定しない場合、ファイルに「Contact Sheet.＜ext＞」という名前を付けて既定の画像フォルダ内に保存します。コンタクトシートがマルチページの場合、「**Contact Sheet3.bmp**」のようにファイル名の後に数字が加わります。

コンタクトシート フォーマット オプション

サムネイル設定	**サイズ**	各ページの行数と列数を指定します。
	スペース	サムネイルにフレームを追加します。行と列の間のスペースの値を指定します。**[横]** および **[縦]** スピンボックスに、表示されるサムネイル間のスペースの値を入力します。
フレーム オプション	**サムネイル フレームを使用する**	サムネイルにフレームを追加します。
	余白	フレームの幅を指定します。
	無地	フレームの色を指定します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	並列画像	フレームとして使う画像を指定します。**[参照]** をクリックして使用する画像を指定します。
サムネイル オプション	**ドロップシャドウ**	各サムネイルにドロップシャドウ効果を加えます。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	フェードエッジ	画像のフレームにフェード効果を加えます。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	マット	サムネイルにV カットの枠を加えます。この効果はプレビューには反映されませんので、予めご了承ください。
	V カット枠	ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
ページ背景オプション	**無地**	ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	並列画像	ページの背景に並列画像を使用します。**[参照]** をクリックして使用する画像を指定します。

アーカイブ ファイルを作成する

アーカイブの作成 プラグインを使って、画像やメディアファイルのアーカイブ ファイルを作成することができます。「アーカイブの作成」機能は複数のアーカイブ フォーマットをサポートしているだけでなく、圧縮、暗号、パスワードの保護ツールを使って画像を管理することができます。

アーカイブを作成するには:

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、フォルダまたは複数のファイルを選択します。
2. **[ツール]** メニューから **[作成]**、**[アーカイブ]** をクリックします。
3. [アーカイブの作成] ダイアログ ボックスで、**[アーカイブの種類]** ドロップダウン リストから作成したいアーカイブ フォーマットを選択します。

   アーカイブ フォーマットによっては追加設定がありますので、**[設定]** ボタンをクリックして設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - 選択したサブフォルダの内容を含むには、**[サブフォルダを含む]** チェックボックスをオンにします。
   - アーカイブに隠しファイルを含むには、**[隠しファイルを含む]** チェックボックスをオンにします。
   - 選択したファイルとフォルダがアーカイブに追加された後にハード ディスクから削除するには、**[アーカイブ作成後にファイルを削除する]** チェックボックスをオンにします。

- アーカイブの内容をパスワードで保護するには、**[アーカイブをパスワード保護する]** チェックボックスをオンにして、フィールドにパスワードを入力します。注意：パスワードは、すべてのアーカイブの種類でサポートされているわけではありません。

5. **[出力ファイル]** フィールドにファイルのパスを入力するか、または **[参照]** をクリックしてフォルダを検索します。
6. 次のいずれかのオプションを選択します：
   - **既存のアーカイブに追加する**：ファイルを既存のアーカイブに追加します。このオプションは [出力ファイル] フィールドで指定したアーカイブが既に存在する場合にのみ利用できます。
   - **既存のアーカイブを上書きする**：既存のアーカイブを作成中のアーカイブで上書きします。このオプションは [出力ファイル] フィールドで指定したアーカイブが既に存在する場合にのみ利用できます。
7. 変更を確認したら、**[作成]** ボタンをクリックしてアーカイブファイルの作成を開始します。

アーカイブされたファイル (.zip) を展開する

ACDSee から離れることなく、アーカイブされたファイル (.zip) を素早く、簡単に展開することができます。フォルダに展開するか、ダブルクリックしてファイルの内容を表示するかのいずれかを選択します。

アーカイブされたファイルをフォルダに展開するには：

1. 管理モードで、フォルダペインを使用してアーカイブされたファイルを含んでいるフォルダをナビゲートします。
2. ファイル一覧に表示されている、アーカイブされたファイルをクリックします。
3. **[編集]** メニューから **[フォルダに展開する]** をクリックします。
4. [フォルダに展開する] ダイアログで、ファイルの保存先となるフォルダを指定します。
5. 新規フォルダを作成するには、**[フォルダの作成]** ボタンをクリックし、フォルダ名を入力してから **<Enter>** キーを押します。
6. 展開先のフォルダに同名のファイルが存在する場合の対応法を指定するには、**[重複ファイルを上書きする]** ドロップダウンから選択します。以下の選択肢から選択します：
   - **確認する**：各ファイルに対する対応法を確認するメッセージが表示されます。
   - **名前の変更**：重複ファイルに新しい名前が付けられます。
   - **置き換え**：重複ファイルは上書きされます。
   - **スキップ**：重複ファイルがある場合は、展開されません。
7. **[OK]** をクリックします。

アーカイブされたファイルの内容を表示するには：

1. 管理モードで、カーかイブファイルの含まれているフォルダをナビゲートします。
2. アーカイブされたファイルをダブルクリックします。

   ファイル一覧ペインに、アーカイブファイルの内容を示したサムネイルが表示されます。

SendPix アルバムを作成する

ACDSee には、デジタル画像の無料共有サービスである SendPix が含まれています。画像アルバムを作成し、ご家族やお友だちと共有することができます。作成したアルバムは、ACD Systems 社の保護サーバーに 30 日間保存されます。SendPix は、指定された受信者に電子メールを送信します。受信者は標準の Web ブラウザを利用してアルバムを表示することができますので、特別なソフトウェアをインストールする必要は全くありません。

また、個人のブログやサイトでホストすることができるフォト ウィジェットを作成することも可能です。フォト ウィジェットはスクロール可能なフォト ギャラリーのことで、クリックすると SendPix のフル アルバムにアクセスできます。

画像を SendPix で共有するには：

1. 管理モードのファイル一覧ペインから、画像を選択します。
2. **[ファイル]** メニューから **[送信]**、**[SendPix アルバム]** を選択します。

3. 「SendPix アルバムの作成ウィザード」の手順に従ってください。機能やコントロールについての詳細は、ウィザード内の **[ヘルプ]** ボタンをクリックしてください。

印刷

表示モードで画像を印刷する

ACDSee の印刷ユーティリティでは、プリンタでサポートされている画像の用紙サイズ、方向、およびプリンタがサポートしている解像度から印刷に使用する解像度を設定することができます。また、印刷ユーティリティを使えば、ヘッダー／フッター／キャプションが追加された画像のコンタクトシートを印刷することも可能です。

[印刷] ダイアログボックスのオプションを変更するたびに、アップデートされた画像のプレビューと用紙の位置が表示されます。その他に、出力サイズの調整、印刷部数の設定、各ページの画像の方向を変更することができます。

画像を印刷するには:

1. 管理モードで、印刷したい画像を選択します。
2. **[ファイル]** メニューから **[印刷]** を選択します。
3. **「印刷レイアウト」** のセクションで、下記のいずれかを実行します:
   - **[フルページ]** を選択し、**[フォーマット]** 一覧から希望する印刷サイズを選択します。
   - **[コンタクトシート]** を選択し、**[コンタクトシート フォーマット]** オプションを設定して希望するコンタクトシートを定義します。
   - **[レイアウト]** を選択し、希望するレイアウトオプションを 1 つ選択します。
4. **[プリンタ オプション]** タブをクリックし、使用するプリンタ用紙サイズ、印刷部数、印刷範囲、解像度などを指定します。
5. **[ページ設定]** タブをクリックし、ページの位置や余白などを指定します。
6. 各画像の印刷部数を指定します。**[フルページ]** または **[コンタクトシート]** を印刷する場合、このオプションは **[ページ設定]** タブに表示されます。**[レイアウト]** を印刷する場合、このオプションはレイアウト一覧の下に表示されます。
7. キャプション、ヘッダーまたはフッターを追加します。**[フルページ]** または **[コンタクトシート]** を印刷する場合、キャプション、ヘッダーまたはフッターを追加することができます。
8. **[印刷]** ボタンをクリックします。

プリンタ オプションを設定する

ACDSee を使って印刷する際、[印刷] ダイアログボックスの **[プリンタ オプション]** タブから、使用するプリンタを指定することができます。

プリンタ オプション

プリンタ	使用するプリンタを指定します。使用するプリンタをドロップダウン リストから選択したら、**[プロパティ]** ボタンをクリックしてプリンタのオプションを設定します。詳細については、プリンタ製造元のヘルプ ファイルをご参照ください。
用紙サイズ	Letter、Legal、A4 など、用紙サイズを指定します。
画像方向	**[縦]** または **[横]** の印刷方向を指定します。
印刷部数	印刷する部数を指定します。
印刷範囲	次のいずれかのオプションを選択します: ● **すべて**: ドキュメントのすべてのページを印刷します。 ● **ページ指定**: 指定されたページのみを印刷します。フィールドに開始ページと終了ページを入力します。
解像度	画像に使用する 1 インチあたりの解像度 (PPI＝pixels-per-inch) を指定します。大きな値ではインチあたりのドット数が多くなり、印刷する画像の解像度が高くなります。例: 600 PPI = 360,000 (600×600) PPI
フィルタ	画像を印刷する際に使用するリサンプル フィルタを指定します。ドロップダウン リストをクリックして、次のいずれかを実行します: ● **Box**: 画像のサイズを変更した際、タイリング またはジャギーが目立ちがちになります。 ● **Triangle**: 画像の拡大と縮小に適していますが、シャープなラインが表示される場合があります。 ● **Bicubic**: 写真のような画像、複雑な画像に適しています。補間法を使って、画像サイズの拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えます。 ● **Bell**: 画像をスムーズにします。 ● **B-Spline**: 画像をスムーズにしますが、ぼかし効果が強くなる場合もあります。 ● **Lanczos**: 最もシャープな画像に仕上がりますが、不自然な結果に仕上がることもあります。 ● **Mitchell**: 写真のような細かい画像を拡大する際、スムーズに仕上げます。[Lanczos] フィルタの不自然な仕上がりと他のフィルタのぼかし効果がうまく調和されたような結果になります。
ガンマ補正を行う	印刷画像にガンマ補正値を適用します。**[ガンマ補正値]** フィールドに 0.10 から 3.00 までの数字を入力して、画像のガンマ値を調整します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。
可能な場合は EXIF 2.2 印刷を使用する	デジタルカメラの種類によっては EXIF 情報をキャプチャするものがあります。EXIF 印刷を使用すると印刷の最適化に繋がります。ご使用になっているデジタルカメラおよびプリンタが EXIF 2.2 印刷をサポートしている場合には、このオプションを選択してください。

画像サイズと位置を設定する

[印刷] ダイアログ ボックスの **[ページ設定]** タブのオプションを使用して、印刷する画像のサイズおよび各ページの位置を設定することができます。

ページ設定 オプション

ページの位置	各ページの画像の位置を指定します。
余白	余白のサイズを指定します。値を入力するか、**「上」**、**「下」**、**「左」**、**「右」**スピンボックスの矢印をクリックします。
画像単位の印刷部数	各画像の印刷部数を指定します。必要に応じてページが追加されます。
印刷フォーマットに合わせて画像を自動回転する	各画像の印刷方向を自動選択にするかどうか指定します。チェックボックスをオンにすると、印刷する画像に合せて各ページの印刷方向を変更します。
縦横比を保持する	画像の縦横比を保持して印刷するかどうか指定します。次のいずれかのオプションを選択し、大きなサイズの画像の縦横比の扱い方を指定します。 • **印刷フォーマットに合わせてトリミングする**：印刷フォーマットに収まる画像の一部のみを印刷します。 • **印刷フォーマットに合わせて縮小する**：印刷フォーマットに合せて画像全体を縮小します。

ページにテキストを追加する

ページにヘッダーやフッターを追加したり、画像の下にキャプションを追加することができます。

印刷画像にキャプションを追加するには：

1. 印刷 ダイアログボックスから、**[キャプション]** タブをクリックします。
2. **[キャプション テキストを使用する]** をクリックします。
3. **[フォント]** をクリックして [フォント] ダイアログ ボックスを開き、オプションを設定します。
4. テキスト フィールドに、キャプションとして表示するテキストを入力します。
5. **[メタデータの挿入]** をクリックして、各画像のキャプションにファイルの固有情報を挿入します。
6. **[テキストの配置]** ドロップダウン リストから、キャプションの位置を選択します。
7. 各キャプションの最大行数を設定するには、**[行数]** チェックボックスを選択し値を指定します。

印刷ページにヘッダー／フッターを追加するには：

1. 次のいずれかを実行します：
   - **[ヘッダー]** タブをクリックし、**[ヘッダー テキストを使用する]** を選択します。
   - **[フッター]** タブをクリックし、**[フッター テキストを使用する]** を選択します。
2. **[フォント]** をクリックして [フォント] ダイアログ ボックスを開き、オプションを設定します。
3. テキスト フィールドに、キャプションとして表示するテキストを入力します。
4. テキストに現在のページ番号、あるいは合計ページ数を入力するには、**[ページ番号の挿入]** をクリックし、メニューから希望するオプションを選択します。
5. **[テキストの配置]** ドロップダウン リストから、ヘッダーまたはフッターの位置を選択します。
6. テキストの最大行数を設定するには、**[行数]** チェックボックスを選択し値を指定します。

コンタクトシート オプションを設定する

印刷ユーティリティの [コンタクトシート フォーマット] セクションでは、サムネイルのサイズ、レイアウト、外観を設定することができます。フォーマット オプションが プリセット として既に保存されている場合、該当するプリセットを選択することができます。

コンタクトシート フォーマット オプション

サムネイル設定	**サイズ**	各ページの行数と列数を指定します。
	スペース	行と列の間のスペースの値を指定します。**[横]** および **[縦]** スピンボックスに、表示されるサムネイル間の間隔の値を入力します。
フレーム オプション	**サムネイル フレームを使用する**	サムネイルにフレームを追加します。
	余白	フレームの幅を指定します。
	無地	フレームの色を指定します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	並列画像	フレームとして使う画像を指定します。**[参照]** をクリックして使用する画像を指定します。
サムネイル オプション	**ドロップシャドウ**	各サムネイルにドロップシャドウ効果を加えます。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	フェード エッジ	画像のフレームにフェード効果を加えます。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	マット	サムネイルのフレームにマット効果を加えます。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	V カット枠	サムネイルに V カットの枠を加えます。この効果はプレビューには反映されません。予めご了承ください。
ページ背景オプション	**無地**	ページの背景に無地を使用します。[カラーピッカー] をクリックして色を指定します。
	並列画像	ページの背景に並列画像を使用します。**[参照]** をクリックして使用する画像を指定します。

一括処理

一括編集について

ACDSee 12 では、複数の画像をまとめて編集することができます。例えば、複数の画像をまとめてサイズ変更しなければならない場合は、サイズの一括変更ツールを使用し、90度回転させなければいけない場合は画像の一括回転/反転ツールを使用します。

ファイルにタグを付けると、編集の一括処理のワークフローをスピードアップすることができます。例えば、変更したいファイルにタグを付けてからカテゴリペインで **[タグ]** をクリックすると、[ファイル一覧] ペインにタグの付けられたすべてのファイルが表示されます。そして、ファイルを選択して一括ツールを選択します。

複数の画像を別のフォーマットに変換する

複数の画像ファイルを、サポートされている別のファイル フォーマットに変換することができます。各フォーマット用のオプション、マルチページ画像の取り扱い方法の設定、既定値に自動変換などを設定することができます。「ファイル フォーマットの変換ウィザード」の指示に従ってください。

「ファイル フォーマットの変換ウィザード」で機能のヘルプを参照するには、ウィザードの右上にある **[ヘルプ]** ボタンをクリックした後、ヘルプが必要な機能をクリックします。

画像を別のファイル フォーマットに変換するには:

1. 次のいずれかを実行します:
   - 管理モードで、1 つ以上のファイルを選択し、**[ツール]** メニューから **[一括]**、**[ファイル フォーマットの変換]** を選択します。
   - 表示モード内で **[ツール]** メニューから **[修正]**、**[ファイル フォーマットの変換]** をクリックします。
2. 「フォーマットの選択」のページで、新規画像フォーマットを選択するか、**[フォーマット]** タブの一覧から画像フォーマットを選択します。
3. **[詳細オプション]** タブを選択し、設定を変更します。

4. **[次へ]** をクリックして続行します。
5. 「出力オプションの設定」のページで、変換済み画像の保存先を指定します。重複ファイル名の対処方法を指定するには、**[既存ファイルの上書き]** ドロップダウンリストから次のいずれかのオプションを選択してください:
   - **確認する**: ファイルの上書きを確認するメッセージが表示されます。
   - **スキップ**: 同じファイル名や拡張子のついたファイルがある場合、操作をキャンセルします。
   - **置き換え**: ファイルが上書きされます。確認メッセージは表示されません。
   - **名前の変更**: ファイル名変更を行っていいかを確認するメッセージが表示されます。
6. 「マルチページ画像のオプション設定」ページで、変換しようとしているマルチページ画像の取り扱い方法を指定することができます。

   マルチページ画像を選択していない場合や、マルチページ画像フォーマットを出力ファイルフォーマットとして指定していない場合は、このページのオプションをスキップしてください。
7. 設定が完了したら、**[変換を開始する]** をクリックして変換を開始します。画像を変換されるまで数秒お待ちください。

複数の画像を回転/反転する

複数の画像をプリセットの角度で回転/反転することができます。

画像を回転／反転するには:

1. 管理モードで 1 つ以上の画像を選択し、**[ツール]** メニューから **[一括]** そして **[回転/反転]** を選択します。
2. [回転／反転の一括変更] ダイアログボックスで、適用する角度を選択します。各角度についての説明は、下記を参考にしてください。
3. マルチページ画像を選択した場合、すべてのページに同じ回転/反転の角度を適用するには、**[マルチページ画像の全ページに適用する]** チェックボックスをオンにします。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **[次の画像]** をクリックして、次の画像の設定に進みます。
   - 複数の画像を選択し、すべての画像に同じ回転/反転の角度を適用するには、**[選択されたすべての画像に適用する]** チェックボックスをオンにします。
   - **[オプション]** をクリックし、画像の保存方法を指定します。
5. 画像の回転／反転を実行するには、**[回転を開始する]** をクリックします。

回転/反転の角度

	画像を反時計回りに90 度回転させます。
	画像を 180 度回転させます。
	画像を時計回りに 90 度回転させます。
	EXIF データに基づいて画像を回転します。(EXIF 情報 のない画像では回転は行われません。)
	画像を垂直軸に対して反転させます。
	画像を水平軸に対して反転させます。
	画像を垂直軸に対して反転させ、反時計回りに90 度回転させます。
	画像を垂直軸に対して反転させ、時計回りに90 度回転させます。

編集モードの [回転] ツールを使用して、カスタム角度で画像を回転させることも可能です。

複数の画像サイズを変更する

ACDSee では、ピクセル サイズ、元のサイズに対する比率、印刷サイズに調整して複数の画像のサイズを変更することができます。

複数の画像のサイズを変更するには:

1. 管理モードで 1 つ以上の画像を選択し、**[ツール]** メニューから **[一括]** そして**[サイズ変更]** を選択します。
2. [サイズの一括変更] ダイアログ ボックスで、次のいずれかのオプションを選択します:
   - **元の比率**: オリジナルサイズの比率を使って、画像のサイズを変更します。
   - **ピクセル**: 指定されたピクセル単位の値を使って、画像のサイズを変更します。
   - **実寸／印刷サイズ**: 指定された印刷サイズに、画像のサイズを変更します。
3. 下記の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **[オプション]** をクリックし、画像の保存方法を指定します。
5. 選択した項目に満足したら、**[サイズ変更を開始する]** をクリックします。

編集 サブモードにあるサイズ変更フィルタを使用して、画像のサイズを変更することも可能です。

サイズ変更 オプション

元の比率	**パーセント**	画像のサイズ変更方法を指定します。画像を縮小するには 100 以下の数値を入力し、拡大するには 100 以上の数値を入力します。
	適用部分	サイズ変更を適用する部分（高さ、幅、または両方）を指定します。
ピクセル	**幅**	画像の新しい幅をピクセルで指定します。
	高さ	画像の新しい高さをピクセルで指定します。
	サイズ変更	画像のサイズ変更方法を指定します。次のいずれかのオプションを選択します: • **拡大のみ**: 指定した幅と高さより画像が小さい場合のみ画像を拡大します。 • **縮小のみ**: 指定した幅と高さより画像が大きい場合のみ画像を縮小します。 • **拡大または縮小**: すべての画像を指定された高さと幅にサイズを変更します。
	オリジナルの縦横比を保持	元の画像の縦横比を保持します。
	次に合わせる	指定された幅に基づいて、縦横比が保持されるかどうか指定します。各オプションの組み合わせによる画像の変化についての詳細は、ピクセルのサイズ変更オプションと適用後 をご参照ください。
実寸／印刷サイズ	**単位**	使用する単位を指定します。
	幅	画像の新しい幅を指定します。
	高さ	画像の新しい高さを指定します。
	解像度	画像の印刷解像度を指定します。
	オリジナルの縦横比を保持	元の画像の縦横比を保持します。
	次に合わせる	指定された幅に基づいて、縦横比が保持されるかどうか指定します。各オプションの組み合わせによる画像の変化についての詳細は、[ピクセルのサイズ変更オプションと適用後]をご参照ください。

複数の画像の露出を調整する

ACDSee の「画像の露出調整ウィザード」では、1 つまたは複数の画像の色を明るく、または暗くすることができます。画像の変更を適用する前に各画像のプレビューを確認したり、1 つの画像に行った調整を選択したすべての画像に適用することができます。

また、現在のオプションを プリセット として保存することも可能です。

画像の露出を調整するには:

1. 管理モードで 1 つ以上の画像を選択し、**[ツール]** メニューから **[一括]** そして **[露出調整]** を選択します。
2. [露出一括調整] ダイアログボックスで、次を 1 つ以上実行します:
   - 画像の明るさ、コントラスト、フィルライトを調整するには、**[露出]** タブをクリックしてオプションを調整します。
   - 画像の明るさやコントラストを精確に調整するには、**[レベル調整]** タブをクリックしてオプションを設定します。
   - 画像の露出を自動調整するには、**[自動レベル]** タブをクリックしてオプションを設定します。
   - 画像の RGB チャンネルを正確に調整するには、**[トーンカーブ]** タブをクリックしてオプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します:
   - **[この設定をすべての選択画像に適用する]** チェックボックスをオンにして、現在の設定を選択されているすべての画像に適用します。
   - **[この設定をすべての選択画像に適用する]** チェックボックスをオフにして、**[次の画像]** をクリックし次の画像に移り、調整したい各画像に対して手順 2 を繰り返します。
4. **[オプション]** をクリックし、画像の保存方法を指定します。
5. **[すべての画像をフィルタする]** をクリックします。

編集モードでも、画像の露出とカラーレベルを調整することができます。

複数ファイルの名前を変更する

[名前の一括変更] ツールを使用して、複数のファイル名をまとめて変更することができます。ファイル名の一括変更では、テンプレートを使用したり、ファイル名を特定の文字／語句に置換えることができます。テンプレートを使用する場合、ファイル名にファイル特有情報を挿入したり、連番やアルファベット順に変更することが可能です。また、テンプレートを保存して次回の操作で使用することができます。

複数のファイル名を一括変更するには:

1. 管理モードで 1 つ以上の画像を選択し、**[ツール]** メニューから **[一括]** そして **[名前の変更]** を選択します。
2. [名前の一括変更] ダイアログ ボックスで、次のいずれかを実行します:
   - **[テンプレート]** タブを選択して、テンプレート オプションを設定します。
   - **[検索と置換]** タブを選択して、検索と置換オプションを設定します。
   - **[詳細オプション]** タブを選択して、名前の一括変更のオプションを設定します。
   - [プレビュー] フィールドで、ファイル名の変更を確認します。
3. **[名前の変更を開始する]** をクリックします。

CD-ROM のような読み取り専用ファイルの名前変更はできませんのでご注意ください。

名前の一括変更 オプション

テンプレート	**[テンプレートを使って名前を変更する]** チェックボックスをオンにして、名前変更のテンプレートを作成します。テンプレート名には連番やアルファベット順を使用したり、元のファイル名、新規ファイル名、メタデータに基づいたファイル名などを使用することができます。	
	テンプレート	ファイル名の変更に使用するテンプレートを表示します。 アスタリスクマーク (*) を入力すると、テンプレートにオリジナルのファイル名を挿入することができます。選択したオプションによっては、1 つ以上のシャープ記号 (#) を使用して、数字またはアルファベットを挿入します。 ドロップダウンリストの矢印をクリックして、最近使用したテンプレートを選択します。
	テンプレートのクリア	**[テンプレート]** ドロップダウンリストから、最近使用したテンプレートを削除します。
	# を数字に置き換える	テンプレート名のシャープ記号 (#) を数字に置き換えます。
	# を文字に置き換える	テンプレート名のシャープ記号 (#) をアルファベットに置き換えます。
	値の開始方法	最初の文字あるいは連番の開始位置を指定します。
	メタデータの挿入	ファイル名のテンプレートにファイル特有情報 (メタデータ) を挿入します。 **[テンプレート]** フィールドにカーソルを合わせて **[メタデータの挿入]** ボタンをクリックし、[プロパティの選択] ダイアログボックスを開きます。挿入したいメタデータを選択し、**[OK]** をクリックします。
	ファイル名の大文字/小文字	ファイル名と拡張子に使用する大文字／小文字を指定します。
検索と置換	**[検索／置換を使って名前を変更する]** チェックボックスをオンにし、ファイル名の特定文字や語句を置き換えます。スペースを下線に置換えたり、大文字を小文字に変更したり、テンプレートと変更を組み合わせたりすることができます。	
	検索する文字列	ファイル名で置換えしたい文字を指定します。
	置換後の文字列	元の文字列と置換える文字を指定します。
	大文字／小文字を区別する	**[検索する文字列]** フィールドで、入力した文字と完全一致する文字だけを検索するかどうか指定します。
詳細オプション	[詳細オプション] で名前の一括変更ウィザードの動作設定をします。	
	完了後ウィザードを自動的に閉じる	名前の変更作業が完了したら、[名前の一括変更] ダイアログボックスを自動的に閉じます。
	現在の設定を既定値として保存する	現在の設定を保存し、次回ファイル名を変更する際に使用します。
	拡張子の変更時に警告を表示する	テンプレートの一部として拡張子を変更した場合、警告が表示されます。
	名前の重複を自動的に対処する	各ファイル名の語尾にアンダースコアや連番を加えることで、名前の重複を自動的に対処します。

データベース情報を管理する

ACDSee データベースについて

ACDSee でフォルダを参照すると、画像やメディアファイルの情報が ACDSee データベースに自動保存されます。このプロセスはカタログ化と呼ばれています。データベースはブラウズ速度の向上するだけでなく、画像やメディアファイルの並べ替え、管理、検索、フィルタ条件といった情報を格納します。また、データベース情報をバックアップ、復元、共有することも可能です。

キャッシュされたサムネイルのプレビューを格納したり、コンピュータ上の各画像またはメディアファイルに、次のような情報を追加したり編集したりすることができます。

- カテゴリ
- 注記
- キーワード
- 作者
- 日時
- 重要度
- キャプション

データベースからフォルダを除外したり、ファイルの内容を画像またはメディアファイルの内容と区別して保存したりすることも可能です。

ACDSee 内で画像にデータベース情報を追加すると、そのファイルとデータベースがリンク付けられます。そのため、Windows エクスプローラなど ACDSee 以外のプログラムを使ってコピー、移動、名前の変更を行うと、データベースとのリンクが壊れてしまうため、データベース情報を失なってしまいます。ご注意ください。

データベース情報をファイルに埋め込む

ユーザーがデータベース情報を編集したり、追加したりすると、ACDSee はそれらの変更を自動追跡し、新情報をデータベースに追加します。ACDSee を次回終了する際、[データベース情報をファイルに埋め込む] ダイアログが開かれ、ファイルに直接新しいデータを埋め込むか選択することができます。ファイルとデータベースの両方にデータベース情報を埋め込んでおくと、データのバックアップが安全に行われるだけでなく、必要に応じてデータを取り込むことができるため大変便利です。

例えば、あるファイルについてのデータベース情報を作成したと仮定します。そのファイルはデータベースとリンク付けされています。Windows エクスプローラなど ACDSee 以外のアプリケーションを使ってそのファイルを移動すると、リンクが壊れてしまいます。この例では、リンクが壊れてしまったものの、ファイルそのものにデータが埋め込まれているため、ファイルに埋め込まれたデータを使って ACDSee データベースを再構築することが可能です。

ファイルにデータが埋め込まれていると、ACDSee を使って名前の変更や移動、他のコンピュータにファイルをコピーしても、データベース情報はファイルと一緒に移動されることになります。

ダイアログが表示された時にデータベース情報をファイルに埋め込むには:

1. 次のいずれかを実行します:
   - ネットワーク上に存在するファイルにデータを埋め込むには、**[ネットワークドライブを含む]** チェックボックスを選択します。
   - データの埋め込みに対応していないファイルフォーマットを扱っているため、サイドカーに情報を書き込むには、**[埋め込み XMP をサポートしないフォーマット用にサイドカーファイルを書き込む]** を選択します。
   - 現在の選択を次回以降のオプションとして自動設定するには、**[今後は確認しない]** を選択します。
2. **[はい]** をクリックして、ファイルにデータを埋め込みます。進行状況バーに続き、次の項目を示した [埋め込みの概要レポート] ダイアログが表示されます:
   - **選択された画像数**: 選択されたファイル数が表示されます。
   - **処理された画像数**: 実際に処理されたファイル数が表示されます。(データの埋め込みの必要のないファイルを選択した場合、[選択された画像数] とここに表示される数字が異なることがあります。)
   - **処理済画像数**: データの埋め込みが完了したファイル数が表示されます。
   - **エラーが発生した画像**: 様々な理由から、データの埋め込みが完了しなかったファイル数が表示されます。(エラーログを表示するには、**[エラーの表示]** をクリックします。)
3. **[閉じる]** をクリックします。

データベース情報をいつでも埋め込むには:

ファイルにデータを埋め込む処理は、いつでも行うことができます。

[ツール] メニューから **[データベース情報の埋め込み]** をクリックして、次のいずれかを選択します:

- **すべてのファイル**: すべてのファイルにデータを埋め込みます。
- **選択されているファイル**: 選択されたファイルにデータを埋め込みます。

ACDSee は XMP を使って各ファイルに情報を埋め込みます。XMP ファイルをサポートするファイル フォーマットとファイル拡張子は限られています。例えば GIF、JPEG、DNG、PNG、TIF ファイルは XMP ファイルをサポートしています。これらのファイル フォーマットの場合、データベース情報はファイル内に埋め込まれますので、ACDSee 以外のソフトウェアを使用してファイルの名前を変更したり、移動したりしても、データベース情報を取得することが可能です。

RAW、PSD、ABR など XMP をサポートしないファイル フォーマットの場合、データベース情報はサイドカー ファイルに書き込まれ、ファイルと同じフォルダ内に格納されます。サイドカー ファイルは、ファイルそのものとは分離されていますので、ファイルとサイドカーの名前を一緒に変更、あるいはファイルとサイドカーを一緒に移動しない限り、データベース情報が完全に失われてしまいます。

データの埋め込みが必要なファイルを表示する

埋め込みの必要なデータを含んでいるファイルがどれかを知りたい場合、[埋め込み保留中] オプションを使ってファイルの一覧を素早く表示することができます。

データの埋め込みが必要なファイルを表示するには:

カテゴリペインの [スペシャル アイテム] から **[埋め込み保留中]** を選択します。

ファイル一覧に、埋め込みの必要なデータを含んでいるファイル一覧が表示されます。

ファイルに埋め込まれているデータベース情報を取得する

ファイルの格納されているフォルダを参照すると、データベース情報の一部が ACDSee データベースに再度上書きされます。

すべてのデータベース情報を取得する最も安全な方法は、**[データベース]** メニューから **[ファイルのカタログ化]** を選択する方法です。これによって、次の操作が行われます:

- GIF、JPEG、DNG、PNG、TIF ファイル フォーマットの場合、すべてのデータがデータベースに再度上書きされます。
- ファイルとそれとペアになっているサイドカー ファイルがフォルダ内に存在し、ファイル名が同一である場合、データベース情報がデータベースに再度上書きされます。
- ファイルとそれとペアになっているサイドカー ファイルが移動された、あるいは名前が変更された場合、データベース情報は取得されずに失われてしまいます。

データベースからフォルダを除外する

ACDSee では、データベースからフォルダを除外したり、画像またはメディアファイルの内容と区別して保存したりすることができます。既定値として、ハード ディスク上にある Program Files や Windows フォルダは自動的にデータベースから除外されるように設定されています。

データベースからフォルダを除外するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[データベース]** をクリックし、**[フォルダの除外]** を選択します。
2. [フォルダの除外] ダイアログ ボックスで、以下のいずれかを実行します:
   - データベースからフォルダを除外するには、**[追加]** をクリックします。ハード ドライブから除外するフォルダを選択して、**[OK]** をクリックします。
   - 除外するフォルダの一覧からフォルダを削除するには、一覧から削除するフォルダを選択して **[削除]** をクリックします。
   - 除外するフォルダの一覧を既定値にリセットするには、**[既定値にリセット]** をクリックします。
3. 選択項目を確認したら、**[閉じる]** をクリックして ACDSee に戻ります。

ファイルをカタログ化する

ACDSee でブラウズされたファイル情報やサムネイルは、データベースに自動的に追加されます。「ファイルのカタログ化ウィザード」を使用すれば、複数のファイルをまとめてデータベースに追加することができます。ACDSee でファイルを参照する必要はありません。特に、ACDSee を初

めて使用する場合や大きな画像コレクションを参照したり管理する場合、ファイルのカタログ化によりフォルダのロード時間が短縮されるのでとても便利です。

ACDSee を初めて起動する際、カタログ化の確認をたずねるメッセージが表示されます。

ファイルをカタログ化するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[データベース]**、**[ファイルのカタログ化]** をクリックします。
2. **[カタログ化するフォルダ]** セクションで、カタログ化するフォルダ名の横にあるチェックボックスを選択します。

   一覧に表示されていないフォルダを追加するには、**[フォルダの追加]** をクリックし、追加したいフォルダを選択してから **[OK]** をクリックします。
3. **[ACDSee オプション]** セクションで、データベースに追加する情報を選択します。
4. **[開始]** ボタンをクリックします。

   進行状況バーに、カタログ化されている画像が表示されます。
5. **[完了]** をクリックします。

比較的サイズの大きい画像ファイルをカタログ化している間は、そのプロセスを妨害しないように、あるいはその他のソフトウェアを使用しないようにします。プロの写真家のように莫大な数のコレクションを扱う場合、夜中など妨害される可能性の少ない時間帯にカタログ化を行うようお勧めします。

旧バージョンの ACDSee データベースを変換する

「ACD データベースの変換ウィザード」を使用して、旧バージョンの ACDSee または ACD mPower Tools のデータベース情報を現在のデータベース情報に追加することができます。そのため、旧バージョンのファイルのデータベース情報を、現在のバージョンのデータベース情報として認識し、使用することができます。

既に ACDSee データベースに新しい情報が追加されている場合、旧 ACDSee データベースを変換する前に、データベースをバックアップされることをお勧めします。

旧バージョンのデータベースを変換するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[データベース]**、**[データベースの変換]** をクリックします。
2. 「ようこそ」のページで、**[次へ]** をクリックしてデータベースの変換オプションへ進みます。
3. 「データベースの変換オプション」のページで、変換するデータベースファイルのバージョンとハードディスク上の場所を指定します。**[次へ]** をクリックします。
4. 変換後、画像サムネイルと EXIF 情報を自動的に再構築するには、**[サムネイルと EXIF 情報の再構築]** チェックボックスをオンにします。
5. 変換後、データベースを自動的に更新するには、**[変換後、データベースファイルを最適化する]** チェックボックスをオンにします。
6. **[次へ]** をクリックします。
7. 「概要」のページで選択項目を再確認したら、**[次へ]** をクリックしてデータベースを変換します。

データベース情報をインポートする

ACD データベース インポート ウィザード を使って、アーカイブされたデータベース情報をインポートしたり、他の ACDSee ユーザーから受け取ったデータベース情報をインポートしたりすることができます。情報がインポートされると、ACDSee は画像とその情報を関連付けます。

既に ACDSee データベースに新しい情報が追加されている場合、旧 ACDSee データベースを変換する前に、データベースのバックアップを作成することをお勧めします。

ACD データベース インポート ウィザードを使用するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[データベース]**、**[インポート]**、**[データベース]** をクリックします。
2. **[次へ]** をクリックして、ウィザードを開始します。

3. 「インポート オプション」のページで、インポートするデータベース情報の種類を選択します。

   データベースの圧縮版、あるいは XML ベース テキスト ファイルから画像情報をインポートすることができます。

4. **[参照]** ボタンをクリックし、データベースのインポート元を指定して **[OK]** をクリックします。
5. **[インポート後、データベース ファイルを最適化する]** のチェックボックスをオンにすると、ウィザード終了後にデータベースの最適化を実行することができます。**[次へ]** をクリックします。
6. 「概要」のページで選択した項目を再確認します。選択されている項目を変更するには、**[戻る]** をクリックします。データベース情報のインポートを開始するには、**[次へ]** をクリックします。
7. **[完了]** をクリックして、ACD データベース インポート ウィザードを閉じます。

他の ACDSee ユーザーから受け取ったデータベース情報をインポートするには、インポートされるファイルのパスと保存先のパスが完全に一致する必要があります。

その他のソースからファイル情報をインポートする

ACDSee フォトディスク や旧バージョンの ACDSee を含むその他のソースからファイル情報をデータベースにインポートすることができます。

フォトディスクをインポートする

旧バージョンの ACDSee (バージョン 4.0 および 5.0) では、フォトデスクは別のデータベース ファイル「.ddf」として作成されます。フォトディスク データベース ファイルを ACD データベースにインポートすることができます。

フォトディスクをインポートするには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[データベース]**、**[インポート]**、**[フォトディスク]** をクリックします。
2. [ファイルを開く] ダイアログ ボックスで、インポートしたいフォトディスク ファイルを選択します。
3. **[開く]** をクリックします。

ACDSee 6.0 以降のバージョンで作成したフォトディスクから情報をインポートするには、データベース全体を 変換してインポート する必要があります。

アルバムをインポートする

旧バージョンの ACDSee のアルバムには「.ais」ファイル フォーマットが使用され、画像へのショートカットが含まれていました。新バージョンの ACDSee では、アルバムの作成に別のファイルフォーマットを必要としないため、カテゴリを使って画像アルバムを作成することができます。旧バージョンの ACDSee で作成されたアルバムをインポートし、アルバムの情報をデータベースに追加することができます。アルバムをインポートする際、新しいカテゴリが ACDSee に作成されます。

アルバム情報をデータベースにインポートするには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[データベース]**、**[インポート]**、**[アルバム]** をクリックします。
2. [ファイルを開く] ダイアロ ボックスで、インポートしたい「.ais」ファイルを選択します。
3. **[開く]** をクリックします。

descript.ion ファイルの使い方

旧バージョンの ACDSee では、ファイルの説明は「Descript.ion」ファイルとして画像を含む各フォルダごとに保存されていました。今バージョンの ACDSee では、ファイルの説明はキャプションとしてその他のファイル情報 (注記やキーワードなど) と共にデータベースに格納されます。

「Descript.ion」ツールを使えば、以前作成した Descript.ion ファイルをインポートしてデータベースに追加したり、既存のファイル キャプションを Descript.icon ファイルへエクスポートすることができます。

Descript.ion ファイルをインポートするには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[データベース]**、**[インポート]**、**[Descript.ion ファイル]** をクリックします。
2. [ファイルを開く] ダイアログ ボックスで、インポートしたい Descript.icon ファイルを選択します。

3. **[開く]** をクリックします。

キャプションを Descript.ion ファイルにエクスポートするには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[データベース]**、**[エクスポート]**、**[Descript.ion ファイル]** をクリックします。
2. [名前を付けて保存] ダイアログ ボックスの [ファイル名] フィールドに Descript.icon ファイルの名前を入力します。
3. **[保存]** ボタンをクリックします。

データベース情報をエクスポートする

「ACD データベース エクスポート ウィザード」を使用して、選択したデータベース情報を圧縮フォーマットとして保存したり、バックアップとして保存したり、他の ACDSee ユーザーと共有したりすることができます。カテゴリやキーワード定義をテキスト ファイルとしてエクスポートすることも可能です。

バックアップの作成とは異なり、データベース情報のエクスポートは、CD など共有または格納したい特定ファイルのデータベースの一部だけを選択してエクスポートすることができます。他の ACDSee ユーザーは、既存のデータベースが壊れないかという心配をすることなく、情報をインポートすることができます。

画像またはメディアファイルを含むデータベース全体のバックアップを作成するには、ACD データベース バックアップ ウィザード を使用します。

ローカル フォルダの内容をネットワークのような遠隔地にバックアップするには、ACD 同期 ウィザード を使用します。

ACD データベース エクスポート ウィザードを使用するには:

1. 特定の画像またはメディアファイルのデータベース情報をエクスポートする場合、管理モードの ファイル一覧 ペインでファイルを選択します。
2. **[ツール]** メニューから **[データベース]**、**[エクスポート]**、**[データベース]** をクリックします。
3. **[次へ]** をクリックして、ウィザードの使用を開始します。
4. 「コンテンツとフォーマット オプション」のページで、以下のオプションのいずれかを選択してデータベース情報のエクスポート方法を指定し、**[次へ]** をクリックします:
   - **データベース全体を、読み取り専用の圧縮版にしてエクスポートする**: ACDSee データベース全体を、他の ACDSee ユーザーと共有可能な圧縮版にしてエクスポートします。
   - **選択されたデータベース情報を、読み取り専用の圧縮版にしてエクスポートする**: ファイル一覧ペインで選択されている画像のすべてのデータベース情報をエクスポートします。
   - **テキスト ファイルにデータベース情報をエクスポートする**: XML 形式のテキスト ファイルに選択された情報をエクスポートします。エクスポートしたい情報の横にあるチェックボックスをオンにします。
5. 「ロケーション オプション」のページで、情報のエクスポート先を指定し(必要であればテキスト ファイル名も入力)、**[次へ]** をクリックします。
6. [概要] のページで選択した項目を確認します。選択されている項目を変更するには、**[戻る]** をクリックします。データベース情報のエクスポートを開始するには、**[次へ]** をクリックします。
7. **[完了]** をクリックしてウィザードを終了し、ACDSee に戻ります。

ファイル一覧を作成する

「ファイル一覧の作成」機能を使って、ファイル一覧ペインで現在表示されているフォルダ内に含まれている、すべてのファイルをテキスト ファイルとして作成することができます。ファイル一覧にはファイル名、サイズ、ファイル フォーマット、更新日時、プロパティ、キャプション、重要度などの情報が含まれていて、1 つのテキスト ファイルとして作成されます。

ファイル一覧を作成するには:

管理モードで、**[ツール]** メニューから **[データベース]** そして **[エクスポート]** をクリックし、**[ファイル一覧の作成]** を選択します。

ACDSee はファイル一覧を作成し、既定のテキスト エディタでテキスト ファイルとして開きます。作成されたテキスト ファイルは、必要に応じて編集したり、保存したりすることができます。

データベース情報をバックアップする

「ACD データベース バックアップ] ウィザードを使って、データベース情報をバックアップすることができます。システム障害などが起こった場合、作成したバックアップを使用してデータベースを復元することができます。また、画像、メディア、アーカイブ ファイルと関連するデータベース情報を一緒にバックアップすることも可能です。

データベース バックアップ ウィザードは、すべてのデータベースを含んだファイルを、ユーザーの指定した場所に作成します。フォルダの構造通りにバックアップが作成されるので、コンピュータによって保存される場所が異なります。データベースの一部をバックアップしたり、他の ACDSee ユーザーとデータベース情報を共有するには、「ACD データベース エクスポート ウィザード」を使用します。

データベースのバックアップ管理に関する詳細につきましては、「データベース情報のバックアップ」のワンポイント をご覧ください。

データベース情報をバックアップするには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[データベース]**、**[データベースのバックアップ]** をクリックします。
2. 「ようこそ」のページで、[新規バックアップを作成する] または [既存バックアップを更新する] のいずれかを選択します。**[次へ]** をクリックします。

   [既存バックアップを更新する] を選択した場合、手順 5 に進んでください。
3. [新規バックアップ] のページで、バックアップする情報を選択します。**[次へ]** をクリックします。
4. 「バックアップの保存先」のページで、**[参照]** をクリックしてバックアップの保存先を指定し、バックアップ名を入力します。**[次へ]** をクリックします。
5. 「バックアップの概要」のページで設定を再確認します。[既存バックアップを更新する] を選択した場合、**[バックアップの更新]** ドロップダウン リストから更新する既存バックアップを選択します。**[次へ]** をクリックします。

バックアップ情報 オプション

サムネイルを含まない	バックアップからサムネイルを除くため、ディスクまたはハード ディスクの格納領域を大幅に節約することになります。
オフライン ファイルにサムネイルを含む	フォト ディスクのようにハード ディスクに記録されないファイルのサムネイルのみを含みます。
サムネイルを含む	データベースにあるすべてのサムネイルを含みます。このバックアップを格納するには、ハード ディスクまたはディスクに十分な領域が必要です。
バックアップ ファイルの種類	指定されたデータベース情報とファイルの種類をバックアップします。次のファイルの種類から選択します: ● **画像**: 画像ファイルをバックアップに含みます。 ● **メディア**: オーディオとビデオ ファイルをバックアップに含みます。 ● **アーカイブ**: アーカイブ ファイルをバックアップに含みます。
ローカル ディスク上にある、指定された種類のすべてのファイル	ローカル ディスク上にある指定されたすべてのファイルをバックアップします。
ローカル ディスクとネットワーク上にある、指定された種類のすべてのファイル	ローカル ディスクおよびネットワーク上にある、指定されたすべてのファイルをバックアップします。
サブ フォルダを含むフォルダ内にある、指定された種類のすべてのファイル	指定されたフォルダ内にある、指定されたすべてのファイルをバックアップします。**[参照]** ボタンをクリックし、バックアップするフォルダを選択します。

ご利用になっている CD／DVD ドライブで、CD-R／DVD-R のフォーマットにパケット ソフトウェアが使用されている場合、ACDSee はバックアップをディスクに作成することはできません。その代わりに、ACDSee は CD／DVD ドライブをハード ディスクとして認識するため、「バックアップの保存先」のページで選択することができます。

「データベース情報のバックアップ」のワンポイント

プロパティペインで入力したEXIF 情報、ファイル名、保存先、サムネイル、カテゴリ、重要度やその他のファイル情報は、ACDSee 12 データベースに保存されます。情報入力に費やした時間やデータベース情報が多ければ多いほど、データベース情報のバックアップは重要になります。また、作成したバックアップの管理も大切です。システム障害やその他の予期または回避できないエラーの発生により、すべての作業を失なってしてしまうことがあります。バックアップはそれらの損失を最小限に抑える、また回避するために行います。

バックアップ スケジュール

データベース情報を追加あるいは更新する頻度により、バックアップ スケジュールを設定します。情報の再入力といった二度手間を省くために、バックアップは頻繁に行うようお勧めします。[ACDSee オプション] ダイアログボックスの「データベース」のページにある [バックアップ アラームの表示] で、必要に応じてバックアップのスケジュールを設定します。特にビジネスでご利用のユーザー、またはプロの写真家ユーザーは、毎日バックアップすることをお勧めします。

別の ACDSee 12 ユーザーから情報をインポートする、あるいは ACDSee 12 の古いバージョンからデータベースを変換するといった大きな変更をデータベースに追加する前には、既存のデータベースをバックアップするように推奨します。

バックアップの保存先

バックアップの保存場所の設定は、バックアップのスケジュール設定と同様に重要です。バックアップをハードディスクに保存する場合は、ACDSee 12 によってバックアップの新規フォルダが毎日作成されます。これはバックアップ ファイルの上書きを回避するためで、増分された項目を加えることで復元が可能です。週 1 回、CD/DVD へデータベースを保存すると、ハードディスクの破損時に対応しやすいため大変便利です。また、月 1 回は、ご自分のコンピュータ以外の場所 (例 : ネットワークなど) にバックアップを保存されることをお勧めします。

バックアップ サイズ

バックアップ サイズを最小限にするには、データベース情報と画像を別々にバックアップします。また、画像のバックアップも定期的に行うようにします。

バックアップからデータベース情報を復元する

「ACD データベース復元ウィザード」では、以前バックアップしたデータベース情報を復元することができます。 バックアップが 1 枚のディスクに収まらない場合、複数のディスクに分けて保存されます。データベース情報を復元する際、ディスクは順序通りである必要がありません。 ディスクの一部を紛失または損失した場合でも、残りの情報を復元することができるので便利です。

データベース情報を復元するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[データベース]**、**[データベースの復元]** をクリックします。
2. 「ようこそ」のページで、**[次へ]** をクリックしてバックアップを選択します。
3. 「復元オプション」のページで、バックアップ名と日時から選択するか、バックアップの保存先からファイル(拡張子 .bkup) かのいずれかを選択します。
4. ディスクから復元する場合には、複数のディスクがスキャンされますので、順番で一番最後のディスクを選択してください。**[次へ]** をクリックして、データベースの復元を実行します。

複数のディスクまたはバックアップ ファイルからバックアップを復元する際、選択されているディスクまたはバックアップ ファイルに含まれる情報のみが復元されます。そのため、最後に使用したディスクまたはファイルを選択されることをお勧めします。

データベースのメンテナンス

ハードディスクの空き容量を増やすため、また不要な情報を削除し、ACDSee の全体パフォーマンスを向上させるために、定期的にデータベースのメンテナンスおよび最適化を行うことをお勧めします。

[データベースのメンテナンス] ダイアログ ボックスでは、フォルダの更新やフォルダ内にあるサムネイルと不要なデータベース情報を識別して削除することができます。[データベースのメンテナンス] ダイアログ ボックスでは、システム内のフォルダー覧が表示され、特定フォルダ内にあるデータベース情報のステータスがアイコンで表示されます。

データベースコンテンツアイコン

このフォルダには、データベースに格納され、キャッシュされたサムネイルファイルが含まれています。

このフォルダには、データベースの更新以外で変更されたファイルが含まれています。(例:ACDSee を使わずにフォルダ名またはファイル名が変更された、移動されたなど)

データベースのメンテナンスを行うには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[データベース]**、**[データベースのメンテナンス]** をクリックします。
2. [データベースのメンテナンス] ダイアログボックスで、データベースコンテンツアイコンの付いたフォルダを参照します。アイコンの付いたフォルダが存在しない場合は、データベースのメンテナンスを行う必要はありません。[データベースのメンテナンス] ダイアログを終了します。
3. フォルダを選択し、次のいずれかのボタンをクリックして、実行するメンテナンスを指定します:
   - **サムネイルの削除**:選択されたフォルダからすべてのサムネイル情報が削除されます。
   - **すべて削除**:選択されたフォルダから、すべてのデータベース情報が削除されます。
   - **オーファンフォルダの削除**:選択されたフォルダから、不足しているファイルや情報や古いまたは破損されたリファレンスが削除されます。ユーザーのコンピュータに格納されているフォルダ内のみ、オーファンのチェックが可能です。ネットワーク上のフォルダを選択すると、このオプションを選択することはできません。ご注意ください。
   - **結合の変更**:選択されたオーファンフォルダのすべての参照場所を別のフォルダに変更し、すべてのデータベース情報を保持します。既定の結合フォルダは My Pictures です。
4. データベースのメンテナンスツールは、データベースの空き容量を増やすために履歴を削除します。空き容量を再構成するには、**[データベースの最適化]** をクリックしてウィザードの指示に従ってください。
5. **[閉じる]** をクリックします。

データベースを最適化する

[データベースの最適化] ウィザードを使用して、不要なデータベースや古いデータベース情報を素早く削除することができます。データベースの最適化とデータベースのメンテナンスを定期的に行うことで、ハードドライブの容量を増やし、ACDSee 全体のパフォーマンスを向上することができます。

定期的に大量のファイルをカタログしている場合、毎週、あるいはカタログが終わってからデータベースの最適化を行うようにします。その際、データベースをバックアップするとより効率的です。

データベースを最適化するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[データベース]**、**[データベースの最適化]** をクリックします。
2. [ACD データベースの最適化] ウィザードで、**[次へ]** をクリックします。
3. 次のいずれか、または両方のオプションを選択します:
   - **データベーステーブルとフィールドを最適化する**:データベースから古い情報を削除して、データベースフィールドの空きスペースを増やし、テーブルが再度インデックス付けがされます。
   - **データベースからオーファンを削除する**:その他のプログラムを使って削除されたファイルやフォルダによる、オーファンのデータベースエントリを削除します。
4. **[次へ]** をクリックします。
5. ウィザードが完了したら、**[完了]** をクリックして ACDSee に戻ります。

サムネイルとメタデータの再構築

ACDSee で作業をする際、ファイル一覧ペインで表示されるサムネイル画像と、実際の画像との同期が適切に行われないことがあります。そのような状況が発生した場合、サムネイルの再構築機能を使用して、選択した画像のサムネイルをすばやく再構築することが可能です。

サムネイルを再構築するには:

1. 管理モードで、次のいずれかの操作を行います。
   - ファイル一覧から 1 つ以上の画像を選択します。
   - フォルダペインからフォルダを選択します。
2. **[ツール]** メニューから **[データベース]**、**[サムネイルとメタデータの再構築]** をクリックします。

ファイルを隔離する

ACDSee は、破損または不完全なために読み込みが不可能な画像／メディアファイルやプラグイン エラーの原因となるファイルを隔離します。ユーザーは、隔離ファイルの一覧から必要に応じてファイルを削除することができます。

隔離されたファイルを表示するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[データベース]**、**[ファイルの隔離]** をクリックします。
2. ファイルを削除するには、一覧から削除したいファイルを選択して **[削除]** をクリックします。
3. 「ファイルの隔離」機能を無効にするには、**[隔離を行う]** チェックボックスをオフにします。
4. **[OK]** をクリックして [ファイルの隔離] ダイアログ ボックスを閉じ、ACDSee に戻ります。

プラグイン

プラグインについて

プラグインはソフトウェア モジュールで、比較的大きなプログラムに機能を追加します。ACDSee は様々な種類のプラグインを搭載しています。

プラグインの種類:

- **画像デコード**: ファイルを 2 進法フォーマットから変換して、ACDSee で画像を表示します。デコード プラグインを使用すると、様々なファイル フォーマットの画像を表示することができます。ACDSee で表示できるファイルは、コンピュータにインストールされているデコード プラグインに依存しています。
- **画像エンコード**: ACDSee で表示された画像を2進法フォーマットに変換します。エンコード プラグインを使用すると、さまざまなファイル フォーマットの画像を保存 (または変換) することができます。ACDSee で編集および保存可能なファイルは、コンピュータにインストールされているエンコード プラグインに依存しています。
- **アーカイブ**: ACDSee で様々な種類のファイル フォーマットを表示し、アーカイブ保存することができます。ACDSee で表示および作成できるアーカイブは、コンピュータにインストールされているアーカイブ プラグインに依存しています。
- **カメラ**: デジタル カメラの画像を参照し、ハード ディスク上のフォルダに転送することができます。
- **コマンド拡張**: ACDSee に機能を追加します。例として、インターネットで画像を共有する際に使用するプラグインがあります。
- **ペイン拡張**: ACDSee に、デジタル画像の印刷オーダーを可能にするなどのタスクを追加します。

ACD Systems社が認証していないプラグインの品質を保証することはできません。他のソフトウェアと同様、プラグインはウィルス感染の可能性がなく、プラグインの製造元を信頼できるものとします。

プラグインを管理する

[プラグイン設定] ダイアログ ボックスには、システムにインストールされているすべての ACD Systems プラグインの一覧が表示されます。[プラグイン設定] ダイアログボックスを使って、ACDSee が使うプラグインをコントロールすることができます。

[プラグインの設定] ダイアログ ボックスを開くには:

管理モードで、**[ツール]** メニューから **[プラグインの設定]** をクリックします。

プラグインを無効にする

[プラグイン設定] ダイアログ ボックスでは、不要なプラグインを無効にしてACDSeeで使用されないように設定できます。

プラグインを無効にするには:

1. [プラグインの設定] ダイアログ ボックスで、[プラグイン] タブの 1 つを選択します。
2. ACDSeeとの使用を無効にしたいプラグイン名の横にあるチェックインボックスをクリアします。
3. **[OK]** をクリックします。

プラグインの優先順序を変更する

一部のファイル フォーマットは複数のプラグインでサポートされています。この場合、特定のファイル フォーマットの読み取り、もしくは書き込みにどのプラグインを使用するかを指定できます。[プラグイン設定] ダイアログ ボックスでのプラグインの表示順序が、ACDSee がファイルを読み取り、または書き込みするときに使用するプラグインの優先順序になります。

プラグインの優先順序を変更するには:

1. [プラグインの設定] ダイアログ ボックスで、[プラグイン] タブの 1 つを選択します。
2. **プラグイン一覧** からプラグイン名を選択します。
3. 次のいずれかを実行します:
   - **[上へ移動]** ボタンをクリックして、プラグインを一覧の上位に移動します。
   - **[下へ移動]** ボタンをクリックして、プラグインを一覧の下位に移動します。
4. **[OK]** をクリックします。

Susie プラグインは、ACD Systems 社のプラグイン機能と速度を備えていません。ACD Systems 社のプラグインの代用として使用されないように、Susie プラグインの優先順位を低く設定してください。また、ACD Systems 社のプラグインがサポートするファイル フォーマットと重複する Susie プラグインを無効にすることも可能です。

プラグインのプロパティとヘルプを表示する

特定のプラグインのプロパティを表示および設定することができます。

プラグイン プロパティを表示するには:

1. [プラグインの設定] ダイアログ ボックスで、[プラグイン] タブの 1 つを選択します。
2. プラグイン一覧からプラグインを選択します。
3. **[プロパティ]** ボタンをクリックします。

プラグインのヘルプファイルを表示するには:

1. [プラグインの設定] ダイアログ ボックスで、[プラグイン] タブの 1 つを選択します。
2. **プラグイン一覧** からプラグイン名を選択します。
3. **[プラグイン ヘルプ]** ボタンをクリックします。

第 4 章： 表示モード

表示モードは、画像表示をメインとしたユーザーインターフェイスです。

表示モードでは、次のような操作を行うことができます:

- 画像を拡大または縮小表示する
- スライドショー形式で画像を表示
- ビデオとオーディオファイルを再生し、画像ファイルにオーディオを追加
- 画像にキャプションを追加
- ファイルにタグを加えたり、カテゴリ、キーワード やその他のメタデータを追加したりして、ファイルを整理する

表示モードで画像を扱う

画像を自動表示する

画像の自動表示機能を使用して、複数の画像またはフォルダ内のすべての画像をプレビューするクイック スライドショーを作成することができます。

画像を自動表示するには:

1. 表示モードで、複数の画像を開きます。
2. **[表示]** メニューから **[画像の自動表示]** そして **[オプション]** を選択します。
3. 以下で解説されているように、[画像の自動表示] ダイアログ ボックスのオプションを設定します。

4. **[開始]** ボタンをクリックします。
5. 次の画像を表示するには、**<Space>** キーを押します。
6. 前の画像に戻るには、**<Backspace>** キーを押します。
7. 自動表示を一時停止または再開するには、**<Pause>** キーを押します。

画像の自動表示 オプション

順序	画像の表示順序を指定します。次のいずれかのオプションを選択します: • **昇順** • **降順** • **ランダム**
繰り返し	スライドショーの最後の画像が表示された後も、スライドショーを自動的に繰り返します。
間隔	各画像間の表示時間を指定します。スライダをドラッグまたは 0 から 864000000 ミリ秒の値を入力して、画像の表示時間を指定します。
サウンド	**[オーディオ クリップの再生]** のチェックボックスをオンにすると、選択した画像に埋め込まれているオーディオが再生されます。

表示モードで画像にテキストを表示する

ヘッダー/フッター ツールを使用して、表示モードで画像にテキストを表示することができます。テキストは画像を表示している間だけ表示され、オリジナルの画像そのものを変更するわけではありません。また、設定を変更することなく、ヘッダーやフッターのテキストを隠すこともできます。

テキストを画像に直接追加し、画像の一部として保存する方法につきましては、画像にテキストを追加するをご覧ください。

ヘッダーとフッターを表示するには:

1. 表示モードで、**[表示]** メニューから **[ヘッダー/フッターの編集]** を選択します。
2. 次のいずれかまたは両方を実行します:
   - **[ヘッダー]** チェックボックスをオンにすると、画像の上にテキストが追加されます。
   - **[フッター]** チェックボックスをオンにすると、画像の下にテキストが追加されます。
3. 下の解説を参照して、テキスト オプションを選択または変更します。
4. **[OK]** をクリックします。

テキスト オプション

配置	キャプションの配置を指定します。
背景	テキストに背景色を追加します。**[カラー]** をクリックして色を指定します。
説明	画像に表示するテキストを入力します。表示させたいテキストを入力するか、フィールド内をクリックしてメタデータを挿入するように設定します。
メタデータの挿入	各画像特有の情報を挿入します。
フォント	テキストのフォント、サイズ、色を設定します。

画像テキストにメタデータを挿入するには:

1. **[テキスト]** フィールドで、ファイルの情報を表示したい場所にカーソルを合わせ、**[メタデータの挿入]** をクリックします。
2. [プロパティの選択] ダイアログ ボックスで、表示したいファイル情報を選択します。
3. **[OK]** をクリックします。

   情報はプレースホルダとして挿入されるため、各画像に固有のテキストが表示されます。

画像テキストを隠す

ヘッダーまたはフッターを非表示にしたり、テキスト フィールドの情報を変更／削除しないで無効にすることができます。

画像テキストを隠すには：

1. 表示モードで、**[表示]** メニューから **[ヘッダー/フッターの編集]** を選択します。
2. 次のいずれかまたは両方を実行します：
   - **[ヘッダー]** チェックボックスをオフにすると、画像の上のテキストが削除されます。
   - **[フッター]** チェックボックスをオフにすると、画像の下のテキストが削除されます。
3. **[OK]** をクリックします。

ヘッダーとフッターの両方を表示または隠すには、**[表示]** メニューから **[ヘッダー/フッターの表示]** をクリックして切り替えます。

表示モードとフォルダを同期する

[フォルダと同期] オプションを使用して、表示モードで表示される画像を変更することができます。

フォルダを同期するには：

1. 表示モードで、**[ファイル]** メニューにある **[フォルダの同期]** をクリックします。
2. 同期したいフォルダのパスを入力するか、**[参照]** ボタンをクリックしてフォルダを探します。
3. 下記で解説されているように、[新規画像] オプションをオンまたはオフにします。
4. **[OK]** をクリックします。

新規画像 オプション

新規画像をすぐに表示する	フォルダに追加された新規画像をすぐに表示します。このオプションがクリアされると、新規画像はスライドショーの最後に追加されます。
現行ファイルを無視する	転送中のアプリケーションがファイルの移動またはダウンロードを終了するまで、新規ファイルはスライドショーに追加されません。
ファイル名で並べ替える	スライドショーに表示される画像をファイル名で並べ替えます。

フォルダの同期を解除するには：

表示モードで、**[ファイル]** メニューにある **[フォルダの同期]** をクリックします。

オフライン画像を表示する

ACDSee は、CD または他のリムーバブル メディアに保存された画像のサムネイルやデータベース情報を、フォト ディスクとして保存します。そのため、CD-ROM ドライブにディスクが入っていなくてもそれらの画像のサムネイルを参照したり、画像情報を表示したりすることができます。

フォト ディスクを追加するには：

1. 画像を含むディスクを CD-ROM ドライブに挿入します。
2. 次のいずれかを実行します：
   - デバイス検出 が起動中の場合は、表示される手順に従って ACDSee フォト ディスクを作成します。
   - デバイス検出 が起動していない場合は、管理モードの **[ファイル]** メニューから**[新規作成]** を選択し、**[フォト ディスク]** をクリックします。
3. [新規ディスク] ダイアログ ボックスで、**「タイトル」** フィールドにディスク名を入力し、**[OK]** をクリックします。

フォルダペイン内の [オフライン メディア] から、作成したフォト ディスクをブラウズすることができます。

フォトディスクとして ACDSee に追加されたディスクから画像を追加または削除する場合、データベースに保存されている情報を更新することができます。CD-ROM ドライブにディスクを挿入し、フォルダペインでディスク名を右クリックして **[フォトディスクの更新]** を選択します。

既定では、ACDSee はフォトディスクをシリアル番号で区別します。特に ACDSee の以前のバージョンからフォトディスクをインポートあるいは変換する場合、この既定設定はフォトディスクを作業する最も確実な設定と言えます。

しかしながら、マルチセッションのディスクを作業中、あるいは近い将来そういったディスクと作業する予定がある場合などでは、ディスクの内容が変更されるたびにシリアル番号が再生成、あるいは変更されてしまう、という可能性があります。そのため、ボリュームラベルはマルチセッションのフォトディスクを識別するための方法として使用されます。

フォトディスクを再結合する

フォトディスクを識別するために設定されたオプションによっては、ACDSee で識別できないフォトディスクが見つかることがあります。これは、フォトディスクの識別にシリアル番号が使用されていながら、マルチセッションのディスクを挿入した場合に発生します。マルチセッション ディスクを更新した際にシリアル番号も変更されたために、ACDSee で認識することができません。

このような場合は、再結合オプションを使用して ID 情報を更新し、ディスクと適切なデータベース情報を関連付けます。

フォトディスクをデータベース情報と再結合するには:

1. [フォトディスクの再結合] ダイアログボックスから、現在のディスク情報に目を通して、ドライブに適切なディスクが挿入されているか確認します。
2. **[フォトディスクの名前]** 一覧から、現在のディスクと再結合したいフォトディスクの記録を選択します。
3. **[再結合]** をクリックします。

ACDSee Quick View を使用する

ACDSee Quick View は、ACDSee を開かずに画像を素早く表示するためのクイックビューアです。例えば、電子メールの添付ファイルとして画像を受け取った場合、その画像をダブルクリックするだけで、Quick View に表示されます。Quick View は、ACDSee の縮小版ビューアといったところです。

Quick View では、画像間のスクロール、画像を一時的に回転、拡大または縮小表示が可能です。Quick View でお気に入りの画像を見つけたら、デスクトップの壁紙として設定することも可能です。

Quick View から ACDSee への切り替えはとても簡単です。また、管理モードか表示モードのいずれかで開くことが可能です。

ACDSee ビューアのキーボードとショートカットに慣れているユーザーは、それらのほとんどを Quick View でも使用することができます。

Quick View で画像を開くには:

1. ACDSee を閉じたままの状態で、画像をダブルクリックします。例えば、Windows エクスプローラで参照中の画像、または電子メールに添付されている画像をダブルクリックします。
2. 以下に説明されている表示オプションを使用して、画像を表示します。

ACDSee Quick View の表示オプション

	前へ	前の画像を表示します。
	次へ	次の画像を表示します。
	左に回転	画像を左に回転します。
	右に回転	画像を右に回転します。
	拡大	画像を拡大表示します。
	縮小	画像を縮小表示します。
	削除	該当の画像をコンピュータのごみ箱に移動します。

ACDSee で画像を開くには:

- **[管理]** タブをクリックして、画像を管理モードで開きます。
- **[表示]** タブをクリックして、画像を表示モードで開きます。

画像をデスクトップの壁紙に設定するには:

1. デスクトップの壁紙として表示させたい画像が Quick View 内で表示されるまで、**[前へ]** あるいは **[次へ]** をクリックします。
2. **[ツール]** メニューから **[壁紙の設定]** をクリックし、以下のいずれかを選択します:
   - **中央に表示**: 画像をデスクトップの中央に配置します。
   - **並べて表示**: デスクトップ全体が覆われるように、1 つ以上の画像をタイルのように並べて配置します。画像が小さい場合には、複数のタイルとして、画像が大きい場合には、1 つまたは 2 つのタイルとして表示されます。
   - **拡大表示**: デスクトップ全体が最大限に覆われるように、縦横比を保ったまま画像を拡大表示します。

既定の壁紙に復元するには:

[ツール] メニューから **[壁紙を設定]**、次に **[復元]** を選択します。

別のアプリケーションで画像を表示する

ACDSee 内から別のプログラムでファイルを開くことができます。例えば、ドキュメントを作成したアプリケーションでそのドキュメントを開くことができます。

シェルコマンドを使用するには:

1. 管理モードで **[ファイル]** メニューから **[シェルコマンド]** をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
   - **開く**: Windows がそのファイル拡張子と関連付けているアプリケーションを使ってファイルを開きます。
   - **編集**: 既定のシステムアプリケーションでファイルを開くか、アプリケーションを選択することのできるダイアログボックスを開きます。

画像をデスクトップの壁紙に設定する

お気に入りの画像を Windows デスクトップの壁紙に設定することができます。壁紙の画像を画面に合せて自動拡大したり、以前使用した壁紙を復元したりすることも可能です。

画像をデスクトップの壁紙に設定するには:

1. 次のいずれかを実行します:
   - 管理モードで、画像を選択し、**[ツール]** メニューから **[壁紙の設定]** をクリックします。
   - 表示モードで、**[ツール]** メニューから **[壁紙の設定]** をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
   - **中央に表示**: 画像を画面の中央に配置します。画像が画面より大きい場合、画面の大きさに合わせて縮小します。
   - **並べて表示**: デスクトップ全体を覆うように、画像をタイル状に並べて表示します。
   - **拡大表示**: スクリーンに合わせて画像を拡大表示します。

   選択した画像は、「ACD Wallpaper.bmp」として Windows フォルダに保存されます。ACDSee は、コントロールパネルの壁紙の設定を自動的に変更して画像を表示します。

壁紙を画面に合わせて自動的に拡大するには:

1. **[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログボックスの **[全般]** をクリックします。

3. [全般] ページで、**[壁紙を画面に合わせて自動的に拡大する]** チェックボックスを選択します。
4. **[OK]** をクリックします。

以前表示した壁紙を表示するには:

[ツール] メニューから **[壁紙の設定]** そして **[復元]** をクリックします。

ブラシ ファイルを表示する/使用する

フォント ファイルやその他のファイルのように、ブラシ ファイルを管理モードで表示することができます。これは、ACDSee を使って他のファイル同様に重要度を適用したり、管理したりできることを意味します。.abr は、1 つのファイル内に複数の画像を含むファイル形式のため、表示モードで個々の画像を開く必要があります。

ACDSee では、.abr ブラシ ファイルはこのアイコンで表示されます。

ブラシ ファイルを表示するには:

管理モードで、ブラシ ファイルの含まれているフォルダをナビゲートします。

- .abr ファイルの最前面にある画像を表示するには、そのサムネイルの上にマウスを移動してポップアップ表示するか、サムネイルをクリックしてプレビュー ペインに表示します。
- .abr ファイルのその他の画像を表示するには、ダブルクリックしてファイルを表示モードで開きます。左手のペインに各画像を表示した形で、表示モードにファイルが開かれます。
- サイドバー上部の下矢印をクリックすると、ブラシ ファイルに含まれている合計画像数が表示されます。特定番号の画像を表示するには、この下矢印をクリックし希望する番号を選択します。
- 画像間をスクロールするには、サイドバー上部または各画像にある右または左矢印をクリックします。

Adobe Photoshop でブラシ ファイルを使用するには:

Adobe Photoshop と ACDSee の両方を開いた状態で、管理モードのファイル一覧から Photoshop のウィンドウにファイルをドラッグします。

何も起こっていないかのように見えますが、ドラッグされたファイルは、Photoshop のブラシ ライブラリにロードされます。新規ブラシ ファイルを表示するには、ライブラリを開いてから、ペイン下部までスクロールします。

Photo Shop を既定のエディタとして設定すると、Photo Shop でブラシ ファイルを扱いやすくなります。**<Ctrl> +<E>** キーを使用して Photoshop を開き、ブラシファイルをすぐに使用することができます。

オーディオとビデオ ファイルを再生する

ACDSee では、様々なフォーマットのビデオまたはオーディオ ファイルを再生することができます。再生ボリュームや外観を設定したり、メディア ファイルの一部を選択して再生または保存したり、ビデオ フレームから画像を作成したりすることができます。

オーディオまたはビデオ ファイルを再生するには:

管理モードのファイル一覧ペインで、次のいずれかを実行します:

- オーディオまたはビデオ ファイルをダブルクリックします。
- 1 つ以上のファイルを選択して、**<Enter>** キーを押します。
- 1 つ以上のファイルを選択して、それらのファイルを右クリックした後 **[表示]** を選択します。
- メディアツールバーを使用して、ボリューム調節、停止、一時停止、繰り返し、メディア ファイルの外観を変更します。

オーディオおよびビデオ ファイルを自動再生する

表示モードでオーディオまたはビデオ ファイルを開くとすぐに、または管理モードの プレビュー ペイン で開くと自動再生されるように設定することができます。

メディア ファイルを自動再生するには:

1. 管理モード、あるいは表示モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** そして **[プレビュー]** をクリックします。
2. **[オーディオおよびビデオクリップの 自動再生]** チェックボックスをオンにします。
3. **[OK]** をクリックします。

メディア ツールバー

メディア ツールバーを使用して、頻繁に使用するメディアの表示や編集ツールにすばやくアクセスすることができます。

メディア ツールバーのボタン

再生	メディア ファイルまたは選択範囲を再生します。メディア ファイルまたは選択範囲の再生中は、一時停止ボタンに変わります。
一時停止	メディア ファイルまたは選択範囲を一時停止します。
停止	メディア ファイルまたは選択範囲の再生を停止します。

選択範囲とメディア コントロールのツールバー ボタン

選択範囲の表示	選択ハンドルを表示または非表示にします。
選択範囲の再生	メディア ファイルの選択範囲のみを再生します。
名前を付けて保存	新しいファイル名を付けてビデオを保存します。
フレームの抽出	ビデオフレームをコピー、保存、抽出することのできるメニューを開きます。
ループ	メディア ファイルまたは選択範囲を繰り返し再生します。
回転回転	ビデオを時計回りに 90 度回転します。
自動レベル効果	ビデオの色と光のレベルを自動的に調整します。
ガンマ効果	[ガンマ] ダイアログ ボックスを開き、ビデオのガンマ値を補正します。値が大きくなるほど、ビデオは明るくなります。ガンマ値をリセットするには、**[既定値]** をクリックします。

メディア ファイルの一部を選択する

オーディオまたはビデオ ファイルの一部を選択して再生することができます。

オーディオまたはビデオ ファイルの一部を選択するには:

1. **[選択範囲の表示]** ボタンをオンにします。
2. 開始部分と終了部分のハンドルを移動して再生する範囲を指定します。
3. **[選択範囲の再生]** ボタンをオンにします。
4. **[再生]** ボタンをクリックします。

ビデオのフレームを画像として保存する

ビデオのフレームから画像を抽出して静止画像として保存したり、複数のフレームをシングル画像として保存したりすることができます。

ビデオのフレームを画像として保存するには:

1. 次のいずれかを実行します:
   - ビデオの再生中に、保存したいフレームで **[一時停止]** ボタンをクリックします。
   - スライダをドラッグして、保存したいフレームを表示します。
2. 選択範囲とメディアコントロール のツールバーの **[フレームの抽出]** ボタンをクリックし、**[現行フレームを抽出...]** を選択します。
3. [現行フレームの抽出] ダイアログボックスで、ファイルの保存先を選択します。
4. **[ファイル名]** フィールドにファイル名を入力します。
5. **[ファイルの種類]** ドロップダウンリストからファイルフォーマットを選択します。**[オプション]** ボタンをクリックし、選択したファイルフォーマットに関連したオプションを選択または変更します。
6. **[保存]** ボタンをクリックします。

複数のビデオのフレームを複数の画像として保存するには:

1. ビデオの一部を 選択 します。
2. 選択範囲とメディアコントロール のツールバーの **[フレームの抽出]** ボタンをクリックし、次のいずれかのオプションを選択します:
   - **選択されたフレームを抽出**: ビデオファイルの選択範囲に含まれるすべてのビデオのフレームを抽出します。
   - **すべてのフレームを抽出**: ビデオファイルのすべてのフレームを抽出します。
3. [フレームを抽出する] ダイアログボックスの **[参照]** ボタンをクリックし、ファイルの保存先を選択します。
4. **[ファイル名]** フィールドにファイル名を入力して画像を保存します。各フレームのファイル名に数字が追加されます。
5. **[フォーマット]** ドロップダウンリストからファイルフォーマットを選択します。**[オプション]** ボタンをクリックし、選択したファイルフォーマットに関連したオプションを選択または変更します。
6. **[OK]** をクリックします。

画像にオーディオを追加/編集する

ACDSee は、オーディオが埋め込まれた画像やオーディオファイルと関連付けられた画像をサポートしています。

オーディオが埋め込まれた画像とは、オーディオがファイル内に保存されている TIFF または JPEG 画像を指します。画像にオーディオを追加することで、画像ファイル内にオーディオを直接埋め込むことができます。

オーディオファイルと関連付けられた画像とは、WAV ファイルとペアになっている画像のことです。画像ファイルと関連付けられたオーディオファイルは、同じフォルダ内に同じファイル名で保存されます。WAV ファイルと画像に同じファイル名を付けて同じフォルダ内に保存するか、画像にオーディオを追加することで、画像とオーディオを関連付けることができます。

関連付けられた画像ファイルまたはオーディオファイルを移動する、あるいは名前を変更する場合、同じフォルダ内にある両方のファイルの名前を変更しなければなりません。そうでなければ、画像とオーディオの関連付けが解除されてしまいます。なお、この法則は TIFF や JPEG などオーディオの埋め込まれた画像には当てはまりません。

画像にオーディオを追加するには:

1. 次のいずれかを実行します:
   - 管理モードで画像を選択します。
   - 表示モードで画像を開きます。
2. **[ツール]** メニューから **[画像オーディオ]** そして **[編集]** をクリックします。
3. [オーディオの編集] ダイアログボックスで、**[参照]** ボタンをクリックします。
4. .WAV ファイルを選択し、**[保存]** をクリックします。

5. オーディオ ファイルの一部を切り捨て、あるいはクリップしたい場合、**[マーカーを使用する]** チェックボックスをオンにして、**[開始マーカー]** と **[終了マーカー]** のスライダをドラッグします。次のいずれかを実行します:
   - オーディオファイルの始まりと終わり(開始マーカーと最終マーカーの範囲外) を削除するには、**[切り捨て]**ボタンをクリックします。
   - オーディオ ファイルの一部 (開始 マーカーと最終 マーカーの 範囲内) を削除するには、**[クリップ]** ボタンをクリックします。
6. ファイルのプレビューを聞くには、**[再生]** ボタンをクリックします。
7. **[OK]** をクリックします。

画像にオーディオを録音する

オーディオ ファイルを録音して、画像に追加することができます。 JPEG または TIFF 画像にオーディオを追加する際、オーディオは画像に直接埋め込まれます。その他のファイル フォーマットでは、オーディオは画像に関連付けられます。オーディオ ファイルは画像と同じフォルダに保存され、画像が表示される際に再生されます。

オーディオ ファイルを録音し画像に追加するには:

1. 次のいずれかを実行します:
   - 管理モードで画像を選択します。
   - 表示モードで画像を開きます。
2. **[ツール]** メニューから **[画像オーディオ]** そして **[編集]** をクリックします。
3. [オーディオの編集] ダイアログ ボックス内で、以下を参照にして **[サウンドの録音設定]** オプションを設定します。
4. **[録音]** をクリックし、次のいずれかを実行します:
   - マイクを使用してサウンドを録音します。
   - コンピュータのオーディオ プレイヤーでオーディオを再生します。
5. **[録音]** ボタンをもう一度クリックし、録音を停止します。
6. **[名前を付けて保存]** ボタンをクリックし、オーディオ ファイルを保存します。
7. [サウンド ファイルの保存] のダイアログ ボックスで、**[ファイル名]** のフィールドにファイル名を入力し、**[保存]** ボタンをクリックします。
8. **[OK]** をクリックします。

サウンドの録音設定 オプション

キャプチャ デバイス	オーディオの録音に使用するデバイスを指定します。
入力フォーマット	サウンドの録音に使用するサンプル レートとオーディオ タイプを指定します。表示されるフォーマットは、コンピュータにインストールされているサウンド カードにより異なります。
上書き	録音されたオーディオを **[開始マーカー]** のスライダの位置に上書きします。
ミックス	既存のオーディオ ファイルと録音を結合します。
開始マーカーの位置に挿入	開始マーカーの位置に録音を挿入します。**[開始マーカー]** スライダをドラッグし、位置を選択します。
サウンド ファイルに追加	既存のオーディオ ファイルに録音を追加します。
サウンド ファイルの置換え	オーディオ ファイル全体を新しい録音と置換えます。

画像の一部を選択する

表示モードの [選択ツール] を使用して、画像の一部を四角形で選択することができます。選択した画像の一部を新しい画像として保存したり、デスクトップ壁画として使用したり、ズーム、コピー、印刷することができます。

画像の一部を選択するには:

1. **[選択ツール]** アイコンをクリックします。
2. 画像上にカーソルを置いてドラッグし、マーキーを作成します。
3. マーキーの内部を右クリックして、次のいずれかのオプションを選択します。
4. 選択範囲をクリアするには、マーキーの外部をクリックします。

選択範囲のオプション

選択範囲を拡大	選択範囲を拡大します。
コピー	選択範囲をクリップボードにコピーします。
名前を付けて保存	選択範囲を新規画像として保存します。
印刷	選択範囲を印刷します。
壁紙として中央に表示	選択範囲を使用して壁紙を作成し、デスクトップの中央に表示します。必要であれば縮小します。
壁紙として並べて表示	選択領域を使用してタイル壁紙を作成します。

表示モードでファイルプロパティを表示する

管理モードで画像のプロパティペインを開き、プロパティの情報を編集することができます。

画像のプロパティを表示するには:

表示モードで、**[表示]** メニューから **[プロパティ]** をクリックします。

プロパティペインに関する詳細、およびデータベースの追加や編集に関する情報につきましては、プロパティペインの使い方 をご覧ください。

表示モードで画像を印刷する

ACDSee の印刷ユーティリティでは、プリンタでサポートされている画像の用紙サイズ、方向、およびプリンタがサポートしている解像度から印刷に使用する解像度を設定することができます。また、印刷ユーティリティを使えば、ヘッダー／フッター／キャプションが追加された画像のコンタクトシートを印刷することも可能です。

[印刷] ダイアログボックスのオプションを変更すると、画像のプレビューと用紙の位置が更新されます。その他に、出力サイズの調整、印刷部数の設定、各ページの画像の方向を変更することができます。

1 つの画像を印刷するには:

1. 表示モードで、印刷したい画像を選択します。
2. **[ファイル]** メニューから **[画像の印刷]** を選択します。
3. **[フォーマット]** 領域から、印刷サイズを選択します。
4. **[プリンタオプション]** タブをクリックし、使用するプリンタ、用紙サイズ、印刷部数、印刷範囲、解像度などを指定します。
5. **[ページ設定]** タブをクリックし、画像の位置や余白、各写真の印刷部数などを指定します。
6. キャプション、ヘッダーまたはフッターを追加します。
7. **[印刷]** ボタンをクリックします。

すべての画像を印刷するには:

1. 表示モードで、**[ファイル]** メニューにある **[すべての画像の印刷]** をクリックします。
2. **「印刷レイアウト」** のセクションで、下記のいずれかを実行します:
   - **[フルページ]** を選択し、**[フォーマット]** 一覧から希望する印刷サイズを選択します。
   - **[コンタクトシート]** を選択し、**[コンタクトシート フォーマット]** オプションを設定して希望するコンタクト シートを定義します。
   - **[レイアウト]** を選択し、希望するレイアウトオプションを 1 つ選択します。
3. **[プリンタ オプション]** タブをクリックし、使用するプリンタ、用紙サイズ、印刷部数、印刷範囲、解像度などを指定します。
4. **[ページ設定]** タブをクリックし、ページの位置や余白などを指定します。
5. 各画像の印刷部数を指定します。**[フルページ]** または **[コンタクトシート]** を印刷する場合、このオプションは **[ページ設定]** タブに表示されます。**[レイアウト]** を印刷する場合、このオプションはレイアウト一覧の下に表示されます。
6. キャプション、ヘッダーまたはフッターを追加します。**[フルページ]** または **[コンタクトシート]** を印刷する場合、キャプション、ヘッダーまたはフッターを追加することができます。
7. **[印刷]** ボタンをクリックします。

オリジナルの表示

画像に変更を加えても、オリジナル画像は保存されているため、オリジナルの設定に復元することができます。

オリジナル画像を表示する手順:

1. 表示モードで、編集された画像を選択します。
2. 画面下のツールバーの**オリジナルを表示**ボタンをクリックし、ホールドします。

   マウスボタンを放すと、編集済みの画像が表示されます。

変更の確定

画像に変更を加えても、オリジナル画像は保存されているため、オリジナルの設定に復元することができます。編集した画像をそのまま保持する場合には、オリジナル画像として保存し、画像に加えた変更を確定します。これによって、保存されているすべてのサイドカーファイルまたはオリジナル画像は削除され、画像が編集されていることを示すEのオーバーレイアイコンが消えます。

画像に加えた変更を確定する手順:

1. 管理モードまたは表示モードで、編集された画像を選択します。
2. **ツール | 変更の確定**をクリックします。

ズームを使用する

画像をズームする

表示モードで画像を表示する際、ズーム ツールを使用して、表示中の画像サイズを拡大または縮小することができます。

表示モード ウィンドウのサイズよりも画像を大きくズームすると、マウスポインタが手のひらの形に変わり、画像をパンまたはスクロールできるようになります。

画像を拡大または縮小するには:

[ツール] メニューから **[ズーム]** をクリックし、ズーム メニュー オプションから 1 つ選択します。

ズーム メニューのオプション

拡大	画像を拡大します。
縮小	画像を縮小します。
実寸表示	オリジナルの画像 サイズで画像を表示します。
画面に合わせて表示	表示モード ウィンドウに収まる最大サイズで画像を表示します。
幅に合わせて表示	表示モード ウィンドウの幅に合わせて画像を表示します。
高さに合わせて表示	表示モード ウィンドウの高さに合わせて画像を表示します。
ズームの固定	現在の画像のズーム オプションをすべての画像に適用して表示します。ズーム レベルを変更する場合、表示するすべての画像に変更されたズーム レベルが適用されます。
選択範囲を拡大	ズーム レベル を選択することができる [ズーム レベルの設定] ダイアログ ボックスが表示されます。
パンの固定	画像のパン 領域を固定します。

[画面に合わせて表示] を選択すると、キーボードの左右矢印キーを押して、前後の画像を表示することができます。

ズーム レベルを設定する

[ズーム レベルの設定] ダイアログ ボックスを使って、表示モードのズーム レベルを設定することができます。

特定のズーム レベルを設定するには:

1. **[ツール]** メニューから **[ズーム]** そして **[倍率指定]** を選択します。
2. [ズーム レベル] 領域から、次のいずれかを選択します:
   - **画面に合わせて表示**: ウィンドウに画像全体が収まるように、画像をズームします。
   - **幅に合わせて表示**: ビューアの幅に合わせて、画像をズームします。
   - **高さに合わせて表示**: ウィンドウの高さに合わせて、画像をズームします。
   - **倍率指定**: 特定のズーム倍率を指定します。数値をフィールドに入力するか、またはドロップダウン リストからズーム レベルを選択します。
3. この設定を表示モードのズーム レベルの既定値として使用するには、**[このズーム レベルで固定する]** チェックボックスをオンにします。表示モードでは、すべての画像が指定されたズーム レベルで表示されます。
4. **[OK]** をクリックします。

[画面に合わせて表示] を選択すると、キーボードの左右矢印キーを押して、前後の画像を表示することができます。

画像を自動拡大/自動縮小する

[ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの [表示] ページの設定を使用して、ACDSee ウィンドウのサイズに合わせて画像を自動的に拡大または縮小することができます。ズーム オプションの組み合わせについての詳細は、下の「ズーム モードとサイズ変更の結果」の表をご参照ください。

画像を自動拡大／自動縮小するには:

1. 管理モード、あるいは表示モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. [ACDSee オプション] ダイアログボックスで、**[表示モード]** から **[表示]** をクリックします。
3. 「ズーム オプション」セクションで、**[ズーム モードの既定値]** ドロップダウン リストからオプションを選択します:
   - **実寸表示**: 画像のオリジナルサイズを保持します。
   - **幅に合わせて表示**: 表示モード ウィンドウの幅に合わせて、画像をサイズ変更します。

- **高さに合わせて表示**：表示モード ウィンドウの高さに合わせて、画像をサイズ変更します。
- **画面に合わせて表示**：表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、画像をサイズ変更します。

4. **[サイズ変更]** ドロップダウン リストから、次のいずれかのオプションを選択します：
   - **縮小のみ**：表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、大きい画像を縮小します。
   - **拡大のみ**：表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、小さい画像を拡大します。
   - **拡大または縮小**：表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、大きい画像は縮小、小さい画像は拡大します。
5. **[OK]** をクリックします。

ズーム モードとサイズ変更の結果

	画面に合わせて表示	幅に合わせて表示	高さに合わせて表示
縮小のみ	表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、大きい画像を縮小します。	大きい画像は、表示モード ウィンドウの幅に合わせて縮小されます。	大きい画像は、表示モード ウィンドウの高さに合わせて縮小されます。
	表示モード ウィンドウより小さい画像は、元のサイズで表示されます。	表示モード ウィンドウより小さい画像は、元のサイズで表示されます。	表示モード ウィンドウより小さい画像は、元のサイズで表示されます。
拡大のみ	小さい画像は、表示モード ウィンドウのサイズに合わせて拡大されます。	大きい画像は、表示モード ウィンドウの幅に合わせて拡大されます。	小さい画像は、表示モード ウィンドウの高さに合わせて拡大されます。
	表示モード ウィンドウより大きい画像は、元のサイズで表示されます。	表示モード ウィンドウより大きい画像は、元のサイズで表示されます。	表示モード ウィンドウより大きい画像は、元のサイズで表示されます。
拡大または縮小	表示モード ウィンドウのサイズに合わせて、大きい画像は縮小、小さい画像は拡大されます。	大きい画像は縮小し、小さい画像は拡大して、ビューアの左右に合わせます。	大きい画像は縮小し、小さい画像は拡大して、ビューアの上下に合わせます。

[画面に合わせて表示] を選択すると、キーボードの左右矢印キーを押して、前後の画像を表示することができます。

拡大された画像のサムネイルを表示する

ナビゲータ ペインを使って、拡大された画像のサムネイルを表示します。表示モード内で表示されている画像の領域は、マーキーで囲まれます。

ナビゲータ ペインを使用するには：

1. 表示モードで、**[表示]** メニューから **[ナビゲータ ペイン]** をクリックします。
2. ナビゲータ ペインのスライダをドラッグして、表示モードで表示する画像の拡大率を設定します。
3. ナビゲータ ペインのマーキーをドラッグして、表示モードで見たい画像の領域に移動します。

拡大表示された画像のパンニング

表示モードでは、大きい画像を上下、左右、対角線上に移動して画像の特定部分をパンニングすることができます。ACDSee のウィンドウ サイズよりも大きな画像を扱う場合は、[スクロール] ツールを使うことになり、カーソルが手の形に変わります。

画像をパンニングするには：

次のいずれかを実行します：

- 表示したい画像の部分を中心にドラッグします。
- 矢印キーを使って移動します。**<Ctrl>** キーをホールドすると、移動の速度が速くなります。一方 **<Shift>** キーをホールドすると、移動の速度が遅くなります。

パンを固定する

[パンの固定] 設定を使用すると、複数の大きい画像を表示する際、画像の同じ部分を表示モードの中心として自動表示することができます。

パンを固定するには:

1. 表示モードで、大きい画像の上をパンニングし、表示したい部分を指定します。
2. ズーム メニューを使用して、画像に適切なズームになるまで調整します。
3. **[ツール]** メニューから **[ズーム]** そして **[ズーム固定]** を選択して、現在のズームレベルを保持します。
4. **[ツール]**メニューから**[ズーム]** そして **[パンの固定]** を選択します。

   ビューアで次の画像を表示する際、画像の同じ部分が自動拡大/自動縮小されてビューアの中心に表示されます。

画像の特定領域を拡大表示する

虫めがねペインでは、画像の特定領域を拡大表示することができます。

虫めがねペインを使用するには:

1. 表示モードで、**[表示]** メニューから **[虫めがね ペイン]** をクリックします。
2. 画像の任意の領域にカーソルを移動して、その領域を虫めがねペインで表示します。
3. 虫めがねペインの設定を変更するには、次のいずれかを実行します:
   - 虫めがねペインのスライダをドラッグして、拡大率を設定します。
   - **[固定]** チェックボックスをオンにして、元の画像サイズにスライダの設定を適用します。**[固定]** チェックボックスをオフにして、表示モード内で画像の拡大部分にスライダの設定を適用します。
   - **[スムーズ]** チェックボックスをオンにして、画像の拡大部分にアンチエリアスを適用します。画像のピクセルを表示するには、**[スムーズ]** チェックボックスをオフにします。

第 5 章： 編集モード

編集モードでは、画像に変更を適用させることができます。ライティングやカラーを変更して画像の見た目を編集したり、画像のトリミング、反転、サイズ変更、回転などを行います。また、「選択範囲」ツールを使用して、画像の特定部分を修正することもできます。さらに、赤目補正、枠、特殊効果などを追加して、画像の最終仕上げをします。

編集モードでは、次のことが可能になります:

- 「選択範囲」ツールを使用して、画像の特定部分を選択したり、編集を適用します。
- 不必要なキズやオブジェクトの削除または赤目補正。
- テキスト、枠、ヴィネット、特殊効果などを加えます。
- 画像のトリミング、反転、サイズ変更、回転を行います。
- 露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ、ライティングツールを使用して、ライティングを調整します。
- ホワイトバランスまたはカラーバランスツールを使用して、カラーを調整します。
- シャープネス、ノイズ除去、ノイズ追加、ぼかしツールを使用して、ディテールを追加します。

編集モードを使用する

編集を使用する

編集モードでは、赤目補正や特殊効果などの編集ツールを使用して、調整を行うことができます。

画像を編集する

画像を編集するには:

1. 次のいずれかを実行します:
   - 管理モードで、1 つ以上のファイルを選択し、**[編集]** をクリックします。
   - 表示モードで、1 つ以上のファイルを選択し、**[編集]** をクリックします。
2. [編集] ペインの [選択範囲] グループから、選択範囲 をクリックします。
3. [編集] ペインの [補正] グループから、赤目補正 または 修整ツール をクリックします。
4. [編集] ペインの [追加] グループから、テキスト、枠、ヴィネット をクリックする、または 特殊効果 をクリックしてご希望の特殊効果を選択します。
5. [編集] ペインの [ジオメトリ] グループから、回転、反転、トリミング、または サイズ変更 をクリックします。
6. [編集] ペインの [露出/ライティング] グループから、露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ または ライティング をクリックします。
7. [編集] ペインの [カラー] グループから、ホワイトバランス、またはカラーバランス をクリックします。
8. [編集] ペインの [ディテール] グループから、シャープネス、ぼかしまたは「ノイズ」をクリックして、ノイズを削除したり追加したりします。
9. 画像を保存するオプションが幾つかありますので、詳細につきましては、編集で画像を保存する をご覧ください。

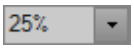
[現像] またはオリジナルの設定に復元する

[編集] で行った変更を破棄して、現像済みの状態、あるいはオリジナルの設定に復元することができます。画像を元に戻す手順につきましては、オリジナルと現像設定に復元する をご覧ください。

ヒストグラムと画像の表示コントロールについて

画像の編集中に、モードの右下に位置しているズームコントロールを調整して、画像の表示を拡大/縮小することができます。

ヒストグラム	現在の画像のヒストグラムプレビューを表示します。ヒストグラムプレビューは、画像に見られるレッド、グリーン、ブルーのカラーチャンネルを表しています。カラーチャンネルの調整がプレビューに反映されるため、ヒストグラムは特に露出を調整する場合に便利です。 **[表示]** メニューから **[ヒストグラム ペイン]** を選択して、別のウィンドウとして開くことも可能です。
元に戻す/やり直し	[元に戻す] は、現在開かれているタブで行われたすべての変更を破棄します。[やり直し] は、[元に戻す] をクリックする前に選択されたオプションに戻ります。[編集] 内では、[元に戻す] および [やり直し] ボタンに、元に戻すことができる、またはやり直しすることができる変更が表示されます。
画面に合わせて表示	画像をフルスクリーンで表示します。<F> キーを押してフルスクリーンで表示し、もう一度押して [編集] に戻ります。
原寸表示	現行の画像を原寸で表示します。
ナビゲータ ペイン	画像の特定領域をズームします。[ナビゲータ] アイコンをクリックして画像の小さい版を表示し、画像の特定領域にカーソルをドラッグします。カーソルをリリースして、ズームします。[ナビゲータ] アイコンは、[実寸表示] をクリックしてからのみ有効になりますのでご注意ください。
画面に合わせて表示	編集モードの領域に合わせて画像を縮小します。
保存済みの表示	変更前と変更後の表示を切り替えます。現在処理中の画像と、最後に保存された画像を比較します。

ズーム スライダ	右にドラッグすると画像のサイズが大きくなり、左にドラッグすると画像のサイズが小さくなります。
ズームドロップダウン リスト 	ドロップダウン リストから、希望のズームを選択します。

編集でプリセットを使用する

ACDSee に搭載されている編集ツールや特殊効果のほとんどで、使用した設定をプリセットとして保存し、次回以降利用することができます。頻繁に使用する特定のツールや効果の設定を保存することができるので、時間の短縮にもなりとても便利です。

ACDSee のほとんどのツールでは、[適用] または [完了] をクリックすると設定が自動的に保存されます。プリセットは「最終使用」を意味します。

[プリセットの保存] と **[削除]** ボタンは、プリセットを保存可能な編集ツールのパネル上部で見つけることができます。

プリセットを保存するには:

1. ツールを選択してオプションを設定します。
2. **[プリセットの保存]** ボタンをクリックします。
3. [新規プリセット] ダイアログ ボックスで、プリセット名を入力して **[OK]** をクリックします。

以前保存されたプリセットを使用するには:

1. プリセットが作成されたツールを選択します。
2. **[プリセット]** ドロップダウン リストから、適用するプリセットを選択します。

プリセットを削除するには:

1. プリセットが作成されたツールを選択します。
2. **[プリセット]** ドロップダウン リストから、削除するプリセットを選択します。
3. **[削除]** ボタンをクリックします。
4. [削除の確認] ダイアログ ボックスで、**[はい]** をクリックします。

元に戻す/やり直しボタンを使用する

画像の編集では、画像の変更を元に戻したり、やり直すことができます。

変更を元に戻すには:

編集モードで、**[元に戻す]** ボタンをクリックします。

変更をやり直すには:

編集モードで、**[やり直し]** ボタンをクリックします。

オリジナルを復元する

一度画像に変更を確定すると、オリジナルの状態に戻すことはできなくなります。ご注意ください。

すべての変更を破棄して、オリジナルの画像に戻すことができます。

編集モード内で、画像をオリジナルの状態に戻すには:

編集モードで、**[ファイル]** メニューから **[オリジナルに戻す]** を選択します。

管理モード内で、画像をオリジナルの状態に戻すには:

1. 編集モードで、画像を選択します。
2. **[ツール]** メニューから **[オリジナルに戻す]** をクリックします。

表示モード内で、画像をオリジナルの状態に戻すには:

1. 表示モードで画像を選択してます。
2. **[ツール]** メニューから **[処理]** そして **[オリジナルに戻す]** をクリックします。

ブレンドモードと不透明度について

編集内のツールの中には、スクリーンの上部に[ブレンド]と[不透明度]ツールが表示するものがあります。これらのツールをクリエイティグに使用して、新しい画像を生み出すことができます。「ブレンドモード」と「不透明度」は、画像全体、あるいは画像の選択された部分のみに適用することができます。

不透明度

「不透明度」スライダは、編集済み画像の透過度を変更するためのものです。施された編集が画像上でどれだけ表示されるかをコントロールします。

ブレンドモード

オリジナルの画像と編集済み画像がどのように結合されるかをコントロールします。つまり、「不透明度」を除くその他のブレンドモードで、最終画像を変更することができます。

標準	編集済みの画像内にあるピクセルが、オリジナルのピクセルと結合されます。このブレンドでは、透明度のみ影響されます。
スクリーン	編集済みの画像とオリジナル画像の逆の色を結合するため、似たようなあるいはやや軽めの色に仕上がります。
乗算	編集済み画像とオリジナル画像の色を結合するため、やや暗い色に仕上がります。黒で乗算すると黒になり、白で乗算すると元の色のままになります。
覆い焼き	編集済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや明るい色に仕上がります。
書き込み	編集済み画像の色と、オリジナル画像内のピクセルを結合するため、やや暗い色に仕上がります。
オーバレイ	下にあるレイヤーのシャドウやハイライトを保ったまま、オリジナル画像の色の値を基準に乗算かスクリーンのブレンドモードを適用します。
差の絶対数	オリジナル画像の色から編集済みの色を減算します。編集済み画像に含まれている白は、画像のネガティブ効果を生みますが、黒では効果が見られません。
比較(暗)	オリジナル画像よりも暗い編集済み画像のピクセルに、ブレンドモードを適用します。編集済み画像よりも明るい画像のピクセルは消失します。(RGB 値を基準にしています。)
比較(明)	オリジナル画像よりも明るい編集済み画像のピクセルに、ブレンドモードを適用します。編集済み画像よりも暗い画像のピクセルは消失します。(RGB 値を基準にしています。)
ハードライト	強調したハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に乗算またはスクリーンを適用します。
ソフトライト	ソフトなハイライトまたはシャドウを加え、オリジナル画像の色の値を基準に暗くまたは明るく仕上げます。
色相	編集済み画像の色相値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
彩度	編集済み画像の彩度を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
カラー	編集済み画像の色相と彩度を画像に適用します。このブレンドはオリジナル画像の明度を影響しません。
明度	編集済み画像の明度値を、オリジナル画像の領域の色に適用します。
ディゾルブ	編集済み画像レイヤーの幾つかのピクセルをオリジナル画像に適用するため、斑点の効果を生み出します。「不透明度」スライダで斑点の強度をコントロールします。

「ブレンドモード」と「不透明度」は、数多くの編集ツールと特殊効果で利用することができますが、これらが不必要な編集ツールと特殊効果では表示されません。「ブレンドモード」と「不透明度」が表示されないツールの一覧は次の通りです: トリミング、サイズ変更、回転、反転、透かし、テキスト、赤目補正、修整ツール、選択範囲

画像に加えられた変更をプレビューで確認する

プレビューバーを使って、変更を目で確認することができます。「プレビューバー」には、編集内で最後にロードされた画像と、変更後の画像が表示されます。ペイン内をドラッグして画像をパンニングしたり、プレビューバーの角またはエッジをドラッグして、サイズを変更することができます。

[プレビュー] ボタンをクリックして、プレビューバーにアクセスします。

プレビューバーは、次の編集ツールで利用することができます:

- 追加: ヴィネット、特殊効果
- ジオメトリ: 回転、反転
- 露出/ライティング: 露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ、ライティング
- カラー: ホワイトバランス、カラーバランス
- 詳細: シャープネス、ぼかし、ノイズ

プレビューバーを開くには:

1. 編集モードで、編集ツールを開きます。
2. **[プレビュー]** ボタンをクリックします。

   プレビューバーの上部ペインにはオリジナル画像が表示され、下部ペインには編集された画像が表示されます。ペインの中間には、画像の表示ツールバーが表示されます。

[保存済みの表示] ボタンをクリックして、オリジナル画像と編集された画像を切り替えることも可能です。

ピクセルのサイズ変更オプションと適用後

ピクセルの大きさを新しく設定することで、管理モードの複数の画像を拡大／縮小することができます。ピクセル単位でサイズ変更する詳しい情報につきましては、画像のサイズを変更する あるいは 複数の画像サイズを変更する をご覧ください。

画像を拡大すると、ピクセルがモザイク化するため画質を下げることになります。可能な限り、画像のサイズを拡大しないようにお勧めします。

サイズ変更 オプション	オプション	操作
拡大のみ	**幅のみ**	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。幅の値が増加すると、縦横比を保つために高さの値も増加します。
	高さのみ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。高さの値が増加すると、縦横比を保つために幅の値も増加します。

幅と高さ	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。	
幅または高さ(最大画像)	指定された値が元の画像サイズより大きい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最大にするために、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。	
縮小のみ	**幅のみ**	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。幅の値が減少すると、縦横比を保つために高さの値も減少します。
	高さのみ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。高さの値が減少すると、縦横比を保つために幅の値も減少します。
	幅と高さ	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
	幅または高さ(最大画像)	指定された値が元の画像サイズより小さい場合、画像サイズを変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最小にするために、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
拡大または縮小	**幅のみ**	指定された値に幅を変更し、縦横比を保つために高さも変更します。
	高さのみ	指定された値に高さを変更し、縦横比を保つために幅も変更します。
	幅と高さ	画像サイズを指定された幅と高さに変更します。縦横比を保ちながら、幅と高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。
	幅または高さ(最大画像)	画像サイズを指定された幅と高さに変更します。縦横比を保ちながら、画像サイズを最大または最小にするために、幅または高さを指定された値にできるだけ近づけるように調整します。

編集モードで画像を保存する

編集モードには、以下のように、画像に変更を保存する方法ためのオプションがあります。

オプション	結果
完了	変更を保存し、以前使用していたモードに戻ります。
キャンセル	保存されていない変更をすべて破棄し、以前使用していたモードに戻ります。
保存	• **保存**：変更を画像に保存します。RAW ファイルフォーマットの場合、RAW ファイルに変更を直接保存することができないため、[保存] オプションを使用することはできません。RAW ファイルに変更を保存したい場合は、**[名前を付けて保存]** を使って別のファイルフォーマットで保存します。 • **名前を付けて保存**：変更された画像に新しいファイル名とフォーマットを付けて保存します。 • **クリップボードにコピー**：別のアプリケーションで使用するために、変更が適用された画像をクリップボードにコピーします。

フィルムストリップで変更が保存される方法

次のいずれかを実行すると、ACDSee 12 によって変更が自動的に保存されます。

- [完了] ボタンの横にある矢印ボタン(次または前の画像を開く) をクリックする。
- フィルムストリップの上にある **[前へ]** または **[次へ]** ボタンをクリックする。
- フィルムストリップで画像をクリックする。
- **[ファイル]** メニューから **[次の画像を開く]** を選択する。
- **[ファイル]** メニューから **[前の画像を開く]** を選択する。

選択範囲ツール

選択範囲を使用する

[選択範囲] ツールを使用して、画像全体ではなく、画像のある特定領域だけを選択して、その領域だけに編集やフィルタを適用することができます。3 つの選択ツールから選択範囲を指定することができます。また、各ツールの選択方法はそれぞれ異なります。選択したツールによって、利用できるオプションやコントロールが変わります。

選択範囲 ツールを使用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから、**[選択範囲]** をクリックします。
2. 次のいずれかのツールを選択します: 自由選択、自動選択、マーキー。各ツールの詳しい使用方法につきましては、下記をご覧ください。

[編集] モードのツールを使用している間、スクリーンの上部にある **[作成]** ボタンをクリックすると[選択範囲] ツールに素早くアクセスすることができます。選択範囲の選択が完了したら **[完了]** をクリックして編集ツールに戻るか、**[選択範囲の変更]** をクリックして選択範囲を変更します。

選択範囲 ツールは、次の編集ツールで利用することができます:

- 追加: ヴィネット、特殊効果
- 露出/ライティング: 露出、レベル調整、自動レベル、トーンカーブ、ライティング
- カラー: ホワイトバランス、カラーバランス
- 詳細: シャープネス、ぼかし、ノイズ

選択範囲 ツール

- **自由選択**: 左マウスをクリックしながら、カーソルをドラッグして選択範囲を描くようにして選択します。描いた領域を示す線が表示されます。マウスを放すと、線の開始点と終了点が自動的に結ばれ、選択範囲の領域を完了します。選択された領域は、ありの行進のようなラインで表示されます。
- **自動選択**: 画像上の任意の場所をクリックすると、その色に似たピクセルすべてが選択範囲として表示されます。クリックした色と同じカラーピクセルのものだけを選択する、あるいは似たカラーピクセルすべてを含むかのいずれかを指定することができます。しきい値を増やして、選択範囲に含むピクセル数を増やすことができます。しきい値が小さいほど、クリックされたピクセルに似たピクセルの数を制限することになります。しきい値が大きいほど、クリックされたピクセルに似たピクセルの数を増やすことになります。
- **マーキー選択**: クリック & ドラッグで選択範囲の開始点を長方形または楕円で指定し、マウスを放して終了点を指定します。

ツールを組み合わせて使用する

選択範囲ツールは、複数のツールと組み合わせて使用することも可能です。例えば、[自動選択] を使用して特定の色を含んだ大まかな領域を選択した後、[自由選択] に切り替えて、選択範囲を細かく調整します。あるいは、[マーキー] を使用して大まかな領域を選択した後、[自由選択] で微調整を行います。

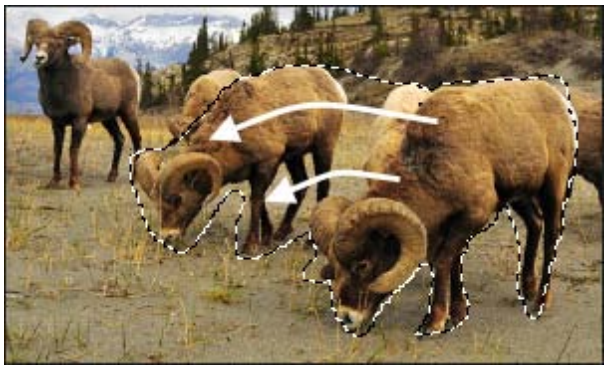
[自由選択] を使用するには:

1. **[自由選択]** をクリックして自由選択ツールを選択します。
2. 画像上で、左マウスボタンをホールドしながら、選択したい領域の周りを描きます。

3. マウスボタンを放すと、選択範囲が完了します。

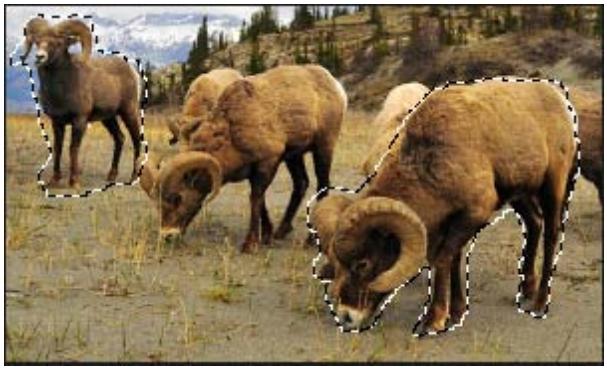
4. 選択範囲をクリアするには、画像上の任意の場所をクリックし（自由選択とマーキーの場合）あるいは **[クリア]** をクリックします。
5. 既に選択されている範囲に追加するには、<SHIFT> キーをホールドした状態で、オリジナルの選択ラインを含みながら希望する形を描きます。

   マウスを放すと、オリジナルの選択範囲に描かれた形が追加され、新しい選択範囲として表示されます。



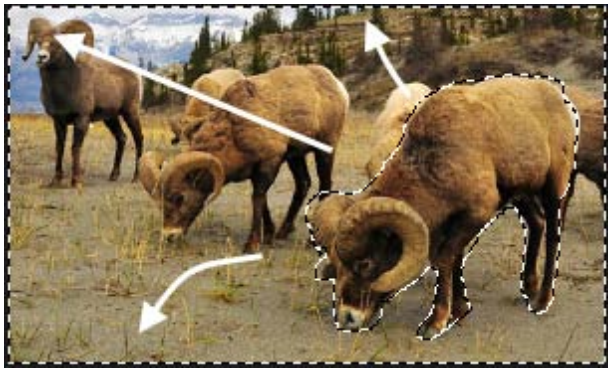
6. 複数の領域を選択範囲に追加するには、<SHIFT> キーを押しながら該当の領域を描きます。

   その他の選択範囲のラインに触れない限り、離れた領域を選択範囲に追加することができます。



7. 選択範囲から任意の領域を削除するには、<CTRL> キーを押した状態で、オリジナルの選択ラインを含みながら形を描くか、ラインを取り囲みます。
8. 選択領域の外側を編集または効果を適用したい場合、**[反転]** をクリックして、選択範囲を反転します。

   これで、オリジナルの選択範囲の外側が全て選択されることになります。



9. **[完了]** をクリックします。

[編集] モードに戻って、編集ツールや特殊効果を選択範囲に適用します。

自動選択を使用するには:

1. **[自動選択]** をクリックして自動選択ツールを選択します。
2. 画像上にある任意の色をクリックします。
3. 次のいずれかを実行します:
   - **[しきい値]** スライダを調整して、選択範囲に含むピクセル数を指定します。[しきい値] スライダは、クリックされたピクセルに似たカラーピクセルをどれだけ選択範囲に含むかを指定するためのものです。
   - クリックしたピクセルのみを含む場合は、**[隣接するピクセルのみ]** ラジオボタンをクリックします。
   - クリックしたピクセルに似たカラーピクセルすべてを含む場合は、**[画像全体]** ラジオボタンをクリックします。
   - **<SHIFT>** キーをホールドし、選択範囲の周りをクリックして含むピクセルを増やします。
   - **<CTRL>** キーをホールドし、選択範囲の周りをクリックしてピクセルを削除します。
   - **[反転]** をクリックして、オリジナルの選択範囲の以外の領域を選択範囲として切り替えます。
4. [選択モード] ドロップダウンリストから、次のいずれかを実行します:
   - **明るさ**: クリックした画像上の領域に近い明るさのピクセルが選択されます。
   - **カラー**: クリックした画像上の領域に近いカラーのピクセルが選択されます。
   - **RGB**: クリックした画像上の領域に近いレッド、グリーン、ブルー (RGB) のピクセルが選択されます。
5. **[完了]** をクリックします。

[編集] モードに戻って、編集ツールや特殊効果を選択範囲に適用します。

マーキー選択を使用するには:

1. **[マーキー選択]** をクリックしてマーキーツールを選択します。
2. マーキーの形として **[長方形]** または **[楕円]** のいずれかを選択します。
3. クリック＆ドラッグで、選択範囲を描きます。
4. 次のいずれかを実行します:
   - 既に選択されているマーキーの範囲に追加するには、<SHIFT> キーをホールドした状態で、オリジナルの選択ラインを含みながら希望する形を描きます。マウスを放すと、選択範囲が追加された形で表示されます。
   - 選択範囲に複数のマーキーを追加するには、<SHIFT> キーをホールドした状態で、ドラッグを繰り返し、複数のマーキーを追加していきます。選択範囲のエッジに触れない限り、継続して選択範囲を追加することができます。

- 既存の選択範囲のマーキーから、希望する領域を削除するには、<CTRL> キーをホールドした状態で、削除したい領域を含んだ別のマーキーをドラッグします。マウスを放すと、新規マーキーに含まれていたあらゆる領域が選択範囲より削除されます。

5. **[完了]** をクリックします。

[編集] モードに戻って、編集ツールや特殊効果を選択範囲に適用します。

選択範囲の編集または効果を適用する

[選択範囲] ツールを使用して、画像の特定部分のみを孤立させることができます。選択が完了したら、その選択範囲内にのみカラーや露出などの編集ツールや、特殊効果フィルタを適用することができます。画像上でアクティブになっている選択範囲は、ありの行進のようなラインで表示されます。

選択範囲の編集または効果を適用するには:

1. 選択範囲 ツール を使用して希望する領域を選択したら、**[完了]** をクリックして [編集] に戻ります: 選択範囲がアクティブの状態で表示されます。
2. 以下のグループから使用するツールを選択します:
   - 露出 /ライティング
   - カラー
   - ディテール
   - 追加 (特殊効果)
3. ツールを使って画像を編集します。

次のオプションのいずれかを選択します:

選択範囲の表示/選択範囲を隠す	クリックして、ありの行進のように示される選択範囲のラインを表示または非表示に切り替えます。選択範囲を非表示に設定すると、様々な効果を確認しやすくなります。
選択範囲の使用	クリックして、選択範囲を使用、あるいは画像全体に編集または効果を適用します。このコントロールは選択範囲のみに編集を適用した後、**選択範囲の使用**を解除して、別の編集を画像全体に適用する場合に便利です。一度選択した選択範囲をクリアする必要はありません。
選択範囲の反転	クリックして選択範囲を反転します。(選択範囲外の領域が選択されることになります。)
選択範囲の修正	クリックして [選択範囲] に戻り、選択範囲を修正します。新規の選択範囲を作成して [完了] をクリックすると、以前使用していた編集ツールに戻ります。
フェザリング	ドラッグして、選択範囲のエッジ、編集または効果にみられるぼかしを増加または減少します。 フェザリングは選択範囲と画像の間に見られるエッジをブレンドするため、不自然またはシャープなトランジションを防ぐことになります。また、このコントロールによって、選択したい範囲のエッジを完璧にまた緻密に選択する必要がなくなります。

補正ツール

赤目を補正する

編集モードの [赤目補正] ツールを使用して、デジタル画像に見られがちな赤目を補正することができます。瞳孔ではなく、目の虹彩や目の周辺にある肌の色を補正する場合には、色を変更することができます。

クリックまたはドラッグして補正する強度をすると、補正を正確にコントロール、また増分で変更することができるので便利です。強度を低く設定し、何度もクリックまたはドラッグして微調整をしたほうが、よりよい結果を期待できます。

赤目を補正するには:

1. [編集] モードで、[補正] グループの **[赤目補正]** をクリックします。
2. 右上部のズームツールを使用して、補正したい目の中心を拡大表示します。
3. **[塗りつぶしの色]** のドロップダウンメニューから、目の赤い領域に使用する色を選択します。
4. 目の赤い領域をクリックするか、目の上をドラッグします。赤い領域上を何度もクリック、あるいはドラッグして赤みを削除します。
5. また、**[カスタム]** を選択して必要な色の値を入力します。
6. 塗りつぶしの強度を設定するには、**[補正の強度]** スライダを右に (適用される色の量を増やす)、あるいは左に (適用される色の量を減らす) 移動します。
7. 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。

[リセット] をクリックして変更をクリアし、既定の設定に戻します。変更を保存した後では、設定をリセットすることができませんのでご注意ください。

画像を修整する

[画像の修整] ツールを使用して、次のような欠点や傷を補整することができます:

- 皮膚に見られる傷やにきび跡
- 電話線やその他の不必要なオブジェクト
- 雪の結晶や窓を反射したフラッシュ
- レンズ上のキズや水の雫

[画像の修整] ツールには次の 2 つのオプションがあります: [美肌効果] と [クローン]

[美肌効果] ツールは画像の一部を別の領域にコピーしますが、コピーする前にソース元のピクセルを分析します。そしてコピー先のピクセルも分析してから、その周りの領域とマッチするようにピクセルを自動的にブレンドします。これで、置き換えられるピクセルの光と色が、その周りの領域としっくりなじむことになります。美肌効果ツールは肌や毛皮など、表面が細かい画像の修整に効果的です。

[クローン] ツールは、画像の一部を別の領域にコピーするためのツールで、同一の画像領域を作成することになります。このツールは比較的シンプルな領域、色数の少ない領域のある画像修整に効果的です。これは完成した写真に、全く同じピクセルを再現するのが難しいためです。

現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

画像を補整するには:

1. [編集] モードで、[補正] グループから、**[修整ツール]** をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
   - **美肌効果**: ソースのピクセルをコピー先にコピーしながら、領域の周りにあるピクセルとブレンドして色をなじませます。
   - **クローン**: コピー先にソースのピクセルを忠実にコピーします。
3. **[ペン先の幅]** と **[フェザリング]** のスライダをドラッグします。以下の表を参照ください。
4. 画像を右クリックし、ソースとなる領域を設定します。この領域のピクセルが、コピー先に使用されます。
5. コピーしたい領域をクリック & ドラッグします。美肌効果ツールを選択した場合には、マウスボタンを放した際に ACDSee 12 によってピクセルの分析と置き換えが行われます。
6. 次のいずれかを実行します:
   - 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
   - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

[リセット] をクリックして変更をクリアし、既定の設定に戻します。変更を保存した後では、設定をリセットすることができませんのでご注意ください。

修整ツールオプション

ペン先の幅	ブラシの幅を設定します。(単位 : ピクセル)
フェザリング	ブラシの端に適用するフェザーの量を設定します。フェザリングを行うと、元の画像領域と修整された領域の違いがスムーズになります。 フェザリングは特定のピクセル数ではなく、ペン先の割合として設定されます。つまり、ペン先の幅をリセットしても、新規のペン先の幅の割合にフェザリングが自動調整されることになります。

編集 - 追加ツール

画像にテキストを追加する

[編集] の [テキストの追加] ツールを使って、画像にテキストを追加したり、吹き出しテキストを加えて漫画のように面白く仕上げることができます。不透明度を使って画像に透かし効果を加えることができます。画像に著作権などの情報を入れる際に便利です。

また、現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

画像にテキストを追加するには:

1. [編集] モードの [追加] グループから、**[テキスト]** をクリックします。
2. **[テキスト]** フィールドにテキストを入力します。
3. [フォント] 領域では、使用するフォント、斜体や中央揃えなどのフォーマット オプション、テキストの色を指定します。**[サイズ]** スライダをドラッグしてフォントのサイズを、**[不透明度]** スライダをドラッグしてテキストの透明度を指定します。
4. マーキーをクリック & ドラッグしてテキストの場所を変更したり、マーキーにある四角をドラッグしてサイズ変更したりします。
5. **[ブレンドモード]** ドロップダウンからオプションを選択して、画像とテキストをどのようにブレンドするかを指定します。
6. 次のいずれかを実行します:
   - **[会話吹き出し]** チェックボックスを選択し、以下の一覧で解説されているように会話吹き出しのオプションを設定します。会話吹き出しを選択すると、特殊効果などを選択できなくなります。予めご了承ください。
   - **[効果]**、**[ドロップシャドウ]**、**[斜角縁]** チェックボックスをオンにして、テキストをカスタマイズします。**[設定]** ボタンをクリックして、各オプションの設定を調整します。オプションの詳細につきましては、以下の一覧をご覧ください。
7. 次のいずれかを実行します:
   - **[適用]** をクリックして画像にテキストを追加します。[テキストの追加] ツールを開いたままにすると、継続してテキストを追加することができます。[テキストの追加] ツールは、空白の新規マーキーを作成します。上記手順 3 に戻ります。
   - **[完了]** をクリックしてテキストの追加を終了し、[編集] に戻ります。空白のマーキーが開かれている場合、マーキーは自動的に削除されます。
   - 変更を適用しない場合は、**[キャンセル]** をクリックして[編集] に戻ります。

テキストの追加オプション

会話吹き出しの設定	**話言葉**	漫画でよく見られる、角度の付いた話し言葉の吹き出しにテキストを入力します。
	考え	漫画でよく見られる、角度の付いた考えの吹き出しにテキストを入力します。
	角度	吹き出しの角度を設定します。矢印をドラッグして角度を調整します。
	厚さ	吹き出しボーダーの幅を指定します。
	長さ	吹き出しの角度の長さを設定します。
	フィル	吹き出しの背景色を指定します。矢印をクリックして色を選択します。
	ボーダー	吹き出しのボーダーに使う色を指定します。矢印をクリックして色を選択します。
効果の設定	**効果**	テキストに使用する効果を設定します。各効果には、テキストの外観をコントロールする様々なオプションが備えられています。スライダをドラッグして、テキストの外観を調整します。
ドロップシャドウの設定	**距離**	ドロップシャドウとテキスト間の距離を指定します。値が高くなるほど、ドロップシャドウとの距離が長くなるため、テキストがより浮き立つことになります。 ドロップシャドウが切れてしまう、あるいはエッジが極端にシャープに見える場合には、テキスト枠のサイズを大きくします。
	ぼかし	ドロップシャドウに適用するぼかしの量を指定します。わずかなぼかしを加えるほうが、シャープシャドウよりもリアルに見えます。
	不透明度	ドロップシャドウの暗さを指定します。
	角度	ドロップシャドウを作成するための、想像上の光源の角度を指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、テキストの影を調整することができます。
斜角縁の設定	**斜角縁**	各文字のエッジに付ける傾斜の量を指定します。値を高くするほど、テキストが丸くスムーズに仕上がります。
	強度	テキスト上の最高点と最低点の間の違いを指定します。値が高くなるほど、テキストの平たい部分と斜角エッジとの差が大きくなります。
	明るさ	傾斜シャドウを作成するための、想像上の光源の角度を指定します。値が低くなるほどテキスト上のシャドウが長くなり、値が高くなるほど光が直接当たるためにシャドウが短くなります。
	角度	傾斜効果を作成するための、想像上の光源の角度を指定します。矢印をドラッグして角度を変更します。この方法でも、ドロップシャドウの角度を調整することができます。

枠を追加する

[枠] ツールを使用して、複数の枠を画像に追加したり、エッジ効果を加えたりすることができます。枠の各サイドのサイズを設定したり、枠の色やテクスチャを変えたり、画像の任意の色をクリックして枠の色として使用したりすることが可能です。

エッジとテクスチャのライブラリから選択することもできますが、カスタムメードのテクスチャやエッジを ACDSee フォルダに保存してライブラリに追加することも可能です。

[エッジのぼかし] を使ってエッジをソフトにしたり、背景のテクスチャとブレンドしたりすることもできます。ドロップシャドウや浮き出しのエッジ効果を使って、画像に 3D 効果を加えることもできます。

複数の枠やエッジ効果を使って、画像のムードや雰囲気を変えたり、コントラストを強調したり、カラーを浮き立たせたりすることが可能です。

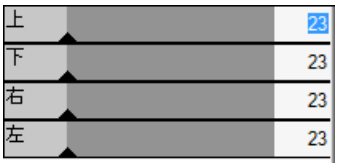
設定をプリセットとして保存し、次回以降使用することも可能です。

画像に枠を追加するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから、**[枠]** をクリックします。
2. 下の表を参照して、サイズ、カラー、テクスチャ、エッジ、エッジ効果を選択し枠を作成します。
3. 次のいずれかを実行します:
   - 変更を適用して [枠] ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
   - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。
4. 別の枠を追加するには、ツールをもう一度開き、上述の手順を繰り返します。

[リセット] をクリックして変更をクリアし、既定の設定に戻します。変更を保存した後では、設定をリセットすることができませんのでご注意ください。

枠 オプション

スポイト		画像上の任意の場所をクリックすると、カーソルの置かれている場所の色が選択されます。枠の色がクリックされた色に変化します。枠 ペインの [カラー ボックス] にもその色が表示されますので、[色の設定] ダイアログを開いて希望する色に変えることも可能です。 テクスチャが選択されている場合、スポイトは使用できませんのでご注意ください。
枠	**サイズ**	枠の幅サイズをすべて同じに設定します。スライダを左右にドラッグして、枠の幅を調整します。数値を直接入力するか、上または下矢印を使って幅を調整することも可能です。 [サイズ] フィールドの下に、枠を含んだ画像サイズが表示されます。枠のサイズを調整するにつれ、ここに表示される最終サイズが変わります。
	**アドバンス コントロール**	ポップアップのアドバンス サイズ コントロールが表示されます。スライダを使用する、上下の矢印キーを使用する、数値を直接入力する、のいずれかの方法で、枠の各サイドの幅を個別に設定します。著作権情報を入力するスペースが必要なため、枠の下幅を大きく設定したい場合、などが例として挙げられます。[サイズ] スライダの横にある矢印をクリックすると、アドバンス コントロール メニューが開かれます。
	カラー ボックス	**[カラー]** ラジオボタンを選択すると有効になります。 次のいずれかを実行します: • 画像の中にある任意の色をクリックして、枠の色として使用します。クリックされた色がカラー ボックスに表示されます。 • カラー ボックスの中央部分をクリックすると、[色の設定] ダイアログが表示されます。このダイアログでは、様々な方法で色を設定することができます。 • ボックスの横にある下矢印をクリックして、クイックカラー ボックスの上にマウスを移動してお気に入りの色を見つけます。クイックカラー ボックスのボックス内をクリックすると、その色がカラー ボックスに表示され、枠の色もその色に変わります。
	テクスチャ ボックス	**[テクスチャ]** ラジオボタンを選択すると有効になります。 次のいずれかを実行します: • ボックスの右横にある矢印をクリックすると、テクスチャ ライブラリが表示されます。サムネイルを見てお気に入りのテクスチャを選択します。 • ボックスの下にある左右の矢印をクリックして、ライブラリを開かずにテクスチャを参照します。
エッジ	**ストレート**	枠のエッジをストレートに設定します。
	不規則	**[不規則]** ラジオボタンを選択すると有効になります。 次のいずれかを実行します: • ボックスの右横にある矢印をクリックすると、エッジ ライブラリが表示されます。サムネイルを見てお気に入りのエッジを選択します。 • ボックスの下にある左右の矢印をクリックして、ライブラリを開かずにエッジを参照します。
	エッジのぼかし	画像の外側と枠の内側が重なるエッジをぼかします。スライダを右に移動してぼかしの量を増やすか、左に移動してぼかしの量を減らします。

エッジの効果	**ドロップシャドウ**	画像にドロップシャドウを追加して、ページから画像が浮かんでいる感じに仕上げます。ドロップシャドウは、画像の背景、つまり画像と枠の間に追加されます。ドロップシャドウのぼかしの量や、ドロップシャドウの不透明度を調整します。不透明度は枠とドロップシャドウの透明度をコントロールします。[光源]ボールにある光(白)をドラッグして、光の当たる方向を調整します。 • **ぼかし**: スライダをドラッグして、ドロップシャドウのエッジにおけるぼかしの量を調整します。 • **不透明度**: スライダをドラッグして、ドロップシャドウの不透明度の量を調整します。
	浮き出し	画像と枠の重なるエッジ上に浮き出しを追加して、3D 効果を出します。浮き出しは画像上に発生します。[光源]ボールにある光(白)をドラッグして、光の当たる方向を調整します。以下のように、サイズ、強度、浮き出しのカラーを調整することも可能です: • **サイズ**: スライダを右にドラッグして浮き出しのサイズを増やします。サイズを増やすほど、浮き出しの部分がより高く見えます。サイズが大きくなればなるほど、より丸みを帯びた効果になります。 • **強度**: スライダを右にドラッグして、浮き出しの 3D 効果を増やします。 • **カラー**: 浮き出しのエッジに枠の色を適用したい場合、このオプションを選択します。
光源	[ドロップシャドウ]または[浮き出し]ボックスをクリックすると有効になります。ボールをクリック & ドラッグして、3D 効果、ドロップシャドウ、浮き出し効果用に、仮想の光の方向を設定します。	

ユーザー定義のテクスチャやエッジを追加する

[枠]ツールのライブラリに、ユーザーがカスタム作成したテクスチャとエッジを追加することができます。インターネットからコレクションをダウンロードした場合も、テキスチャとエッジ ライブラリに追加することが可能です。また、ライブラリから不必要なファイルを削除して、他のファイルを追加する容量を増やすこともできます。

テクスチャとエッジ ファイルは、次のファイル フォーマットであること、および拡張子が付けられていることが必要です:

- BMP
- EMF
- GIF
- JPG
- GIF
- PNG
- TIF

テクスチャ

テクスチャは並べて表示されるという特徴から、スムーズな並列が可能な画像である必要があります。また、ファイルは拡大や縮小を行わないフル解像度で保存されるべきです。例えば、テクスチャの画像が 100 x 100 ピクセルで、1000 x 1000 ピクセルの画像の枠に使おうとしている場合、テクスチャ ファイルは 10 回並列表示されることになります。テクスチャ ファイルが 1000 x 1000 ピクセルの場合には、枠全体に 1 回表示されるだけになります。

ユーザー定義のテクスチャをテクスチャ ライブラリに追加するには:

1. ACDSee 12 で[枠]ツールが開かれている場合には、ツールを閉じます。
2. [管理]モードで、次のフォルダにテクスチャ ファイルをコピー/貼り付けします:

C:\Program Files\Common Files\ACD Systems\borders\textures

3. 管理モードで、使用したい画像を選択した後 **[ツール]** メニューから **[処理]** そして **[編集]** をクリックします。
4. [追加] グループから、**[枠]** をクリックします。
5. [テクスチャ] ラジオボタンを選択してから、ボックスの右手にある矢印をクリックして、テクスチャライブラリを開きます。

   テクスチャのサムネイル一覧から、希望するものを選択します。

エッジ

エッジ ファイルはグレースケールの画像で、枠の付けられる画像に合わせてサイズ変更されます。画像は、エッジ ファイルに見られる白い領域では表示されますが、黒い領域では隠れて表示されます。エッジ ファイルに見られるグレーの領域では、黒または白のピクセル量によって画像が不透明に表示されます。つまりグレーのピクセル(黒) が多いほど、画像が隠れて表示されることになります。

ユーザー定義のエッジをエッジ ライブラリに追加するには:

1. ACDSee 12 で [枠] ツールが開かれている場合には、ツールを閉じます。
2. [管理] モードで、次のフォルダにエッジ ファイルをコピー/貼り付けします:

   C:\Program Files\Common Files\ACD Systems\borders\edges

3. 管理モードで、使用したい画像を選択した後 **[ツール]** メニューから **[処理]** そして **[編集]** をクリックします。
4. [追加] グループから、**[枠]** をクリックします。
5. **[不規則]** ラジオボタンを選択してから、ボックスの右手にある矢印をクリックして、エッジ ライブラリを開きます。

   エッジのサムネイル一覧から、希望するものを選択します。

既に枠の適用されている画像を開くと、新しい枠がその画像の上に適用されます。

ヴィネットを追加する

ヴィネット効果を使用して、人物や花束といったオブジェクトの周りにフレームを追加することができます。画像の焦点を変更できる他、ボーダーの外観をコントロールすることができます。また、現在のオプション設定を プリセット として保存し、次回以降使用することも可能です。

ヴィネット効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから、**[ヴィネット]** をクリックします。
2. 下の表を参考にして、オプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します:
   - 変更を適用してタブを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
   - 変更を破棄して閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

[リセット] をクリックして変更をクリアし、既定の設定に戻します。変更を保存した後では、設定をリセットすることができませんのでご注意ください。

ヴィネット オプション

左右:	焦点の位置を左右に設定します。500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
上下	焦点の位置を上下に設定します。500 の値では、焦点の位置は画像の中心に置かれます。
クリア ゾーン	焦点の周りにあるクリア ゾーンのサイズを指定します。スライダを左に動かすと、クリア ゾーンのサイズが小さくなります。スライダを左に動かすと、クリア ゾーンのサイズが大きくなります。
トランジション ゾーン	クリア ゾーンとフレーム間のトランジション ゾーンの幅を指定します。スライダを左に動かすと、トランジションの幅が狭くなり、スライダを右に動かすと、トランジションの幅が広くなります。
中央から拡張	丸ではなく楕円形になるようにヴィネットの形を伸ばします。
形	ヴィネットの形を指定します: • **丸**: 丸みを帯びたフレームに仕上がります。 • **四角**: 四角形のフレームに仕上がります。
輪郭を表示する	クリア ゾーンの外枠とフレームの内枠を示す輪郭を表示したい場合に、この **[輪郭を表示する]** オプションを選択します。
フレーム	次の特殊効果を、焦点の周りにあるヴィネットに適用します: • **カラー**: カラー設定で選択された色が、ヴィネットの枠の色として変更されます。 • **彩度**: フレーム内にある人物やオブジェクトの色を削除するため、グレースケールで表示されます。 • **ぼかし**: ヴィネットのフレームがぼかして表示されます。 • **雲**: フレームの領域に雲の効果が適用されます。 • **エッジ**: フレーム領域の人物やオブジェクトの線や詳細を、蛍光色でエッジ検出します。 • **光線ぼかし**: 焦点からフレームに向かって、光線が表示されます。 • **放射状ぼかし**: フレーム領域が拡張されたような、放射状ぼかしが適用されます。 • **ズームぼかし**: フレームの領域にズームぼかしの効果が適用されます。 • **クレヨン画**: 人物やオブジェクトの線や詳細を、クレヨンで描いたようにトレースします。 • **ペンキ画**: 焦点の周りにある人物やオブジェクトを、ブラシで描いたように表示されます。 • **モザイク**: フレームにモザイク効果が適用されます。 • **アンティーク**: フレームにアンティーク効果が適用されるため、古い写真のように見えます。 • **ネオン効果**: フレームに見られる強い線を、ネオン色でトレースします。 • **波紋**: フレームに波紋効果が適用されるため、焦点にしずくが落ちてそれが外に向かって動いているかのように見えます。
フレームの設定	[フレーム] のドロップダウン リストの下に表示される設定は、選択されるオプションによって変化します。例えば、**[フレーム]** ドロップダウン リストから **カラー** を選択すると、カラーピッカーが表示されますので、ヴィネットに使用する色を選択することができます。同様に、**[フレーム]** ドロップダウン リストから**ぼかし** を選択すると、スライダーが表示されますので、ぼかしの量を調整することができます。エッジのように、フレームの中には設定オプションのないものもあります。

特殊効果フィルタについて

特殊効果フィルタを使用して、画像にユニークな効果を追加することができます。ACDSee には、クロスハッチ、鉛筆画、ソラリゼーションを始めとする 20 以上の特殊効果フィルタが含まれています。

特殊効果フィルタにアクセスするには:

[編集] モードで、[追加] グループから、**[特殊効果]** をクリックします。

各特殊効果についての詳細は、**[ヘルプ]** ボタンをクリックして、ヘルプ ファイルをご参照ください。

特殊効果:曇ガラス

曇りガラス効果は、画像をバー状に分割することで、浴室の曇りガラスを通して見たような画像に仕上げることができます。曇ガラス オプションを選択または変更して画像に適用したり、プリセット として保存して後で使用することも可能です。

曇ガラス 効果を適用するには:

1. [編集] モード で、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[曇りガラス]** をクリックします。
3. **[バーの幅]** スライダをドラッグして、バーの幅を設定します。バーの幅が狭いと、画像はより歪んだ仕上がりになります。
4. [バーの方向] 領域で、次のいずれかを選択してバーの方向を指定します:
   - **上下**
   - **左右**:
5. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

特殊効果:ブラインド

ブラインド効果は、画像をバー状に分割することで、ベネチアン ブラインド やバーチカル ブラインド のような外観に仕上げることができます。ブラインド のオプションを選択または変更して画像に適用したり、プリセット として保存し、後でその設定を使用することも可能です。

ブラインド 効果を適用するには:

1. [編集] モード で、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[ブラインド]** をクリックします。
3. [ブラインド] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

ブラインド オプション

ブラインド の幅	ブラインド の幅を指定します。1 から 1000 までの数字を入力、またはスライダをドラッグしてブラインド の幅を調整します。大きな値ほど、ブラインド の幅は広くなります。
ブラインド の開閉度	ブラインド の開閉度を指定します。1 から 99 までの数字を入力、またはスライダをドラッグしてブラインド の開閉度を調整します。開閉度が高くなるほど、画像は暗くなります。
角度	ブラインド の角度を指定します。1 から 360 までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
ブラインド の色	ブラインド の色を指定します。

特殊効果:膨張

膨張効果を使用して、画像を縦横に引き伸ばしたり、縮めたりすることができます。また、歪みの半径や位置の現在の設定を プリセット として保存し、次回の作業で使用することができます。

膨張効果を適用するには:

1. [編集] モード で、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[膨張]** をクリックします。
3. [膨張] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。

4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

膨張 オプション

左右の位置	歪みの中心を左右に移動して設定します。小さい値では画像の左側が歪み、大きい値では画像の右側が歪みます。
上下の位置	歪みの中心を上下に移動して設定します。小さな値では画像の下側が歪み、大きな値では画像の上側が歪みます。
半径	歪みの半径を設定します。小さな値ほど歪みの半径は小さくなり、大きな値ほど歪みの半径は大きくなります。
強度	歪みの強度を設定します。マイナス値では歪みの中心は収縮し、プラス値では歪みの中心は膨張します。
背景色	画像の背景色を指定します。 **[画像]** チェックボックスをオンにして画像のオリジナルの色を使用するか、カラーピッカーをクリックして別の色を選択します。
膨張の方向	歪みの方向を設定します。以下のオプションからいずれか、または両方のオプションを選択します。 • **左右**: 歪みが左右に発生します。 • **上下**: 歪みが上下に発生します。

特殊効果:カラーエッジ

カラーエッジ効果を使用して、画像の人物やオブジェクトの詳細をトレースすることができます。また現在のオプション設定をプリセットとして保存し、次回以降で使用することもできます。

カラーエッジ を適用するには:

1. [編集]モードで、[追加]グループから**[特殊効果]**をクリックします。
2. **[カラーエッジ]**をクリックします。
3. [カラーエッジ]タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

カラーエッジ オプション

強度	画像のエッジに追加する色の強度を調整します。大きな値ほど、画像に適用される色は濃くなります。
エッジの色	エッジに適用する色を選択します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
ぼかし	画像のエッジをぼかします。**[ぼかしの使用]** チェックボックスをオンにし、ぼかしの設定を選択してエッジに適用するぼかしの量を指定します。

特殊効果:等高線

等高線効果を使用して、画像の輪郭を抽出することで、漫画のような画像に仕上げることができます。等高線のオプションを選択または変更して画像に適用したり、プリセットとして保存し、次回以降で使用することも可能です。

等高線を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[等高線]** をクリックします。
3. [等高線] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

等高線 オプション

丸み度	等高線の線の丸みを調整します。大きな値ほど、線は丸くなります。
線の頻度	等高線の幅を調整します。大きな値ほど、線の間の間隔が小さくなります。
線の強さ	線の濃さを調整します。大きな値ほど、線は濃くなります。
線の色	線の色を選択します。

特殊効果: クレヨン画

クレヨン画効果を使用して、画像をクレヨンで描いたような外観にすることができます。

クレヨン画効果を使用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[クレヨン画]** をクリックします。
3. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

特殊効果: クロスハッチ

クロスハッチ効果を使用して、画像全体にクロスハッチ効果を加えることができます。

クロスハッチ効果を使用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループにある **[特殊効果]** をクリックします。
2. 一覧から **[クロスハッチ]** をクリックします。
3. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

特殊効果: ペンキ画

ペンキ画 効果を使用すると、ペンキで塗りつけたような画像に仕上げることができます。ペンキ画 のオプションを選択または変更して画像に適用したり、プリセット として保存して次回以降に使用することも可能です。

ペンキ画 を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[ペンキ画]** をクリックします。
3. [ペンキ画] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。

4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

ペンキ画 オプション

強度	使用するペンキの量を調整します。
頻度	ペンキを塗りつける回数を指定します。
背景色	画像の背景色を指定します。 画像のオリジナルの色を使用するには、**[画像]** チェックボックスをオンにし、別の色を使用するにはカラーピッカーをクリックして設定します。
ランダム表	ランダム表とは、ランダムにペンキを塗りつけることを指します。 ペンキ画効果がランダムに配置されるため、適用する度に画像は変化します。特定のランダム表を作成して、画像を同じ結果に仕上げることができます。 ランダム表を新規作成するには、**[ランダム表]** をクリックします。

特殊効果:エッジ検出

エッジ検出効果を使って、画像の輪郭をハイライトすることができます。画像全体を黒にした後、色の差異が激しい画像部分を色の付いた境界線で浮き立たせます。境界部分の色の差が大きいほど、適用される色は明るくなります。(ソーベル効果はエッジ検出効果に似ていますが、よりシャープで明るい輪郭を得ることができます。)

エッジ検出効果を使用するには:

1. [編集]モードで、[追加]グループにある **[特殊効果]** をクリックします。
2. 一覧から **[エッジ検出]** をクリックします。
3. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

特殊効果:エンボス

エンボス効果を使用して、画像をグレーに変換して、型押しされたような立体感のある画像に仕上げることができます。また、現在のオプション設定をプリセットとして保存することも可能です。

画像にエンボスを適用するには:

1. [編集]モードで、[追加]グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[エンボス]** をクリックします。
3. [エンボス]タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

エンボス オプション

明るさ	画像の明るさを指定します。小さな値ほど、画像にかかる影の量が多くなるため、画像は暗くなります。大きな値ほど、画像にかかる影の量が少なくなるため、画像は明るくなります。
強さ	画像の凹凸を調整します。大きな値ほど、画像に適用される凹凸は大きくなります。
方向	画像のエッジから伸びる影の方向を指定します。0 の値では影は左に伸び、180 の値では影は右に伸びます。

特殊効果:柔毛エッジ

柔毛エッジ効果を使用して、人物やオブジェクトの境界線に柔毛や剛毛を追加することができます。また、現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

柔毛エッジ 効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[柔毛エッジ]** をクリックします。
3. [柔毛エッジ] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了** をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル** をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

柔毛エッジ オプション

頻度	画像に使用される柔毛の量を調整します。大きな値ほど、画像に使用される柔毛の量は多くなります。
しきい値	柔毛適用前のエッジのシャープネスを指定します。小さな値ほど、柔毛が追加される領域は広くなります。
柔毛の長さ	柔毛線の長さを調整します。大きな値ほど、柔毛線は長くなります。
相違	[柔毛の方向] で設定した方向に伸びる柔毛の量を調整します。大きな値ほど、柔毛の伸びる方向はランダムになります。
柔毛の方向	柔毛の伸びる一般的な方向を指定します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには **[画像]** チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
柔毛の色	柔毛の色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには、**[画像]** チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
ランダム表	ランダム表とは、柔毛線がランダムに伸びることを指します。 柔毛エッジ効果がランダムに配置されるため、適用する度に画像は変化します。特定のランダム表を作成することで、画像を同じ結果に仕上げることができます。 ランダム表を新規作成するには、**[ランダム表]** をクリックします。

特殊効果 : ネオン効果

ネオン効果を使用して、画像の人物やオブジェクトの詳細にカラーを加えることができます。色の付いた線や詳細は、ネオンサインのように光って見えます。また現在のオプション設定を プリセット として保存し、次回以降で使用することもできます。

ネオン効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[ネオン効果]** をクリックします。
3. [ネオン効果] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。

4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

ネオン効果 オプション

強度	画像のエッジに追加する色の強度を調整します。大きな値ほど、画像に使用される色の量は多くなります。
カラー	エッジに適用する色を選択します。

特殊効果:グラナイト

グラナイト効果は、岩壁の表面に描かれたように画像を仕上げます。また、現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

グラナイト効果を適用するには:

1. [編集]モードで、[追加]グループから**[特殊効果]**をクリックします。
2. **[グラナイト]**をクリックします。
3. [グラナイト]タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

グラナイト オプション

光の角度	画像の上を、想像上の光が照らす角度を指定します。矢印をドラッグして角度を調整します。光の角度を変更すると、グラナイト(岩)の上に現れる凸凹のハイライトやシャドウが変化します。

特殊効果:ミラー

ミラー効果を使用して、画像を水平軸または垂直軸に対して反映させることができます。ミラーオプションを選択してミラー効果を画像に適用したり、プリセット として保存して次回以降に使用することも可能です。

ミラー効果を適用するには:

1. [編集]モードで、[追加]グループから**[特殊効果]**をクリックします。
2. **[ミラー]**をクリックします。
3. [ミラー]タブで、[ミラー方向]領域から、次のいずれかのオプションを選択し、画像のミラー方向を指定します:
   - **左右**:
   - **上下**
4. **[ミラー軸]**スライダをドラッグして、画像を反映するミラー軸の位置を調節します。500の値では、ミラー軸の位置は画像の中心になります。:
5. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

特殊効果:ネガティブ

ネガティブ効果を使って、画像のネガティブを作成することができます。また、ネガティブフィルタを使用して、フィルムからスキャンされたネガティブをポジティブ画像に変換することも可能です。

ネガティブ画像を作成するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループにある **[特殊効果]** をクリックします。
2. 一覧から **[ネガティブ]** をダブルクリックします。
3. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

特殊効果 : オイルペイント

オイルペイント効果を使用して、画像をオイルペイントように仕上げることができます。また、現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

オイルペイント効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[オイルペイント]** をクリックします。
3. [オイルペイント] タブの **[ブラシの幅]** スライダをドラッグして、使用するブラシの幅を指定します。大きな値ほど、ブラシの幅は広くなります。
4. **[相違]** スライダをドラッグして、ブラシで描かれる色の違いを調整します。大きな値ほど、ブラシで塗られる色の量が増えます。
5. **[自然な彩度]** スライダをドラッグして、画像の明るさを調整します。
6. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

特殊効果 : アンティーク

アンティーク効果を使用して、画像を古ぼけた写真のように仕上げることができます。(アンティーク効果はセピアに似ていますが、年季の入った感じがセピアよりも強く出ます。)

アンティーク効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[アンティーク]** をクリックします。
3. [アンティーク] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

アンティーク オプション

年	アンティークに仕上げる強度、または度合いを指定します。(数値は、画像がどれほど古く見えるかといった年季数とはマッチしませんのでご注意ください。)

特殊効果 : 輪郭

輪郭は、エッジ検出に似た特殊効果です。輪郭効果は画像の輪郭をハイライトするだけでなく、エッジの輪郭の有無に関わらず輪郭幅を設定したり、背景色を指定したりと、ユーザーによるより細かいコントロールが可能です。また、現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

輪郭効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[輪郭]** をクリックします。
3. [輪郭] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

輪郭 オプション

線の幅	輪郭線の幅を指定します。大きな値ほど、輪郭の幅は広くなります。
しきい値	輪郭されるエッジのシャープネスの度合いを指定します。大きな値ほど、輪郭されるエッジの量が多くなります。
背景色	画像の背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。

特殊効果:鉛筆画

鉛筆画効果を使って、画像を鉛筆で描いたように仕上げることができます。

画像を鉛筆画のように仕上げるには:

1. [編集] モードで、[追加] グループにある **[特殊効果]** をクリックします。
2. 一覧から **[鉛筆画]** をクリックします。
3. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

特殊効果 : ピクセル爆発

ピクセル爆発効果を使用して、画像の中心点からピクセルを爆発させたような効果に仕上げることができます。ピクセル爆発 オプションを設定して画像に適用したり、設定を プリセット として保存し次回以降で使用することも可能です。

ピクセル爆発効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[ピクセル爆発]** をクリックします。
3. [ピクセル爆発] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

ピクセル爆発 オプション

左右の位置	爆発の中心を左右に設定します。500 の値では、爆発の位置は垂直軸の中心になります。
上下の位置	爆発の中心を上下に設定します。500 の値では、爆発の位置は垂直軸の中心になります。
強度	爆発の強度を設定します。大きな値ほど、ピクセルの爆発は大きくなります。
爆発の方向	爆発の方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します: • **左右**: 爆発が左右に発生します。 • **上下**: 爆発が上下に発生します。
ランダム表	ランダム表とは、ランダムにピクセルを配置することです。 ピクセル爆発効果がランダムに配置されるため、適用する度に画像は変化します。特定のランダム シードを作成して、画像を同一のピクセル パターンに仕上げることができます。 ランダム表を新規作成するには、**[ランダム表]** をクリックします。

特殊効果:モザイク

ピクセルとは、縦横に規則正しく並べられたデジタル画像を構成する最小単位のことです。画像の解像度を減らすと、ピクセルが大きくなるため、画像がぼやけてしまいます。モザイク オプションを設定して画像に適用したり、設定を プリセット として保存し次回以降に使用することもできます。

モザイク効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[モザイク]** をクリックします。
3. [モザイク] タブの **[幅]** および **[高さ]** スライダをドラッグして、画像のピクセルのサイズを調整します。四角形の長さを等しくするには、**[正方形]** チェックボックスをオンにします。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

特殊効果:ポスタライズ

ポスタライズ効果を使用して、画像の明るさを調整することができます。ポスタライズ オプションを選択または変更して画像に適用したり、設定を プリセット として保存し次回以降で使用することも可能です。

ポスタライズ効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[ポスタライズ]** をクリックします。
3. [ポスタライズ] タブの **[明るさのレベル]** スライダをドラッグして、画像の明るさを調整します。小さな値ほど、画像に使用される色の量は少なくなります。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

特殊効果 : 光線ぼかし

光線ぼかし効果を使用すると、画像の中心から外に向かって波が発生しているような効果を与えます。画像の中心となる位置を変更できる他、波の外観も設定できます。また、現在のオプション設定を プリセット として保存し次回以降で使用することも可能です。

光線ぼかし効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[光線ぼかし]** をクリックします。
3. [光線ぼかし] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

光線ぼかし オプション

左右の位置	波の中心を左右に設定します。500 の値では、画像の中心に設定されます。
上下の位置	波の中心を上下に設定します。500 の値では、画像の中心に設定されます。
度合い	波の深さと高さを設定します。
波の幅	波と波の間の幅を設定します。
光の強度	各波の上下の光のコントラストを調整します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには **[画像]** チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
波の方向	波が発生する方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します: • **左右**: 波が左右に発生します。 • **上下**: 波が上下に発生します。

特殊効果:雨

雨効果を使用して、画像撮影時に雨が降っていたかのように仕上げることができます。雨の量、雨の降っている角度、不透明度などを設定することができます。また、現在のオプション設定をプリセットとして保存し次回以降で使用することも可能です。

雨効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[雨]** をクリックします。
3. [雨] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

雨 オプション

強度	雨だれの長さを指定します。スライダを右へ動かすほど雨だれの長さが長くなります。
不透明度	雨だれの不透明度を指定します。0 から 100 までの数字を入力、またはスライダをドラッグして雨だれの不透明度を調整します。開閉度が高くなるほど、画像は暗くなります。
度合い	雨だれの量を指定します。
角度の相違	雨だれの角度を指定します。0 から 50 までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
強度の相違	雨だれの長さの相違を指定します。雨だれの長さを揃えたい場合、スライダを左へドラッグします。大小様々な長さの雨だれを指定したい場合、スライダを右へドラッグします。様々な長さの雨だれが含まれるほど、画像は自然に仕上がります。
背景ぼかし	画像におけるぼかしの量を調整します。雨の量を多く設定すると、背景の画像が見えにくくなります。このオプションを使って画像をぼかすと、より自然に仕上がります。
角度	雨の降ってくる角度を指定します。
カラー	雨だれの色を指定します。

特殊効果 : 波紋

波紋効果は、小石を水に落とした時に見られるような円状を画像に加えます。波紋オプションを設定して画像に適用したり、設定を プリセット として保存して次回以降に使用することも可能です。

波紋効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[波紋]** をクリックします。
3. [波紋] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了** をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル** をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

波紋 オプション

左右の位置	波紋の位置を左右に設定します。500 の値では、波紋の位置は画像の中心に設定されます。
上下の位置	波紋の位置を上下に設定します。500 の値では、波紋の位置は画像の中心に設定されます。
波の深さと高さ	波紋の深さと高さを設定します。
波の幅	波の幅を設定します。
光の強度	波紋の上下の光のコントラストを調整します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには **[画像]** チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
波紋の方向	波紋の方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します: • **上下**: 波紋が上下に発生します。 • **左右**: 波紋が左右に発生します。

特殊効果 : 飛散タイル

飛散タイル効果を使用して、画像を四角形のタイルに分割して散らばしたり重ねることができます。飛散タイル オプションを選択または変更して画像に適用したり、設定を プリセット として保存し次回以降で使用することも可能です。

飛散タイル効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[飛散タイル]** をクリックします。
3. [飛散タイル] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

飛散タイルオプション

タイルサイズ	タイルのサイズを設定します。
飛散の度合い	タイルを飛散する度合いを調整します。
背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。
ランダム表	ランダム表とは、ランダムにタイルを配置することです。 タイルがランダムに配置されるため、適用する度に画像は変化します。特定のランダム表を作成して配置のパターンを指定することで、画像を同じ結果に仕上げることができます。 ランダム表を新規作成するには、**[ランダム表]** をクリックします。

特殊効果:セピア

セピア効果を使用して、画像を古ぼけた写真のように仕上げることができます。(アンティーク効果はセピアに似ていますが、年季の入った感じがセピアよりも強く出ます。)

セピアトーンを画像に追加するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループにある **[特殊効果]** をクリックします。
2. 一覧から **[セピア]** をクリックします。
3. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

特殊効果:金属シート

金属シート効果を使用して、画像を金属シートのように仕上げることができます。また、現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

金属シート効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[金属シート]** をクリックします。
3. [金属シート] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

金属シート オプション

丸み度	画像のエッジの丸みを調整します。
詳細	画像の詳細を調整します。大きな値ほど、より細かな詳細になります。
角度	金属シートの模様が流れる角度を指定します。
金属の色	金属シートの色を指定します。
プレス	金属がプレスされる表面を指定します。次のいずれかのオプションを選択します: • **上から下へ**: 画像の上から金属をプレスします。 • **下から上へ**: 画像の下から金属をプレスします。

特殊効果:シフト

シフト効果を使用して、画像をバー状に分割し、ランダム方向にシフトさせることができます。また、現在のオプション設定をプリセットとして保存することも可能です。

シフト効果を適用するには:

1. [編集]モードで、[追加]グループから**[特殊効果]**をクリックします。
2. **[シフト]**をクリックします。
3. [シフト]タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

シフト オプション

強度	バー間のシフト距離を調整します。
幅	バーの幅を調整します。
角度	バーの角度を指定します。
背景色	画像の背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには**[画像]**チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。

特殊効果:アングル

アングル効果を使用して、画像が斜めに傾いているかのように仕上げることができます。例えば、画像の上部を左に、画像の下部を右に引っ張って、画像を歪ませることが可能です。同様に、画像の左上部を上に、右下部を下に引っ張って、画像を歪ませることも可能です。また、現在のオプション設定をプリセットとして保存することも可能です。

アングル効果を適用するには:

1. [編集]モードで、[追加]グループから**[特殊効果]**をクリックします。
2. **[アングル]**をクリックします。
3. [アングル]タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

アングル オプション

度合い	アングルの度合いを指定します。
支点	アングルの中心となる位置を指定します。スライダを左にドラッグするとアングルの支点が画像の下部に、スライダを右にドラッグするとアングルの支点が画像の上部に移動されます。
背景色	画像の背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。
アングルの方向	アングルの方向を指定します。 • **左右**：画像の上部または下部を、左右に歪ませたい場合に選択します。 • **上下**：画像を左部または右部を、上下に歪ませたい場合に選択します。

特殊効果：ソーベル

ソーベル効果を使用して、画像の輪郭をハイライトすることができます。画像全体を黒にした後、色の差異が激しい画像部分を色の付いた境界線で浮き立たせます。境界部分の色の差が大きいほど、適用される色は明るくなります。(ソーベル効果はエッジ検出効果に似ていますが、よりシャープで明るい輪郭を得ることができます。)

ソーベル効果を使用するには：

1. [編集]モードで、[追加]グループにある **[特殊効果]** をクリックします。
2. 一覧から **[ソーベル]** をクリックします。
3. 次のいずれかを実行します：
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

特殊効果：ソラリゼーション

ソラリゼーションを使用すると、現像する前にフィルムが光に当たったかのような露出効果を画像に追加することができます。ソラリゼーション オプションを選択または変更して画像に適用したり、プリセットとして保存して次回以降に使用することも可能です。

ソラリゼーション効果を適用するには：

1. [編集]モードで、[追加]グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[ソラリゼーション]** をクリックします。
3. [ソラリゼーション]タブの **[しきい値]** スライダをドラッグして、画像の明るさのしきい値を調整します。
4. 「効果」のセクションで、次のいずれかのオプションを選択してピクセルを指定します：
   - **ソラリゼーション**：しきい値オプションで指定された値より高いピクセルを調整します。ソラリゼーション フィルタは、しきい値を越えたピクセルをマイナス値のピクセルと置換します。ソラリゼーション フィルタでは、大きなしきい値ほど画像は明るくなります。つまり、露出オーバー画像にするためには、色が明るくなくてはなりません。
   - **ルナリゼーション**：しきい値オプションで指定された値より低いピクセルを調整します。ルナリゼーション フィルタはしきい値より低いピクセルをマイナス値のピクセルと置換します。ルナリゼーション フィルタでは、大きなしきい値ほど画像は暗くなります。つまり、露出オーバー画像にするのに、色が明るい必要はありません。
5. 次のいずれかを実行します：
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

特殊効果 : ステンドグラス

ステンドグラス 効果を使用して、大小様々なサイズと形に分割された、ステンドグラスの窓のように画像を仕上げることができます。フラグメントのサイズや位置を設定することができます。また、現在のオプション設定を プリセット として保存し次回以降で使用することも可能です。

ステンドグラス効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[ステンドグラス]** をクリックします。
3. [ステンドグラス] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル** をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

ステンドグラス オプション

フラグメント サイズ	フラグメントのサイズを設定します。
ランダム表	ランダム表とは、ランダムにフレグメントを配置することです。 ステンドグラス効果を適用すると、フラグメントがランダムに適用されるため、適用する度に画像は変化します。特定のランダム表を作成して配置のパターンを指定することで、画像を同一のフラグメント パターンに仕上げることができます。 ランダム表を新規作成するには、**[ランダム表]** をクリックします。

特殊効果 : 太陽スポット

太陽スポット効果を使用して、画像に太陽のような明るい円光を加えることができます。また、現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

太陽スポット効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[太陽スポット]** をクリックします。
3. [太陽スポット] タブの **[左右の位置]** および **[上下の位置]** スライダをドラッグして、太陽スポットの位置を指定します。
4. **[明るさ]** スライダをドラッグして、太陽スポットの明るさを調整します。
5. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル** をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

特殊効果 : 渦巻き

渦巻き効果を使用して、画像の人物やオブジェクトを渦巻きのように回転させたり引き伸ばしたりすることができます。また、現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

渦巻き効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[渦巻き]** をクリックします。
3. [渦巻き] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。

4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

渦巻きオプション

左右の位置	渦巻きの位置を左右に設定します。500 の値では、渦巻きの位置は画像の中心になります。
上下の位置	渦巻きの位置を上下に設定します。500 の値では、渦巻きの位置は画像の中心になります。
半径	渦の半径を設定します。
強度	渦巻きの強さを調整します。プラス値では渦巻きの方向は時計回りで、マイナス値では渦巻きの方向は反時計回りになります。
フォーカス	半径に対する渦巻きの焦点を設定します。大きな値ほど、渦巻きの焦点は半径の中心に置かれます。小さな値ほど、渦巻きが画像全体に散らばります。
背景色	画像の背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには **[画像]** チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
渦巻きの方向	渦巻きが発生する方向を指定します。次のいずれか、または両方のオプションを選択します: • **左右**: 渦巻きが左右に発生します。 • **上下**: 渦巻きが上下に発生します。

特殊効果：しきい値

しきい値を使用して、モノクロの画像を作成することができます。また、現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

モノクロ調整効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[しきい値]** をクリックします。
3. [しきい値] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

しきい値 オプション

しきい値	スライダをドラッグして、モノクロ画像の黒、白の基点を定義します。選択されたしきい値よりも明るいピクセルは白に、暗いピクセルは黒に表示されます。

特殊効果：地形図

地形図効果を使用して、画像の詳細を輪郭線で表して地形図のように仕上げることができます。また、現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

地形図効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[地形図]** をクリックします。
3. [地形図] タブの **[丸み度]** スライダをドラッグして、輪郭線の丸み度を調整します。
4. **[線の数]** スライダをドラッグして、地形図に使用される線の数を調整します。

5. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

特殊効果:ウォーター

ウォーター効果を使用して、画像内オブジェクトの下に水面を足し、その水面にオブジェクトを反映させることができます。水面の位置はユーザーがコントロールすることができます。例えば、人物の顔の顎下から、あるいは人物の上半身の下から、など開始点を変更します。また、波の幅、波の明るさもコントロール可能です。また、現在のオプション設定をプリセットとして保存し次回以降で使用することも可能です。

ウォーター効果を適用するには:

1. [編集]モードで、[追加]グループから**[特殊効果]**をクリックします。
2. **[ウォーター]**をクリックします。
3. [ウォーター]タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

ウォーター オプション

位置	ウォーターの開始位置を指定します。
波の深さと高さ	水面上の波の高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが小さくなり、スライダを右にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが大きくなくなります。
波の幅	波の幅を指定します。スライダを左にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが小さくなり、スライダを右にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが大きくなくなります。
透視	オブジェクトから発生する波のサイズを変更します。スライダを左にドラッグすると、オブジェクトから最も離れた位置にある波のサイズが大きくなり、距離感が増えます。
ライティング	水面の光の量を調整します。

特殊効果:ウォータードロップ

ウォータードロップを使用すると、画像の表面に水滴が表示されます。ユーザーは、ウォータードロップの数やサイズ、場所をコントロールすることができます。また、現在のオプション設定をプリセットとして保存し次回以降で使用することも可能です。

ウォータードロップ効果を適用するには:

1. [編集]モードで、[追加]グループから**[特殊効果]**をクリックします。
2. **[ウォータードロップ]**をクリックします。
3. [ウォータードロップ]タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

ウォータードロップ オプション

密度	画像に追加する、ウォータードロップの数を指定します。スライダを左にドラッグするとウォータードロップの数が減り、スライダを右にドラッグするとウォータードロップの数が増えます。
半径	ウォータードロップのサイズを設定します。スライダを左にドラッグするとウォータードロップのサイズが小さくなり、スライダを右にドラッグするとウォータードロップのサイズが大きくなります。
高さ	画像の表面上に現れるウォータードロップの高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、ウォータードロップの高さと、ウォータードロップによって形成される歪みが小さくなり、スライダを右にドラッグすると、ウォータードロップの高さと、ウォータードロップによって形成される歪みが大きくなります。
ランダム表	ランダムにウォータードロップを配置することを指します。 ウォータードロップ 効果では、ウォータードロップがランダムに適用されるため、適用する度に画像は変化します。特定のランダム表を作成して配置のパターンを指定することで、画像を同じ結果に仕上げることができます。 ランダム表を新規作成するには、**[ランダム表]** をクリックします。

特殊効果：波

波効果を使用して、画像全体をに波を加えることができます 波と波の間の距離を設定することができます。この波の間の距離は、波の幅として知られています。波の高さ、波の角度も設定することができます。また、現在のオプション設定をプリセットとして保存することも可能です。

波効果を適用するには:

1. [編集]モードで、[追加]グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[波]** をクリックします。
3. [波]タブで、下の表を参考にしてオプションを選択または変更します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

波 オプション

波の幅	波の幅を指定します。スライダを左にドラッグすると、波の幅が小さくなり、波によって形成される歪みが大きくなります。スライダを右にドラッグすると、波の幅が大きくなり、波によって形成される歪みが小さくなります。
波の深さと高さ	波の高さを指定します。スライダを左にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが小さくなります。スライダを右にドラッグすると、波の高さと、波によって形成される歪みが大きくなります。
角度	波が発生する角度を指定します。1から360までの数字を入力、または矢印をドラッグして角度を調整します。
背景色	背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには **[画像]** チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。

特殊効果：織り

織り効果を使用すると、画像が布に織り込まれたように仕上げることができます。縦横のストリップの幅、織りの間にあるすき間、すき間を埋める背景色を指定することができます。また、現在のオプション設定をプリセットとして保存し次回以降で使用することも可能です。

織り効果を適用するには:

1. [編集]モードで、[追加]グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[織り]** をクリックします。
3. [織り]タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。

4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

織りオプション

ストリップの幅	縦横のストリップの幅を指定します。
すき間の幅	ストリップ間にできるすき間の幅を指定します。
背景色	背景色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。

特殊効果:風

風フィルタを使用して風の線を加え、静止画像を動きのある画像のように仕上げることができます。風 オプションを設定して画像に適用したり、プリセット として保存し次回以降に使用することも可能です。

風効果を適用するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[風]** をダブルクリックします。
3. [風] タブで、下の表を参考にしてオプションを選択または変更します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

風 オプション

強度	風の強さを設定します。大きな値ほど、風の線は濃く、強く表示されます。
しきい値	風のエッジのシャープネスを設定します。大きな値ほど、エッジはシャープになります。
風の量	適用される風の量を設定します。
エッジ検出	エッジ検出のアルゴリズムを指定します。エッジの検出に使われる方法とエッジの方向を定義します。
背景色	背景色を指定します。画像のオリジナルの色を使用するには **[画像]** チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
風の色	風の線の色を選択します。画像のオリジナルの色を使用するには **[画像]** チェックボックスをオンにし、別の色を選択するにはカラーピッカーをクリックします。
風の向き	エッジから伸びる風の向きを設定します。
ランダム表	ランダム表とは、ランダムに風の線を配置することです。 風の線がランダムに配置されるため、適用する度に画像は変化します。特定のランダム表を作成して、画像を同じ結果に仕上げることができます。 ランダム表を新規作成するには、**[ランダム表]** をクリックします。

特殊効果 : カスタム (ユーザー定義の特殊効果)

「カスタム」フィルタでは、自分だけの特殊効果を作成することができます。カスタム作成した特殊効果を画像に適用し、現在のオプションをプリセット として保存することが可能です。

「カスタム」フィルタを作成するには:

1. [編集] モードで、[追加] グループから **[特殊効果]** をクリックします。
2. **[カスタム]** をクリックします。
3. [カスタム] タブで、下の表を参考にしてオプションを設定します。

4. 次のいずれかを実行します:
   - **完了**をクリックして変更を適用し、ペインを閉じます。
   - **キャンセル**をクリックして変更をキャンセルし、ペインを閉じます。

カスタム オプション

コンボリューション マトリックス	数式を使用して画像を変更します。 [コンボリューション マトリックス] のフィールドに値を入力し、画像のピクセルを変更します。特殊効果の作成には、数学的な計算式を使用し、マトリックス値に画像の各ピクセルのカラー値を乗算して作成します。
分割係数	マトリックスの分数係数を使用します。 **[分割係数]** のフィールドに値を入力し、マトリックスの分数係数を使用します。マトリックスの効果は、ピクセルに適用される前に分割係数に分割されます。
バイアス	画像の明るさを指定します。 **[バイアス]** フィールドに値を入力し、画像の明るさを変更します。バイアスの数字は、各ピクセルの RGB (赤・緑・青) の値に追加されます。プラス値は画像を明るくし、マイナス値は画像を暗くします。
マトリックスのクリア	マトリックスをリセットします。
サンプル フィルタ	サンプル フィルタをロードして、カスタム フィルタの元として使用することができます。

ジオメトリ ツール

画像を回転する

[編集] モードでは、プリセット、あるいはカスタム角度で画像を回転することができます。また、現在のオプションを プリセット として保存することも可能です。

カスタム角度で画像を回転するには:

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから **[回転]** をクリックします。
2. 次の中から選択します:
   - 既定の方向オプションを選択します。
   - **[傾きを直す]** スライダを左右にドラッグして、画像がまっすぐに見えるように調整します。
   - **[左右]** または **[上下]** ボタンをクリックして、以下で解説されているツールを使用します。
   - 画像がまっすぐに調整された後、トリミングしたい場合は、**[まっすぐに調整された画像のトリミング]** を選択します。
   - 画像がまっすぐに調整された後、トリミングをしたくない場合は、**[まっすぐに調整された画像を保持する]** を選択します。まっすぐに調整された画像の背景に表示する色を、**[塗りつぶしの色]** ドロップダウンから選択します。
   - **[グリッドのオーバーレイを表示する]** を選択すると、画像上にグリッドが表示されます。画像をまっすぐに調整するものさしとして使用したり、どのようにトリミングされたかを把握したりするために便利です。
3. 次のいずれかを実行します:
   - 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
   - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

[リセット] をクリックして変更をクリアし、既定の設定に戻します。変更を保存した後では、設定をリセットすることができませんのでご注意ください。

回転 アイコン

左右	アイコンをクリックしてから、カーソルを使って左 右の線として使 用する線を画像上 に描きます。
上下	アイコンをクリックしてから、カーソルを使って上 下の線として使 用する線を画像上 に描きます。

画像を反転する

[編集] モードでは、画像を上下 左右に反転することができます。

画像を反転するには:

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから **[反転]** をクリックします。
2. 次のいずれかまたは両方を実行します:
   - **[上下に反転]** チェックボックスを選択します。
   - **[左右に反転]** チェックボックスを選択します。
3. 次のいずれかを実行します:
   - 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
   - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

[リセット] をクリックして変更をクリアし、既定の設定に戻します。変更を保存した後では、設定をリセットすることができませんのでご注意ください。

画像をトリミングする

編集モードの [トリミング] ツールを使用して、画像の不要な部分を削除したり、特定のサイズに縮小したりすることができます。また、現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

画像をトリミングするには:

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから **[トリミング]** をクリックします。
2. トリミング ウィンドウの サイズを変更 して、保持したい画像の部分がウィンドウに収まるようにします。
3. トリミング ウィンドウの外部を暗くするには、**[トリミング範囲外を暗くする]** スライダを左にドラッグします。スライダを右にドラッグすると、トリミング ウィンドウの外部が明るくなります。
4. **[新規ファイルの予想サイズ]** をクリックして、トリミング後の画像ファイルの大きさを確認します。
5. 次のいずれかを実行します:
   - 変更を適用して [トリミング] ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
   - 変更を適用せずに [トリミング] ツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

トリミング ウィンドウのサイズを変更する

トリミング ウィンドウのサイズを変更する方法は 3 通りあります:

- トリミング ウィンドウのエッジをドラッグして希望するサイズに変更する方法。
- ピクセル、インチ、センチ、あるいはミリ単位で、トリミング ウィンドウのサイズを指定する方法。
- 縦横比を使って、トリミング ウィンドウの比率を保ちながらサイズ変更する方法。

ドラッグしてトリミング ウィンドウのサイズを変更するには:

1. トリミング ウィンドウの端または角にマウス ポインタを合わせて、ポインタが双方向矢印に変わるまで待ちます。
2. トリミング ウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。

トリミング ウィンドウのサイズを指定するには:

1. **[幅]** と **[高さ]** スピンボックスに希望するトリミング ウィンドウのサイズを入力します。
2. **[単位]** ドロップダウン リストから、使用する単位を選択します。
3. **[ドット／インチ]** スピンボックスで、解像度を指定します。

縦横比を指定してトリミング ウィンドウのサイズを変更するには:

1. **[トリミング縦横比の設定]** チェックボックスをオンにします。
2. ドロップダウン リストから比率を選択し、トリミング ウィンドウを横にする場合は **[横]** チェックボックスをオンにします。
3. 次のいずれかを実行します:
   - トリミング ウィンドウの端または角にマウスポインタを合わせ、ポインタが双方向矢印に変わったら、トリミング ウィンドウの端をドラッグして希望するサイズに変更します。
   - **[幅]** または **[高さ]** スピンボックスを使用して、トリミング ウィンドウの縦または横のサイズを指定します。設定された比率に基づいて、自動的に縦または横のサイズが変更されます。

画像のサイズを変更する

[サイズ変更] ツールを使用して、ピクセル、比率、出力/印刷サイズに合わせて画像のサイズを変更することができます。画像のサイズを変更する際に、縦横比およびリサンプルリング フィルタを指定して、サイズ変更後の画像の外観を調整することも可能です。また、現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

画像のサイズを変更するには:

1. [編集] モードで、[ジオメトリ] グループから **[サイズ変更]** をクリックします。
2. 次のいずれかのサイズ変更オプションを選択します:
   - **ピクセル**: 特定のピクセル サイズに合わせて、画像のサイズを変更します。
   - **パーセント**: 元のサイズに対するパーセントで、画像のサイズを変更します。
   - **実寸/印刷サイズ**: 特定の出力サイズに合わせて、画像のサイズを変更します。ドロップダウン リストをクリックして、使用する単位を指定します。
3. 特定の幅や高さを保持したい場合、**[縦横比を保持する]** チェックボックスをオンにし、ドロップダウン リストから次のいずれかのオプションを選択します:
   - **オリジナル**: 元の画像の幅と高さの比率を保持します。
   - **1 x 1**: 幅と高さの比率を同じにします。
   - **2 x 3**: 幅と高さの比率を 2:3 にします。
   - **3 x 2**: 幅と高さの比率を 3:2 にします。
   - **3 x 5**: 幅と高さの比率を 3:5 にします。
   - **5 x 3**: 幅と高さの比率を 5:3 にします。
   - **カスタム**: カスタム比率を適用します。**[縦横比のカスタマイズ]** ダイアログ ボックスで、幅と高さの比率を入力します。
4. **[フィルタのサイズ変更]** ドロップダウン リストから、フィルタを選択します。
5. 手順 3 で選択したサイズ変更オプションの **[幅]** と **[高さ]** スピンボックスに、画像の新規サイズを入力します。[実寸／印刷サイズ] を選択した場合、**[解像度]** ドロップダウン リストから出力画像の解像度(ドット／インチ)を選択します。

6. 出力画像の予想サイズを確認するには、**[新規ファイルの予想サイズ]** ボタンをクリックします。
7. 次のいずれかを実行します:
   - 変更を適用して [サイズ変更] ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
   - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

「サイズ変更」のワンポイント:

- 画質を保持するには 33%、50% または 66% で縮小します。他の倍率を選択すると、縦横比が変更される可能性があります。
- サイズ変更を繰り返し行わないようにします。サイズ変更を行うたびに、微妙に異なる方向の画像ピクセルが配置されます。サイズ変更を繰り返し行うことによって、画像の全体の色と外観が変更されてしまう可能性があります。最初のサイズ変更が満足のいく結果でなかった場合には、[元に戻す] ボタンをクリックします。
- 画像サイズの拡大を行わないようにします。画像サイズを大きくすると、画像内のピクセルが目立ち、粒状のノイズが追加されてしまうことがあります。

露出/ライティング ツール

画像の露出を調整する

[露出] ツールを使用して、画像の露出、コントラスト、ガンマを調整することができます。現在のオプション設定をプリセットとして保存することも可能です。

トーンカーブを調整するには:

1. [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、**[露出]** をクリックします。
2. 下の表を参考にして、オプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します:
   - 変更を適用して別のタブのオプションを設定するには、**[適用]** をクリックします。
   - 変更を適用して [トーンカーブ] ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
   - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

[リセット] をクリックして変更をクリアし、既定の設定に戻します。変更を保存した後では、設定をリセットすることができませんのでご注意ください。

トーンカーブ オプション

露出	スライダを右に移動して露出の量を増やすか、左に移動して露出の量を減らします。
自動	[自動] ボタンをクリックして、露出レベルを自動調整します。
コントラスト	スライダを右に移動してコントラストの量を増やすか、左に移動してコントラストの量を減らします。
フィルライト	スライダを右に移動して画像の暗い領域に入れるライト(光)の量を増やすか、左に移動してライトの量を減らします。フィルライトは、画像の暗い領域を明るくするためのオプションです。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。[プレビュー] に露出アンダーが緑のピクセルで、露出オーバーが赤のピクセルで表示されます。使用されていない時にはこのアイコンはグレーに、使用している時にはこのアイコンはイエローで表示されます。

画像のレベルを調整する

[露出] ツールの [レベル調整] タブでは、画像のコントラストや明るさのレベルを細かく調整することができます。現在のオプション設定をプリセットとして保存することも可能です。

画像のレベル調整を行うには:

1. [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、**[レベル調整]** をクリックします。
2. 次のいずれかを実行します:
   - 以下の一覧を参照にしてオプションを設定し、コントラストおよびライトのレベルを手動で調整します。
   - **[自動...]** をクリックしてオプションを選択し、画像のプロパティを自動調整します。
3. 次のいずれかを実行します:
   - **[適用]** をクリックして設定を適用します。
   - 変更を適用して [レベル調整] ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
   - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

[リセット] をクリックして変更をクリアし、既定の設定に戻します。変更を保存した後では、設定をリセットすることができませんのでご注意ください。

レベル調整 オプション

チャンネル	調整したい明るさまたはカラーチャンネルを指定します。
シャドウ	画像のブラックポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ～ 255 の値を入力して、画像の最も黒い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の暗い部分はより暗くなります。矢印上をクリックして、画像のブラックポイントの開始点を自動設定することも可能です。
中間調	画像のミッドポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに値を入力して、ミッドポイントを指定します。値が大きくなるほど画像は明るくなり、値が小さくなるほど画像が暗くなります。矢印上をクリックして、画像のミッドポイントを自動設定することも可能です。
ハイライト	画像のホワイトポイントを指定します。 スライダを動かすか、またはスピンボックスに 0 ～ 255 の値を入力して、画像の最も白い部分を指定します。値が大きくなるほど、画像の明るい部分はより明るくなります。矢印上をクリックして、画像のハイライトの開始点を自動設定することも可能です。
自動	次のいずれかのオプションを選択します: - **コントラストの調整**: 自動分析して、画像のコントラストを調整します。 - **色とコントラストの調整**: 自動分析して各カラーチャンネルを調整してから、コントラストを調整します。 - **色と明るさの調整**: 自動分析して、画像の色と明るさを調整します。 - **トレランス**: [トレランスの設定] ダイアログボックスが開かれます。ブラックとホワイトレベルの最大クリッピング率を指定し、**[OK]** をクリックします。ACDSee 12 は画像のレベルを自動調整します。
ブラックポイント ピッカー	**[ブラックポイント]** ピッカーをクリックした後、ブラックポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。
ミッドポイント ピッカー	**[ミッドポイント]** ピッカーをクリックした後、ミッドポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。
ホワイトポイント ピッカー	**[ホワイトポイント]** ピッカーをクリックした後、ホワイトポイントとして設定したい画像の部分をクリックします。

ピッカーのいずれかをクリックした後、画像上にマウスを移動すると、カーソルがスポイトに変わります。ステータスバーを見ると、スポイトを動かすたびにＲＧＢの値が変わるのを確認することができます。これらの数字は、スポイトの下にあるピクセルの RGB 値を表しています。ＲＧＢ値はソース (未処理) のピクセル値と、スクリーン上でカーソルの置かれているピクセル値を表しています。

レベルを自動調整する

[自動レベル] タブでは、画像の露出レベルを自動的に調整することができます。自動レベルは、画像で最も暗いピクセルをより暗く、最も明るいピクセルをより明るく調整します。現在のオプション設定をプリセットとして保存することも可能です。

画像の露出レベルを自動調整するには:

1. [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、**[自動レベル]** をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
   - **自動コントラストと自動カラー**: 色の違い、明るさ、RGB チャンネルのバランスを調整します。
   - **自動コントラスト**: 色の違いと明るさのみを自動調整します。
   - **自動カラー**: 色の違いまたはコントラストを変更せずに、画像の RGB チャンネルのバランスを調整します。
3. **[強度]** スライダを使って、適用する露出の量を微調整します。
4. **[露出警告を表示する]** をクリックすると、[プレビュー] に露出アンダーが緑のピクセルで、露出オーバーが赤のピクセルで表示されます。
5. 次のいずれかを実行します:
   - 変更を適用して[露出] ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
   - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

[リセット] をクリックして変更をクリアし、既定の設定に戻します。変更を保存した後では、設定をリセットすることができませんのでご注意ください。

トーンカーブを調整する

[編集] モードの [露出] ツールにある [トーンカーブ] タブでは、画像の色合いを細かく調整することができます。RGB チャンネルを選択または特定の色を選択して、画像全体の明るさを調整します。

現在のオプション設定をプリセットとして保存することも可能です。

トーンカーブを調整するには:

1. [編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、**[トーンカーブ]** をクリックします。
2. 下の表を参考にして、オプションを設定します。
3. 次のいずれかを実行します:
   - **[適用]** をクリックして設定を適用します。
   - 変更を適用して [トーンカーブ] ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
   - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

[リセット] をクリックして変更をクリアし、既定の設定に戻します。変更を保存した後では、設定をリセットすることができませんのでご注意ください。

トーンカーブ オプション

チャンネル	調整するカラーチャンネルを指定します。
ヒストグラムを表示する	ズーム固定のオンとオフを切り替えます。
ヒストグラム	選択されたチャンネルを視覚表示することで、画像全体の色合いを細かく調整することができます。線をクリック & ドラッグしてトーンカーブを操作します。カーブをクリックするたび、新しいノードが追加されます。ノードをカードの上下にドラッグして調整します。ノードを削除するには、グラフ外の領域にノードをドラッグします。
露出警告を表示する	露出オーバー、露出アンダーの領域をハイライト表示します。[プレビュー] に露出アンダーが緑のピクセルで、露出オーバーが赤のピクセルで表示されます。

ライティングを調整する

[ライティング] ツールを使用して、画像内で光が適切に表示されている領域を変更せずに、画像の暗すぎる、あるいは明るすぎる領域を調整することができます。また同時に暗すぎる領域の暗さを明るく、明るすぎる領域の明るさを暗くすることができます。例として、海や窓など明るい背景で人物を撮影した場合に、人物が暗くはっきりと顔が見られないけれども背景の明るさは調整しなくても大丈夫な写真、が挙げられます。実際には、ほとんどの写真は曇天あるいはフラッシュ発光で撮影されるます。そのため、シャドウとハイライトを使用して微調整をすると出来上がりに大きな差が出ます。

設定をプリセットとして保存し、次回以降使用することも可能です。

[ライティング] はとても多機能なツールで、3 つのスライダを調整するだけで簡単に調整することができます。ACDSee 12 は画像を分析してから、画像全体に必要な調整を施します。例えば、暗い画像は明るく仕上がります。**[自動]** ボタンをクリックすると、 ACDSee 12 は画像を分析し、スライダの位置を自動設定します。画像のある領域 (通常は画像の被写体) を直接クリックして、その領域に最適な設定を自動設定することも可能です。

ライティング ツールを開くには:

[編集] モードで、[露出/ライティング] グループから、**[ライティング]**をクリックします。

暗い領域に明るさを加えるには:

1. **[ハイライト]** スライダを右にドラッグし、画像の暗い領域にハイライトを追加します。
2. 以下の表で解説されているあらゆるコントロールを使用して、設定を調整します。

明るすぎる領域を暗くするには:

1. **[シャドウ]** スライダを右にドラッグして明るくし、暗い領域のディテールを引き出します。
2. 以下の表で解説されているあらゆるコントロールを使用して、設定を調整します。

暗すぎるまたは明るすぎるミッドトーンを調整するには:

1. **[ミッドトーン]** スライダを右にドラッグして明るくし、暗い領域のディテールを引き出します。
2. 以下の表で解説されているあらゆるコントロールを使用して、設定を調整します。

シャドウ/ハイライトのコントロール

スライダ上を右クリックする	スライダ上を右クリックしてリセットします。
露出警告を表示する ⚠	[露出警告を表示する] をクリックすると、[プレビュー] に露出アンダーが緑のピクセルで、露出オーバーが赤のピクセルで表示されます。<E> キーをホールドすることで、露出警告を一時的にオン/オフに切り替えることができます。
自動	クリックして、ACDSee に画像を分析させ、画像の明るさと暗さのピクセルの量を基準に最適な設定を適用します。既に明るい領域はあまり変更されず、暗い領域が明るく設定されます。
完了	変更を適用してツールを閉じるには、[完了] をクリックします。
キャンセル	変更を適用せずにツールを閉じるには、[キャンセル] をクリックします。

[リセット] をクリックして変更をクリアし、既定の設定に戻します。変更を保存した後では、設定をリセットすることができませんのでご注意ください。

カラーツール

ホワイトバランスを調整する

[ホワイトバランス] ツールを使用して、画像から不要な色合いを削除することができます。例えば、夕焼けを撮影した写真に赤みがかかっている場合、[ホワイトバランス] ツールを設定して、赤みを取り除くことができます。現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

画像からカラーキャストを削除するには:

1. [編集] モードで、[カラー] グループから、**[ホワイトバランス]** をクリックします。
2. 画像で白またはグレーであるべき部分をクリックします。カラースクエアの中に、元のピクセルの色が左に、修正後のピクセルの色が右に表示されます。
3. ホワイトバランスの強さを指定するには、**[強度]** スライダを移動します。値が高くなるほど、削除される色の量が多くなります。
4. **[完了]** をクリックして変更を保存するか、**[キャンセル]** をクリックして変更を破棄し編集ペインに戻ります。

希望する効果が得られない場合には、画像上にある別の色合いの白またはグレーをクリックして試してください。

[リセット] をクリックして変更をクリアし、既定の設定に戻します。変更を保存した後では、設定をリセットすることができませんのでご注意ください。

カラーバランスを調整する

[カラーバランス] ツールを使用して、画像の色の値を調整することができます。現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

画像のカラーを調整するには:

1. [編集] モードで、[カラー] グループから、**[カラーバランス]** をクリックします。
2. 下の表で解説されているようにスライダを調整します。
3. 次のいずれかを実行します:
   - **[適用]** をクリックして設定を適用します。
   - 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
   - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

[リセット] をクリックして変更をクリアし、既定の設定に戻します。変更を保存した後では、設定をリセットすることができませんのでご注意ください。

カラーバランス オプション

彩度	画像の彩度を調整します。スライダを右に移動して彩度の量を増やすか、左に移動して彩度の量を減らします。
色相	画像の色相を調整します。スライダを右に移動して色相の量を増やすか、左に移動して色相の量を減らします。
輝度	画像の明るさを調整します。スライダを右に移動して明るさの量を増やすか、左に移動して明るさの量を減らします。
レッド	画像のレッドチャンネルを調整します。スライダを右に移動して画像内のレッドトーンの量を増やすか、左に移動してレッドトーンの量を減らします。
グリーン	画像のグリーンチャンネルを調整します。スライダを右に移動して画像内のグリーントーンの量を増やすか、左に移動してグリーントーンの量を減らします。
ブルー	画像のブルーチャンネルを調整します。スライダを右に移動して画像内のブルートーンの量を増やすか、左に移動してブルートーンの量を減らします。

ヒストグラムを使用する

ヒストグラムは、画像の明るさと各カラーチャンネルのレベルをグラフィックで表します。

ヒストグラム ペインを使用するには:

1. 表示モードで、**[表示]** メニューから **[ヒストグラム ペイン]** をクリックします。
2. ヒストグラム ペイン内の次のチェックボックスをオンまたはオフにします:
   - **R**: レッド チャンネルを表示または非表示にします。
   - **G**: グリーン チャンネルを表示または非表示にします。
   - **B**: ブルー チャンネルを表示または非表示にします。
   - **L**: 画像の明るさを表示または非表示します。

画像の色深度を変更する

表示モードで、画像の色深度を変更することができます。色深度とは、画像に含まれる色の数のことです。

画像の色深度を変更するには:

表示モードの **[ツール]** メニューから **[修正]**、**[色深度の変更]** を選択し、下記で説明されているオプションの 1 つを選択します。

色深度 オプション

モノクロ	白と黒の 2 色を使用します。
16 色グレースケール	16 色の パレットを使用します。
256 色グレースケール	256 色のグレースケール パレットを使用します。
16 色	16 色のパレットを使用します。
256 色	256 色のパレットを使用します。(GIF フォーマットでは、既定値として 256 色が使用されています。)
High Color	32,768 色 のパレットを使用します。
True Color	人間の目で認識可能なすべての色を含む 16,777,216 色のカラー パレットを使用します。
16 bit グレースケール	16 ビット のグレースケールを使用します。
48 bit カラー	48 ビットのカラーパレットを使用します。

ACDSee では、これらの色深度に画像を変換することができます。しかし、特定の画像編集ツール、フィルタ、ブレンド、調整オプションを使用するには、画像が High Color または True Color である必要があります。画像を編集するには、画像を High Color または True Color に変更し、編集後に画像を元の色深度に戻してください。

色の設定 ダイアログボックスを使用する

[編集] モードの様々な場所でカラーを選択、あるいは適用する場合、「色の設定」ダイアログボックスが表示されます。「色の設定」ダイアログボックスを使用して、様々な方法でカラーを選択したり、異なる編集ツールでカラーを調整したりします。

カラー グリッド

ダイアログの左上には、ブラック、グレー、ホワイトを含む [基本色] を選択するためのグリッドがあります。その下には [作成した色] のグリッドがあります。**[色の追加]** ボタンをクリックしてカスタムカラーを追加すると、このグリッドに追加されます。

カラー パレットとスライダ

[基本色] のグリッドの右横にあるのがカラー パレットです。カラー パレットには、レッド、イエロー、グリーン、水色、ブルー、パープル、ピンク、そしてレッドまでの全ての色を網羅したカラー スペクトルが含まれています。パレット上部のカラーは各カラーの原色で、パレットの下に行くほどグレーの色味が増え、一番下ではグレーになります。くすんだ感じの色を作りたい場合は、このパレットの一番下から徐々に上がっていくと便利です。同様に、ブラウンのような色は、パレットのレッド/オレンジ スペクトルの下の部分から始めると見つけやすくなります。

ダイアログの一番右手にあるのがカラー スライダです。スライダで実際に選択されている色は、カラー パレット上に黒い矢印で表示されます。スライダを上に動かしてホワイトまたはパステル調にするか、スライダを下に動かしてブラックを加えて、細かい調整を行います。

カラーを選択する/調整する

カラーを選択するには、[基本色] または [作成した色] のいずれかにあるグリッドをクリックするか、カラー パレット上をクリックします。カラー パレット上ではドラッグすることも可能です。グリッド またはカラー パレット上の色をクリックする、またはカラー パレット上でマウスをリリースすると、その色が **[色 | 純色]** の四角に表示されます。また、その色の数値が色合い、鮮やかさ、明るさ、赤、緑、青の各ボックスに表示されます。

色合い、鮮やかさ、明るさのボックスにある数値を変更することでも、色を調整することが可能です。厳密に色を選択したい場合には、その色の値を入力します。赤、緑、青のボックスでも同様に値を入力することが可能です。

詳細ツール

画像をシャープにする

[シャープネス] ツールを使用して、画像のミディアムおよびハイ コントラスト エッジを強調することで、画像をシャープにすることができます。現在のオプション設定をプリセットとして保存することも可能です。

シャープネス ツールを使用して画像をシャープにするには:

1. [編集] モードで、[ディテール] グループから、**[シャープネス]** をクリックします。
2. 以下に解説されているように、スライダをドラッグして画像を調整します。
3. 次のいずれかを実行します:
   - 変更を適用してツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
   - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

[リセット] をクリックして変更をクリアし、既定の設定に戻します。変更を保存した後では、設定をリセットすることができませんのでご注意ください。

シャープネス オプション

度合い	各エッジに追加する、あるいはエッジから削除する光の量を指定します。値が高くなるほどエッジが暗くなります。
半径	各エッジの周りを調整するピクセルの数を指定します。値が高くなるほどシャープになるピクセルの数が増加します。
しきい値	シャープにする前に、近隣ピクセル間の明るさの違いを指定します。値が高くなるほど浮き出しが深くなります。エッジを浮き出しながらも、背景のノイズを最小に保つようにしきい値を設定するのが理想です。
しきい値のフェザリング	シャープにされたピクセルと、シャープにされなかったピクセル間のトランジションをスムーズにします。このオプションを選択すると、シャープにされたピクセルと、シャープにされなかったピクセル間に見られがちな線の発生を防止します。

画像をぼかす

[ぼかし] ツールを使用して、画像に異なる種類のぼかしを適用することができます。また、現在のオプション設定をプリセットとして保存することも可能です。

画像をぼかすには:

1. [編集] モードで、[ディテール] グループから、**[ぼかし]** をクリックします。
2. **[ぼかしの種類]** ドロップダウン リストから、適用するぼかしの種類を選択します。
3. 下の表を参考にして、ぼかしの種類を指定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - 変更を適用して [ぼかし] ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
   - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

[リセット] をクリックして変更をクリアし、既定の設定に戻します。変更を保存した後では、設定をリセットすることができませんのでご注意ください。

ぼかしの種類

ガウス	画像全体を均等にスムーズにぼかします。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
リニア	画像に動きをつけてぼかします。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
	角度	ぼかし効果が適用される方向を指定します。
放射状	画像の中心を基点にして円状にぼかします。画像をクリックしてぼかしの中心を設定します。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
	時計回り	時計回りにぼかします。
	反時計回り	反時計回りにぼかします。
	左右の位置	水平軸にぼかしの中心を指定します。
	上下の位置	垂直軸にぼかしの中心を指定します。
スプレッド	画像全体を曇ガラスのようにぼかします。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
ズーム	画像の中心から外に向かって、または外から画像の中心に向かってぼかします。	
	度合い	ぼかしの度合いを指定します。スライダを右へ動かすほど効果が強くなります。
	拡大	画像の中心に向かってぼかします。
	ズームアウト	画像の中心から外に向かってぼかします。
	左右の位置	水平軸にぼかしの中心を指定します。
	上下の位置	垂直軸にぼかしの中心を指定します。

ノイズとノイズ除去について

ノイズとは、例えば夜空のように無地であるべき場所に、黒、白、あるいは色のついたピクセルがランダムに発生することを指します。 デジタル画像では、ノイズは通常暗い部分によく見られます。

ノイズが発生する原因を幾つか挙げてみましょう。 ISO 設定が例えば ISO 800 など高い値に設定されている場合、あるいは露出時間を長くした場合。(暗い明かりの元で撮影しようとする場合、ISO 設定を高く、露出時間を長く設定するのが通常です。) しかしながら、デジタルカメラのセンサー内にあるピクセルの残骸が原因にもなります。 似たような状況では、カメラのレンズやスキャナベッドについたほこりが光を遮断あるいは反射することでも引き起こされます。

画像には一般に 2 種類のノイズが含まれています: ルミナンスとカラーで、 ルミナンスノイズは、特にグレーなど無地の領域に見られる明るさの違いによるノイズで

カラーノイズは、カラーの違いによってランダムに発生するノイズです。

ノイズは目障りな現象なため、ノイズを除去しようとするのがカメラマンの常です。しかしながら、ノイズを気にしすぎるとシャープネスが失われてしまいます。[ノイズ除去] ツールを使用して、ルミナンスとカラーの両方のノイズを削除することができます。

ノイズを除去する

[ノイズ除去] ツールを使用して、画像の詳細を保持しながら画像からノイズを除去することができます。

CCD アレイセンサーが機能していない時のデジタルカメラ、あるいはほこりの付いたスキャナやカメラレンズで撮影された画像の強烈に明るいピクセルを削除するのに、ノイズ除去ツールを使います。

画像からノイズを除去するには:

1. [編集] モードで、[ディテール] グループから、**[ノイズ]** をクリックします。
2. **ノイズ除去**タブを選択します。
3. 下の表を参考にして、オプションを設定します。
4. 次のいずれかを実行します:
   - 変更を適用して [ノイズ] ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
   - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

[リセット] をクリックして変更をクリアし、既定の設定に戻します。変更を保存した後では、設定をリセットすることができませんのでご注意ください。

ノイズ除去 オプション

ノイズ除去	ノイズを除去します。
正方形	正方形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。
X	X 形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線や対角線を保持したい場合に使用します。
+	＋ 形の 3 x 3 ピクセルを使ってノイズを除去します。画像の細かい線、縦横線を保持したい場合に使います。
ハイブリッド	デジタルカメラのノイズを削除します。より細かくノイズを削除するために設定された、以下のスライダを使用して調整します。 • **明るさ**: 明るさに見られるノイズをランダムに除去します。 • **カラー**: カラーに見られるノイズをランダムに除去します。

ノイズを追加する

[ノイズ追加] ツールを使用して、画像に粒状のノイズを追加することができます。少量のノイズを加えると、オリジナル画像に見られるかすかな欠点が目立たなくなります。現在のオプション設定を プリセット として保存することも可能です。

画像にノイズを追加するには:

1. [編集] モードで、[ディテール] グループにある **[ノイズ]** をクリックします。
2. **[ノイズ追加]** タブを選択します。
3. 下の表を参考にして、オプションを設定します。

4. 次のいずれかを実行します:
   - 変更を適用して [ノイズ] ツールを閉じるには、**[完了]** をクリックします。
   - 変更を適用せずにツールを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。

[リセット] をクリックして変更をクリアし、既定の設定に戻します。変更を保存した後では、設定をリセットすることができませんのでご注意ください。

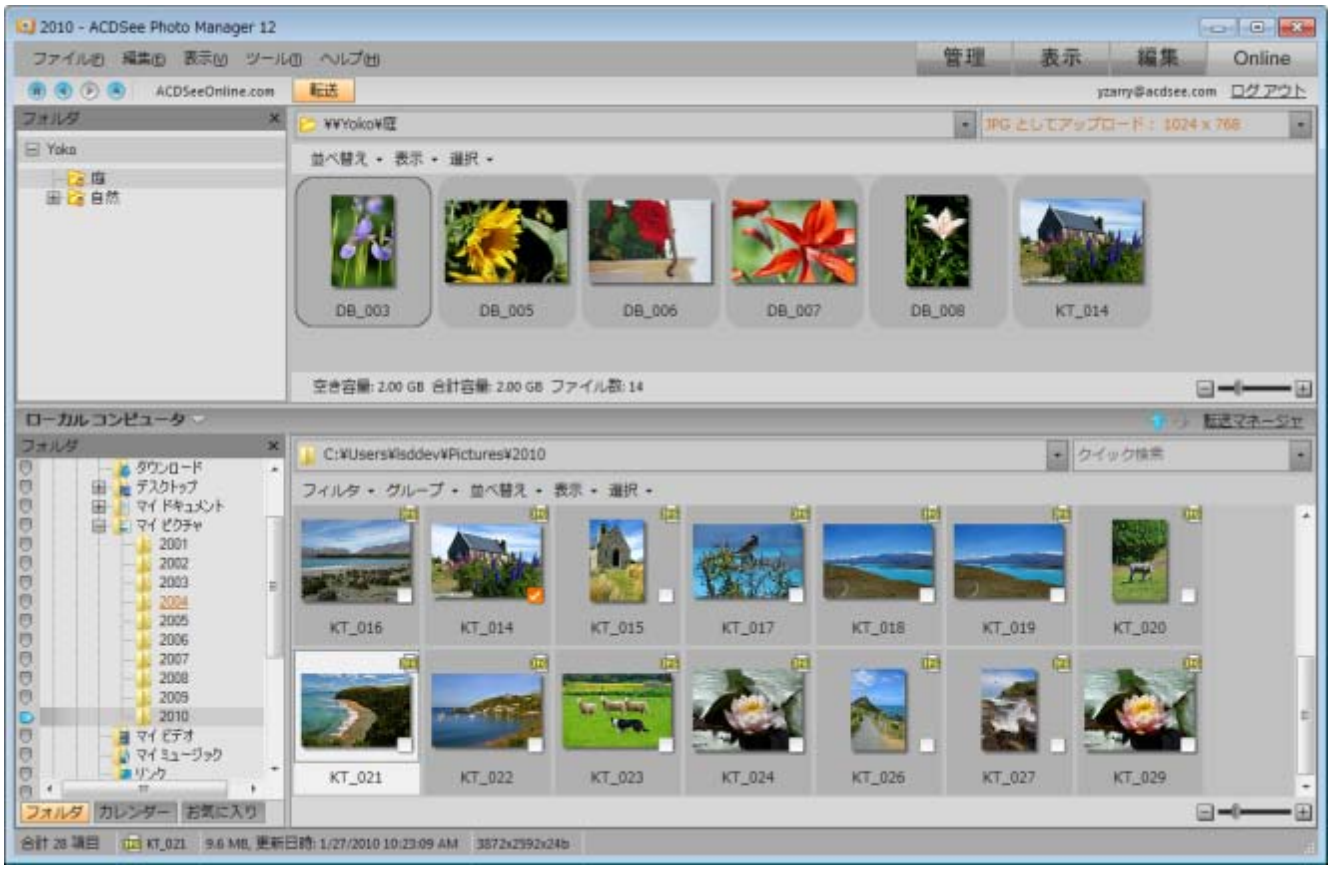
ノイズ追加 オプション

強度	画像に追加するノイズの量を指定します。ノイズの量が多くなるほど、オリジナル画像のピクセルがノイズと置換される可能性が高くなります。
色の近接度	画像に追加するノイズの色を指定します。値が小さくなるほど、置換されるピクセルに近い色のノイズが追加されます。値が大きくなるほど、ノイズの色はランダムに選択されます。
ノイズの色	次のいずれかのオプションを選択して、ノイズの色を指定します: • **ランダム**: ランダムにノイズの色を選択します。 • **モノクロ**: 白黒のノイズが追加されます。 • **調整**: ノイズの色をランダムに選択しますが、ほとんどのノイズの色は指定した色と同じになります。 [カラーピッカー] をクリックして、ノイズの色を指定します。
ノイズの配置	指定された色に近い画像部分に、ノイズを追加します。ノイズの配置を有効にするには、**[色の設定]** チェックボックスをオンにします。[カラーピッカー] をクリックして、ノイズの色を選択します。
ランダム表	画像のノイズをランダムに配置します。 [ノイズ追加] ツールを使用する際、ACDSee 12 はランダム表に基づいてノイズピクセルを追加します。そのため、ツールを使用する度に追加されるノイズが変化します。ランダム表を作成して、同じように画像ノイズを生成することができます。 ランダム表を新規作成するには、**[ランダム表]** をクリックします。

第 6 章 : Online モード

ACDSee Online に関するヘルプは、**[ACDSeeOnline.com]** タブの **[ヘルプ]** をクリックして参照してください。

Online モードを使用して、ACDSeeOnline.com に画像をアップロードすることができます。ACDSeeOnline.com は、ACDSee 12 ユーザーを対象にした画像共有 + 画像保存サービスです。Online モードと ACDSeeOnline.com を合わせることで、Internet Explorer などのインターネットサービスプロバイダを使用することなく、オンライン画像をアップロードしたり参照することが可能です。まず ACDSee Onloine アカウントを作成して、画像をアップロードしてください。



ACDSee Online を使用して、次のような操作を行うことができます。

- ACDSeeOnline.com アカウントを作成する
- 画像をアップロードする
- 画像フォルダを非公開に設定する

Online モードを使用する

ACDSee Online に関するヘルプは、**[ACDSeeOnline.com]** タブの **[ヘルプ]** をクリックして参照してください。

Online モードを使用して ACDSeeOnline.com は、ACDSee 12 ユーザーを対象にした画像共有 + 画像保存サービスである、ACDSeeOnline.com に画像をアップロードすることができます。Online モードと ACDSeeOnline.com を合わせることで、Internet Explorer などのインターネットサービスプロバイダを使用することなく、オンライン画像をアップロードしたり参照することが可能です。あるい、はご利用になっているインターネット ブラウザから直接 ACDSeeOnline.com にアクセスすることも可能です。Online モードは、「ACDSeeOnline.com」と「転送」の 2 つのコンポーネントで構成されています。

ACDSee 12 からアップロードする際、すべての画像は JPEG フォーマットに自動変換されます。

Online モードのコンポーネント

[ACDSeeOnline.com] と [転送] タブを有効にするには、まず ACDSeeOnline .com アカウントを作成する必要があります。アカウントの作成に関しては、以下をご覧ください。

ACDSeeOnline.com	[ACDSeeOnline.com] タブをクリックすると ACDSeeOnline.com にアクセスすることができます。オンライン アカウントに保存されている画像を参照したり、他のユーザーの画像を見てコメントを加えたりすることができます。ACDSeeOnline.com には次の 4 つのメニューがあります。 • **管理**: 画像をフォルダに入れて管理します。 • **アップロード**: [アップロード] をクリックして画像のアップロードが可能な [転送] に切り替えます。 • **プロファイル**: プロファイルを変更したり、特定の情報を「公開」、「非公開」に設定したりします。 • **FAQ**: ACDSeeOnline.com 関連のヘルプを開きます。
転送	転送 モードを使用して、ACDSeeOnline.com アカウントに画像をアップロードすることができます。「転送」は上下に分割されていて、スクリーンの下半分にはコンピュータに保存されている画像が、スクリーンの上半分には ACDSeeOnline.com アカウントの内容が表示されます。

Online モードの画像を、「編集」モードで開いて編集処理を行うことはできません。画像を編集するには、まず「管理」または「表示」モードで画像を選択してから、「編集」モードで開きます。ご注意ください。

ACDSeeOnline.com アカウントを作成する

ACDSeeOnline.com に画像をアップロードする前に、アカウントを作成する必要があります。

ACDSeeOnline.com アカウントを作成するには:

1. Online モードで、**[アカウントの作成]** をクリックします。
2. フォーム内に記入事項を入力します。
3. **[アカウントの作成]** をクリックします。

ACDSee Online に関するヘルプは、**[ACDSeeOnline.com]** タブの **[ヘルプ]** をクリックして参照してください。

ACDSee Online に画像をアップロードする

ACDSee Online に関するヘルプは、**[ACDSeeOnline.com]** タブの **[ヘルプ]** をクリックして参照してください。

ACDSeeOnline.com は、ACDSee 12 ユーザーを対象にした画像共有 + 画像保存サービスです。まず ACDSeeOnline.com アカウントを作成して、画像をアップロードしてください。ACDSeeOnline.com アカウントにアップロードすることができる画像には、サイズの制限がありません。存分にお楽しみください。

ACDSee 12 からアップロードする際、すべての画像は JPEG フォーマットに自動変換されます。

画像をアップロードするには:

1. Online モードで、**[ログイン]** をクリックします。
2. ご利用になっているアカウントにログインします。
3. **[アップロード]** をクリックして [転送] に切り替えます。

   スクリーンは上下 2 つの領域に分かれて表示されます。下半分はコンピュータに保存されている画像を、上半分はオンラインの画像を表しています。
4. 右上部にあるドロップダウン リストから解像度を選択します。

   低解像度 (1024x768) を選択するようにお勧めします。解像度を低くすることで、転送時間が短縮できるだけでなく、アカウントにより多くの画像をアップロードすることができます。

5. 次のいずれかを実行して、画像をアップロードします:
   - スクリーンの上半分の領域に向かって画像をクリック＆ドラッグして、ACDSeeOnline.com アカウントにアップロードします。複数の画像をダウンロードするには、<SHIFT> キーまたは <CTRL> キーを使ってクリックしながら画像を選択します。カーソルをクリック＆ドラッグして複数の画像を選択することも可能です。
   - スクリーンの上半分の領域に向かって、画像の含まれているフォルダをドラッグします。
   - 画像を選択してから、[転送マネージャ] の横にある上矢印アイコンをクリックします。

   アップロードが完了すると、アップロードされた順番で画像が表示されるようになります。

サブフォルダを含んだフォルダをアップロードすることも可能です。Online モードでは、ACDSeeOnline.com アカウントにフォルダをアップロードする際、そのフォルダ構造を保ったままアップロードします。

公開または非公開のフォルダを作成する

ACDSee Online に関するヘルプは、**[ACDSeeOnline.com]** タブの **[ヘルプ]** をクリックして参照してください。

[ACDSeeOnline.com] と [転送] タブでは、フォルダを作成して公開または非公開を指定することができます。フォルダを公開に設定すると、そのフォルダに含まれているすべての画像を誰でも閲覧することができます。公開フォルダの URL をコピーして、友達や家族にその URL を知らせて共有することも可能です。

新規フォルダを作成する際、既定設定としてフォルダは「非公開」に設定されます。

[転送] でフォルダを作成し、公開または非公開に設定するには:

1. Online モードで、**[転送]** をクリックします。
2. [フォルダ] ペインで ユーザー名を右クリックし、**[オンラインフォルダの新規作成]** を選択します。
3. [新規の Online フォルダ] ダイアログボックスで、新規フォルダの名前を入力します。
4. **[OK]** をクリックします。

   既定設定として、新規フォルダは「非公開」に設定されます。
5. フォルダを「公開」に変更するには、フォルダ上を右クリックし、**[公開する]** を選択します。

公開フォルダの URL を共有するには:

1. Online モードで、**[転送]** をクリックします。
2. [フォルダ] ペイン ウィンドウの上部から、公開フォルダを右クリックします。
3. **[URL のコピー]** をクリックします。
4. その URL を電子メール、インスタント メッセージやその他のアプリケーションにコピーして、友達や家族と共有します。

画像を表示する

ACDSee Online に関するヘルプは、**[ACDSeeOnline.com]** タブの **[ヘルプ]** をクリックして参照してください。

[転送] で、画像のファイル プロパティを表示することができます。

画像のファイル プロパティを表示するには:

1. **[転送]** をクリックします。上下に分割されたスクリーンが表示されます。上半分の領域には ACDSeeOnline.com アカウントに保存されている画像が表示されます。
2. スクリーンの上半分にある画像をダブルクリックして、画像を拡大表示します。
3. **[情報]** ボタンをクリックして、画像のファイル情報を表示します。

重要度を変更する

ACDSee Online に関するヘルプは、**[ACDSeeOnline.com]** タブの **[ヘルプ]** をクリックして参照してください。

[管理] モードで適用した重要度は、[Online] モードで星の数として表示されます。ユーザーは、星の数をどのように表示したいかを選択することができます。

重要度の表示方法を変更するには:

1. **[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** を選択します。
2. [ACDSee オプション] ダイアログボックスの **[ACDSee Online]** をクリックします。
3. [重要度] にある **[重要度 1 を 5 に変換]** または **[重要度 1 を 1 に変換]** のいずれかを選択します。
4. **[OK]** をクリックします。

画像をダウンロードする

ACDSee Online に関するヘルプは、**[ACDSeeOnline.com]** タブの **[ヘルプ]** をクリックして参照してください。

ACDSeeOnline.com は、ACDSee 12 ユーザーを対象に画像の保存サービスを提供しています。ACDSeeOnline.com アカウントからご利用になっているコンピュータへ、いつでも画像をダウンロードすることが可能です。

画像をダウンロードするには:

1. Online モードで、**[ログイン]** をクリックします。
2. ご利用になっているアカウントにログインします。
3. **[転送]** タブをクリックします。

   スクリーンは上下 2 つの領域に分かれて表示されます。下半分はコンピュータに保存されている画像を、上半分はオンラインの画像を表しています。
4. スクリーンの上半分にある [フォルダ] ペインで、ACDSeeOnline.com フォルダをナビゲートしてダウンロードしたい画像を探します。
5. スクリーンの下半分にある [ローカルコンピュータ] ペインで、画像のダウンロード先となるフォルダを選択します。
6. 次のいずれかを実行して、画像をダウンロードします:
   - スクリーンの下半分の領域にあるコンピュータのフォルダに向かって、画像をクリック & ドラッグします。複数の画像をダウンロードするには、<SHIFT> キーまたは <CTRL> キーを使ってクリックしながら画像を選択します。カーソルをクリック & ドラッグして複数の画像を選択することも可能です。
   - スクリーンの下半分の領域に向かって、画像の含まれているフォルダをドラッグします。
   - 画像を選択してから、[転送マネージャ] の横にある下矢印アイコンをクリックします。

転送マネージャを使用する

ACDSee Online に関するヘルプは、**[ACDSeeOnline.com]** タブの **[ヘルプ]** をクリックして参照してください。

[転送マネージャ] では、ACDSeeOnline.com アカウントに画像をアップロード + ダウンロードする作業を確認したり、転送作業をキャンセルしたり一時停止したりすることが可能です。[転送マネージャ] には、[アップロード] と [ダウンロード] の 2 つのタブが用意されています。これらのタブには、アップロード、ダウンロード、一時停止またはキャンセルされた画像が一覧表示されます。

[転送マネージャ] を開くには:

[転送マネージャ] をクリックします。

[転送マネージャ] では次のような操作を行うことができます。

	アップロードまたはダウンロードのキャンセル。
	画像のアップロードとダウンロードを再試行。
	アップロードまたはダウンロードの一時停止。
	画像のアップロードまたはダウンロードを継続。
一覧のクリア	一覧から、アップロード、ダウンロードまたはキャンセルされた画像をクリアします。

一時停止、キャンセル、アップロードまたはダウンロードを継続するには:

1. **転送マネージャ**をクリックします。
2. [転送マネージャ] ウィンドウ内を右クリックし、 **すべて選択**をクリックします。
3. 次のいずれかを実行します:
   - **一時停止**をクリックしてアップロードまたはダウンロードを一時停止します。
   - **キャンセル**をクリックしてアップロードまたはダウンロードをキャンセルします。
   - **再開** をクリックしてアップロードまたはダウンロードを継続します。

第 7 章：オプションと設定

オプションを設定する

全般 オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスの設定を調整して、アップデートの自動チェック、便利なワンポイントの表示、表示する日付フォーマットの設定、自動回転オプション、特定画像表示のコントロールなどを設定することができます。

ACDSee 全般 オプションを設定するには：

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. [ACDSee オプション] ダイアログボックスの **[全般]** をクリックします。
3. 「全般」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

全般 オプション

ガンマ補正を行う	画像を表示またはプレビューする際に、指定されたガンマ補正値を適用します。
プログラムのアップデートを自動チェックする	プログラムのアップデートを自動チェックします。
スクリーン キャプチャのワンポイントを表示する	スクリーン キャプチャ機能を使用する際、ワンポイントを表示します。
壁紙を画面に合わせて自動的に拡大する	小さな画像をデスクトップ全体のサイズに合わせて自動拡大し、壁紙として設定します。
画像アニメーションを無効にする	管理モードのプレビューペインおよび表示モードで、画像アニメーションの最初のフレームのみが表示されます。
EXIF 方向を基準にして、JPEG および TIFF 画像を自動的に回転する	ACDSee でTIFF やJPEG 画像を表示する際、EXIF 方向を基準にして画像を自動回転します。
ステータスバーの日付	ステータスバーに表示するファイルの日付を指定します。
日付/時間の出力フォーマット	次のいずれかのオプションを選択します： ● **既定のシステム フォーマット**：既定のシステム フォーマットを使用して、ステータスバーに日付および時間を表示します。 ● **カスタム フォーマット**：カスタム フォーマットを使用して、ステータスバーに日付および時間を表示します。日付と時間のフ ロップダウン リストから選択します。

管理モード オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスを使用して、既定の開始フォルダや配色など、管理モードのための様々なオプションを設定することができます。

管理モード オプションを設定するには：

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. [ACDSee オプション] ダイアログボックスの **[管理モード]** をクリックします。
3. 「管理モード」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee 12 に戻ります。

管理モード オプション

既定の開始フォルダ	**前回のセッションで使用したフォルダ**	ACDSee 12 で前回使用したフォルダと同じフォルダを管理モードで開きます。前回使用したすべてのブラウズ条件は自動的に適用されます。
	開始フォルダ	指定された開始フォルダが、管理モードで常に開かれます。**[参照]** ボタンをクリックして、ハードディスク上から開始フォルダを指定します。
タスクバーの通知領域	**タスクバーの通知領域にアイコンを表示する**	タスクバーの通知領域に ACDSee 12 アイコンを表示します。
	終了時にタスクバーの通知領域で ACDSee を起動し続ける	アプリケーション終了時に、バックグラウンドで ACDSee 12 を起動し続けます。タスクバーの通知領域のアイコンをクリックするだけで、ACDSee 12 を再起動することができます。
	システム起動時に ACDSee をタスクバーの通知領域に起動する	コンピュータの電源が入ると、ACDSee 12 を自動的に起動します。タスクバーの通知領域の ACDSee アイコンをクリックするだけで、ACDSee 12 を再起動することができます。
配色	ACDSee 12 で使用する配色を指定します。	
終了時に履歴パスをクリアする	ACDSee 12 の終了時に、最近使ったフォルダパスを削除します。	
タイトルバーに完全なパスを表示する	画像の完全なパスを ACDSee 12 タイトルバーに表示します。	
エラー報告	ACDSee 12 にエラーが発生した場合、ログを表示させたくない場合はこのオプションを選択します。	

クイック検索オプションを設定する

検索するファイルのプロパティあるいはデータベース情報を指定することで、クイック検索オプションの検索を絞り込むことができます。

クイック検索オプションを設定するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. [ACDSee オプション] ダイアログボックスの **[管理モード]** から **[クイック検索]** をクリックします。
3. 「クイック検索」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

クイック検索オプション

ファイル名を含む	入力された文字で始まるファイルまたはフォルダ名を検索します。
カテゴリを含む	入力された文字と一致するカテゴリを検索し、それらと関連付けられた全ファイルを検索結果として表示します。サブカテゴリは含まれませんのでご注意ください。
フォルダの内容を含む	入力された文字で始まるフォルダを検索し、それらのフォルダの内容を検索結果として表示します。サブカテゴリは含まれませんのでご注意ください。

ファイル一覧ペインオプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧ペインのオプションを設定することでユーザーの好みに合わせたカスタマイズが可能です。例えば、アーカイブファイルをサブフォルダでグループ化したり、異なる背景色を使用して画像タイプをハイライトすることができます。また、ファイル一覧ペインで表示されるファイルの種類やサムネイルをカスタマイズすることも可能です。

ファイルー覧ペイン オプションを設定するには：

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの **[ファイルー覧]** をクリックします。
3. 「ファイルー覧」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

ファイルー覧 オプション

ファイルー覧	**新規ファイルを自動的に選択する**	ファイルー覧ペインに表示されているフォルダに新規ファイルが追加された際、新規ファイルを自動的に選択します。
	アーカイブをフォルダでグループ化する	ファイルー覧ペインで項目を並べ替える際、アーカイブ ファイルをフォルダとして扱います。
	埋め込まれたサムネイルを使用する	RAW ファイルにサムネイルが埋め込まれている場合、これらのサムネイルがファイルー覧ペインに表示されます。
	高画質のサムネイルを作成する	このオプションが選択されると、まず RAW ファイルに埋め込まれているサムネイルがファイルー覧 ペインに表示され、その後高画質のサムネイルに置き換えられます。
	フォルダにサムネイルを表示する	ファイルー覧ペインにあるフォルダ アイコンに、コンテンツのサムネイルを表示します。
	各フォルダの並べ替え設定を保存する	ACDSee に特定フォルダで使用した並べ替え設定を記憶させたい場合には、このオプションを選択します。
	<Ctrl> キーでホット トラックを有効にする	**<Ctrl>** キーをホールドすると、ホット トラックが有効になります。このオプションが選択されると、ファイルー覧ペイン上で <Ctrl> キーをホールドしながらマウス ポインタを動かすことで、ホット トラックが有効になります。ホット トラックとは、選択されたファイルを変更せずに、プレビューやプロパティ ペインの内容を更新することを指します。
	アニメーションを使用する	特定機能を開いたり、閉じたりする際にアニメーションを有効あるいは無効に設定します。例として、グループ ヘッダーがあります。

フィルタの設定	**すべてのファイルを表示する**	ファイル一覧に画像ファイル、フォルダ、メディアファイル、アーカイブファイルを表示します。
	フィルタ適用の条件	以下のファイルの種類から、選択されたもののみを表示します。 • 画像ファイルの表示 • フォルダの表示 • メディアファイルの表示 • アーカイブファイルの表示
	隠しファイルとフォルダを表示する	通常隠しファイルとして設定されているシステムファイルとその他のファイルを表示します。
	THM ファイルを表示する	ファイル一覧に Canon THM ファイルを表示します。
	XMP ファイルを表示する	ファイル一覧に XMP サイドカーファイルを表示します。
画像ファイルのハイライト	**画像ファイルをハイライトしない**	「詳細」および「サムネイル＋詳細」表示モードで画像ファイルをハイライトしません。
	画像ファイルをシングルカラーでハイライトする	「詳細」および「サムネイル＋詳細」表示モードの、すべての画像ファイルをシングルカラーでハイライトします。
	画像ファイルをマルチカラーでハイライトする	「詳細」および「サムネイル＋詳細」表示モードの、すべての画像ファイルをマルチカラーでハイライトします。
ポップアップ	**マウスをファイル一覧の項目の上に置いた時ポップアップを表示する**	ファイル一覧にマウスを置いた際、ポップアップのプレビューを表示するか、表示しないかを指定します。 以下の設定でポップアップに画像および/またはテキストを含むかを指定することができます。あるいはこのオプションをオフに設定すると、<Shift> キーをホールドしている場合にのみポップアップを有効にすることができます。
	<Shift> キーでポップアップを有効にする	ファイル一覧で、**<Shift>** キーをホールドしたままマウスキーを移動した場合のみ、ポップアップが有効になります。<Shift> キーでファイルを選択しにくい、という場合には、このオプションをオフに設定します。
	ポップアップを自動的に隠す	画像上にマウスが置かれていても、**5** 秒ポップアップを表示した後、自動的に隠します。
	サムネイルのポップアップを表示する	マウスが置かれると、ファイル一覧に画像のポップアッププレビューを表示します。
	ポップアップにファイル情報を表示する	ポップアップにテキスト情報を表示します。[ポップアップの構成] をクリックして希望する情報をダイアログから選択し、ポップアップに表示する情報を指定します。
ファイル情報の設定	[ポップアップ情報の選択] ダイアログが開かれます。このダイアログで、ファイル一覧のポップアップに表示する情報を選択します。ファイル名、場所、サイズ、更新日時、画像サイズが既定として設定されていますが、EXIF、ファイル、画像、IPTC やマルチメディアなどその他のデータベース情報を選択することも可能です。	
既定の右クリックメニューとして、Windows エクスプローラのショートカットメニューを表示する	ACDSee のショートカットメニューの代わりに、Windows エクスプローラのショートカットメニューを表示します。	

サムネイル情報オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧ペイン内のサムネイルと一緒に表示する情報を指定することができます。これらのオプションは、**[ファイル一覧]** の下にある **[サムネイル情報]** で見つけることができます。

サムネイル情報オプションを設定するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. [ACDSee オプション] ダイアログボックスで、**[ファイル一覧]** から **[サムネイル情報]** をクリックします。

3. 「サムネイル情報」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee 12 に戻ります。

サムネイル情報オプション

情報	**ファイル名**	ファイル一覧ペインでサムネイルのファイル名を表示します。
	サムネイル表示情報の選択	ダイアログボックスを開き、ファイル一覧ペインで表示されるサムネイル情報を選択します。
	タイル表示情報の選択	ダイアログボックスを開き、「タイル」表示モードで表示される情報を選択します。
オーバーレイアイコン	重要度	ACDSee 12 データベースで、重要度が適用されているファイルのサムネイルに、重要度のオーバーレイアイコンを表示します。
	データベース情報	ACDSee 12 データベース情報を含むファイルのサムネイルに、データベースのオーバーレイアイコンを表示します。
	アイコン	ファイル一覧ペイン内のサムネイルに、ファイルフォーマットのオーバーレイアイコンを表示します。
	カテゴリ	カテゴリが設定されているファイルのサムネイルに、カテゴリのオーバーレイアイコンを表示します。
	ショートカット	アイテムが別のファイルへのショートカットである場合、サムネイルにショートカットのオーバーレイアイコンを表示します。
	オフライン	ファイルがオフラインのデバイスに保存されている場合、サムネイルにオフラインのオーバーレイアイコンを表示します。
	除外された項目	ACDSee 12 データベースからファイルが除外されている場合、サムネイルに除外された項目のアイコンを表示します。
	タグの付いた項目	サムネイルにタグの付いたオーバーレイアイコンを表示します。ファイルにタグが付いている場合、アイコンにチェックマークが表示されます。
	タグの付いていない項目	タグの付いていない画像のサムネイルに、タグの付いていない項目のオーバーレイアイコンを表示します。
	自動回転	ファイルが自動回転された場合、サムネイルに自動回転のオーバーレイアイコンを表示します。
	サウンド	埋め込み／関連付けられたオーディオが含まれている画像のサムネイルに、サウンドのオーバーレイアイコンを表示します。
	現像済み	
	編集済み	編集されたファイルのサムネイルに、編集のオーバーレイアイコンを表示します。

サムネイルのスタイルオプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧ペイン内のサムネイルの表示方法を指定することができます。これらのオプションは、**[ファイル一覧]** の下にある **[サムネイルのスタイル]** で見つけることができます。

サムネイルのスタイルオプションを設定するには：

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. [オプション] ダイアログボックスで、**[ファイル一覧]** から **[サムネイルのスタイル]** をクリックします。
3. 「サムネイル情報」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

サムネイルのスタイル オプション

サムネイルのフレーム	**フレームの表示**	サムネイルにフレームを追加します。
	ドロップシャドウの表示	サムネイルに3D のドロップシャドウを追加します。
	スライド背景の表示	サムネイルとその情報の背景に、シェードの付いた背景を表示します。
	スライド枠の表示	サムネイルの外枠に黒いボーダーを追加します。
フォルダのスタイル	**XP スタイル**	Microsoft XP for Windows のスタイルでフォルダを表示します。
	3D スタイル	透明度の付いた 3D スタイルでフォルダを表示します。
サムネイルの比率	**カスタム**	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルの縦横比をカスタム設定します。スライダをドラッグして比率を設定します。スライダを動かすと、プレビューの形が変化します。
	縦	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルに、標準の縦比率 3:4 を指定します。
	横	ファイル一覧ペインで表示されるサムネイルに、標準の縦横比率 4:3 を指定します。
サムネイルの間隔	**スライダ**	各サムネイル間の間隔を増減します。
高画質な拡大縮小	ファイル一覧ペイン内のサムネイルを高画質で表示します。	

詳細表示 オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスを使用して、ファイル一覧 ペイン内のサムネイルの表示方法を指定することができます。

詳細表示 オプションを変更するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. [ACDSee オプション] ダイアログボックスで、**[ファイル一覧]** から **[詳細表示]** をクリックします。
3. 「詳細表示」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

詳細表示 オプション

グリッドラインを表示する	「詳細」表示モードの行と列を、グリッドラインで区切ります。
行全体を選択する	行のヘッダーをクリックすると、行全体が選択されます。
列幅を自動調整する	内容に合わせて列の幅を自動調整します。
並べ替えに使用された列をハイライトする	列のタイトルをクリックすると、ファイルの並べ替えに使用された列をハイライトします。
詳細表示の設定	「詳細」表示モードで、ファイルの並べ替えに使用する列を指定します。

プレビュー ペイン オプションを設定する

プレビュー ペインでは、画像の表示方法を指定することができます。また、プレビュー ペインでオーディオやビデオファイルを表示する際、自動再生するように設定することも可能です。

プレビュー オプションを設定するには:

1. 次のいずれかを実行します:
   - 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** を選択し **[プレビュー]** をクリックします。
   - 管理モードで、プレビュー ペイン内の任意の場所を右クリックし、**[プレビュー オプション]** を選択します。

2. 「プレビュー」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
3. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

プレビュー オプション

表示間隔	ファイル一覧ペインで画像を選択した後、プレビュー ペインに画像が表示されるまでの時間を指定します。
サイズ	選択された画像に対するプレビュー画像のサイズを指定します。
オーディオおよびビデオ クリップのプレビュー	ファイル一覧ペインで選択されたメディア ファイルのプレビューを表示します。
オーディオおよびビデオ クリップの自動再生	プレビュー ペインでオーディオまたはビデオ クリップを自動再生します。
画像プレビュー	画像がデコードされる際、高画質のインスタント プレビューを表示します。

フォルダ オプションを設定する

イージーセレクト バーの表示／非表示、アーカイブの表示、隔離フォルダ識別を設定し、フォルダ ペインをカスタマイズすることができます。

フォルダ ペインをカスタマイズするには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスで、**[フォルダ]** をクリックします。
3. 「フォルダ」のページで、下記の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

フォルダ ペイン オプション

イージーセレクト	**イージーセレクトを表示する**	複数のフォルダを選択する際に便利なイージーセレクト バーをフォルダ ペインに表示します。
	イージーセレクトのワンポイントを有効にする	イージーセレクト バーにマウスポインタを合わせると、ワンポイントが表示されます。
フォルダ表示	**フォルダ ペインにアーカイブを表示する**	フォルダ ペインにアーカイブ ファイルを一覧表示します。
	フォルダ ペイン内で、ドラッグ &ドロップをする際に確認する	フォルダ ペイン内でフォルダが移動される際に、確認メッセージを表示します。
	除外されたフォルダのオーバーレイ アイコンを表示する	ACDSee データベースから除外されたフォルダにオーバーレイ アイコンを表示します。

カテゴリオプションを設定する

カテゴリ ペインのオプションを使って、カテゴリの割り当て作業中に確認メッセージを表示するかの選択や、イージーセレクト バーの表示/非表示などを指定することができます。

カテゴリ ペイン オプションを設定するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスで、**[カテゴリ]** をクリックします。
3. 「カテゴリ」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. 設定を確認したら、**[OK]** をクリックします。

カテゴリ オプション

カテゴリの削除	**カテゴリにファイルが割り当てられているか確認する**	割り当てられたファイルを含むカテゴリを削除する際に、確認メッセージが表示されます。
	カテゴリにサブ カテゴリが含まれているか確認する	サブカテゴリを含むカテゴリを削除する際に、確認メッセージが表示されます。
ファイルの削除	**カテゴリからファイルを削除する際に確認する**	カテゴリからファイルを削除する際に、確認メッセージが表示されます。
イージーセレクト	**イージーセレクトを表示する**	複数の[カテゴリ]、[スペシャル アイテム]、[重要度]を選択することができるイージーセレクト バーが、カテゴリ ペインに表示されます。
	イージーセレクトのワンポイントを有効にする	イージーセレクト バーにマウスポインタを合わせると、ワンポイントが表示されます。
アイコン	**カテゴリ、重要度、スペシャル アイテムのカテゴリを表示する**	カテゴリ、重要度、スペシャル アイテムのアイコンが表示されるため、これらの適用されたファイルが識別しやすくなります。

カレンダー ペイン オプションを設定する

カレンダー ペインでは、各週を特定日で開始させたり、12 時間または 24 時間時計を使用したり、ファイルを並べ替える際に使用する日付の種類を選択したりすることができます。

カレンダー ペイン オプションを設定するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの **[カレンダー]** をクリックします。
3. 「カレンダー」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

カレンダー ペイン オプション

日付の種類	**データベースの日付**	ACDSee データベースに保存されている日付に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
	撮影日	各項目の撮影日に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
	ファイル更新日時	各項目の最終更新日に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
	ファイルの作成日時	各項目がコンピュータで作成された日に基づいて、カレンダー ペインでファイルを並べ替えます。
フィルタ	**アドバンス ファイル一覧フィルタの適用(フォルダの除外)**	ファイル一覧ペインで現在選択されている フィルタ設定 に基づいて、カレンダー ペインに表示されたアイテムをフィルタします。
	画像とメディア ファイルのみ表示	画像、オーディオ、ビデオ ファイルのみをカレンダー ペインで表示します。
週の始まり	カレンダー ペインで使用する週の開始日を指定します。	
時計の表示形式	**12 時間**	カレンダー ペインで 12 時間時計を使用します。
	24 時間	カレンダー ペインで 24 時間時計を使用します。

CD/DVD 管理 オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログボックスを使用して、ディスクの作成ファイルの格納先フォルダやフォト ディスクの識別方法を設定することができます。

バスケットまたはフォト ディスクの識別オプションを変更するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの **[CD/DVD ファイル管理]** をクリックします。
3. 「CD/DVD 管理」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

CD/DVD管理 オプション

ディスクの作成バスケット	**ディスクの作成ウィザードの開始ページを表示する**	ディスクの作成ウィザードの「ようこそ」ページを表示します。
	参照	[フォルダの参照] ダイアログボックスが開かれます。ディスクの作成ファイルの保存先を変更します。
フォトディスクのID	**ディスクのボリューム ラベルを使用する**	ディスクのボリュームラベル別にフォトディスクを識別します。 マルチセッションのフォトディスクで作業する場合には、この設定を選択します。
	ディスクのシリアル番号を使用する	ディスクのシリアル番号別にフォトディスクを識別します。シングルセッションフォトディスクで作業する場合、あるいはACDSee の以前のバージョンからフォトディスクをインポート／変換する場合には、この設定を選択します。

ファイル管理 オプションを設定する

ACDSee では、名前変更や削除、デスクトップのごみ箱への一時保存など、ファイルおよびフォルダの取扱い方法を既定値として設定することができます。

ファイル管理 オプションを設定するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの **[ファイル管理]** をクリックします。
3. 「ファイル管理」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

ファイル管理 オプション

確認	**フォルダ削除の確認**	フォルダを削除する際に、確認メッセージを表示します。
	ファイル削除の確認	ファイルを削除する際に、確認メッセージを表示します。
	読み取り専用の名前変更/削除の確認	読み取り専用アイテムを名前変更または削除する際に、確認メッセージを表示します。
重複ファイルの上書き	**確認する**	ファイルを上書きする際、メッセージを表示します。
	名前を変更する	ファイルを移動またはコピーする際に、ソースファイルの名前を変更することによって、名前の重複を自動的に対処します。ファイル名の自動変更システムで使用されるファイル名を分離する文字を **[分離文字]** フィールドに入力します。
	置換する	確認メッセージを表示せずに、指定したフォルダのファイルを自動的に上書きします。
	スキップする	ファイル名が重複した場合、上書き、移動、コピーのいずれも実行されません。
オリジナルの保存	一括編集ツールの 1 つを使用して編集が行われる際、オリジナル ファイルを保存します。そのため、編集を行った後に気が変わり、元のファイルに戻したい、という場合に対応することができます。このオプションをオフに設定すると、一括編集ツールを使用する際、オリジナル ファイルが保存されないため、復元不可能となります。ご注意ください。 編集モードでは、このオプションがオフに設定されていても必ずオリジナル ファイルが保存されます。	
その他	**ファイル名をクリックして変更する**	ファイル一覧ペインのファイル名をクリックするだけで、ファイル名を変更することができます。
	ごみ箱を使用する	デスクトップのごみ箱に削除したファイルを保存します。このチェックボックスがオンになっていない場合、削除したファイルはハード ディスクから完全に削除されます。
	ファイルがコピーされる際データベース情報を保存する	ファイルを別の場所にコピーしても、そのファイルのデータベース情報が同時に保存されます。

データベース オプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログ ボックスでは、アラームを設定したり、データベース情報をコントロールしたり、データベース ファイルやサムネイル キャッシュの保存先を設定したりすることができます。

データベース オプションを設定するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. [オプション] ダイアログ ボックスの**[データベース]** をクリックします。
3. 「データベース」のページで、下記の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

データベース オプション

データベースの保存先	ACDSee データベースの保存先を指定します。**[参照]** ボタンをクリックし、フォルダを選択します。
バックアップ アラームの表示	ACDSee データベースのバックアップをアラームで自動的に知らせます。**[間隔]** ドロップダウン リストをクリックして、アラームを表示する間隔を選択します。
除外されたフォルダの管理	[除外されたフォルダ] 一覧のダイアログ ボックスを開き、ACDSee データベースから除外したいフォルダを指定します。
データベース情報の埋め込みアラームを表示する	データベース情報の埋め込みが必要なことをお知らせするアラームが表示されます。
データベースの日付設定	フォルダの内容をカタログ化する際、ACDSee データベースに最終更新日を自動的に追加します。データベースの日付として使用する日付を、次のいずれかのオプションから選択します: • **EXIF 日付** • **ファイル更新日時** • **日付指定** (ドロップダウン リストから使用する日付を選択します。)
カタログ化されたファイルから EXIF と IPTC メタデータをインポートする	フォルダの内容をカタログ化する際、ACDSee データベースに EXIF と IPTC 情報を自動的にインポートします。 このオプションが選択されない場合、EXIF と IPTC 情報はインポートされませんが、データベースの履歴内に格納されます。空の履歴を削除するために、定期的にデータベースの最適化を行うようにしてください。
IPTC キーワード用に分離文字のコンフリクトダイアログを表示する	分離文字のコンフリクトが発生すると、IPTC キーワード ダイアログが表示されます。ダイアログ内では、コンフリクトが発生した場合の対応方法を設定し、次回からは表示しないように選択することも可能です。このオプションを使って、次回コンフリクトが発生した際のオプションを変更／調整します。
IPTC の補充カテゴリ用に分離文字のコンフリクトダイアログを表示する	分離文字のコンフリクトが発生すると、IPTC 補充カテゴリ ダイアログが表示されます。ダイアログ内では、コンフリクトが発生した場合の対応方法を設定し、次回からは表示しないように選択することも可能です。このオプションを使って、次回コンフリクトが発生した際のオプションを変更／調整します。

表示モードのオプションを設定する

[ACDSee オプション] ダイアログ ボックスでは、表示される画像のスピードを向上させたり、ユーザー好みに合わせて表示モードをカスタマイズしたりすることができます。

表示モード オプションを設定するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの **[表示モード]** をクリックします。
3. 「表示モード」オプションのページで、下の表を参考にして表示モード オプションを変更または設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee 12 に戻ります。

表示モード オプション

デコード/キャッシュ	**次の画像を前もってデコードする**	表示モードで表示される次の画像を自動的にデコードするため、ロードする時間の短縮に繋がります。
	以前の画像をメモリに保存する	表示モードですばやく表示されるように、以前デコードした画像をメモリに保存します。
起動ファイル	**一覧の画像を置換する**	画像が他のアプリケーションで表示されている場合、新規の表示モード ウィンドウで表示しません。
	画像を新規ウィンドウで表示する	他のアプリケーションで表示されている画像を、新規の表示モード ウィンドウで開きます。
リサンプルリング アルゴリズム	**Bicubic**	画像の拡大時に通常生じるでこぼこを最小限に抑えるために、表示モードの画像をリサンプルします。
	Bilinear (ソフト)	画像をスムーズにするために、表示モードの画像をリサンプルしますが、ぼやける場合があります。
	Nearest Neighbour (単純拡大)	表示モードで表示されている画像をリサンプルしません。
ドロップ ファイル	**一覧の画像を置換する**	他のアプリケーションから表示モードに移動した画像と、表示モードで表示されている画像の一覧を置き換えます。
	一覧に画像を追加する	他のアプリケーションから表示モードに移動した画像を、表示モードで既に表示されている画像の一覧に追加します。
常に手前に表示する	ACDSee 12 ウィンドウを、重なったウィンドウの手前に常に表示します。	
フルスクリーンにする	表示モードで、画像をフルスクリーン モードで表示します。(**<F>**キーを押してフルスクリーン モードを終了します。)	
フルスクリーンでマウスポインタを隠す	フルスクリーン モードで、マウスポインタを非表示にします。	
画像プレビュー	画像がデコードされる際、高画質のインスタント プレビューを表示モードに表示します。	
ACDSee Quick View を使用	このオプションが選択されると、ACDSee 12 が閉じられている場合、ACDSee Quick View が画像の既定ビューアとして設定されます。	
削除/移動後に終了する	表示モードの画像を移動／削除した後に、自動的に管理モードに戻ります。	
フォルダ内のすべての画像を表示する	フォルダ内のすべての画像が現行の画像の一覧に追加されます。	
画像ファイルの完全なパスを表示する	表示モードのタイトルとステータスバーに、画像ファイルの完全なパスを表示します。	

表示 オプションを設定する

オプション ダイアログボックスを使用して、ウィンドウの背景を変更したり、ズームの方法を指定したりすることができます。

表示 オプションを設定するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. [ACDSee オプション] ダイアログボックスで、**[表示モード]** から **[表示]** をクリックします。
3. 「表示」オプションのページで、下の表を参考にしてオプションを設定または変更します。
4. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee 12 に戻ります。

表示オプション

背景	**既定色**	表示モードの背景に使用するACDSee 12 の既定色を指定します。
	カスタム色	表示モードの背景に使用する色を指定します。
	並列画像	表示モードの背景に並列画像を使用します。**[参照]** をクリックして、ハードディスク上にある画像を選択します。
ズーム オプション	**ズームモードの既定値**	表示モードで表示される画像用に、ズーム レベル の既定値を指定します。
	画像の変更時に、ズーム レベルを既定値にリセットする	表示される画像が変更されるたびに、ズームモードを指定した既定値にリセットします。
	サイズ変更	設定されたオプションに基づいて画像のサイズを変更します。これらの選択肢がどのようにビューアに影響するかについての詳細は、画像を自動的に拡大/縮小する をご覧ください。

背景色と並列画像のオプションは、フルスクリーン モードには反映されません。

ACDSee Quick View の背景色を変更するには、Quick View で画像を開き、**[ツール]** メニューから **[オプション]** をクリックします。

ACDSee Online オプションを設定する

ACDSee Online オプションを設定するには:

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[ACDSee オプション]** をクリックします。
2. [ACDSee オプション] ダイアログ ボックスの **[ACDSee Online]** をクリックします。
3. 「ACDSee Online」のページで、下の表を参考にしてオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee 12 に戻ります。

ACDSee Online オプション

フォルダの場所	**一時フォルダ**	**[参照]** ボタンをクリックして、アップロードおよびダウンロード中にACDSee 12 が一時的にファイルを保持するフォルダの場所を変更します。
アップロード/ダウンロード	**シャットダウンする際、すべての転送を一時停止する**	ACDSee 12 を閉じる際、転送作業を一時停止します。
	起動する際、一時停止されたすべての転送を再開する	ACDSee 12 を再度起動する際、転送作業を再開します。
	同時アップロード数 (1-10まで)	同時にアップロードするファイル数を選択します。
	同時ダウンロード数 (1-10まで)	同時にダウンロードするファイル数を選択します。
重要度	**重要度 1 を 5 に変換**	重要度 1 を 5 つ星表示に変換します。
	重要度 1 を 1 に変換	重要度 1 を1 つ星表示に変換します。

ACDSee Showroom オプションを設定する

ACDSee Showroom デスクトップ スライドショーは、スライドの表示間隔、画像の順序、トランジション、フレームの不透明度、サイズ、フレーム スタイルなどを指定することで、ユーザーの好みに合わせてカスタマイズできます。

ACDSee Showroom デスクトップ スライドショーをカスタマイズするには:

1. 次のいずれかの手順で ACDSee Showroom を起動します:
   - 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[作成]** を選択し、**[ACDSee Showroom]** をクリックします。
   - **[スタート]** ボタンから **[プログラム]** を選択し、**[ACD Systems]** から **[ACDSee Pro 3 Showroom]** をクリックします。
2. ACDSee Showroom ウィンドウ内の任意の場所を右クリックし、**[オプション]** を選択します。
3. 以下を参照して、その他のオプションを選択または変更します。
4. 現在選択されているオプションを、次回以降の Showroom ウィンドウの既定値として保存するには、**[既定値として設定]** をクリックします。
5. **[OK]** をクリックして変更を適用します。

ACDSee Showroom オプション

画像フォルダ	**サブフォルダを含む**	スライドショーにサブフォルダの画像も含みたい場合には、このオプションを選択します。
スライド	**長さ**	各画像の表示時間を短くするにはスライダを左に、長くするにはスライダを右にドラッグします。
	順序	ドロップダウンから、**[順次]** を選択して画像を順序に表示するか、**[ランダム]** を選択してランダムに表示します。
	トランジション	[トランジション] ドロップダウンから、トランジション効果を使用しない場合には **[なし]** を、画像を右から左に移動する場合には **[スライド]** を、画像から別の画像へ移動する際に透明度をブレンドさせる場合には **[フェード]** を選択します。
	すべてに適用	変更をすべてのスライドショーに適用したい場合は、**[すべてに適用]** を選択します。
Showroom ウィンドウ	**不透明度**	Showroom ウィンドウの不透明度を減らすにはスライダを左に、不透明度を増やすにはスライダを右にドラッグします。
	サイズ	ドロップダウンから、Showroom ウィンドウのフレームサイズを **[スモール]**、**[ミディアム]**、**[ラージ]** のいずれかから選択します。
	フレーム	[フレーム] ドロップダウンから、フレームのスタイルを選択します。
	常に手前に表示する	Showroom ウィンドウをその他のアプリケーションの上に表示するには、**[常に手前に表示する]** を選択します。
	すべてに適用	変更をすべてのスライドショーに適用したい場合は、**[すべてに適用]** を選択します。
起動時に実行する	コンピュータの起動時に、ACDSee Showroom を自動実行するには、**[起動時に実行する]** を選択します。	

ACDSee Quick View オプションを設定する

ACDSee Quick View を開かれているウィンドウの最前面に表示したり、Quick View ウィンドウの背景色を変更するなど、ユーザーの希望に合わせて設定をカスタマイズすることができます。

ACDSee Quick View をカスタマイズするには:

1. 画像をダブルクリックします。例えば、Windows エクスプローラで参照中の画像、または電子メールに添付されている画像をダブルクリックします。
2. **[ツール]** メニューから **[オプション]** を選択します。
3. 以下を参照して、その他のオプションを設定します。
4. **[OK]** をクリックして設定を適用します。

ACDSee Quick View オプション

ACDSee Quick View を使用		このオプションが選択されると、ACDSee が閉じられている時、ACDSee Quick View が画像の規定ビューアとして設定されます。
ガンマ補正		画像を表示する際、指定されたガンマ補正値を適用します。
アニメーションを無効にする		動画ファイルの最初のフレームだけを表示します。
常に手前に表示する		Quick View ウィンドウを重なったウィンドウの手前に常に表示します。
フルスクリーン		Quick View ウィンドウで、画像をフルスクリーンモードで表示します。
マウスポインタを隠す		フルスクリーンモードで、マウスポインタを非表示にします。
既定ズームモード	**画像に合わせる**	Quick View ウィンドウに収まる最大サイズで画像を表示します。Quick View ウィンドウより小さな画像は、元のサイズで表示されます。
	実寸表示	画像の実寸サイズで表示します。
背景	**既定色**	ACDSee の背景色を Quick View で使用します。
	カスタム色	Quick View ウィンドウの背景に使用する色を指定します。カラーピッカーをクリックし、別の色を選択します。

JPEG オプションを設定する

[オプション] ダイアログボックスの設定を変更して、JPEG 画像の画質、エンコードの方法、カラーサブサンプリングの方法、JPEG 画像に埋め込まれたサムネイルの更新あるいは作成の有無などを指定することができます。

JPEG オプション

画質	スライダをドラッグして、JPEG 画像の画質を指定します。
エンコード	• **プログレッシブ**: プログレッシブエンコードを有効にします。 • **ハフマン圧縮を使用**: ハフマン圧縮を有効にして圧縮率を増やします。
カラーコンポーネントサンプリング	• **2:1 水平方向**: 水平軸に 2:1 の割合で、カラーチャンネルをサブサンプルします。 • **2:1 垂直方向**: 垂直軸に 2:1 の割合で、カラーチャンネルをサブサンプルします。
埋め込みサムネイル	• **既存のサムネイルのみ更新**: 既存の埋め込みサムネイルを更新します。 • **常にサムネイルを追加/更新**: 既存の埋め込みサムネイルが存在する場合は更新を、存在しない場合は埋め込みサムネイルを作成します。 • **サムネイルを追加/更新しない**: 既存の埋め込みサムネイルを更新したくない、あるいは埋め込みサムネイルを作成したくない場合に選択します。 • **DCF 互換サムネイルの生成**: デジタルカメラ (DCF) の仕様にあったサムネイルを作成します。デジタルカメラの LCD でサムネイル表示が可能になります。160 x 120 の固定解像度に強制変換し、空白部分は黒で埋められます。
これらの設定を既定値として保存する	現在の JPEG 設定を既定値として保存する場合には、このオプションを選択します。

カスタマイズと設定

ペインやパネルを自動非表示にする

自動非表示ボタンを使用して、ACDSee 内のパネルやペインを自動的に隠すことができます。ペインが自動非表示に設定されている場合、ペイン領域外をクリックするとペインがロールアップされ、タブが表示されます。タブ上にマウスポインタを移動すると、ペインが再表示されます。ペインやパネルが固定されていない場合、自動非表示機能は使えません。また、自動非表示に設定されているペインを移動することはできません。

ペインのタイトル バーに表示されている自動非表示ボタンは、現在の設定を表示します:

- 水平に刺されている画びょうのアイコンは、ペイン外をクリックすると自動非表示になるように設定されていることを示します。
- 斜めに刺されている画びょうのアイコンは、ペイン外をクリックしても場所が固定され常に表示されることを示します。

自動非表示を設定／解除するには:

パネルのタイトル バーにある **[自動非表示]** ボタンをクリックし、水平または斜めの画びょうのアイコンを表示します。

タスクペインを使用する

タスクペインは、現在の位置やACDSeeで使用された選択範囲をもとに、メニューやツールバーで頻繁に使用されるタスクをまとめて表示します。タスクペインは通常、管理モード ウィンドウの右手に開かれます。

タスク ペインを開くまたは閉じるには:

管理モードで、**[表示]** メニューから **[タスク ペイン]** をクリックします。

タスクペインのメニューは、作業中の管理モードの領域や、選択している項目によって変わります。例えば、ファイル一覧リストで複数のフォルダを開いている場合、タスクペインには1つの画像またはメディア ファイルを開いている場合とは異なるメニューが表示されます。

また、タスクペイン メニューのオプションも動的に変化します。例えば、ファイル一覧で複数の画像を選択している場合、複数の画像に使用できるオプションの一覧が [画像の補正と修整] メニューに表示されます。

ツールバーをカスタマイズする

どのツールバーを表示するかを指定する、およびツールバーに表示する各ボタンやコマンドを指定することで、管理モードと表示モードのツールバーをカスタマイズすることができます。また、変更を破棄して、既定のレイアウトにいつでもリセットすることができます。

ツールバーを表示/非表示する

管理モードと表示モード内では、特定ツールバーの表示/非表示を選択することができます。

ツールバーを表示／非表示するには:

次のいずれかを実行します:

- 管理モードで、**[表示]** メニューから **[ツールバー]** を選択し、表示または非表示するツールバーを選択します。
- 表示モードで、**[表示]** メニューから **[ツールバー]** を選択し、表示または非表示するツールバーを選択します。

ツールバーの内容をカスタマイズする

次のツールバーをカスタマイズすることができます:

- 管理モード: メインツールバーとファイル一覧ツールバー
- 表示モード: フッター ツールバー

これらのツールバーでは、ボタンを追加、削除、またボタンの表示順序をカスタマイズすることができます。ラベルやボタンのワンポイントの表示/非表示を選択したり、ボタンのサイズを変更することも可能です。ツールバーのカスタマイズ オプションはすべて、[カスタマイズ] ダイアログボックスに表示されます。

[カスタマイズ] ダイアログボックスを表示するには:

次のいずれかを実行します:

- 管理モードで、**[表示]** メニューから**[ツールバー]**、**[カスタマイズ]** をクリックします。
- 管理モードで、メイン ツールバーまたは [ファイル一覧] ツールバーの右上にあるドロップダウン矢印をクリックし、**[カスタマイズ]** を選択します。

- 表示モードで、フッターツールバーの右手にあるドロップダウン矢印をクリックし、**[ボタンの追加または削除]** を選択し、**[カスタマイズ]** を選択します。

ツールバーボタンの下にラベルを表示/非表示するには：

1. [カスタマイズ] ダイアログボックスを表示します。
2. **[コマンド]** タブをクリックします。
3. **[ファイル一覧ツールバー]** または **[メインツールバー]** を選択します。
4. **[テキストラベルを表示する]** チェックボックスを選択してラベルを表示するか、**[テキストラベルを表示する]** チェックボックスをクリアにしてラベルを非表示に設定します。
5. **[閉じる]** をクリックします。

ツールバーボタンの下にワンポイントを表示/非表示するには：

1. [カスタマイズ] ダイアログボックスを表示します。
2. **[ACDSee オプション]** タブをクリックします。
3. **[ツールバーにワンポイントを表示する]** を選択してワンポイントを表示するか、**[ツールバーにワンポイントを表示する]** をクリアしてワンポイントを非表示に設定します。このオプションを選択すると、**、[ワンポイントにショートカットキーを表示する]** オプションを選択して、ワンポイントにショートカットキーを表示することができます。
4. **[閉じる]** をクリックします。

ツールバーボタンのサイズを変更するには：

1. [カスタマイズ] ダイアログボックスを表示します。
2. **[ACDSee オプション]** タブをクリックします。
3. **[大きなアイコン]** を選択すると大きなアイコンが、**[大きなアイコン]** をクリアすると小さなアイコンがツールバーに表示されます。
4. **[閉じる]** をクリックします。

ツールバーをリセットする

すべての変更を破棄して、既定のツールバーとボタンに戻すことができます。

ツールバーをリセットするには：

1. [カスタマイズ] ダイアログボックスを表示します。
2. **[ツールバー]** タブでをクリックしてから、**[すべてリセット]** を選択します。
3. **[はい]** をクリックして、ツールバーをリセットします。
4. **[閉じる]** をクリックします。

画像エディタを設定する

Canvas など、市場に出ている多数の画像エディタの中から、ACDSee の既定画像エディタを指定することができます。ACDSee 内から、設定されている画像エディタのいずれかを使って画像を開くことができます。

ACDSee に画像エディタを追加するには：

1. 管理モードで、**[ツール]** メニューから **[外部エディタ]**、**[エディタの設定]** をクリックします。
2. [エディタの設定] ダイアログボックスにある **[追加]** ボタンをクリックします。
3. ハードディスク上で、画像編集アプリケーションが格納されているフォルダを参照します。
4. 画像編集アプリケーションの実行ファイルを選択します。例：Canvas9.exe

5. **[開く]** をクリックします。
6. **[名前]** フィールドにエディタ名を入力し、**[OK]** をクリックします。

画像エディタを管理するには:

1. [エディタの設定] ダイアログボックスの **[エディタ]** 一覧から、変更したいエディタのアプリケーション名を選択します。
2. 次のいずれかを実行します:
   - エディタの一覧に表示されている実行ファイルの保存先、またはアプリケーション名を変更するには、**[編集]** をクリックします。アプリケーションの場所と名前を設定し、**[OK]** をクリックします。
   - 選択したアプリケーションを ACDSee の既定画像エディタとして設定するには、**[既定値として設定]** をクリックします。管理モード内で右クリックメニューを使用する、あるいはショートカットキーの **<Ctrl> +<E>** をクリックすると、既定のエディタが開かれます。
   - アプリケーションが一度に複数の画像をサポートするかどうかの設定は、**[複数画像のサポート]** チェックボックスをオンまたはオフにします。
   - アプリケーションを一覧から削除するには、**[削除]** をクリックします。
3. **[OK]** をクリックして変更を有効にしてから、ACDSee に戻ります。

キーボード ショートカットのカスタマイズ

管理モードや表示モード内で頻繁に使用されるコマンドには、既定のキーボード ショートカットが設定されています。既定のショートカットを使用しやすい組み合わせに変更したり、現在ショートカットが定義されていないコマンドにショートカットを作成したりすることが可能です。

「開く」、「コピー」など頻繁に使用されるコマンドは、管理モードと表示モードの両方でご利用いただけます。管理モードと表示モードの両方で同じキーボード ショートカットを使用するように、あるいは管理モードと表示モードでは別のショートカットを使用するようにユーザーの希望に合わせて設定することが可能です。特定モードでのみ利用可能なショートカットを設定するには、そのモードから [カスタマイズ] ダイアログを開きます。

キーボード ショートカットのカスタマイズするには:

1. 次のいずれかを実行します:
   - 管理モードで、**[表示]** メニューから**[ツールバー]**、**[カスタマイズ]** をクリックします。
   - 管理モードで、メイン ツールバーまたは [ファイル一覧] ツールバーの右にあるドロップダウン 矢印をクリックし、**[カスタマイズ]** を選択します。
   - 表示モードで、フッター ツールバーの右手にあるドロップダウン矢印をクリックし、**[ボタンの追加または削除]**を選択し、**[カスタマイズ]** を選択します。
   - [カスタマイズ] ダイアログボックスで、**[キーボード]** タブをクリックします。
   - **[カテゴリ]** ドロップダウンから、[ファイル]、[編集]、[表示] など最上位のメニューを選択します。そのメニューから選択可能なコマンドが、[コマンド] 一覧ボックスに表示されます。
2. **[コマンド]** 一覧ボックスから、コマンドを選択します。
   - 選択されたコマンドにキーボード ショートカットが既に設定されている場合、**[現行キー]** ボックスにその組み合わせが表示されます。
   - 選択されたコマンドにキーボード ショートカットがまだ設定されていない場合、[現行キー] ボックスは空白で表示されます。
3. 既定のキーボード ショートカットを削除するには、[現行キー] ボックスからキーボード ショートカットを選択し、**[削除]** をクリックします。

新規のキーボード ショートカットを設定するには:

1. **[新規のショートカットキー]** テキストボックスをクリックします。
2. 新規のショートカットとして使用したいキーの組み合わせを、実際のキーボード上で押します。

   [新規のショートカットキー] ボックスにその組み合わせが表示されます。
3. **[適用]** をクリックします。

   [現行キー] ボックスに新規のキーボード ショートカットが表示されます。

4. カスタマイズしたキーボード ショートカットを削除して、既定のショートカットに戻すには、**[リセット]** をクリックします。
5. **[閉じる]** をクリックします。

表示テーマの変更

ACDSee 12では、表示テーマを変更して、ペインやツールバーの背景色を変更することができます。

表示テーマの変更手順:

1. 管理モードで、**ツール** | **オプション**をクリックします。
2. [オプション] ダイアログボックスで [**管理モード**] をクリックします。
3. **表示テーマ**ドロップダウンリストからテーマを選択します。
4. [**OK**] をクリックして変更内容を適用し、ACDSee 12に戻ります。

第 8 章： ショートカット

管理モードのキーボードショートカット

管理モードで作業中にキーボード ショートカットを使用して、効率アップを図ることができます。カレンダー ペイン 内でも使用可能なショートカットもあります。

このページを印刷するには、ページ上を右クリックして **[印刷]** を選択します。

ショートカット	操作
\ (円記号)	画像にタグをつける、またはタグの解除を切り替え
` (アクサングラーブ)	画像オーディオの切り替え
Alt + <左矢印>	ファイル一覧ペインで最後に表示されたフォルダを表示する
Alt + <左矢印>	ファイル一覧ペインで最後に [戻る] で表示したフォルダに戻る
Alt + B	選択された項目をバスケットに追加する
Alt + C	指定したフォルダに選択された 1 つ以上の画像をコピーする
Alt + ,(コンマ)	プロパティ ペイン内で最後に使用したタブを開く
Alt + ENTER	プロパティ ペインを開く／閉じる
Alt + F4	ACDSee 12 を閉じる
Alt + G	[インポート] ダイアログ ボックスを開く
Alt + I	[フィルタ] ダイアログ ボックスを開き、ファイル一覧ペインに表示するファイル タイプを指定する
Alt + M	指定したフォルダに選択された 1 つ以上の画像を移動する
Alt + O	[オプション] ダイアログ ボックスを開く
Alt + . (ピリオド)	プロパティ ペイン内の次のタブを開く
Alt + Q	ディスクの作成バスケットから現在表示されている項目を削除する
Alt + Shift + F	ファイル一覧ペインを最大化する
Alt + W	ACDSee 12 の壁紙として適用される前の設定に、デスクトップの壁紙を復元する
Alt + X	ディスクの作成バスケットから現在表示されている項目を削除する
BACKSPACE	現行ドライブのフォルダ構造内で 1 つ上に移動する
Ctrl + 0 ～5	現在選択されている画像に、重要度を割り当てる。(このショートカットは、テンキーからの入力のみ有効) 重要度の解除には **Ctrl + 0** を使用
Ctrl + \ (円記号)	タグの付けられている画像を選択する
Ctrl + A	現在のフォルダの内容全体を選択する
Ctrl + B	選択された項目をバスケットに追加する
Ctrl + C	選択された項目をクリップボードにコピーする
Ctrl + D	[キャプションの編集] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + E	選択されている画像の状態によって、処理モードの [現像] または [編集] のいずれかで開く
Ctrl + F	[ファイル フォーマットの変換] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + G	ファイル一覧をテキスト ドキュメントに作成する
Ctrl + I	現在のフォルダ内にあるすべてのファイルを選択する
Ctrl + INSERT	選択された項目をクリップボードにコピーする
Ctrl + J	[画像の回転／反転] ダイアログ ボックスを開く

ショートカット	操作
Ctrl + K	プロパティ ペイン内にあるデータベースタブのキーワード フィールドにカーソルを置く
Ctrl + L	[露出の一括調整] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + M	[情報の一括設定] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + N	ACDSee 12 の新しいウィンドウを開く
Ctrl + O	[ファイルを開く] ダイアログ ボックスを開き、表示モードで表示する画像を 1 つ以上選択する
Ctrl + P	ACDSee 12 印刷ユーティリティで現在選択されている画像を開く
Ctrl + R	[サイズの一括変更] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + S	現在選択されている画像を使ってスライドショーを作成する
Ctrl + T	[更新日時の一括変更] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + Tab	現在表示されているペイン内で、管理モード ウィンドウのフォーカスを移動する
Ctrl + V	クリップボードの内容を貼り付ける
Ctrl + W	ACDSee 12 を閉じる
Ctrl + X	現在選択されている項目を切り取って、クリップボードにコピーする
Ctrl + ALT + B	[編集の一括処理] ダイアログ ボックスを開く
Ctrl + ALT + D	現在選択されている画像を、処理モードの [現像] で開く
Ctrl + ALT + R	画像の比較ビューアに選択された画像を表示する
Ctrl + ALT + W	選択された画像をデスクトップの壁紙に設定する
Ctrl + ALT + X	現在の画像を既定の編集エディタで開く
Ctrl + Shift + 1	フォルダ ペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift + 2	カテゴリ ペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift + 3	検索ペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift + 4	カレンダー ペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift + 5	バスケットを開く／閉じる
Ctrl + Shift + A	現在のフォルダ内にあるすべてのファイルを選択する
Ctrl + Shift + B	ステータス バーを表示／非表示にする
Ctrl + Shift + C	現在選択されている画像をクリップボードにコピーする
Ctrl + Shift + D	現在の選択項目を解除する
Ctrl + Shift + E	現在のファイルを既定のシステム アプリケーションで開く／アプリケーションを選択することのできるダイアログ ボックスを開く
Ctrl + Shift + F	フルスクリーン表示とファイル一覧ペインを切り替える
Ctrl + Shift + I	現在選択されている項目以外を選択する
Ctrl + Shift + L	ブラウズ検索ペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift + M	管理モードのメイン メニューを切り替える
Ctrl + Shift + O	ファイル拡張子と関連付けられているシステム アプリケーションを使ってファイルを開く
Ctrl + Shift + P	プレビュー ペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift + T	管理モードの既定ツールバーを表示／非表示にする
Ctrl + Shift + TAB	現在表示されているペイン内で、管理モード ウィンドウのフォーカスを移動する
Ctrl + Shift + W	選択された画像をデスクトップのタイル壁紙に設定する
Ctrl + Shift + Alt + W	選択された画像をデスクトップの壁紙として中央に設定する

ショートカット	操作
DELETE	現在選択されている画像をごみ箱に移動する
F1	ACDSee 12 のヘルプ ファイルを開く
F2	1 つ以上の選択されたファイル名を変更する
F3	検索ペインを開く
F4	コンテンツ バーを表示する
F5	管理モードの内容を更新する
F6	「サムネイル + 詳細」表示モード
F7	「フィルム ストリップ」表示モード
F8	「サムネイル」表示モード
F9	「タイル」表示モード
F10	「アイコン」表示モード
F11	「ファイル一覧」表示モード
F12	「詳細」表示モード
Shift + Delete	選択された項目をハード ディスクから削除する
Shift + F5	ファイル一覧ペインを更新する
Shift + Insert	クリップボードの内容を貼り付ける
Shift + Tab	管理モードで以前フォーカスされたペインまたはツールに移動する
TAB	管理モードで次にフォーカスされたペインまたはツールに移動する

管理モードのマウス ショートカット

管理モードで、次のキーボード ショートカットを使用して効率アップを図ることができます。

このページを印刷するには、ページ上を右クリックして **[印刷]** を選択します。

ショートカット	操作
ダブルクリック	表示モードで画像を開く
右クリック	管理モードのショートカット メニューを開く
Shift + クリック	複数の画像を選択する
クリック + ドラッグ	複数の画像を選択する
Ctrl + クリック	クリックした画像を選択する
Ctrl + ホイールを上げる	画像の拡大
Ctrl + ホイールを下げる	画像の縮小

表示モードのキーボードショートカット

表示モードで作業中にキーボード ショートカットを使用して、効率アップを図ることができます。

このページを印刷するには、ページ上を右クリックして **[印刷]** を選択します。

ショートカット	操作
\ (円記号)	画像にタグをつける、またはタグの解除を切り替え
= (等号)	画像の拡大

ショートカット	操作
` (アクサングラーブ)	画像オーディオの切り替え
Alt + <下矢印>	管理モード ウィンドウの高さに合わせて画像をズームする (拡大はせず、縮小のみ)
Alt + <右矢印>	管理モード ウィンドウの幅に合わせて画像をズームする (拡大はせず、縮小のみ)
**Alt + **	ズーム固定のオンとオフを切り替え
Alt + B	選択された項目を管理モードのバスケットに追加する
Alt + C	現在の項目を指定されたフォルダに移動する
Alt + ,(コンマ)	プロパティペインで以前のタブにフォーカスを移動する
Alt + D	[キャプションの編集] ダイアログボックスを開く
Alt + ENTER	プロパティペインを開く／閉じる
Alt + F4	ACDSee 12 を閉じる
Alt + M	現在の項目を指定されたフォルダに移動する
Alt + O	ACDSee 12 の [オプション] ダイアログボックスを開く
Alt + . (ピリオド)	プロパティペインで次のタブにフォーカスを移動する
Alt + Q	管理モードのディスクの作成バスケットから、現在表示されている項目を削除する
Alt + R	[ファイル名の変更] ダイアログボックスを開く
Alt + S	画像の自動表示 (スライドショー) を開始／停止する
Alt + W	ACDSee 12 の壁紙として適用される前の設定に、デスクトップの壁紙を復元する
Alt + X	管理モードのディスクの作成バスケットから、現在表示されている項目を削除する
B	ステータスバーを表示／非表示にする
BACKSPACE	スライドショー、画像の自動表示または表示の順番で前の画像を表示する
Ctrl + <左矢印>	前の画像を表示する
Ctrl + <右矢印>	次の画像を表示する
Ctrl + 0 ～5	現在選択されている画像に、重要度を割り当てる。(このショートカットは、テンキーからの入力のみ有効) 重要度の解除には **Ctrl + 0** を使用
Ctrl + A	ヘッダーおよびフッターを表示／非表示にする
Ctrl + B	現在表示されている項目を管理モードのバスケットに追加する
Ctrl + C	現在選択されているファイルをクリップボードにコピーする
Ctrl + D	[キャプションの編集] ダイアログボックスを開く
Ctrl + E	選択されている画像を、編集モードで開く
Ctrl + F	[ファイルフォーマットの変換] ダイアログボックスを開く
Ctrl + F4	現在の項目を閉じる
Ctrl + INSERT	現在選択されている画像の一部をクリップボードにコピーする
Ctrl + J	[画像の回転／反転] ダイアログボックスを開く
Ctrl + マイナスキー	虫めがねペインに表示される画像領域を縮小する
Ctrl + O	[ファイルを開く] ダイアログボックスを開き、表示モードで表示する画像を 1 つ以上選択する
Ctrl + P	ACDSee 12 の印刷ユーティリティで現在の画像を開く
Ctrl + プラスキー	虫めがねペインに表示される画像領域を拡大する
Ctrl + Q	現在の選択項目を解除する
Ctrl + S	[名前を付けて保存] ダイアログボックスを開き、画像名の変更／ファイルフォーマットの変更をする
Ctrl + T	[更新日時の一括変更] ダイアログボックスを開く

ショートカット	操作
Ctrl + V	クリップボードの内容を貼り付ける
Ctrl + W	管理モードに戻る
Ctrl + X	現在の項目を切り取って、クリップボードにコピーする
Ctrl + Alt + <左矢印>	現在の画像を反時計回りに 90 度回転する
Ctrl + Alt + <右矢印>	現在の画像を時計回りに 90 度回転する
Ctrl + Alt + L	前の画像を開く
Ctrl + ALT + W	選択された画像をデスクトップの壁紙に設定する
Ctrl + ALT + X	現在の画像を既定の編集エディタで開く
Ctrl + Shift + A	虫めがねペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift + B	ステータスバーを表示／非表示にする
Ctrl + Shift + C	現在表示されている画像をクリップボードにコピーする
Ctrl + Shift + F	フルスクリーン モードの切り替え
Ctrl + Shift + F4	すべての画像を閉じる
Ctrl + Shift + H	ヒストグラム ペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift + P	現在選択されているすべての画像／現在のフォルダ内のすべての画像を印刷する
Ctrl + Shift + Q	[ヘッダー／フッターの編集] ダイアログ ボックスを開き、表示モードで画像上に表示するテキストを編集する
Ctrl + Shift + S	ナビゲータ ペインを開く／閉じる
Ctrl + Shift + T	下部ツールバーを表示／非表示にする
Ctrl + Shift + W	選択された画像をデスクトップのタイル壁紙に設定する
Ctrl + Shift + Alt + W	選択された画像をデスクトップの壁紙として中央に設定する
Ctrl + Shift + 1	色深度をモノクロに変更する
Ctrl + Shift +2	色深度を 16 色グレースケールに変更する
Ctrl + Shift +3	色深度を 256 色グレースケールに変更する
Ctrl + Shift +4	色深度を 16 色グレースケールに変更する
Ctrl + Shift +5	色深度を 256 色グレースケールに変更する
Ctrl + Shift +6	色深度を Hi Color に変更する
Ctrl + Shift +7	色深度を Ture Color に変更する
DELETE	現在の画像をごみ箱に移動する
END	選択項目の最後の項目を表示する、または現在のフォルダ内にある最後の項目を表示する
ENTER	表示モードを閉じて、前のモードに戻る
ESC	現在開かれているダイアログ ボックスを閉じるか、編集モードを終了し以前開いていたモードに戻る
F	フルスクリーン モードの切り替え
F1	ACDSee 12 のヘルプ ファイルを開く
F2	[ファイル名の変更] ダイアログ ボックスを開く
F5	表示モード ウィンドウを更新し、現在の画像を再ロードする
HOME	選択項目の最初の項目を表示する、または現在のフォルダ内にある最初の項目を表示する
INSERT	[ファイルを開く] ダイアログ ボックスを開き、表示モードで表示する画像を 1 つ以上選択する
L	[パンの固定] の切り替え

ショートカット	操作
Page Down	次の項目を表示する
PAGE UP	前の項目を表示する
PAUSE	画像の自動表示(スライドショー) を開始／停止する
Shift + Backspace	マルチページ画像の前のページを表示する
Shift + Delete	現在の項目をハードディスクから削除する
Shift + E	現在のファイルを既定のシステム アプリケーションで開く／アプリケーションを選択することのできるダイアログ ボックスを開く
Shift + End	現在のマルチページ画像の最後のページを表示する
Shift + Enter	表示モードを閉じて、管理モードに戻る
Shift + F1	スクロール ツールを有効にする
Shift + F2	選択ツールを有効にする
Shift + F3	ズーム ツールを有効にする
Shift + Home	現在のマルチページ画像の最初のページを表示する
Shift + Insert	クリップボードの内容を貼り付ける
Shift + L	ファイル拡張子と関連付けられているシステム アプリケーションを使ってファイルを開く
Shift + Page Down	マルチページ画像の次のページを表示する
Shift + Page Up	マルチページ画像の前のページを表示する
Shift + Spacebar	マルチページ画像の次のページを表示する
Shift + Z	選択ツールを使って、選択領域をズームする
SPACEBAR	スライドショー、画像の自動表示または表示の順番で次の画像を表示する
T	下部ツールバーを表示／非表示にする
TAB	プロパティ ペインで次にフォーカスされたフィールドに移動する
Z	[ズーム レベルの設定] ダイアログ ボックスを開く
注意：次の表示モードのキーボード ショートカットにはテンキーを使用してください。	
* (テンキーのアスタリスク)	表示モード ウィンドウの画面に合わせて表示
- (テンキーのマイナス記号)	画像の縮小
+ (テンキーのプラス記号)	画像の拡大
/	原寸表示
1	現在のフォルダの最後の項目を表示する
3	次の項目を表示する
7	前の項目を表示する
9	現在のフォルダの最後の項目を表示する

表示モードのマウス ショートカット

表示モードで作業中にキーボード ショートカットを使用して、効率アップを図ることができます。

このページを印刷するには、ページ上を右クリックして **[印刷]** を選択します。

ショートカット	操作
ダブルクリック	表示モードを閉じて、管理モードに戻る
右クリック	表示モードのショートカット メニューを開く

ショートカット	操作
中央ボタン クリック	フルスクリーン モードの切り替え(3 つボタンのマウス)
ホイール クリック	フルスクリーン モードの切り替え
ホイールを上げる	前の項目を表示する
ホイールを下げる	次の項目を表示する
Ctrl + ホイールアップ	画像の拡大
Ctrl + ホイールダウン	画像の縮小
Shift + ホイールアップ	マルチページ画像の前のページを表示する
Shift + ホイールダウン	マルチページ画像の次のページを表示する

カレンダー ペインのショートカット

基本的なカレンダーペインのオプションに慣れてきたら、次のショートカットの使用をお勧めします:

- タイトルバーにある年、月、日テーブルをクリックし、該当の年、月、日に含まれる画像を表示します。
- 年、月または日テーブルのタイトルバーを右クリックし、隣接する年、月、日をスクロールして選択します。
- 年モードのある月をダブルクリックすると、月モードに切り替わります。あるいは、月モードで任意の日をクリックすると、日モードに切り替わります。
- 月モードで、週の日を示す文字をクリックして、週のその日に含まれる画像を表示します。例えば、**「金曜日」**をクリックすると、その月のすべての金曜日が選択されます。
- 日モードで**「AM」**または**「PM」**をクリックして、その日の午前または午後を選択します。
- イベントモードで、**<Ctrl>** キーをホールドしながら月や日をクリックして、該当の月や日に含まれる画像を表示します。
- 任意の月カレンダーのタイトルをクリックすると、その月に含まれているすべての画像が選択されます。
- 週の名前をクリックすると、該当の週に含まれているすべての画像が選択されます。
- カレンダーのあらゆる日をドラッグ + 選択すると、それらの日に含まれるすべての画像が選択されます。

編集モードのキーボードショートカット

編集モードでは、次のキーボード ショートカットを使用することができます。

このページを印刷するには、ページ上を右クリックして **[印刷]** を選択します。

ショートカット	操作
Ctrl + S	画像を保存する
Ctrl + Y	やり直し
Ctrl + Z	元に戻す
Ctrl + Shift + H	ヒストグラムを開く。
Shift + Alt + L	前の画像を開く
Page Down	次の画像を開く

編集モードのマウス ショートカット

編集モードで次のマウス ショートカットを使用して、画像作業の効率アップを図ることができます。

このページを印刷するには、ページ上を右クリックして **[印刷]** を選択します。

ショートカット	操作
Shift + 左クリック	ペイン内で、グループの自動折りたたみ機能をオフに設定
Shift + ホイールアップ または ホイールダウン	スライダに大きな調整を行う。
右クリック	すべてのスライダを既定値にリセット
ホイールアップ または ホイールダウン	スライダに細かい調整を行う。スライダ上にカーソルを置き、スクロールアップまたはダウンします。

Online モードのキーボードショートカット

転送モードでは、次のキーボード ショートカットを使用することができます。

このページを印刷するには、ページ上を右クリックして **[印刷]** を選択します。

ショートカット	操作
Alt + D	選択されたファイルとフォルダをダウンロードする
Alt + ENTER	転送モードのスクリーン下半部に、プロパティペインを表示する
Alt + テンキーの +	転送モードのスクリーン下半部にファイルとフォルダをまとめて昇順
Alt + テンキーの -	転送モードのスクリーン下半部にファイルとフォルダをまとめて降順
Alt + O	オプション ダイアログを開く
Alt + U	選択されたファイルとフォルダをアップロードする
Alt + X	バスケットからファイルを削除する
**Ctrl + **	タグの付いているファイルを選択する
Ctrl + A	すべてのファイルとフォルダを選択する
Ctrl + F8	転送モードの上部にある表示方法を、サムネイル表示に変更する
Ctrl + F12	転送モードの上部にある表示方法を、詳細表示に変更する
Ctrl + Shift + D	画像の選択をクリア
Ctrl + Shift + I	画像の選択を反転
Ctrl + Shift + 1	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダ ペインを表示する
Ctrl + Shift + 2	転送モードのスクリーン下半部に、カテゴリ ペインを表示する
Ctrl + Shift + 3	転送モードのスクリーン下半部に、検索 ペインを表示する
Ctrl + Shift + 4	転送モードのスクリーン下半部に、カレンダー ペインを表示する
Ctrl + Shift + 5	バスケットを表示する
Ctrl + W	ACDSee 12 を閉じる
DELETE	ファイルまたはフォルダを削除する
F2	ファイルまたはフォルダの名前を変更
F5	表示を更新する
F6	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのサムネイルと詳細を表示する
F7	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのフィルムストリップを表示する
F8	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのサムネイルを表示する
F9	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのタイルを表示する
F10	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルのアイコンを表示する
F11	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルの一覧を表示する

ショートカット	操作
Alt + D	選択されたファイルとフォルダをダウンロードする
Alt + ENTER	転送モードのスクリーン下半部に、プロパティペインを表示する
Alt + テンキーの +	転送モードのスクリーン下半部にファイルとフォルダをまとめて昇順
Alt + テンキーの -	転送モードのスクリーン下半部にファイルとフォルダをまとめて降順
Alt + O	オプション ダイアログを開く
Alt + U	選択されたファイルとフォルダをアップロードする
Alt + X	バスケットからファイルを削除する
**Ctrl + **	タグの付いているファイルを選択する
Ctrl + A	すべてのファイルとフォルダを選択する
Ctrl + F8	転送モードの上部にある表示方法を、サムネイル表示に変更する
Ctrl + F12	転送モードの上部にある表示方法を、詳細表示に変更する
Ctrl + Shift + D	画像の選択をクリア
Ctrl + Shift + I	画像の選択を反転
Ctrl + Shift + 1	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダ ペインを表示する
Ctrl + Shift + 2	転送モードのスクリーン下半部に、カテゴリ ペインを表示する
Ctrl + Shift + 3	転送モードのスクリーン下半部に、検索 ペインを表示する
Ctrl + Shift + 4	転送モードのスクリーン下半部に、カレンダー ペインを表示する
Ctrl + Shift + 5	バスケットを表示する
Ctrl + W	ACDSee 12 を閉じる
DELETE	ファイルまたはフォルダを削除する
F2	ファイルまたはフォルダの名前を変更
F12	転送モードのスクリーン下半部に、フォルダとファイルの詳細を表示する
テンキー +	転送モードのスクリーン下半部に、ファイルとフォルダを昇順に並べ替え
テンキー -	転送モードのスクリーン下半部に、ファイルとフォルダを降順に並べ替え
Shift + Alt + A	ACDSeeOnline.com モードを表示する
Shift + Alt + C	URL のコピー
Shift + Alt + T	転送モードを表示する

Online モードのマウス ショートカット

転送モードでは、次のマウス ショートカットを使用することができます。

このページを印刷するには、ページ上を右クリックして **[印刷]** を選択します。

ショートカット	操作
クリック + ドラッグ	複数の画像を選択する
Ctrl + クリック	クリックした画像を選択する
Shift + クリック	複数の画像を選択する

第 9 章 : ファイル フォーマット

サポートされているファイル フォーマット

ACDSeeは 50 種類以上のファイル フォーマットをサポートしています。ACDSee で表示、編集、保存できるファイルは、コンピュータにインストールされているファイル フォーマット サポート プラグインに応じて決まります。

画像フォーマット

- 読み取りサポート
- 書き込みサポート

アーカイブ フォーマット

- 読み取りサポート
- 書き込みサポート

ビデオとオーディオ フォーマット

- 読み取りサポート

ACDSee が読み取ることのできるファイル フォーマット

ANI	Windows アニメーション カーソル	アニメーション カーソルを表示します
ART	AOL ART	静止画像
BMP	Windows ビットマップ	Windows とOS/2; 2/8/16/24/32 bpp; RLE および未圧縮
CNV	Canvas	サムネイルのみ
CR2	Canon RAW CR2	
CRW	Canon RAW CRW	
CUR	Windows カーソル	
CVX	Canvas	サムネイルのみ
DCR	Kodak RAW DCR	
DCX	マルチページ PCX	すべてのサブタイプとマルチページがサポートされています
DNG	Digital negative	RAW 画像ファイル用に一般公開されたアーカイブ フォーマット
DJV	DjVu	
EMF	エンハンスト メタファイル フォーマット	Win32 拡張配置可能メタファイル
EPS	EPS ファイル (Encapsulated PostScript)	埋め込みサムネイル (TIFF フォーマット) と最初のページのみを表示します
FPX	FlashPix	マルチ解像度サポート
GIF	GIF 形式 (Graphics Interchange Format)	シングル ページとアニメーション; 87a および 89a
ICN	AT&T ICN	
ICO	Windows アイコン	別のページとしてマルチ解像度を表示します
IFF	EA/Amiga インターチェンジ ファイル形式	HAM および HAM8 を含む 1-24 bpp; マルチページとアニメーションはサポートされていません
JP2	JPEG2000	48-bit サポート
JPC	JPEG2000	48-bit サポート
JPG	JPEG JFIF	JFIF および Adobe(TM) CMYK

KDC	Kodak(TM) KDC	フル画像と埋め込みサムネイルの両方を読み取ります
MAG	MAG	すべてのサブタイプがサポートされています
MRW	Konica Minolta RAW	
NEF	Nikon RAW	
ORF	Olympus RAW	
PBM	ポータブル ビット マップ	
PCD	Kodak (TM) PhotoCD	最大解像度 3072 x 2048 (16BASE)
PCX	ZSoft Publishers Paintbrush	すべてのサブタイプがサポートされています
PEF	Pentax RAW PEF	
PGM	ポータブル グレー マップ	
PIC	SoftImage PIC	すべてのサブタイプがサポートされています
PCT	Macintosh PICT	
PDF	AdobeAcrobatドキュメント	すべてのページを読み取ることができます (Ghostscript 8.0 が必要)
PIX	エイリアス ピックス	(24 ビット)
PNG	ポータブル ネットワーク グラフィックス	すべてのサブタイプがサポートされています
PPM	ポータブル ピックス マップ	
PS	Adobe Postscript	最初のページのみ
PSD	Adobe PhotoShop ドキュメント	RGB、グレースケール、デュオトーン、パレット付き、およびバイレベル Lab カラーはグレースケールとしてのみ解釈されます
PSP	Paint Shop Pro	バージョン 5 と6
Quick-Time(TM)	.qtif, .qif, .qfi	Apple QuickTime (TM) 静止画像コーデックスをサポート
RAF	Fujifilm RAW	
RAS	Sun Raster	未圧縮とRLE 圧縮
RAW	Pentax RAW、Leica RAW、Contax RAW、Casio RAW	
RSB	Red Storm 画像フォーマット	すべてのサブタイプがサポートされています
SGI	SGI 画像フォーマット	8-32 bpp; カラーマップなし; RLE または未圧縮
TGA	Targa TGA	すべてのサブタイプがサポートされています
TIFF	タグ 画像ファイル フォーマット	サンプルごとに 1/2/4/8/12/16 ビット、ピクセルごとに 1-4 サンプル Bilevel/RGB/Paletted/CMYK/YCrCb/LOGL/LOGLUV; 未圧縮/PackBits/LZW//ThunderScan/ SGILog/CCITT/ZIP/NEXT/New-JPEG (v6.0 JPEG のサポートなし) マルチページ ド キュメントのサポート Kodak RAW TIFF, Canon RAW TIFF
WBMP	ワイヤレス ビットマップ	
WMF	Windows メタファイル フォーマット	Win 3.x 配置可能メタファイル
XBM	X ビットマップ	
XPM	X ピクスマップ	

画像書き込み サポート フォーマット

BMP	Windows ビットマップ	Windows 1/8/24 bpp
GIF	GIF 形式 (Graphics Interchange Format)	非インターレース GIF 89a のみ
IFF	EA/Amiga インターチェンジ ファイル形 式	HAM および HAM8 を含む 1-24 bpp; マルチページとアニメーションはサポートされていません
JP2	JPEG2000	
JPEG	JPEG JFIF	8 および 24 bpp。プログレッシブおよびベースライン; 調整可能な圧縮係数、サブサンプリング、スムージング、Huffman コード最適化
PCX	ZSoft Publishers Paintbrush	8 および 24 bpp; RLE 圧縮
PNG	ポータブル ネットワーク グラフィックス	1/4/8 bpp カラーマップ済み; 24 bpp RGB
PSD	Adobe (TM) PhotoShop ドキュメント	RGB、グレースケール、デュオトーン、パレット 付き、およびバイレベル Lab カラーはグレースケールとしてのみ解釈されます
RAS	Sun Raster	未圧縮とRLE 圧縮
RSB	Red Storm 画像フォーマット	すべてのサブタイプがサポートされています
SGI	SGI 画像フォーマット	8-32 bpp; カラーマップなし; RLE または未圧縮
WBMP	ワイヤレス ビットマップ	
TGA	Targa TGA	8 および 24 bpp。RLE および未圧縮、トップダウンとボトムアップ
TIFF	タグ 画像ファイル フォーマット	1 ピクセルあたり 1/8/24 ビット、シングルページ、未圧縮、CCITT3、CCITT4、LZW、デフレート (ZIP) 、および JPEG 圧縮; 調整可能 DPI タグ

ACDSee が読み取ることのできるアーカイブ フォーマット

ARJ	ARJ アーカイブ	ARJ フォーマット
CAB	CAB アーカイブ	Microsoft CAB ファイル フォーマット
GZ	GZ アーカイブ	Unix GZIP (GnuZIP)
LHA	LHA および LZH アーカイブ	Lhd、lz4、lh0、lh1、lh4、lh5、lh6、lh7、Lzh
RAR	RAR アーカイブ	RAR フォーマット
TAR	TAR アーカイブ	Unix TAR フォーマット
TGZ	TGZ アーカイブ	GZIP で圧縮された TAR フォーマット
UU	UU アーカイブ	UUEncoded ファイル
ZIP	ZIP アーカイブ	ストアおよびデフレート

ACDSee が書き込むことのできるアーカイブ フォーマット

LHA	LHA および LZH アーカイブ	Lhd、lz4、lh0、lh1、lh4、lh5、lh6、lh7、Lzh
ZIP	ZIP アーカイブ	ZIP フォーマット

ACDSee が読み取ることのできるビデオとオーディオ ファイル フォーマット

AIF	オーディオ インターチェンジ ファイル フォーマット
AIFC	オーディオ インターチェンジ ファイル フォーマット
AIFF	オーディオ インターチェンジ ファイル フォーマット
ASF	アクティブ ストリーミング ファイル - HoTMetaL Pro
AU	Sun Microsystems やその他の UNIX コンピュータで使われるサウンド ファイル フォーマット
AVI	AVI ムービー フォーマット
GSM	モバイル オーディオ用のグローバル システム
M15	Apple MPEG-1 ビデオ
M1A	Apple MPEG-1/2 オーディオ
M1V	Apple MPEG-1 ビデオ
M2A	Apple MPEG-1/2 オーディオ
M3U	MP3 プレイリスト ファイル
M75	Apple MPEG-1 ビデオ
MOV	QuickTime ムービー
MP2	MPEG Layer II 圧縮オーディオ
MP3	MPEG Layer III 圧縮オーディオ
MPA	Apple MPEG-1/2 オーディオ
MPEG	MPEG ムービーまたはアニメーション ファイル
MPG	MPEG エンコード済みファイル
MPV	Apple MPEG-1 ビデオ
QCP	Qulacomm PureVoice
QTPF	QuickTime PreFlight Text
SD2	Sound Designer II
SMI	Synchronized Multimedia Integration Language
SMIL	Synchronized Multimedia Integration Language
SML	Synchronized Multimedia Integration Language
SND	サウンド ファイル
SWA	MPEG layer III オーディオ
SWF	Adobe Flash 4
ULW	ULAW - Sun/NeXT
VFW	Windows 用のビデオ
WAV	サウンド ファイル
WMV	Windowsメタファイル

RAW ファイルについて

RAW 画像ファイルは、カメラのネガティブに似ています。画像撮影時に、デジタルカメラのセンサーが収集した全データが含まれているという点で、ネガフィルムに似ています。RAW 画像の処理を行わずに画像を表示すると、真っ暗な画像として表示されます。そのため、画像として表示させるには RAW 画像ファイルを処理する必要があります。

ACDSee 12 では、カメラが作成した埋め込みサムネイルを使用することで、RAW ファイルを表示することができます。RAW 画像の処理を行うには、RAW 画像処理機能を備えた ACDSee Photo Manager Pro 3 のようなプログラムを使用しなければなりません。

サポートされている RAW フォーマット

ACD Systems は、常に新しい RAW フォーマットをサポートされているフォーマットの一覧に追加しています。。一覧を最新の状態に保つため、弊社のWeb サイトからご覧いただくようになっています。サポートされている RAW フォーマットの一覧 はこちらをご覧ください。

ファイルの登録と関連付け

ACDSee は様々なファイルフォーマットに対応しています。Microsoft XP をご使用の場合、指定したファイルフォーマットを開くために ACDSee を既定アプリケーションとして設定することができます。このプロセスはファイルの関連付けと呼ばれています。

Microsoft Windows Vista と Windows 7 が市場に導入されたことで、ユーザーが ACDSee とファイルを関連付ける方法が変わりました。そのため、Windows Vista または Windows 7 をご利用の場合、ファイルの関連付けだけでなく、ファイルの種類(あるいは拡張子)も登録する必要があります。ファイルの種類を登録すると、ACDSee で使用するファイルの種類を Microsoft Windows Vista または Windows 7 に認識させることになります。ファイルの種類を関連付けすると、ファイルをダブルクリックする際に開く既定のプログラムとして ACDSee を設定することになります。

Microsoft XP をご使用の場合

ファイル フォーマットを ACDSee に関連付けるには:

1. **[ツール]** メニューから **[ファイルの関連付け]** をクリックします。
2. 以下のいずれかを選択します:
   - **[画像ファイル]** タブを選択し、ACDSeeと関連付けたい画像ファイル フォーマットの横にあるチェックボックスをオンにします。
   - **[アーカイブ]** タブを選択し、ACDSeeと関連付けたいアーカイブ ファイル フォーマットの横にあるチェックボックスをオンにします。
3. **[OK]** をクリックします。

Microsoft Windows Vista をご使用の場合

ACDSee でファイルの関連付けオプションを設定するには:

1. **[ツール]** メニューから**[ファイルの関連付け]**[ファイルの関連付けの設定]** をクリックします。
2. 次のいずれかのオプションを選択します:
   - **画像ファイルの種類すべて**: ACDSeeが、すべての画像フォーマットを開く既定アプリケーションとして設定されます。
   - **ACDSee またはその他のプログラムと現在関連付けられていない画像ファイルの種類**: ACDSee と既に関連付けられているファイルの種類は変更せず、関連付けられていないファイルの種類を追加します。
   - **ユーザーが画像ファイルの種類を指定する**: ACDSee とファイルを関連付けることができるダイアログ ボックスが表示されます。
3. **[OK]** をクリックします。

Microsoft Windows Vista と新規のファイル拡張子を登録するには:

新規ファイルの種類を扱うことができるプラグインをACDSee に追加する際、ACDSee がその新規ファイルフォーマットを使用できるように、ファイルフォーマットとオペレーティングシステムを登録する必要があります。その後、同じダイアログを使用して、ACDSee とそれらのファイルの種類を関連付けます。

1. **[ツール]** メニューから**[ファイルの関連付け]** **[新規ファイルフォーマットの登録]** をクリックします。
2. 一覧に表示されている新規ファイルフォーマットのみを **登録** するには、**[OK]** をクリックします。
3. ACDSee とファイルを **関連付ける** には、各ファイルの種類の横に示されている正方形をクリックします。これで該当のファイルを ACDSee で開くことができます。
4. **[OK]** をクリックし、新規ファイルを登録/関連付けします。

Microsoft Windows Vista から直接、ファイルの関連付けを変更することができます。デスクトップの **[スタート]** から **[既定プログラム]** をクリックします。

動作環境

ACDSee 12 で画像やビデオを参照、表示したり、オーディオを再生したりするためには、下記のシステム コンポーネントが必要です。

	最低必要条件	推奨
ハードウェア	Intel® Pentium III® / AMD Athlon プロセッサまたは同等	Intel® Pentium® 4 / AMD Athlon XP プロセッサまたは同等
	512 MB RAM	1GB RAM
	250 MB の空き容量のあるハード ディスク	1 GB の空き容量のあるハード ディスク
	High Color ディスプレイ アダプタ 1024 x 600 解像度	High Color ディスプレイ アダプタ 1280x1024 解像度
		CD/DVD 書き込み可能ドライブ - CD と DVD の作成に必要
ソフトウェア	Microsoft® Windows® XP (Service Pack 2 以降) Windows Vista® または Windows® 7(各日本語版)	Microsoft® Windows® XP (Service Pack 2 以降)、Windows Vista®または Windows 7® (各日本語版)
	Microsoft® Internet Explorer 6.0	Microsoft® Internet Explorer 7.0 以降
		Microsoft® DirectX® 9.0c - Microsoft Direct X ファイル フォーマットのサポート、スライド ショーとスクリーン セーバー の作成に必要
		QuickTime 6.0 - QuickTime ファイルフォーマットのサポートに必要
		Ghostscript 8.0 -- PDF ファイルのサポートに必要
		Windows Media ®Player 9.0 以降

用語集

英数字

ACDInTouch

ACD Systems の製品情報などを案内するデータ交換サーバー。

CMYK

シアン(C)、マゼンタ(M)、イエロー(Y)、クロ(K) の 4 色を原色とするカラーモデル。

DPI (ドット/インチ)

画像の表示解像度を示す単位。例えば、92 DPI = 横 92 ドット x 縦 92 ドット = 8,464 ドット/スクエアインチ となります。スクエアインチインチあたりのドット数が増えるほど、高解像度、高画質になります。

EXIF (Exchangeable Image File)

JPEG 圧縮の画像を主とする、情報保存の標準規格。ほとんどのデジタルカメラは EXIF 情報を作成し、画像ファイル内に埋め込みます。例えば、EXIF 情報にはシャッタースピードやフラッシュ発光の有無などの情報が含まれます。

HSL

色相 (H)、彩度 (S)、明るさ (L) の頭字語。

IPTC

画像内に情報をエンコードする標準の方法で、説明的なコメント、著作権などの情報を画像と一緒に転送することができます。

PDF

Portable Document Format の頭字語。無料提供されている Adobe Reader ソフトウェアを使用して、PDF ファイルを表示します。

PPI (pixels per inch)

画像解像度の単位。インチあたりのピクセル数が増えるほど、高解像度、高画質になります。

RAW

画像ファイルフォーマット。RAW ファイルには、デジタルカメラのセンサーがキャプチャした、画像の全データが含まれています。RAW ファイルはカメラによって処理されないため、RAW 処理機能を搭載している ACDSee Photo Manager Pro 3 のようなプログラムを使用して処理する必要があります。

RGB

赤(R) 、緑(G) 、青(B) の 3色を原色として使用するカラーモデル。

SendPix アルバム

ACD Systems 社が提供する、無料の画像共有サービスです。

XML (Extensible Markup Language)

Web ドキュメントに使用される標準言語。

あ

アーカイブ

保存を目的として、複数のファイルを 1 つのファイルにまとめること。通常、サイズを減らすために圧縮が使用されます。ACDSee 12 や ACDZip のようなアーカイビングソフトウェアを使えば、アーカイブファイルの作成と表示が可能です。

赤目

デジタルカメラのフラッシュが、被写体の目に反射されることによって起こります。被写体の実際の目の色ではなく、赤く見えるのが特徴です。

明るさ

画像に見られる光の強度。明るさを調整して、画像を明るくしたり暗くしたりすることができます。

圧縮

オリジナルのデータよりも、サイズの小さい保存用のフォーマットにデータを変換すること。

アルバム

複数の画像を集めたもので、通常テーマやイベント毎にまとめられています。ACDSee 12 では、アルバムにはハードディスクに保存されている画像へのショートカットが含まれます。

アンカー

スクリーンやページ、画像の場所などにオブジェクトを固定する方法。

暗号化

データを保護されたフォーマットに変換する方法。暗号化されたファイルを読解するには、パスワードまたはキーが必要です。

アンチエイリアシング

ギザギザやジャギーを除去するソフトウェアのテクニックを指します。グレーとカラーの色合いを使って、近隣のピクセル間にあるコントラストをスムーズにします。

一括編集

サイズ変更、変換、名前の変更のように、複数の画像やファイルを同時に調整するために使用される操作やツールのこと。

色空間

色空間には、色空間には、デバイス独立(デバイス・インディペンデント)、デバイス依存(デバイス・ディペンデント)の2種類があります。RGBを代表とするデバイス独立(デバイス・インディペンデント)色空間では、すべての可能な色を使って表示されます。デバイス依存(デバイス・ディペンデント)色空間は、特定のデバイスで再現することができる、デバイス独立色空間から集められた色で表示されます。デバイス依存(デバイス・ディペンデント)色空間は、通常モニタやプリンタ間のように複数のデバイス間をマップし、色が忠実に再現されているかを確認するために使用されます。

色の範囲

プリンタやモニタなどのデバイスが再現または表示することのできる色の範囲。

インポート

取り込み先のアプリケーションが理解できるフォーマットを使って、別のアプリケーションからデータを取り込むこと。

エイリアシング

ピクセルに見られるギザギザのことで、通常画像が低解像度のため、あるいは拡大表示することによって発生します。ジャギーを参照してください。

エクスポート

あるアプリケーションから別のアプリケーションへ、データを移動すること。エクスポートされたデータは、別のアプリケーションが理解できるフォーマットに置き換えられます。

エンコード

ファイルフォーマットを書き込み、あるいは保存すること。

か

解像度

ピクセル、DPI (Dots Per Inch) または PPI (Pixels Per Inch)で測定され、画像の質とクラリティを示します

可逆圧縮

画像のデータとクオリティのすべてを保持する圧縮の方法。

可逆回転と反転

JPEG画像の回転方法で、画質を失ないません。8または16の倍数のサイズの画像を回転する際に最も適しています。

画像エディタ

画像を作成したり、編集したりするために使うプログラムのこと。ACDSee 12は画像エディタです。

画像解像度

画像の詳細と色のクオリティ。モニタの表示能力やプリンタ印刷能力を表す際にも使われます。

画像ビューア

画像を表示するプログラム。ACDSee 12は画像ビューアです。

カタログ化

ファイル情報をACDSee 12データベースに追加すること。

カテゴリ

画像にカテゴリを適用すると、管理と検索作業をよりスムーズに行うことができます。

カラーキャスト

彩度と輝度を保ったまま、画像の色相を変更すること。例えば、ほとんどのデジタルカメラはわずかながらも青みがかった色相で画像を撮影します。ACDSee 12には、希望しないカラーキャストを削除するツールが含まれています。

カラーチャンネルの値

シングルのカラーに対するすべてのピクセル情報が含まれています。グレースケールの画像には1つのチャンネル、RGB画像には3つの(赤、緑、青)のチャンネルがあります。カラーを編集する際、RGBの値で調整することができます。

カラーマネージメント

プリンタで印刷される色と、モニタで表示される色がマッチするようにコンピュータを調整することを指します。

ガンマ

モニタ、スキャナ、プリンタで表示することができる色の値の範囲。ガンマ値を補正して、光のスペクトルの強さを調整します。

管理モード

管理モードは、デスクトップのショートカットアイコンをクリックしてACDSee 12を起動する際、常に表示されるモードです。管理モードでは、ファイルの検索、移動、プレビュー、並べ替え、管理／共有ツールにアクセスすることができます。

キャッシュ

高速の格納メカニズム。ACD Systemsのデータベースはキャッシュです。

キャプション

印刷画像に追加されるファイルに関連するテキスト、コメント、説明。

魚眼歪み

魚眼では、画像が球体を包んでいるかのように、中心から外に向かって膨張して見えます。

グレースケール画像

グレーの濃淡で構成されている画像。

原色

混ぜ合わせることで他の色を生み出すことができる色のこと。例えば、RGB カラーモデルでは、赤(R)、緑(G)、青(B) が原色となります。

更新日時

ファイルに関連付けられた日時。

コンタクトシート

複数の小さい画像をまとめたページのことで、通常縦横に並べられます。

コントラスト

画像のカラーと輝度の違い。

さ

再帰的

スライドショーのように反復を繰り返すことができるプログラムまたはタスクのこと。

彩度

色の純度。彩度の値が高くなるほど、グレーの色味が強くなります。

彩度 (レンダリングの方法)

ある色の範囲から別の色の範囲に、色の彩度を保ちながらレンダリングする方法。実際に表示される色よりも、色の鮮度が重要な画像に適しています。

サムネイル

フルサイズ画像の縮小版プレビュー。

色相

画像内に見られる優勢な(主となる) 色。

ジャギー

解像度の低い画像に見られるギザギザのこと。画像のピクセルが大きく表示されるために、画像に線や曲線が加わって見えます。

シャープにする

シャープネスツールは画像をシャープに仕上げるためのツールで、通常オリジナルの画像がぼやけて見える場合に使用されます。オリジナルの画像から、ぼかしのついたバージョンの画像が取り除かれるため、エッジがはっきり表示されるようになります。コントラストを増やすことで、エッジをよりシャープにすることが可能です。

シャープネス

画像のシャープネスは、主にデジタルカメラのレンズとセンサーによって特定されます。画像のエッジ間にあるコントラストを増やすことで、シャープネスを加えることが可能です。

重要度

1 から 5 までの値を画像に割り当てることで、管理と検索がより簡単になります。

ショートカット メニュー

プログラム内で右クリックすると表示されるメニューのこと。コンテキスト メニュー、またはショートカット メニューとも呼ばれます。

透かし

画像の背景に埋め込まれたテキストやグラフィックのことで、通常、著作権保護を目的として使用されます。

ズーム

ACDSee 12 では、ズームは画像表示の拡大/縮小プロセスを指します。拡大すると画像の一部を細かく表示することができます。縮小すると画像全体、あるいは画像のより広い範囲を表示することができます。

スライドショー

画像を連続して表示すること。ACDSee 12 のようなスライドショーソフトウェアを使用して、画像グループをスライドショーとして表示することができます。

絶対比色

レンダリングの方法で、一般にプルーフ用に使われています。デバイスに依存しない色空間に基づいて、使用できる色の範囲内で忠実に色を再現し、色の範囲外にある色を減らして最も近い色相に変更します。そのため彩度が劣る可能性があります。

説明

ACDSee 12 は説明を descript.ion という名前の隠しファイルに保存します。ファイル名やキャプションなどの説明は、この descript.ion ファイルに含まれます。

セピア

セピア画像は、茶色のトーンで構成されています。古い写真のほとんどに、セピアトーンが見られます。

選択範囲

選択ツールを使って定義した画像の領域。選択範囲の周りにはマーキーが表示されます。ACDSee 12 と ACD Photo Editor は選択ツールを搭載しています。

相対比色

入力と出力デバイスの両方に忠実な色の範囲を使って色をマップするレンダリングの方法。色の範囲外にある色は単色としてマップされることがあるため、単色または色に限界のある画像に適しています。

た

ダイナミックレンジ

画像のダイナミックレンジは、その画像を撮影したデジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジと直接関係しています。デジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジが大きいと、シャドウまたはハイライトのクリッピングを発生させずに、最も暗い影と最も明るいハイライトを同時にキャプチャすることができます。(RAW 画像は、デジタルカメラのセンサーのダイナミックレンジを保持します。) 画像のトーン範囲を調整すると、モニタあるいは画像に表示されているダイナミックレンジを変更することになります。

高さ

画像における想像上の光源の高さを指します。光源の高さと方向が一緒になって 3D のエンボス効果を生み出します。

タグ

カテゴリや重要度と同様に、タグは別のフォルダに移動することなく画像をまとめて管理することができるため、大変便利な方法です。ワンクリックで画像にタグを適用することができます。同様に、ワンクリックでタグの付いた画像をすべて表示することも可能です。

縦横比

画像の縦と横の比率。例えば、3 : 1 の縦横比の画像は、幅が高さの 3 倍ということになります。

知覚

別の色の範囲内に収まるよう、全色をある色の範囲内に調整するレンダリングの方法 色そのものよりも他の色間との関係を忠実に保つため、写真に最も適した方法です。

データベース

格納されたデータに素早くアクセスする電子ファイルシステムのこと。ACD Systems データベースは、キャッシュされたサムネイルファイルと情報ファイルの 2 つから構成されています。キャッシュされたサムネイルファイルは、小さな画像のコピー(サムネイル) を含んでいます。情報ファイルは、システム上のファイルに関する詳細情報 (説明、日付、作者、注記、キーワード、カテゴリなど) を含んでいます。

データベースの日付

ファイルのプロパティに適用されている日付で、ACD Systems データベースに保存されます。

透視歪み

透視歪みは、ワイドアングルや望遠レンズによって引き起こされる歪みで、大型あるいは遠方のオブジェクトが歪んで見える現象を指します。例えば、高層ビルを撮影した場合、通常、ビルの上部ほど幅が狭く見えます。

ドッキング

別の領域に、ツールバー、ウィンドウ、ペインなどを固定すること。

トランジション

スライドショー、スクリーンセーバー、ビデオ内の画像またはビデオ間に使われる特殊効果のこと。

取り込み

一般に、外部デバイス(スキャナ、デジタルカメラなど) から画像を取り入み、ハードディスクに追加することを指すための用語です。スクリーンキャプチャで画像を取り込むことも含まれます。インポート を参照してください。

トリミング

画像の不必要な領域を削除することを指します。

な

ノイズ

同系色の範囲内で、様々なピクセルカラーが使用されている場合に生じます。ノイズは、ISO 設定を高く設定したり、スローなシャッタースピードで撮影される場合に発生します。

は

ハイライト

ハイライトとは、画像の最も明るい部分、最も白い部分を指します。

バックグラウンド処理

ユーザー操作なしで起動するタスクまたはプログラムのこと。

バーレル歪み

バーレルでは、画像の中心から外に向かって膨張が発生します。

バンド幅

一定時間内にネットワーク接続を通じて送信できるデータの量。バンド幅の単位はキロビット/秒 (Kbps)で測定されます。

パンニング

上下、左右、対角線上に画像をズーム移動して、拡大表示された画像の特定部分を大きく表示することを指します。

非可逆圧縮

不要なデータを削除した圧縮方法。データを削除するため、画質に影響を及ぼします。

ピクセル (PICture ELement)

デジタル画像を構成する目で見ることができる最小単位で、縦横に並べられた色のついた「点」を指します。

ヒストグラム

画像のシャドウとハイライトのダイナミックレンジを表したグラフ。

ビット

ビットは、コンピュータで扱うデータの最小単位のことです。画像の色深度は、色情報を格納するために必要なビット数で制約されています。例えば、8 ビット RGB 画像では、各チャンネルに256 の異なる値を格納することができます。同様に、18 ビット RGB 画像では、各チャンネルに65,536 の異なる値を格納することができます。

ピンクッション歪み

ピンクッションでは、画像の中心に向かって縮小が発生します。

ファイル一覧

ACDSee 12 では、管理モードで現在表示されているファイルの一覧を指します。

ファイル フォーマット

ファイルの情報をエンコードするための方法。ファイルの種類ごとに、情報の管理方法を指定する異なったファイル フォーマットが含まれています。

フィルタ

エンボスやセピアなど、画像に効果を加えることができるプログラムのこと。

フェザー

画像のエッジを背景とブレンドし、画像をソフトに仕上げること。

フォト アルバム

アルバムを参照してください。

フォト エディタ

画像エディタを参照してください。

不自然な結果

画像の圧縮やサイズ変更によって生じた、画像のエッジに見られる歪み。

不透明

不透明度は画像または選択範囲に適用された場合、どの程度不透明に表示されるかを定義します。不透明度の値を上げると目で確認できるような効果が得られますが、値が下げすぎるとほとんど変化がわからないという結果になりかねません。

ブラックポイント

画像の最も暗い領域。ブラックポイントを調整して、画像の暗さをコントロールすることができます。

プラグイン

より規模の大きいプログラムに機能を追加するソフトウェア モジュール。

プリセット

プリセットには、画像の設定が含まれています。同じ変更や設定をすべての画像に適用する場合には、プリセットを作成すると便利です。

ブレンド モード

ツールの効果、あるいは選択された項目の見た目を変更するフィルタのこと。

ベクタ画像

ピクセルではなく個々のオブジェクトから構成されている画像のこと。オブジェクトは数学的な方程式で定義されます。ベクタ画像のサイズを変更しても、画像のクラリティと画質に影響はありません。

変換

あるフォーマットから別のフォーマットにファイルを変更すること。例えば、ファイルのサイズを減らすために、ビットマップ(.bmp) をJPEG (.jpg) に変換することを指します。

方向

画像のエッジから伸びる影の角度を指します。ACDSee 12 では、画像にエンボス効果を適用する際、方向を指定することができます。

補間法

近隣のピクセルを使って、新しいピクセルの色を推定し、大きな画像にそれらの色を加える方法。例えば、補間法はデジタル画像を引き伸ばす際に使用されます。

カラーキャストを削除して、画像に適切な光を与えます。撮影する前にカメラの設定を適切なホワイトバランスに設定するか、撮影後に ACDSee 12 を使用してホワイトバランスを補正します。

ホワイトポイント

画像の最も明るい領域。ホワイトポイントを調整して、画像の明るさをコントロールすることができます。

ま

マーキー

画像の選択範囲を示す破線で囲まれた枠のこと。ツールによっては、下にある画像に変化を加えるあるいは加えることなく、マーキーのサイズを変更したり移動することができます。

メタデータ

画像の撮影状態を示す情報。例えば、デジタルカメラで撮影された画像のメタデータには、画像が撮影された日時、シャッタースピード、カメラの露出設定、フラッシュ発光の有無などが含まれます。

モノクロ画像

シングルカラー(白黒) の画像。

や

ら

ラスタ画像

長方形のピクセルグリッドで構成された画像。各ピクセルに、色、サイズ、画像の場所を定義した値が含まれています。そのため、サイズ変更すると画質に影響を与えます。

レンダー

画像をスクリーンに描くこと。

レンダリングの方法

ある色の範囲から別の色の範囲へ、色をマップするために使用される方法を指します。レンダリングには、知覚、相対比色、彩度、絶対比色の 4 つの方法があります。

露出

画像撮影時に、デジタルカメラのセンサーが光に露出された時間の量を指します。

露出アンダー

露出アンダーの画像には、影がたくさん含まれています。通常、デジタルカメラのセンサーを十分な時間、光に露出しないことよって引き起こされます。

露出オーバー

ハイライト過多によって、画像がぼやけたり粗く見える状態を指します。通常、デジタルカメラのセンサーを長時間光に露出することによって引き起こされます。

索引

A

ACDSee
- システムの必要条件 201
- データベース 82
- ユーザー インターフェイス 5
- 起動する 4
- 写真をインポートする
  - 画像 18
- 新機能 1
- 著作権および商標 2

ACDSee とファイルを関連付ける 199

C

CD
- CD/DVD 管理 オプションを設定する 173
- VCD 69
- フォトディスク 95
- 作成する 68
- 写真を取り込む 24

D

descript.ion ファイル 86

DVD
- CD/DVD 管理 オプションを設定する 173
- VCD 69
- 作成する 68

E

E アイコン 28, 169

EXIF
- EXIF 情報を追加する 49
- 情報の一括設定 49

G

Group by
- Edited State 34

H

High Color 152

HTML アルバム 70

I

IPTC
- IPTC キーワードと補充カテゴリを削除する 50

J

JPEG オプション 179

O

Online モード 12, 159
- URL のコピー 161
- アカウントを作成する 12, 160
- フォルダを作成する 161
- 画像をアップロードする 12
- 画像を表示する 161
- 公開または非公開のフォルダを作成する 161
- 重要度 162

P

PDF 67

R

RAW 画像
- サポートされているフォーマット 199

RGB 151

S

SendPix アルバム 73

T

theme
- color 166

True Color 152

TWAIN
写真をインポートする 25
情報 18

U

URLのコピー 161
USB 大容量記憶装置
情報 18

ア

アングル効果 137
アンティーク効果 131

イ

イメージ ウェル 59
インポート
写真 19

ヴ

ヴィネット 特殊効果 123

ウ

ウォータードロップ効果 141
ウォーター効果 141

エ

エッジ検出効果 128
エンボス効果 128

オ

オイルペイント効果 131
オーディオ
画像に追加する 100
画像に録音する 101
再生する 98
オプション
ACDSee Quick View 96
カテゴリ ペイン 171
カレンダー ペイン 172
コンタクトシート 76
データベース 174
ファイル管理 173
フォルダ 171
プレビュー ペイン 170
管理モード 165
情報の一括設定 50
全般 165
表示モード 175
オリジナル
表示 103
オリジナルを復元する 109

お

お気に入りペイン 32

カ

カスタマイズ
カテゴリ ペイン 171
カレンダー ペイン 172
キーボード ショートカット 182
ツールバー 180
データベース 174
ファイル一覧 ペイン 166
ファイル管理 173
フォルダ ペイン 171
プレビュー ペイン 170
ペインを移動する 8
表示モード 175
カテゴリ
管理する 42
設定する 42
未分類の画像を検索する 59
カテゴリ ペイン
カスタマイズ 171
カテゴリと重要度を設定する 42
カラー
色深度を変更する 152

カラースキーム 183
カレンダー ペイン 30

キ

キーボード ショートカット
カスタマイズ 182
キーボードショートカット
管理モード 185
表示モード 187

グ

グラナイト効果 130
グループ化
編集済みステータス 11
グレースケール 152

ク

クレヨン画効果 127
クロスハッチ効果 127

コ

コピーする
ファイル 45
画像 46
コンタクトシート
印刷 76
作成する 71

サ

サイズを変更する
画像 146
サイズ変更
複数の画像 79
サウンド
画像に追加する 100
録音する 101
サポートされているファイル フォーマット 195

サムネイル
再構築 90
比率オプションを設定する 169
表示 33
表示オプションを設定する 168

し

しきい値効果 140

シ

システムの必要条件 201
シフト効果 137
シャープネス 153
ショートカット
マウス 190
管理モード 185
表示モード 187

ズ

ズーム
レベルを設定する 104
自動 104

ス

スキャナ 25
スクリーン キャプチャ 59
スクリーン セーバー
共有する 65
作成する 61
ステンドグラス効果 139
スライドショー
画像の自動表示 93
共有する 65
設定する 63

セ

セカンドモニタ
ペインを移動する 8, 37

セピア効果 136

ソ

ソーベル効果 138
ソラリゼーション効果 138

ダ

ダウンロードする
- ACDSee で 18
- CD からの写真 24
- スキャナからの写真 25
- デジタルカメラからの写真 19
- 携帯電話からの写真 25

ツ

ツールバー 180

デ

ディスクの作成バスケット 68
データベース
- descript.ion ファイル 86
- インポートする 85
- エクスポートする 87
- オプション 174
- キーワード 44
- サムネイルの再構築 90
- データベースについて 82
- バックアップする 88
- ファイルのカタログ化 84
- ファイルを隔離する 91
- フォルダを除外する 84
- メンテナンス 89
- ワンポイント 89
- 最適化する 90
- 情報を追加する 49
- 復元する 89
- 変換する 85

データベースからフォルダを除外する 84
データベースを最適化する 90
データベース情報をインポートする 85
データベース情報をエクスポートする 87
データベース情報を復元する 89

テ

テーマ
- カラー 183

テキスト
- ファイルの一覧 87
- ページに追加する 76
- 画像に追加する 118
- 表示モードで画像に表示する 94

デジタルカメラ
- プラグイン 18
- 写真を取り込む 19

デバイス検出 19
デュアル モニタ
- ペインを移動する 8, 37

ト

トリミングする 145

ナ

ナビゲータ 105

ネ

ネオン効果 129
ネガティブ効果 130

ノ

ノイズ
- 画像から除去する 156
- 画像に追加する 156
- 情報 155

ハ

ハイライト 150

バ

バスケット 39
バックアップ
  ワンポイント 89
バックアップする
  データベース 88

ピ

ピクセルのサイズ変更オプション 111
ピクセル爆発効果 132

ヒ

ヒストグラム 152

ビ

ビデオ ファイル
  フレームを抽出する 99
  再生する 98
  作成する 69

フ

ファイル
  ACDSee と関連付ける 199
  アーカイブする 72
  オーディオとビデオを再生する 98
  コピーまたは移動する 45
  サポートされているフォーマット 195
  データベースのカタログ化 84
  フォルダを同期する 51
  プロパティ 43
  一覧 87
  隔離する 91
  管理オプション 173
  管理する 39
  重複を検索する 58
  詳細 33
  選択する 37
  置き換える 46
  貼り付け 46
  日時を変更する 51
  並べ替える 36
  名前を変更する 47
ファイル フォーマット 195
ファイルのアーカイブ 72
ファイルをカタログ化する 84
ファイルを隔離する 91
ファイルを上書きする 46
ファイルを置き換える 46
ファイル一覧 87
ファイル一覧 ペイン
  カスタマイズ 166
  サムネイル表示オプションを設定する 168
  ファイル一覧ペイン オプションを設定する 166
  詳細表示 オプションを設定する 170
ファイル一覧ペイン
  ファイルのフィルタ 34
  フル スクリーン 29
  表示モード 33
ファイル一覧ペン
  使用する 27
フィルタを適用する 34
フォト ディスク 95
フォルダ
  データベースから除外する 84
  ファイルを同期する 51
  携帯電話 25
  参照する 29
  貼り付け 46
  表示モードで同期する 95
  名前を変更する 47
フォルダ ペイン
  オプション 171
  使用する 29
フッター
  ページに印刷する 76
  表示モードで 94

ブ

ブラウズ検索 56

プ

プラグイン
- プロパティを表示する 92
- 管理する 91
- 情報 91

フルスクリーン モード 10
プレビュー バー 111
プレビュー ペイン
- カスタマイズ 170
- 使い方 37

プロパティ ペイン
- 使用する 43

ペ

ペイン
- 移動する 7
- 既定レイアウトに戻す 6
- 自動非表示 179

ヘ

ヘッダー
- ページに印刷する 76
- 表示モードで 94

ペンキ画効果 127

ぼ

ぼかす 154

ポ

ポスタライズ効果 133

ホ

ホワイトバランス 151

マ

マウス ショートカット 190

ミ

ミラー効果 130

モ

モード
- 切り替える 6

モザイク効果 133
モノクロ 152

ユ

ユーザー インターフェイス 5

ラ

ライトレベル 148

リ

リムーバブル デバイス 18

ロ

ローカル コントラスト 150

ワ

ワイルドカード 55

移

移動する
- ファイル 45
- 管理モード ペイン 6

一

一括編集
- サイズ変更 79
- 回転する 78
- 反転する 78

名前を変更する 81
露出 80
一括編集について 77

印

印刷
コンタクトシート オプション 76
ページにテキスト 76
画像サイズと位置を設定する 75

雨

雨効果 134

渦

渦巻き効果 139

鉛

鉛筆画効果 132

画

画像
インポート 19
インポートする 18
オーディオを追加する 100
コピーする 46
サポートされているフォーマット 195
すばやく検索する 59
ダウンロードする 18
パンニング 105
ビデオファイルから抽出する 99
電子メール 60
比較する 37
表示する 10
別のフォーマットに変換する 77
編集 11
画像オーディオを録音する 101
画像にタグを付ける 49
画像の自動表示 93
画像の取り込み
デバイス検出 19
名前の変更テンプレート 26
画像を取り込む 18
画像を比較する 37

回

回転する
複数の画像 78
編集モード 144

開

開始フォルダ 166
既定 166

管

管理
すばやく検索する 59
管理する
カテゴリを設定する 42
ファイル 39
重要度を設定する 42
管理モード
オプション 165
お気に入りペイン 32
キーボードショートカット 185
クイック検索バー 53
ツールバーをカスタマイズする 180
ディスクの作成バスケット 68
バスケット 39
ファイル一覧ペイン 27
フォルダ ペイン 29
ブラウズ検索 ペイン 56
プロパティ ペイン 43
検索ペイン 54
使用する 6
表示 33

起

起動する
- ACDSee 4

共

共有する 150
- ACDSee 59
- HTML アルバム 70
- PDF ファイル 67
- SendPix アルバム 73
- VCD 69
- アーカイブ 72
- コンタクトシート 71
- スクリーン セーバー 65
- スライドショー 65
- ビデオ ファイル 69
- 電子メールで送信 60

金

金属シート効果 136

携

携帯電話 25

検

検索
- イメージ ウェル 59
- クイック検索オプションを設定する 166

検索する
- ACDSeeで 53
- クイック検索バー 53
- ファイル名のパターン 55
- ワイルドカード 55
- 検索ペイン 54
- 重複ファイル 58

検索ペイン 54

元

元に戻す/やり直し 109

光

光線ぼかし効果 133

効

効果
- ヴィネット 123

写

写真をインポートする
- CD から 24
- スキャナから 25
- ディスクから 24
- デジタルカメラから 19
- 携帯電話から 25

取

取り込む
- インポートする 18

修

修整ツール 117

柔

柔毛エッジ効果 129

重

重複の検索 58

重要度
- 設定する 42

詳

詳細モード 33

詳細表示 オプション 170

織

織り効果 142

整

整理する
- カテゴリを管理する 42

赤

赤目の補正 116

切

切り替える
- モード 6

選

選択する
- ファイル 37
- メディアファイルの一部 99
- 画像の一部 101

選択範囲 ツール 113

太

太陽スポット効果 139

地

地形図効果 140

虫

虫めがね 106

電

電子メールで送信する 60

同

同期する
- フォルダのファイル 51
- 表示モードとフォルダ 95

特

特殊効果
- アンティーク 131
- エッジ検出 128
- エンボス 128
- オイルペイント 131
- カスタム 143
- カラーエッジ 126
- クレヨン画 127
- クロスハッチ 127
- しきい値 140
- ステンドグラス 139
- ネオン効果 129
- ネガティブ 130
- ピクセル爆発 132
- ブラインド 125
- 鉛筆画 132
- 金属シート 136
- 光線ぼかし 133
- 柔毛エッジ 129
- 地形図 140
- 等高線 126
- 特殊効果について 124
- 曇ガラス 125
- 飛散タイル 135
- 膨張 125
- 輪郭 131

特殊効果:アングル 137
特殊効果:ウォーター 141
特殊効果:ウォータードロップ 141
特殊効果:グラナイト 130
特殊効果:シフト 137
特殊効果:セピア 136
特殊効果:ソーベル 138
特殊効果:ソラリゼーション 138
特殊効果:ペンキ画 127
特殊効果:ポスタライズ 133
特殊効果:ミラー 130

特殊効果 : モザイク 133
特殊効果 : 雨 134
特殊効果 : 渦巻き 139
特殊効果 : 織り 142
特殊効果 : 太陽スポット 139
特殊効果 : 波 142
特殊効果 : 波紋 135
特殊効果 : 風 143

日

日時 51
複数ファイルを変更する 51

波

波効果 142
波紋効果 135

配

配色 166

反

反転する
複数の画像 78
編集モード 145

飛

飛散タイル効果 135

美

美肌効果 117

表

表示
ファイル一覧にファイルタイプ 34
表示する
ファイルプロパティ 102
フルスクリーン 10
画像 9
表示モードで画像にテキスト 94
別のアプリケーションで 97
表示する色 166
表示テーマ 183
表示モード
カスタマイズ 175
キーボードショートカット 187
ズームレベルを設定する 104
テキストを表示する 94
ナビゲータ 105
パンニング 105
ヒストグラム 152
フォルダを同期する 95
フルスクリーン モード 10
マウスショートカット 190
画像の自動表示 93
画像をズームする 103
使用する 9
自動ズーム 104
虫めがね 106
表示 オプションを設定する 176

風

風効果 143

複

複数の画像
サイズ変更 79
露出を調整する 80
複数画像
名前を変更する 81

並

並べ替える
ファイル 36

壁

壁紙 97

変

変換する
- descript.ion ファイル 86
- グレースケール 152
- データベース 85
- 画像をビデオに 69
- 別のファイルォーマットに 77

変更の確定 103

編

編集
- ヴィネット 123
- カラーバランス 151
- サイズ変更 146
- シャープネス 153
- シャドウとハイライトを調整する 150
- テキスト 118
- トーンカーブ 149
- トリミング 145
- ノイズ除去 156
- ノイズ追加 156
- プリセット 109
- ぼかす 154
- 回転 144
- 自動レベル 149
- 修整ツール 117
- 赤目の補正 116
- 選択範囲 113
- 反転 145
- 明るさ 147
- 露出 149
- 枠 119

編集する
- RGB 値 151
- エディタを設定する 181
- クローン 117
- サイズを変更する 146
- シャープネス 153
- ツールバー 180
- テキストを追加する 118
- トーンカーブ 149
- トリミングする 145
- ノイズを除去する 156
- ノイズを追加する 156
- プリセット 109
- ぼかす 154
- ライトレベル 148
- 回転する 144
- 修整する 117
- 赤目を削除する 116
- 特殊効果 124
- 反転する 145

編集の有無
- グループ 34

編集モード
- 使用する 107

編集済みステータス
- グループ化 11

名

名前の変更
- 画像を取り込み中 26

名前を変更する
- ファイルまたはフォルダ 47
- 複数ファイル 81

明

明るさ 147

輪

輪郭効果 131

露

露出
- 自動調整する 149
- 複数の画像を調整する 80

枠

枠 119

シリアル番号

© 2006-2010 ACD Systems International Inc. All Rights Reserved Worldwide.